



中國第一歷史檔案館編

乾隆帝起居注
(三六)

廣西師範大學出版社
· 桂林 ·



第三六册 目錄

乾隆五十一年（公元一七八六年）

十一月

初一日	(一)
初二日	(二)
初三日	(四)
初四日	(六)
初五日	(七)
初六日	(九)
初七日	(一一)
初八日	(一二)
初九日	(一二)
初十日	(一二)
十一日	(一三)
十二日	(一三)
十三日	(一五)
十四日	(一六)
十五日	(一九)

乾隆五十二年（公元一七八七年）

正月

初一日……………(二〇)
 初二日……………(二〇)
 初三日……………(二二)
 初四日……………(二三)
 初五日……………(二三)
 初六日……………(二四)
 初七日……………(二五)
 初八日……………(二五)
 初九日……………(二六)
 初十日……………(二七)
 十一日……………(二九)
 十二日……………(三〇)
 十三日……………(三〇)
 十四日……………(三一)
 十五日……………(三一)
 十六日……………(三五)
 十七日……………(三五)
 十八日……………(三五)
 十九日……………(三六)

二月

二十日……………(三七)
 二十一日……………(三九)
 二十二日……………(四一)
 二十三日……………(四三)
 二十四日……………(四三)
 二十五日……………(四四)
 二十六日……………(四四)
 二十七日……………(四五)
 二十八日……………(四五)
 二十九日……………(四六)
 十六日……………(四七)
 十七日……………(四七)
 十八日……………(四八)
 十九日……………(五〇)
 二十日……………(五一)
 二十一日……………(五二)
 二十二日……………(五四)
 二十三日……………(五九)

二十四日.....(五九)
 二十五日.....(六一)
 二十六日.....(六二)
 二十七日.....(六三)
 二十八日.....(六三)
 二十九日.....(六三)
 三十日.....(六三)

三月

初一日.....(六五)
 初二日.....(六五)
 初三日.....(六六)
 初四日.....(六七)
 初五日.....(六七)
 初六日.....(六七)
 初七日.....(六九)
 初八日.....(六九)
 初九日.....(六九)
 初十日.....(七〇)
 十一日.....(七〇)
 十二日.....(七〇)
 十三日.....(七二)
 十四日.....(七五)

十五日.....(七六)
 十六日.....(七八)
 十七日.....(七九)
 十八日.....(八二)
 十九日.....(八三)
 二十日.....(八四)
 二十一日.....(八六)
 二十二日.....(八九)
 二十三日.....(九一)
 二十四日.....(九一)
 二十五日.....(九三)
 二十六日.....(九三)
 二十七日.....(九四)
 二十八日.....(九四)
 二十九日.....(九四)

四月

初一日.....(九七)
 初二日.....(九八)
 初三日.....(九八)
 初四日.....(九九)
 初五日.....(一〇四)
 初六日.....(一〇四)

初七日	(一〇五)
初八日	(一〇七)
初九日	(一〇七)
初十日	(一一一)
十一日	(一一二)
十二日	(一一二)
十三日	(一一四)
十四日	(一一五)
十五日	(一一六)
十六日	(一一八)
十七日	(一一九)
十八日	(一二〇)
十九日	(一二二)
二十日	(一二三)
二十一日	(一二四)
二十二日	(一二七)
二十三日	(一二九)
二十四日	(一三一)
二十五日	(一三二)
二十六日	(一三二)
二十七日	(一三四)
二十八日	(一三七)
二十九日	(一三七)

		五月
十六日	(一四一)
十七日	(一四三)
十八日	(一四七)
十九日	(一四九)
二十日	(一四九)
二十一日	(一五〇)
二十二日	(一五一)
二十三日	(一五一)
二十四日	(一五二)
二十五日	(一五二)
二十六日	(一五二)
二十七日	(一五三)
二十八日	(一五四)
二十九日	(一五五)
三十日	(一五六)
六月		
十六日	(一五七)
十七日	(一五七)
十八日	(一六〇)

十九日.....(一六〇)
 二十日.....(一六一)
 二十一日.....(一六三)
 二十二日.....(一六三)
 二十三日.....(一六三)
 二十四日.....(一六五)
 二十五日.....(一六八)
 二十六日.....(一六八)
 二十七日.....(一七一)
 二十八日.....(一七二)
 二十九日.....(一七二)

七月

初一日.....(一七四)
 初二日.....(一七四)
 初三日.....(一七四)
 初四日.....(一七五)
 初五日.....(一七六)
 初六日.....(一七六)
 初七日.....(一七七)
 初八日.....(一七八)
 初九日.....(一八二)
 初十日.....(一八四)

十一日.....(一八五)
 十二日.....(一八六)
 十三日.....(一八七)
 十四日.....(一八九)
 十五日.....(一八九)
 十六日.....(一九二)
 十七日.....(一九四)
 十八日.....(一九四)
 十九日.....(一九五)
 二十日.....(一九七)
 二十一日.....(一九九)
 二十二日.....(二〇一)
 二十三日.....(二〇二)
 二十四日.....(二〇二)
 二十五日.....(二〇三)
 二十六日.....(二〇四)
 二十七日.....(二〇四)
 二十八日.....(二〇五)
 二十九日.....(二〇六)
 三十日.....(二〇六)

八月

初一日.....(二〇八)

初二日	(二〇八)
初三日	(二〇九)
初四日	(二一〇)
初五日	(二一一)
初六日	(二一二)
初七日	(二一三)
初八日	(二一四)
初九日	(二一五)
初十日	(二一六)
十一日	(二一七)
十二日	(二一八)
十三日	(二一九)
十四日	(二二〇)
十五日	(二二一)
十六日	(二二二)
十七日	(二二三)
十八日	(二二四)
十九日	(二二五)
二十日	(二二六)
二十一日	(二二七)
二十二日	(二二八)
二十三日	(二二九)
二十四日	(二三〇)
二十五日	(二三一)

九月

二十六日	(二三二)
二十七日	(二三三)
二十八日	(二三四)
二十九日	(二三五)
初一日	(二三六)
初二日	(二三七)
初三日	(二三八)
初四日	(二三九)
初五日	(二十四〇)
初六日	(二十四一)
初七日	(二十四二)
初八日	(二十四三)
初九日	(二十四四)
初十日	(二十四五)
十一日	(二十四六)
十二日	(二十四七)
十三日	(二十四八)
十四日	(二十四九)
十五日	(二十五〇)
十六日	(五五一)
十七日	(五五二)

十八日.....(二五六)
 十九日.....(二五九)
 二十日.....(二六〇)
 二十一日.....(二六一)
 二十二日.....(二六一)
 二十三日.....(二六一)
 二十四日.....(二六三)
 二十五日.....(二六三)
 二十六日.....(二六四)
 二十七日.....(二六四)
 二十八日.....(二六五)
 二十九日.....(二六七)
 三十日.....(二六八)

十月

初一日.....(二七〇)
 初二日.....(二七二)
 初三日.....(二七五)
 初四日.....(二七六)
 初五日.....(二七七)
 初六日.....(二七八)
 初七日.....(二七九)
 初八日.....(二八〇)

初九日.....(二八三)
 初十日.....(二八四)
 十一日.....(二八五)
 十二日.....(二八七)
 十三日.....(二八八)
 十四日.....(二八九)
 十五日.....(二八九)
 十六日.....(二九二)
 十七日.....(二九三)
 十八日.....(二九五)
 十九日.....(二九五)
 二十日.....(二九七)
 二十一日.....(二九八)
 二十二日.....(三〇〇)
 二十三日.....(三〇一)
 二十四日.....(三〇四)
 二十五日.....(三〇五)
 二十六日.....(三〇五)
 二十七日.....(三〇八)
 二十八日.....(三一〇)
 二十九日.....(三一四)

十一月

初一日.....(三二五)
 初二日.....(三一六)
 初三日.....(三一九)
 初四日.....(三二三)
 初五日.....(三二六)
 初六日.....(三二七)
 初七日.....(三二七)
 初八日.....(三二八)
 初九日.....(三二八)
 初十日.....(三三一)
 十一日.....(三三二)
 十二日.....(三三二)
 十三日.....(三三五)
 十四日.....(三三五)
 十五日.....(三三五)
 十六日.....(三三九)
 十七日.....(三四〇)
 十八日.....(三四三)
 十九日.....(三四三)
 二十日.....(三四六)
 二十一日.....(三四七)

十二月

初一日.....(三六〇)
 初二日.....(三六〇)
 初三日.....(三六二)
 初四日.....(三六四)
 初五日.....(三六六)
 初六日.....(三六七)
 初七日.....(三六八)
 初八日.....(三六九)
 初九日.....(三七〇)
 初十日.....(三八九)
 十一日.....(三九二)
 十二日.....(三九二)

二十二日.....(三四八)
 二十三日.....(三五一)
 二十四日.....(三五三)
 二十五日.....(三五四)
 二十六日.....(三五四)
 二十七日.....(三五五)
 二十八日.....(三五六)
 二十九日.....(三五七)
 三十日.....(三五九)

十三日	(三九五)
十四日	(三九六)
十五日	(三九八)
十六日	(四〇一)
十七日	(四〇四)
十八日	(四〇八)
十九日	(四一〇)
二十日	(四一一)
二十一日	(四一二)
二十二日	(四一四)
二十三日	(四一五)
二十四日	(四一六)
二十五日	(四一八)
二十六日	(四一九)
二十七日	(四二〇)
二十八日	(四二〇)
二十九日	(四二一)
三十日	(四二一)

乾隆五十一年歲次丙午十一月初一日辛

未寅刻

上大祀

天於

園丘禮成

駕進宮

是日

起居注官吳璣白麟德昌黃軒

初二日壬申

上於瀛臺

召見諸皇子軍機大臣等

諭曰人君者天之子當以敬天勤民為首務方可

以承

昊貺而迓

鴻庥設於對越之時心生懈忽不能敬謹將事是不

成其為

天之子而

昊蒼亦斷不錫之嘉佑也朕臨御五十一年以來恭

遇

郊壇大祀無不祇肅躬親冬至

南郊親詣五十一次上辛

祈穀親詣四十九次惟乾隆五年及四十九年因朕

躬偶爾違和遣皇子親王恭代而至臨祀時一

切儀文典禮悉本誠恪之心躬申虔敬以期昭

格近來雖年逾古稀壹志

明裡益勤勿懈是以仰蒙

上蒼鑒朕忱悃得有期頤之壽精神強固猶日孜孜

萬幾親理於

郊祀大典俱能肅將禩獻升降

上天如此篤眷惟有益懋寅

既安逸致精意或有未孚朕世世子孫續緒膺

圖若能以朕之心為心無刻不以敬

天為念於

郊壇大祀嚴恭寅畏盡敬盡誠自亦必仰邀

昊穹眷顧錫以大年實我大清億萬載無疆之庶倘

不能凜承朕志永矢虔恭稍萌怠忽即非朕之

予孫

天亦斷不錫之以福也向來致祭

郊壇於

壇之二成設有幄次以備拜跪行禮迎

神止香進爵供胙上

壇行禮畢仍回降至拜次嗣因朕年屆六旬恐精力

不能如前將亞獻終獻飲福受胙諸儀改於

壇上讀祝位次行禮以節登降之勞仍不致或愆儀

節此次朕因欲每次躬親記事是以稍從簡易

非敢於

郊祀大典存耽逸之見也惟念將來朕春秋日高誠

恐步履或稍遜於前意欲於

壇上讀祝拜位添設小幄次一分俟朕年至八旬即

於此內行禮設此二三年內遇風雪沍寒亦可

稍資蔽禦如果仰邀

上天眷佑仍能精力如舊至八旬而不衰尚必照常

行禮所有添設幄次原可備而不用着軍機大

臣會同工部太常寺敬謹詳勘將應添幄次尺

寸比二成之幄次收小酌擬呈覽再行備辦此

非朕之敢有逸念也蓋

郊祀大典蠲潔躬承惟期誠意感孚度申寅格倘因儀節繁重或至精力不勝勉強將事或令人恭代則於精一凝承之意轉有未盡此後

郊壇大祀朕必歲歲躬行至八十六歲歸政時始終勿懈以申朕敬

天法

祖之志我子孫若能繼承無斁方可永膺

洪貺垂裕萬年矣又奉

諭旨據劉我奏奏定興縣知縣馮觀祚於縣民楊

鳳鳴呈控伊父楊生佩被旗人陳廷蘭指告指

霸旗產致令杖責楊生佩斃命請將馮觀祚革

職等語所辦未免過當此案楊生佩係已革刑

書於應行追出入官旗地私自收回不肯繳價

經該縣當堂傳訊復敢咆哮頂撞原有應得之

罪該縣雖兩次決罰尚係依法其咎止在失察書吏何瑤藉端詐騙一節而於杖責刑書邂逅致死尚非有心杖斃若竟將該員革職適足以長刁風未為平允馮觀祚不必革職劉我止須於定案時將馮觀祚附奏聽候部議該部知道摺併發又奉

諭旨現今貝子綿德應降一等將伊子奕純封為

鎮國公但從前和親王薨逝後伊子永璧未曾

降等仍令承襲親王而綿倫薨逝後綿循亦未

降等仍令承襲郡王今綿德係朕長孫而奕純

又係朕之長曾孫若拘泥成例令其降等襲封

似朕有意不令承襲奕純着令仍襲封貝子不

可為例將此通行曉諭宗室等俾知朕意又奉

諭旨據奎林等奏察哈爾部落副長達什那穆扎

爾所遺員缺擬定正陪奏請補放等語著照奎
林等所奏副長達什那穆扎爾所遺員缺着擬
正之佐領公僧補授便送京補行引見是日
吏部議直隸總督劉綎奏署曲陽縣知縣趙
式訓試俸期滿准實授一疏奉

諭旨趙式訓依議用餘依議又議協辦大學士吏
部尚書仍留陝甘總督任福康安奏會寧縣

知縣員缺准以候補知縣高淳補授一疏奉
諭旨高淳依議用餘依議又兵部議吉林將軍宗
室都爾嘉奏本處正黃旗防禦那海年老患
病准其休致查那海曾經出兵打仗得功牌
可否給俸一疏奉

諭旨那海曾經出兵打仗得功牌著以原品休致
給與半俸以養餘年又刑部等衙門議四川總

督保寧奏瀘州民李繼士毆傷曾葉氏身死
依律擬絞監候查曾葉氏係在保辜限外身
死可否援例減等一疏奉

諭旨李繼士毆傷曾葉氏至保辜限外身死着從
寬免死照例減等發落餘依議

是日

起居注官嵩貴鄭際唐

初三日癸酉內閣奉

諭旨河南伊陽縣奸民秦國棟等奪犯戕官一案
知縣孫岳灝親往查拿猝被戕害念其事究屬
因公情尚可憫着加恩照潘凱之例議卹其隨
往之官親柴廷桂同時砍斃亦屬可憫着一體
加恩交部酌量給予議卹又奉

諭旨據畢沅奏湖北容解盤獲之秦陳玉劉豫隔

別研訊不特秦國棟任革內並無秦懷王之名
即伯叔兄弟內亦無其人因在湖北地方傭工
被差役盤獲逼令承認即隨口混供等語前經
陝西拿獲之王進城一犯解至豫省亦經審明
實名王興元並非王進城向來誤拿人犯之地
方官例有議處但秦國棟等糾眾戕官情罪重
大又復潛行竄逸希圖免脫該州縣選派差役

跣緝查拿遇有形跡可疑之人不得不盤查跟
究况此等被獲之人亦非善類即監禁數日審
明後再行釋放亦不為拖累且現在段文經尚
未就獲若將誤拿之地方官議處恐該州縣畏
避處分心存觀望不能實力緝捕轉致首逆漏
網所有此二案內誤拿人犯之各州縣俱着從
寬免其交部議處該地方官尤應感激奮勉上

緊搜緝段文經等務期按名弋獲毋得稍存瞻
顧致滋疎縱又奉

諭旨據弘謙等奏賫送供獻

陵寢奶餅比原定額欠少等語凡供獻

陵寢物件關係甚重理宜預先照定額數敬謹備辦
賫送今光祿寺竟將供獻奶餅比原定額數欠
少且又甚屬遲誤着將光祿寺大臣官員等文

部分別議處外此項供獻奶餅該衙門如何備
辦賫送之處着交軍機大臣等查明另行妥辦
是日吏部議承審遲延承緝接緝督緝不力
各員照例罰俸一疏奉

諭旨景安李世傑俱着於現任內罰俸六個月餘
依議又戶部議安徽巡撫書麟奏五河定遠及
靈璧等州縣衛秋禾被水准照例分別蠲緩

賑濟一疏奉

諭旨依議五河等九州縣并靈璧等九州縣應徵

漕糧漕項銀米蠲剩銀米及帶徵舊欠災緩之

項各該衛被災屯田俱着照該撫所請行又兵

部議河東河道總督蘭第錫奏署懷河營都

司裴尚有歷俸期滿准實授一疏奉

諭旨裴尚有依議用餘依議是日鑲黃旗滿洲都

統奏補世管佐領各缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨常安着補授富景世管佐領富亮着補授公

中佐領又正黃旗滿洲都統奏補印務章京員

缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨承祿着補授印務章京又奏補吉林公中佐

領員缺帶領揀選人員引

見奉

諭旨圖魯春明保烏達遜着補授公中佐領

是日

起居注官陸伯焜瑋五珠

初四日甲戌

上詣普度寺 宣仁廟拈香是日吏部議貴州巡

撫李慶茶奏署玉屏縣知縣周大烜試俸期

滿准實授一疏內閣奉

諭旨周大烜依議用餘依議又議河東河道總督

蘭第錫等奏豫省添設同知分管蘭儀睢三

汛工程之處應毋庸議一疏奉

諭旨着照該督等所請行又

奏並未詳查出題之雲

議雲南巡撫譚尚忠
補用右都御史
奏

例罰俸一疏奉

諭旨秦潮着銷去紀錄一次免其罰俸餘依議又

禮部議浙江巡撫伊齡阿奏海寧州壽民李

恒千現年一百一歲准照例給銀建坊一疏

奉

諭旨依議李恒千着加惠賞給上用緞一疋銀十

兩又兵部議福建省盜犯二叅限滿被他人拿

獲之溫州鎮總兵黃大謀照例降調查該員

現另案降調應俟補官日補行罰俸一疏奉

諭旨黃大謀着銷去尋常加一級免其降調仍於

補官日罰俸六個月餘依議又刑部等衙門議

江蘇巡撫閔鶚元等奏南匯縣民唐南毆傷

沈七觀身死依律擬絞監候查沈七觀係在

保辜限外身死可否援例減等一疏奉

諭旨唐南毆傷沈七觀至保辜限外身死着從寬

免死照例減等發落餘依議

是日

起居注官玉保顏崇滿

初五日乙亥內閣奉

諭旨據伊齡阿奏上年仁和等十七州縣緩徵漕

糧請酌分二年徵收帶運一摺上年浙西杭嘉

湖三府屬之仁和等十七州縣暨杭嚴嘉湖二

衛秋禾被旱歉收節經降旨將應徵漕糧緩至

本年秋收後徵收第念該省本年收成雖屬豐

稔而民間元氣未復若同時新舊併徵民力不

無拮据所有緩徵漕糧並改徵漕米二十四萬

五百餘石着照所請本年徵收一半其餘一半

着加恩俟次年徵足帶運以紓民力該部即遵

諭行又奉

諭旨據閩鶚元奏江南本年鄉試諸生中年屆八

十以上者趙有為等六名俱已三場完竣並未

中式等語該生等年躋耄耄俱各踴躍觀光宜

沛殊恩以廣作人雅化着加恩將趙有為金有

光許承恩趙宏誠張家賢陳詩六名俱賞給舉

人准其一體會試俾膠庠耆耄得償窮經夙願

用昭嘉惠者齡至意是日吏部議御史劉紹錦

奏各省監候要犯請仍解回原監以防疎脫

應將從前錯擬概令留禁省監之刑部堂官

等照例降級一疏奉

諭旨喀寧阿胡季堂塔琦穆精阿俱着降一級留

任阿桂着銷去尋常加一級免其降級餘依議

又議辦理四十八年餘地租銀考成案內將

錦州等三處遺漏未經叙入之

盛京戶部侍郎兼管奉天府府尹事務鄂寶照

例罰俸一疏奉

諭旨鄂寶着罰俸三個月餘依議又議兩廣總督

孫士毅奏廉州府屬白石場大使黃槩於所

屬展廠收沙督煎並不親赴查催以致缺收

鹽額請革職一疏奉

諭旨這所參黃槩着革職該部知道又戶部議福

建省應征五十年分耗羨銀兩未完應將督

催不力之福建巡撫徐嗣曾等照例罰俸一

疏奉

諭旨徐嗣曾着於現任內罰俸六個月再罰俸三

個月李永祺着於現任內罰俸一年雅德罰俸

三個月之處着註冊餘依議又兵部議失察挖

淤遲延及奴犯逃走限滿不獲之署兵部尚

書福長安等照例罰俸二疏奏

諭旨福長安和坤着各銷去紀錄一次其從前罰

俸三個月之處俱仍註於紀錄抵銷餘依議

是日

起居注官圖敏章謹恒

初六日丙子大學士公阿桂等奏遵

旨敬謹詳勘酌擬添設拜次尺寸謹繪圖恭候

欽定一疏內閣奉

諭旨添設拜次着照二成原有拜次面寬博小七

尺進深博小二尺頂高博低一尺五寸着用金

黃色餘依議又奉

諭旨據曹文植等奏查出宛平縣長新店一帶鋤戶

有囤積雜糧及買空賣空情弊請將各舖戶治

罪一摺着交軍機大臣會同該部議奏至此項

應追買空賣空制錢一萬九千三百餘串仍必

入官着賞撥普濟堂育嬰堂功德林金臺書院

等處經費以示惠恤又奉

諭旨據劉我叅奏清河道朱瀾於西藏來使過境

因得信稍遲僅趕至定州照料並不預先迎護

都司期成阿雖因接護要犯公出但僅令把總

代送均有不合請交部議處等語朱瀾期成阿

俱著交部嚴加議處劉我叅未經留心交辦著察

議該部知道摺併發又奉

諭旨據明亮等奏葉爾羌所出之伊什汗伯克員

缺將裕蘇卜等三人開列奏請補放等語着照

明亮等所奏將列為第一之裕蘇卜補授伊什

汗伯克又奉

諭旨東西兩

陵供獻奶餅嗣後着清茶房兩季敬謹備辦即照每
年烏珠穆沁克什克騰達里剛該解送供獻鮮
羊例每季特出派茶房侍衛等敬謹解送分獻
無庸光祿寺多費周張採買解送是日吏部議
國史館

開國方畧清文告竣應將承辦各員分別加級

紀錄一疏奉

諭旨善寶伯麟諾穆福彭紹觀秦潮俱着加一級
茅元銘范衷李鎔俱着紀錄三次餘依議又兵
部議協辦大學士仍留陝甘總督任福康安
奏貴德營遊擊員缺准以洪水營遊擊徐煜
調補一疏奉

諭旨徐煜依議調補餘依議又刑部等衙門議陝

西巡撫永保奏寶鷄縣民婦高劉氏與夫叔
高自下通奸業經拒絕嗣高自下夤夜入房
強欲續姦將劉氏騎壓劉氏情急摸取無柄
鎗頭戳傷高自下肚腹殞命查婦女和姦之後
悔過拒絕將姦夫殺死律應杖流劉氏可否
減等發落並從前辦理此案不取緊要口供
以致情節疎漏駁審後始行詰問明白之原

任陝西按察使今陞雲南布政使王昶照例

罰俸一疏奉

諭旨劉氏着減等發落王昶着銷去尋常紀錄一
次免其罰俸餘依議是日正紅旗漢軍都統奏
補公中佐領員缺帶領正陪人員引
見奉

諭旨邊從禮着補授公中佐領

是日

起居注官茅元銘恭奉

初七日丁丑戶部議四川總督保寧奏督催

五十年分應征條糧雜稅銀米等項全完之

四川布政使王站柱照例紀錄一疏內閣奉

諭旨王站柱着紀錄二次餘依議又兵部議河道

總督蘭第錫奏河標中營都司員缺准以右

營守備葛啟瓏陞補所遺員缺准以左營千

總程宗賢陞補一疏奉

諭旨葛啟瓏等依議用餘依議又鑲白旗滿洲都

統奏補勲舊佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨富森之佐領着德昌承管

是日

起居注官王保鄭際唐

初八日戊寅

上詣火神廟拈香

雍和宮拈香是日內閣奉

諭旨據鄂輝等奏新疆屯練民戶應還牛價口糧

請寬限徵收以恤屯民一摺四川新疆屯練承

墾地畝業經照例陞科其所借牛價口糧原分

作三年徵還除上年已按款徵收外其餘借項

若與陞科額糧三項並徵屯眾不無拮据着加

恩將該屯練等未完五十二年分應徵牛價

口糧概予豁免其民戶所借牛價口糧亦著一

併寬免以示體恤該部知道摺併發是日吏部

議雲南巡撫譚尚忠奏廣西直隸州知州員

缺准以候補直隸州知州

劉穆元登額補授一

疏奉

諭旨穆克登額依議用餘依議

是日

起居注官吳璣白麟

初九日己卯三通館奏所有恭纂

皇朝通典通志二書請展限一摺內閣奉

諭旨知道了著該總裁等督同承辦各員上緊校

輯無致再有稽延倘明年八月底仍不能完竣

惟該總裁等是問

是日

起居注官嵩貴黃軒

初十日庚辰內閣奉

諭旨據李奉堯奏主事雙林於派委承辦事務並不奮勉一味偷安未便姑容請旨革職等語

雙林前經李奉堯保列一等今因該員怠玩即

行據實奏奏並不回護所奏是雙林着革職仍

令自備資斧在承辦事務衙門効力行走以觀

後效該衙門知道摺併發是日協辦大學士仍留

陝甘總督任福康安奏西和縣知縣黃世模

于試採礦苗事件並不詳明候勘輒准民人

開挖恐有通同侵蝕情弊請革審一疏奉

諭旨這所參西和縣知縣黃世模着革職交該署

督永保提同案內人等嚴審定擬具奏該部知

道摺併發是日吏部議湖廣總督李侍堯奏湖

北漢陽縣知縣員缺准以大冶縣知縣謝玉

鷺調補所遺員缺准以候補知縣常丹葵補

授一疏奉

諭旨謝玉鷺等依議調補餘依議又兵部議黑龍

江將軍宗室恒秀奏本
什爾圖阿克圖鑲黃旗驍騎校扎穆蘇俱
年老患病准其休致查該員等曾經出兵打
仗殺賊捉生得功牌可否給俸一疏奉
諭旨阿什爾圖阿克圖扎穆蘇曾經出兵打仗
殺賊捉生得功牌俱着以原品休致給與現食
半俸以養餘年

是日

起居注官德昌顏崇瀉

十一日辛巳內閣奉

諭旨福康安奏新陞衢州鎮總兵寧古奇年已七
十左目失明應令回旗調理等語寧古奇着准
其回旗調理所有浙江衢州鎮總兵員缺着伊
里布補授是日兵部議失察在洋被盜限滿未

獲之蘇松鎮總兵魏轍及屯田兵丁多獲糧
石之巴里坤總兵和倫照例罰俸紀錄一疏
奉

諭旨魏轍着罰俸一年和倫着紀錄一次餘依議
是日鑲藍旗漢軍都統奏補世管佐領各缺
帶領正陪人員引

見奉

諭旨觀音保之佐領着達敏管理楊錦着補授副

叅領福興着補授印務章京

是日

起居注官圖敏韋謙恒

十二日壬午吏部議四川總督保寧奏夔州
府知府員缺請以寧遠府知府穆克登布調
補所遺員缺請以崔修綽補授查夔州府知

府係請

旨簡放之缺與例不符應毋庸議一疏內閣奉

諭旨穆克登布崔修紳俱着照該督所請行又議

山東巡撫明興奏掖縣知縣員缺請以福山

縣知縣朱錫彤調補一疏奉

諭旨朱錫彤准其調補餘依議又議山西解州知

州舒毓楓任內交代一案據冊率轉及山東

歷城等州縣倉庫虧空攤賠銀兩未完各員

照例分別罰俸一疏奉

諭旨景安着於現任內罰俸一個月永保着罰俸

三個月張誠基着於補官日罰俸三個月陳用

敷着銷去紀錄二次免其罰俸汪新着銷去紀

錄一次仍於現任內罰俸六個月虔禮寶着於

現任內每案罰俸三個月李慶榮着銷去紀錄

欽此

一次仍罰俸三個月梁肯堂着於現任內罰俸

一年費淳着於補官日每案罰俸六個月餘依

議又帶領失察西洋人住宿傳教之前署山東

按察使事兗沂曹濟道今授工部郎中照例

降調之松齡引

見奉

諭旨松齡着仍留工部郎中之任其降級之案帶

於新任又帶領失察廳役滋事之前任山西歸

化城同知陞任理藩院員外郎照例降調之

常明引

見奉

諭旨常明着仍以理藩院員外郎用其降級之案

帶於新任又帶領直隸總

景山同知黃碧海引

欽此

見奉

諭旨黃碧海著照該督所請准其實授石景山同

知又帶領拏獲豫省搶掠餘犯孔繼發等遵

旨送部之廣西署恭城縣知縣事桂林府經歷孫

鑒引

見奉

諭旨孫鑒著回任以知縣題補又帶領大計卓異

之福建南安縣知縣李廷彩引

見奉

諭旨李廷彩准其卓異加一級仍註冊回任候陞

又帶領病痊赴補之原任安徽廬州府知府

吳斐龍引

見奉

諭旨吳斐龍著發往湖北以知府同知酌量補用

是日

起居注官陸伯焜瑋五珠

十三日癸未

上詣

奉先殿

壽皇殿行禮 闕帝廟拈香是日吏部議安徽巡撫

書麟奏署阜陽縣知縣張護試俸期滿請以

實授查該員奉文到任日期該撫並未報部

止聲明是否已滿二年無憑扣算應將違例

遺漏題請實授之安徽巡撫書麟並列名具

題之兩江總督李世傑照例罰俸一疏內閣

奉

諭旨李世傑著罰俸六個月書麟著銷去紀錄

次仍罰俸三個月餘依議 兵部議吉林將軍

宗室都爾嘉奏本處正百旗公車佐領鳳德
鑲紅旗防禦德昌俱年老患病准其休致查
該員等俱曾經出兵打仗殺賊得功牌可否
給俸一疏奉

諭旨鳳德德昌俱曾經出兵打仗殺賊得功牌着
以原品休致給與全俸以養餘年

是日

起居注官茅元銘白麟

十四日甲申卯刻

上御乾清門聽政部院各衙門官員面奏並帶領
侍班司員引

見畢大學士公阿桂大學士嵇璜和坤協辦大學
士吏部尚書劉墉內閣學士尹壯圖扎勒翰
扎郎阿瑞保以折本請

旨覆請吏部奏補光祿寺少卿員缺開列請
簡一疏

上曰孟生蕙補授光祿寺少卿又覆請吏部議直
隸總督劉峩奏平谷縣知縣潘大禮可否准
其調補萬全縣知縣一疏

上曰潘大禮准其調補餘依議又覆請吏部議浙
江巡撫伊齡阿奏海鹽縣知縣員缺請以桐

廬縣知縣楊聯榜調補查該員有經征未完
等案與例不符應毋庸議一疏

上曰楊聯榜着照該撫所請行又覆請吏部議浙
江巡撫伊齡阿奏原任臨海縣丁憂縣丞素
秉直請留于該省辦理塘工俟有相當缺出
照例補用查該員例應在籍候補與例不符
一疏

上曰袁秉直著照該撫所請存文覆請吏部議於

所屬伊陽縣聚眾奪犯不能先事覺察以致釀成戕官巨案應將平日不能實力稽查之

河南布政使江蘭等照例降調一疏

上曰江蘭著暫行從寬免其革任仍註冊畢沅著

照部議所降之級仍暫行留任穆克登著降一級從寬留任餘依議又覆請吏部議審問富勒

渾家人殷士俊等供詞底稿不行慎密以致

漏洩之廣東布政使許祖京等照例降調一

疏

上曰許祖京姚恭俱著改為革職從寬留任又覆

請吏部議山東巡撫明興奏按察司監重犯

單大經等同時越獄脫逃一案應將近在同

城未能隨時稽查之濟南府知府史傳遠等

照例降調一疏

上曰史傳遠等著照部議所降之級暫行留任俟

年終有無獲犯該部再行請旨又覆請禮部奏

江蘇省陽湖縣民牟子瑞之未婚妻吳氏上

海縣貢生沈宗熙之妻顧氏寶應縣民林瀚

之妻項氏安徽省休寧縣監生姚士燠之繼

妻吳氏涇縣監生查思琅之妻翟氏蒙城縣

民張奇賢之妻何氏浙江省錢塘縣監生曹

兆說之妻褚氏河南省濟源縣民楊兆慶之

妻劉氏福建省侯官縣民林家駒之妻唐氏

福清縣民楊文鸞之妻劉氏連江縣民余樞

元之妻廖氏吳正爵之未婚妻王氏漳浦縣

生員林源之妻許氏等十二口皆係夫七殉

節可否

旌表一疏

上曰吳氏等着加恩旌表餘依議是日吏部議安
徽巡撫書麟咨接審呂正寶案內遲延逾違
二叅之署天長縣知縣趙霖照例革職一疏
奉

諭旨依議其因接審遲延逾違二叅分限議以革
職之趙霖着該督撫出具考語送部引見再降

諭旨又帶領十月分月官籤掣兵部車駕司郎
中程國璽刑部廣東司郎中焦濬刑部雲南
司郎中方昂戶部福建司員外郎王城刑部
浙江司員外郎于德裕禮部鑄印局員外郎
張敦培吏部驗封司員外郎杜兆基刑部山
東司主事徐秉敬都察院都事周鉉太常寺
典簿張善保浙江温州府知府張慎和廣東

廣州府同知葉汝蘭安徽無為州知州張行
齡湖北鄖陽府通判孟瑀直隸大名府通判
鄭栢山西平陽府通判史汝杰江西龍南縣
知縣王駿安浙江富陽縣知縣張鳳鸞直隸
新城縣知縣陳景良四川新繁縣知縣陳嗣虞
湖南江華縣知縣江汝梓雲南彌勒縣知縣
關英浙江建德縣知縣德慶浙江樂清縣知
縣丁佃浙江龍游縣知縣張玘江蘇如皋縣
知縣譚大經甘肅安化縣知縣邱世彥福建
甌寧縣知縣劉芳甘肅華亭縣知縣陸國棟
擬改教職浙江餘杭縣知縣楊浩擬備知縣
李琮吳紹昆引

見奉

諭旨程國璽等依擬用掣得浙江餘杭縣知縣之

楊浩着以教職用所遺餘杭縣知縣員缺着掣
得浙江富陽縣知縣之張鳳鸞調補所遺富陽
縣知縣員缺着擬備知縣吳紹昆補授掣得直
隸新城縣知縣之陳景良着調補甘肅華亭縣
知縣所遺新城縣知縣員缺着掣得甘肅安化
縣知縣之邱世彥調補所遺安化縣知縣員缺
着掣得華亭縣知縣之陸國棟調補餘依議又

戶部議閩省總督常青奏鹽課銀兩未完八
分以上之前任福建龍巖州知州丁憂回旗
在工部主事上行走之瑚圖靈阿照例革職
一疏奉

諭旨依議其因鹽課銀兩未完八分以上議以革
職之瑚圖靈阿着該堂官出具考語咨送吏部
帶領引見又兵部議直隸馬蘭鎮總兵李奉堯

前在福建提督任內因事革職今三年期滿

照例准開復一疏奉

諭旨李奉堯准其開復又工部奏補營繕司員外
郎員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨着擬正之蔡泰鈞補授

是日

起居注官嵩貴王保素謙恒鄭際唐

十五日乙酉

是日

起居注官黃軒恭泰

乾隆五十二年歲次丁未春正月初一日庚

午寅刻

上以元旦令節詣

奉先殿

堂子行禮卯刻

上御中和殿陞座內大臣侍衛暨內閣翰林院詹

事府禮部樂部都察院等衙門官員行慶賀

禮畢

御太和殿陞座諸王貝勒貝子文武大臣官員及

來朝外藩蒙古王貝勒貝子公台吉等朝鮮

諸國陪臣俱進表行慶賀禮畢

詣

大高玄殿

壽皇殿行禮

詣弘仁寺拈香

駕還宮未刻

御乾清宮

賜親王

皇子

皇孫等宴是日內閣奉

諭旨太醫院院使員缺著張肇基補授所遺左院

判員缺著李德宣補授

是日

起居注官王保王懿修圖敏恭泰王燕緒瑋五

珠

初二日辛未

上御紫光閣

賜蒙古王公貝勒額駙台吉等及喀爾喀親王徽

德恩扎布等十一人並都爾伯特台吉鄂邁等二人及土爾扈特台吉桑阿巴拉一人又哈薩克汗和卓之弟阿哈岱等十人及年班回部阿克伯克等十三人土司魯璠一人並暹羅國正副使丕雅史滑里遜通那突等四人宴是日內閣奉

諭旨上年安徽省安慶鳳廬滁泗等府州屬夏間

雨澤過多山水長發低窪地畝間被淹浸節經降旨令該督撫詳晰查明分別蠲賑俾灾黎口食有資不致失所第念今春正賑已畢青黃不接之時小民生計維艱著再加恩將鳳陽懷遠定遠靈璧鳳臺壽州泗州盱眙天長五河滁州全椒來安合肥廬江等十五州縣被灾八九十分貧民無論極次概行加賑一個月以資接濟

其衛所饑口及貧生兵屬並著照正賑之例一體辦理至被灾七分五分貧民及勘不成灾之區仍著該督撫察看情形或借給口糧籽種或減價平糶分別酌辦該督撫務須督飭所屬實心經理俾灾黎均沾愷澤以副朕惠愛閭閻用普春祺至意該部即遵諭行又奉

諭旨上年江蘇淮揚等處因河水漫溢下游安東

山陽清河桃源等縣田禾被淹業經降旨令該督撫加意撫綏蠲賑兼施灾民自可不致失所第念今春正賑已畢青黃不接之時民食不無拮据著再加恩將淮安府屬之清河桃源安東三縣揚州府屬之高郵寶應二州縣勘明成灾十分之各村莊無分極次貧民各加賑兩個月又淮安府屬之山陽清河桃源鹽城阜寧五縣

揚州府屬之江都甘泉泰州東臺高郵寶應興化七州縣直隸海州勘明成災八分九分之各村莊無分極次貧民各加賑一個月以資口食其餘淮安府屬之山陽清河安東桃源鹽城阜寧六縣揚州府屬之江都甘泉高郵泰州東臺五州縣直隸海州并所屬之沭陽一縣又江寧府屬之江寧上元江浦三縣勘明七分五分及

勘不成災各村莊戶口俱著酌借籽種口糧以資接濟該督撫務須董飭所屬實心經理俾茅簷蔀屋均沾渥澤以副朕軫念窮黎普錫春祺之至意該部即遵諭行是日軍機大臣大學士阿桂等議福建巡撫徐嗣曾奏南靖縣匪徒陳薦等糾夥聚集山中屢次行劫傷人一案除陳薦林川業經該撫正法外其林妙等十

九犯應如該撫所奏擬斬立決潘聰等十三犯若僅如該撫所擬發遣此等兇徒恐發遣後或有脫逃為匪情事應從重擬絞立決一摺奉

諭旨林妙陳眾林燕歐敢許運何都蔡俊柳溪林狗張助李甫林先歐夏許沸林耀陳能傑黃桂李岱林湖俱著即處斬潘聰李雲朱厚林照沈

連用沈民林丑邱奎黃佛林牽沈銳汪廣陸潭俱著即處絞餘依議

是日

起居注官嵩貴葉觀國

初三日壬申內閣奉

諭旨昨軍機大臣會同刑部核議福建南靖縣匪犯陳薦等糾夥行劫一案將潘聰等十三犯改

擬絞決一摺此等匪徒逃匿山寮糾夥搶劫原
非尋常盜犯可比自應從重辦理但念潘聰等
十三犯究係黨夥並未傷人情尚可原朕斷不
肯因現在臺灣有林爽文等劫縣戕官之事遷
怒及彼概予駢誅所有潘聰李雲朱厚林照沈
連用沈民林丑邱奎黃佛林牽沈銳汪廣陸潭
十三犯俱著改為應絞監候秋後處決交與該

撫嚴行牢固收禁省監俟本年辦理秋審時再
降諭旨是日步軍統領衙門奏據已革直隸清
豐縣知縣張錦遣家人陳陞赴京呈控河南
內黃縣知縣田化於伊子張大經控追債務
不為跟究反將張大經監禁並誣伊緣事潛
逃等情請交該撫審辦一摺奉

諭旨此案若仍交該撫審辦恐有迴護著派刑部

侍郎長麟馳驛前往會同該撫秉公審訊具奏
所有隨帶司員亦著一併馳驛摺併發

是日

起居注官吳璣德昌

初四日癸酉

是日

起居注官陸伯焜白麟

初五日甲戌

上詣火神廟

雍和宮栢林寺拈香是日內閣奉

諭旨據書麟奏安徽安慶廬州鳳陽潁州等府屬
之十六州縣應徵舊欠及歷年災緩錢糧等項
為數較多若同時並徵民力不無拮据等語安
慶等府各屬俱係災歟之後去降春夏雨水稍

多又災後疫氣交作民間元氣未能遽復若令
新舊並徵小民輸將未免拮据所有安慶府屬
之懷寧桐城潛山太湖宿松望江廬州府屬之
舒城鳳陽府屬之宿州潁州府屬之阜陽潁上
亳州蒙城太和霍邱和州併所屬之含山等十
六州縣去年應徵舊欠及歷年災緩錢糧借欠
本折籽種口糧等項俱著緩至今年秋成後補

徵以紓民力該部即遵諭行又奉

諭旨浦霖奏善化縣壽民甯士尚現年一百歲步
履康強請旨旌表等語甯士尚壽享期頗精神
矍鑠洵屬昇平人瑞所有應行建坊旌表之處
著該部察例具題摺併發

是日

起居注官圖敏茅元銘

初六日乙亥

上詣

大高玄殿拈香

駕幸圓明園

詣

安佑宮行禮是日內閣奉

諭旨原授公銜鄂爾多斯台吉衮扎布多爾吉從

前因咬伊母混行首告將伊拘禁空房今已數
載當亦知悔罪安靜矣著施恩釋放交該盟長
等嚴行約束至原封公爵宗室永植因蓋房匠
役侵蝕銀兩令家人毆傷匠役致斃業將伊家
人擬抵永植著施恩釋放交該族長及伊伯叔
輩嚴行約束毋再生事原任總督富勒渾獲罪
監禁年已老邁念其向曾出力著施恩釋放回

家俾自省愧悔以示朕新年推恩至意

是日

起居注官顏崇為瑯五珠

初七日丙子內閣奉

諭旨原任山東運河道沈啟震前因守制回籍迄今已一年有餘現在東省有辦理疏濬河渠事宜沈啟震尚為熟諳著即赴該省專事挑辦聽

候差委又奉

諭旨向來秋朝審人犯內有業經緩決三次以上人數積多每屆數年勅令刑部堂官量為查奏減等以示法外之仁今自乾隆四十九年十一月查辦之後至五十一年秋讞擬入緩決者又積有六千餘名其數已為不少著刑部堂官將上年秋朝審緩決至三次各犯照前次查辦之

例逐一查明各按所犯情節分別減等發落以昭矜恤該部即遵諭行

是日

起居注官恭泰陳崇本

初八日丁丑

上御山高水長大幄次

賜王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及喀爾

喀親王徹德恩扎布等十一人並都爾伯特台吉鄂邁等二人及土爾扈特台吉桑阿巴拉一人又哈薩克汗和卓之弟阿哈岱等十人並年班回部阿克伯克等十三人土司魯璠一人暹羅國正副使丕雅史滑里遜通那突等四人宴是日內閣奉

諭旨刑部將現在監禁官犯及蒙古外省各官犯

摘叙事由開單進呈朕詳核案情內蘇泰前因臺灣刁民聚眾一案並不執法嚴拿反出示勸和實屬廢弛不職現在又有奸民林奕文等搶劫滋擾之事皆由該犯在任時諸事因循玩悞所致又格通額因周八與伊妾商約同逃該犯起意將周八誘至家中連砍斃命有心致死蘇泰格通額情罪俱難輕貸仍著牢固監禁至蘇

卜東阿玉慶一因勸令伊妻節省用度不服起衅一因伊妻不聽伊姑教訓斥責爭鬧毆斃均係毆死不順之妻情有可原著即行釋放德克進布私扣塘工木價係為家人劉三所愚與侵欺帑項者有間業已二次未勾著發往伊犁効力贖罪劉得王士濟楊仁譽司得壽三達子素爾芳阿聞世豪長明永善圖山佈滿成納蘇圖

姜興舟王治岐蔡勳均係歷次免勾之犯核其情節皆尚可原俱著加恩減等照例發落蒙古台吉齊巴克多爾濟博和岱一係侵蝕恩賞一係毆斃人命情罪較重但係外藩蒙古已經免勾俱著加恩釋放交與該盟長等嚴行管束不許復滋事端以示朕格外施仁用普春祺至意該部即遵諭行

是日

起居注官玉保茅元銘德昌鄭際唐

初九日戊寅

駕進宮自是日始

上以上辛祈穀於

上帝

御齋宮致齋三日

是日

起居注官嵩貴陳萬青

初十日己卯內閣奉

諭旨琅玕奏浙省漕白幫船節年借領各款有未完銀一十六萬八百餘兩本年應扣八萬二千兩零請旨分別寬限緩繳以紓丁力又另片奏稱浙漕本年應行搭解四十七八九等年緩交

餘米及失風賠補米共二萬二千九百七十餘石請於本年先搭解一半餘俟下運解交各等語浙省丁力疲乏各幫扣項既多辦運恐致拮据著加恩將極疲扣款較多之台前台後溫前溫後處前處後金衢所杭頭杭二嚴所嘉白湖白十二幫借款銀十二萬九千一百五十六兩零於五十一年為始分作八限扣繳次疲扣款

較少之寧前寧後杭三杭四湖所海所嘉所紹前紹後九幫借款銀三萬一千六百八十三兩零於五十一年為始分作六限扣繳其各幫應行搭解餘米二萬二千九百七十餘石亦著加恩於本年先行搭運一半餘俟下運全數解交以示體恤該部即遵諭速行摺併發又奉

諭旨前據常青等奏閩省臺灣有奸民林奕文等糾眾戕官佔奪縣城一案節經諭令該督等督飭鎮道等實力查辦並經提督黃任簡等帶兵渡臺堵截搜捕嗣據常青等奏總兵柴大紀等用炮轟擊十四日澎湖兵到賊勢退避本日復據常青奏有賊夥吳異人到艋舺地方稱欲帶兵接應賊人經署都司守備湯連將吳異人等四犯拿解營中臬示又有監生黃朝陽等並本

處及廣省義民各五六百名不等募集鄉勇協力攻殺賊匪鎗炮齊發殺死匪犯數百名餘賊望風奔散各等語林爽文等於光天化日之下膽敢糾眾戕官佔據縣城實屬罪大惡極法不容誅此等賊匪本係烏合之徒一經大兵赴剿無難即時撲滅該署都司易連於賊夥吳異人等前往助賊時即擒拏斬梟以安民心所辦甚

屬可嘉易連俟事竣後著該督給咨送部引見至該處生監及本處並廣東商民激發公義志切同仇共相糾聚攻殺賊匪保護地方實堪嘉獎著該督等查明分別旌賞以示優獎其義民內有被賊傷害者並著該督等於事竣後查明具奏照陣亡兵丁之例一體議卹該部知道又

奉

諭旨臺灣奸民林爽文等糾眾滋事一案該督常青勦捕逆犯其始未免稍涉張皇但一切調度堵禦機宜辦理尚屬鎮靜妥協現在水陸兩提督業經渡臺會勦逆匪自無難立時撲滅惟是海疆重地將來善後事宜均須妥協籌辦常青係初任總督恐未能料理裕如李侍堯久任封疆雖於軍旅未嫻而辦理地方事務於輕重緩

急機宜較為熟練李侍堯著調補閩浙總督即馳驛前赴新任湖廣係腹地省分且地方寧謐無事常青自能勝任學習以至歷練即著調補湖廣總督俟李侍堯到閩接印後常青即來京請訓再行赴任現在李侍堯自京起程常青到楚往返尚有需時日李封年老兼署督篆恐精神未能周到所有湖廣總督印務著舒常馳驛

前往署理侯常青抵任後再行回京又奉

諭旨每年新正元旦及八月慶萬壽之期所有各

陵貝勒貝子公大臣等皆輪班特來朝賀朕念伊等

逢朕巡幸各處既已接駕朝覲而新年及朕萬

壽各處又有望闕拜賀之例嗣後朝正慶壽毋

庸前來俾省勞費其總管等亦著一體遵行是

日

上御齋宮

是日

起居注官葉觀國白麟

十一日庚辰卯刻

上御太和殿視上辛祈穀於

上帝祝版已刻

詣

園丘齋宮齋宿是日內閣奉

諭旨據毓奇管幹珍奏淮安等屬頭進幫船業於

上年十二月二十八日盤驗過淮其後接之揚

州等幫亦據報次第開行現在派員迎催務期

依限來淮等語此次南漕頭進首幫依限催償

於年前發盤過淮其後接之幫船亦俱啣尾前

進無虞阻滯辦理尚為妥協上年回空漕船南

下時毓奇正在患病茲新漕得依限渡淮自係

管幹珍上緊督催幫同安辦所致管幹珍著交

部議叙又奉

諭旨秦承恩奏白水縣壽民李淵本現年百歲精

神矍鑠五世同堂請旨旌表等語李淵本年臻

耄耄慶洽孫曾洵屬昇平不瑞所有應行建坊

旌表加恩賞賚之處著該部照例具題摺併發

是日

起居注官陸伯焜德昌恭奉王燕緒

十二日辛巳寅刻

上詣

祈年殿行祈穀於

上帝禮禮成

駕幸圓明園

是日

起居注官白麟陳崇本陳萬青瑋五珠

十三日壬午

上御山高水長觀火戲

賜王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及喀爾

喀親王徹德恩扎布等十一人並都爾伯特

台吉鄂邁等二人及土爾扈特台吉桑阿巴

拉一人又哈薩克汗和卓之弟阿哈岱等十

人及年班回部阿克伯克等十三人土司魯

璫一人並暹羅國正副使丕雅史滑里遜通

那突等四人茶果是日安徽巡撫書麟奏署

東流縣知縣涇縣縣丞王雲於縣民朱周賜

呈控胡玉田買伊聘定之妻汪三妹為妾一

案出差管押書吏金慎修索謝取保致胡玉

田自縊恐有知情縱容情事請將該員革職

嚴審一摺奉

諭旨這所參署東流縣知縣事涇縣縣丞王雲著

革職交與該督提同案內人証嚴審定擬具奏

該部知道摺併發

是日

起居注官嵩貴吳璣

十四日癸未未刻

上御奉三無私殿陞座

賜宗藩皇子孫曾等宴晚

上御山高水長觀火戲並

賜王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及喀爾

喀親王徹德恩扎布等十一人並都爾伯特

台吉鄂邁等二人及土爾扈特台吉桑阿巴

拉一人又哈薩克汗和卓之弟阿哈岱等十

人及年班回部阿克伯克等十三人土司魯

璫一人並暹羅國正副使丕雅史滑里遜通

那突等四人茶果

是日

起居注官恭泰鄭際唐

十五日甲申

上詣

安佑宮行禮已刻

上御正大光明殿陞座

賜朝正外藩筵宴左翼敏卓爾胡圖克圖科爾沁

親王貢格喇布坦科爾沁親王旺扎勒多爾

濟烏珠穆沁親王瑪哈索哈喀喇沁親王品

級郡王喇特納錫第巴林親王品級郡王巴

圖科爾沁郡王鄂勒哲特穆爾額爾克巴拜

科爾沁郡王羅布桑占三科爾沁郡王喇什

嘎勒璫奈曼郡王拉旺喇布坦翁牛特貝勒

濟克濟扎布阿魯科爾沁貝勒阿爾達錫第

巴林貝子德勒克喀喇沁貝子丹巴多爾濟

科爾沁貝子錫第教漢貝子桑濟扎勒教漢

貝子德威多爾濟喀喇沁貝子品級頭等塔

布囊端珠布色布騰科爾沁鎮國公薩本丕
勒扎木蘇教漢鎮國公納木扎勒多爾濟扎
魯特輔國公彭素克科爾沁輔國公色瑞嘎
瑪勒科爾沁公品級頭等台吉拉旺喀喇沁
公品級頭等塔布囊瑪哈巴拉喀喇沁和碩
額駙索諾木巴勒丹克什克騰扎薩克頭等
台吉根敦達爾扎科爾沁頭等台吉色楞丹

巴科爾沁頭等台吉林欽多爾濟科爾沁頭
等台吉敏珠爾多爾濟巴林頭等台吉固山
額駙賽尚阿科爾沁多羅額駙索諾木雅木
丕勒巴林多羅額駙丹津教漢多羅額駙伊
拉瑚喀喇沁多羅額駙垂巴勒瓦爾喀喇沁
多羅額駙滿珠巴咱爾教漢固山額駙巴彥
巴圖爾教漢二等台吉色布騰多爾濟翁牛

特二等台吉三濟扎布翁牛特二等台吉巴
彥巴圖爾翁牛特二等台吉哈斯巴圖爾教
漢二等台吉濟克濟扎布歸化城土默特二
等台吉巴勒丹多爾濟右翼扎薩克達喇嘛
阿旺錯爾提穆喀爾喀親王固倫額駙拉旺
多爾濟喀爾喀親王車登扎布教漢郡王齊
默特魯瓦阿巴噶郡王喇特納錫第回子郡

王品級貝勒哈第爾科爾沁貝勒三音察亥
土默特貝勒索諾木巴勒珠爾喀爾喀貝勒
車布登納木扎勒喀爾喀貝勒衣布多爾濟
都爾伯特貝子博第翁牛特貝子圖們巴彥
喀爾喀貝子巴勒準多爾濟鄂爾多斯貝子
丹巴達爾濟鄂爾多斯貝子喇什達爾濟烏
喇沁鎮國公濟克默特多爾濟喀爾喀鎮國

公丹津多爾濟喀爾喀鎮國公額林欽多爾
濟喀爾喀鎮國公袞楚克多爾濟蘇尼特輔
國公羅布桑車靈喀爾喀輔國公德勒克多
爾濟喀爾喀輔國公丹巴錦尊喀爾喀輔國
公達什彭楚克喀爾喀輔國公拉親素隆喀
爾喀輔國公車登扎布喀爾喀輔國公納木
扎勒多爾濟附在察哈爾旗下額魯特輔國

公巴勒濟回子輔國公托克托回子輔國公
伊巴拉伊木回子輔國公額色音青海圖爾
扈特扎薩克頭等台吉三篤布托木素喀爾
喀扎薩克頭等台吉班第喀爾喀扎薩克頭
等台吉扎木巴勒多爾濟附在察哈爾旗下
額魯特三等台吉達什納木扎勒都爾伯特
三等台吉察克都爾鄂爾多斯四等台吉拉

旺多爾濟附在察哈爾旗下額魯特四等台
吉達什沙木巴勒附在察哈爾旗下額魯特
四等台吉達瑪林扎布圖爾扈特四等台吉
桑嘎巴拉等及喀爾喀親王徹德恩扎布等
十一人並都爾伯特台吉鄂邁等二人及土
爾扈特台吉桑阿巴拉一人又哈薩克汗和
卓之弟阿哈岱等十人及年班回部阿克伯

克等十三人土司魯璠一人並暹羅國正副
使丕雅史滑里遜通那突等四人及領侍衛
內大臣大學士等以次就坐諸樂並作

上進酒畢

名科爾沁親王貢格喇布坦科爾沁親王旺扎勒
多爾濟烏珠穆沁親王瑪哈索哈喀喇沁親
王品級郡王喇特納錫第巴林親王品級郡

王巴圖科爾沁郡王鄂勒哲特穆爾額爾克
巴拜科爾沁郡王喇什嘎勒瑞奈曼郡王拉
旺喇布坦翁牛特貝勒濟克濟扎布阿魯科
爾沁貝勒阿爾達錫第巴林貝子德勒克敖
漢貝子桑濟扎勒喀爾喀親王固倫額駙拉
旺多爾濟喀爾喀親王車登扎布敖漢郡王
齊默特魯瓦阿巴噶郡王喇特納錫第科爾

沁貝勒三音察衮土默特貝勒索諾木巴勒
珠爾翁牛特貝子圖們巴彥鄂爾多斯貝子
丹巴達爾濟等至

御座前

上親賜酒餘俱令侍衛等分觴授飲於坐次飲畢

衆謝

恩晚

上御山高水長觀火戲並

賜王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及喀爾
喀親王徹德恩扎布等十一人並都爾伯特
台吉鄂邁等二人及土爾扈特台吉桑阿巴
拉一人又哈薩克汗和卓之弟阿哈岱十人
及年班回部阿克伯克等十三人土司魯璠
一人並暹羅國正副使丕雅史滑里遜通那

突等四人茶果

是日

起居注官王保葉觀國王懿修圖敏

乾隆五十二年歲次丁未正月十六日乙酉

未刻

上御正大光明殿陞座

賜廷臣大學士等宴晚

上御山高水長觀火戲並

賜王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等茶果

是日

起居注官顏崇為瑤五珠

十七日丙戌

是日

起居注官德昌韋謙恒

十八日丁亥

上御山高水長觀火戲並

賜王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等茶果是

日內閣奉

諭旨朕於二月初三日臨御經筵所有應行典

禮著各該衙門照例預備又奉

諭旨向來大學士缺出多按資格以協辦大學士

補授劉墉在尚書中資分較深且協辦有年本

應實授惟是上年在熱河時及回鑾後曾與軍

機大臣論及嵇璜年老若求回籍不忍不從及

曹文植現有老親若求回籍養親亦不忍不從

而皆惜之此不過尋常議論耳然見嵇璜精力

尚未就衰在漢大臣中最為老成且欲留以相

伴又部院諸臣一時乏人曹文植亦屬能事故

胥遲之意軍機大臣自不敢以議論之言即行

宣露事隔多時嵇璜等亦並未有所陳請昨冬

召見劉墉偶曾與之間談及此乃次日曹文植

於召見時即有告養之奏朕詢之軍機大臣俱稱並未向嵇璜等說及同稱係劉墉在懋勤殿所言者朕召見諸臣君臣之間原如家人父子且以劉墉係劉統勳之子內廷行走之人非不可與聞者是以向其論及乃劉墉即以告之嵇璜等其意不過欲嵇璜聞知請告劉墉即可覲覲補授大學士似此言語不謹豈可即以劉墉

實授以遂其躁進之私耶現在尚書中王杰資俸亦深在內廷行走有年且現在大學士軍機處已有滿洲二人亦不可無一漢大學士王杰著補授大學士所有兵部尚書員缺著彭元瑞調補其禮部尚書著紀昀補授德保紀昀俱屬中材王杰著管理禮部事務以資經理將此通諭知之

是日

起居注官白麟王燕緒

十九日戊子

上御山高水長觀火戲並

賜王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及喀爾喀親王徹德恩扎布等十一人並都爾伯特台吉鄂邁等二人及土爾扈特台吉桑阿巴

拉一人又哈薩克汗和卓之弟阿哈岱等十人及年班回部阿克伯克等十三人土司魯璠一人並暹羅國正副使丕雅史滑里邁通那突等四人茶果晚

上御同樂園

召王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及喀爾喀親王徹德恩扎布等十一人並都爾伯特

台吉鄂邁等二人及土爾扈特台吉桑阿巴拉一人又哈薩克汗和卓之弟阿哈岱等十人及年班回部阿克伯克等十三人土司魯璿一人並暹羅國正副使丕雅史滑里遜通那突等四人觀燈是日四川總督保寧奏雷波通判蕭應錫於伊親韓惟壩借官撞騙和陳百順合本開山賣木徇情出示及失察差

役藉端勒索恐有受賄縱容情弊請將該員革職嚴審一摺奉

諭旨這所參雷波通判蕭應錫著革職交該督提同案內犯証一併嚴審定擬具奏該部知道摺併發

是日

起居注官嵩貴茅元銘

二十日己丑內閣奉

諭旨據李世傑奏查辦狼山鎮統轄之鹽城等營歲需硝磺均有缺額一摺內稱推求欠解之故因各營硝斤向在徐州各屬採辦長途往返不無折耗是以每年查辦之硝不能一一清欸其磺斤一項係委員赴山西採辦兩年併辦一次每屆辦磺之年又搭買運司衙門歲需烟盒磺

斤此項價銀各屬催解不前委員守候需時不能適合兩年一辦之期遂致支絀等語此事昨據陳杰於到任後查出各營火藥短少情形據實具奏已有旨查辦矣今李世傑因該鎮陳奏在先知難以掩飾方以一奏塞責為此取巧之言已大屬非是而摺內並以歲需烟盒為詞更無此理硝磺為軍火要需向來俱係委員採辦

足額如期運送到營即以兩江而論如安徽省亦有採買硝磺據奏足額何獨江蘇遂形短缺不能年清年款其兩淮年例每歲不過烟盒七架大小爆竹一萬所需能幾較之京師每歲製辦烟火等項尚不及十分之三而內府花爆炸每歲開銷僅需硝磺一千餘斤是以兩淮承辦烟盒所用硝磺為數更屬無幾且此項係鹽商

自行買辦隨年例進貢與通省營伍毫無關涉何得以此藉口况硝磺採自民間舖戶製造花爆炸賣者甚多即如京城每遇除夕元旦燈節居民所放花爆晝夜喧闐不可勝計從未聞有關礙健銳火器驍騎巡捕各營軍火之需此人所共知者若果於軍器所儲有碍國家早有定制禁止民間花爆矣又如江浙等省商賈輻輳

之區此風尤盛而兩淮商人爭奇鬪勝烟盒花爆倍極繁靡由來已久即該處地方官衙門遇新年令節亦豈竟不施放花爆此等硝磺所用不知凡幾又從何而來豈皆官為採辦致與營伍軍火有關碍乎明係承辦委員採運遲延故創為此語以為卸罪地步乃該督不以為怪轉以此牽涉聲叙巧為支飾有是理乎李世傑向

來辦事尚為細心今乃為此奏看來該督竟係因病精神恹恍顛倒瞽亂而本內又不通文理於此等事不能認真查核輕聽承辦之藩司委員等巧飾之詞一任庸劣幕友率行繕摺入告李世傑著交部嚴加議處並著將採買硝磺不敷由於歲需烟火之處此語得自何人會同徵瑞查明據實具奏毋得稍有諱飾致干咎戾又

據另片奏稱江南沿海各營火藥本屬急需現在臺匪滋事尤應預為儲辦已於附近各營內借動火藥撥赴狼山崇明各營等語臺灣匪徒不過一時烏合之衆現在官兵會剿無難立時撲滅何至需用他省兵力即廣東浙江鄰省朕尚以其張皇屢行申飭李世傑以此為詞尤為不知事體輕重總屬一錯百錯藉詞掩咎欲蓋彌彰耳至各營火藥關係緊要乃節年解送短缺其弊自非一日非李世傑一人所能查辦徵瑞向來細緻著會同該督秉公嚴查據實叅奏辦理其現在短缺火藥務須嚴飭委員採買足額迅速解營若再因循玩悞恐李世傑不能當其咎也將此通諭知之摺併發又奉

諭旨魁亮自發遣以來業經十有餘年想亦自知

前罪痛加省改矣著加恩寬免令其來京

是日

起居注官玉保吳璣

二十一日庚寅內閣奉

諭旨據曹文埴奏伊母年逾八旬陳請終養等語曹文埴供職有年如伊母本迎養在京自毋庸令其回籍茲念伊母年登大耋遠處本籍若不

准其歸養朕心實有所不忍亦非以孝治天下之意曹文埴著准其終養伊久直內廷辦理部務頗為出力能事著施恩加太子太保銜並御書匾額賞給伊母以示優眷所有戶部尚書員缺著董誥補授彭元瑞著充補武英殿總裁將賜祭著調補戶部左侍郎兼管順天府尹事務其倉場侍郎員缺著劉秉恬調補又奉

諭旨江寧副都統員缺著薩炳阿調補所遺鑲白
旗滿洲副都統員缺著散秩大臣古慶補授又
奉

諭旨興福係由乾清門侍衛補放察哈爾副都統
年班來京陛見祇隨衆請安而朕前行走一切
差使伊不預列竟不似向在禁廷行走之人可
見少年一得外用坐享安逸便心足意滿著補

授烏里雅蘇台副都統換回阿克東阿興福到
彼後當感激朕恩協同將軍辦理諸事黽勉學
習又奉

諭旨據奎林等奏伊犁索倫部落副總管員缺擬
定正陪人員請旨補放等語著照所奏擬正之
佐領齊世保補授伊犁索倫副總管遇便來京
補行引見又奉

諭旨據尚安奏緝拿土爾扈特賊犯索肯等一案
都司范書仁甚屬奮勉出力請將從前疎縱觀
升脫逃之罪寬免等語此次緝獲索肯等有過
見戴藍頂官將我等緝獲供詞看來實係范書
仁親身緝獲尚非外省凡有緝獲賊犯添名冒
稱協同緝獲者可比范書仁著加恩將從前疎
脫觀升部議降二級調用之處從寬改為降二

級留任現屆年滿亦不必送部引見是日欽天
監奏本年正月元旦庚午寅時風從艮方來
按占書為上歲之徵一疏奉

諭旨知道了又吏部帶領病痊赴補之原任貴州
正定州知州劉墀四川太平縣知縣趙寶德
引

見奉

諭旨劉墀著發往江南以知州用趙寶德著照例
用又帶領前任福建龍巖州知州任內未完鹽
課盈餘銀兩丁憂回旗在工部主事上行走
照例革職之瑚圖靈阿引

見奉

諭旨瑚圖靈阿著仍發往福建以知州用其革職
之案帶於新任又帶領失察復興邪教聚眾歛

錢議以降二級用之丁憂服闋原任河南汲
縣知縣前署永城縣事之陸蓉引

見奉

諭旨陸蓉著仍發往河南以知縣用其降級之案
改為革職留任俟八年無過方准開復又帶領
失察邪教聚眾歛錢議以降二級用之丁憂
服闋原任直隸南宮縣知縣孫炳文引

見奉

諭旨孫炳文著仍發往直隸以知縣用其降級之
案改為革職留任俟八年無過方准開復

是日

起居注官陸伯焜圖敏

二十二日辛卯內閣奉

諭旨彭元瑞著充三通館總裁又奉

諭旨松筠著在庫倫坐辦事宜佛柱著調補察哈
爾副都統佛柱所遺正黃旗蒙古副都統員缺
著伊齡阿補授又奉

諭旨戶部奏五十一年分揚關由閘收稅贏餘銀
兩比照上屆及再上兩屆短少請照例以短少
數多之六萬七千二百五兩零著落管理關稅
前後任道員按照經徵月日分別賠補等語固

係照例辦理但上年春間因運河築壩蓄水夏秋以來又因湖河漫溢商賈稍稀其收稅銀兩短缺尚屬有因所有應行賠補銀六萬七千二百五兩零著加恩寬免一半餘仍著該管道員各按經徵月日分別賠補是日翰林院奏補經筵講官一疏奉

諭旨紀昀劉躍雲俱著以原銜充經筵講官又兵

部奏補馬館滿監督帶領正陪人員引

見奉

諭旨著擬正之祿明管理又帶領保列一等之閩

浙督標中軍副將希當阿引

見奉

諭旨希當阿准其一等註冊又帶領俸滿之陝西

波羅協副將舒津太引

見奉

諭旨舒津太著回原任又帶領選補福建撫標右營遊擊薛廷起陝西柳樹堡守備李玉成河南南陽鎮標右營守備林天澆貴州撫標右營守備蕭鳳來廣東惠來營守備蘇日華引

見奉

諭旨薛廷起李玉成林天澆蕭鳳來蘇日華俱依

擬用又帶領題補甘肅岔口營都司皂祿引

見奉

諭旨皂祿准其補授甘肅岔口營都司著赴新任

又帶領揀補直隸燕河路都司之漢軍副尉

張永錫步軍校劉尚智引

見奉

諭旨直隸燕河路都司著張永錫補授是日鑲黃

旗滿洲都統奏補勳舊佐領員缺帶領正陪

人員引

見奉

諭旨惠寧著補授勳舊佐領

是日

起居注官王懿修恭泰

二十三日壬辰

上詣

恩慕寺

恩佑寺永寧寺拈香是日太常寺奏二月初十日致

祭

社稷壇一疏奉

諭旨朕親詣行禮又奏二月初九日祭

先師孔子崇聖祠應遣官行禮一疏奉

諭旨遣劉墉行禮兩廡遣翰林官二員各分獻崇

聖祠遣吉善行禮又兵部奏廣東雷州營右營

守備員缺擬以預保千總謝芳掣補一疏奉

諭旨謝芳依擬用餘依議

是日

起居注官塘五珠鄭際唐

二十四日癸巳

上詣萬壽山大報恩延壽寺拈香是日內閣奉

諭旨那爾呼善所遺領隊大臣員缺著格綑額調

補格綑額所遺員缺著伊犁協領通福保賞給

副都統職銜補授庫爾喀爾烏蘇之領隊大臣

那爾呼善所遺正白旗漢軍副都統員缺著張

漢傑坐補

是日

起居注官葉觀國德昌

二十五日甲午

是日

起居注官白麟顏崇為

二十六日乙未內閣奉

諭旨常青奏據黃仕簡之子內閣中書黃澗呈稱
上年八月內因聞伊父黃仕簡患病請假半年

回閩省視現在二月內假期已滿請寬予限期
俾展烏私據情代奏等語黃仕簡年老染病尚
未全愈近因臺匪滋事即帶兵渡臺剿捕勤奮
可嘉今伊子黃澗以伊母現亦患病懇請展假
侍養自屬實情著准其展限在籍奉侍俟黃仕
簡事竣回署伊母病體全愈若無須伊子在彼
奉養黃仕簡再行酌令黃澗來京供職常青不

必因有例限促令赴京以示朕體恤加恩至意

又奉

諭旨法齡阿於明博克模羅爾雜育仔巴什圖遜
等首告鄂斯滿之事並不詳細查核堅執偏見
欲實其事殊屬不曉事體若留之在彼竟屬無
用著拔去花翎以五品頂戴自備資斧回京所
有烏什叅贊移駐喀什噶爾以來烏什地方事

務簡少著特成額一人在彼駐劄儘可辦理德
勒格楞貴即授為英吉沙爾領隊大臣率同老
格辦事德勒格楞貴平素尚屬曉事安靜又熟
悉蒙古語既駐英吉沙爾當將所屬回人善為
約束悉心辦事不可似法齡阿冒昧

是日

起居注官嵩貴陳萬青

二十七日丙申內閣奉

諭旨據奎林等奏年滿倉監督主事職銜于世和員缺應否以効力贖罪之原任郎中宗室蒙泰賞給主事職銜令其管理等語蒙泰自至伊犁三年以來頗知悔罪於一切指派差使亦屬奮勉著照所奏賞給主事職銜管理該處倉務是日吏部議護理陝西巡撫印務布政使秦承

恩奏署綏德州直隸州知州蔣勳試俸期滿准實授一疏奉

諭旨蔣勳依議用餘依議又兵部議江南河道總督李奉翰奏河標中營都司員缺准以葦蕩營守備黃天培陞補一疏奉

諭旨黃天培依議用餘依議又都察院奏請欽點巡視東城將科道各員開列一疏奉

諭旨巡視東城著蘇楞額去

是日

起居注官圖敏茅元銘

二十八日丁酉吏部議直隸總督劉峩奏張家口理事同知員缺准以委用同知觀慶補授一疏內閣奉

諭旨觀慶依議用餘依議又兵部帶領推陞山西北樓營參將清德浙江金華協右營都司廣善引

見奉

諭旨清德准其陞用山西北樓營參將廣善准其陞用浙江金華協右營都司俱著赴新任又帶領預行保舉之雲南龍陵協右營守備汪廷楷昭通鎮標前營守備盧陳謨貴州提標後

營守備張佐五雲南撫標左營千總李燦桂

引

見奉

諭旨汪廷楷盧陳謨張佐五李燦桂俱准其預保
註冊又帶領分別都司守備用之漢藍翎侍衛

陳耀引

見奉

諭旨陳耀著以都司用是日正藍旗滿洲都統奏

原任中江稅務監督舒明阿應賠稅銀請將

伊弟護軍郭興阿所得錢糧坐扣一疏奉

諭旨著施恩免其賠補將伊弟俸餉無庸坐扣

是日

起居注官玉保吳璣

二十九日戊戌

上詣泉宗廟弘仁寺拈香

駕進宮

是日

起居注官恭泰王燕緒

乾隆五十二年歲次丁未二月十六日甲寅
吏部議失察西洋人經過之湖南省歷任各
員照例降調一疏內閣奉

諭旨王德著降一級留任蘭第錫著銷去加一級
免其降級汪新著罰俸一年其因失察西洋人
經過議以降調之殷印中李舟俱著該督撫出
具考語送部引見再降諭旨餘依議又兵部議

兩廣總督孫士毅奏廣東新會營叅將員缺
准以肇慶營叅將劉天爵調補一疏奉

諭旨劉天爵依議調補餘依議又議調任湖廣總
督李侍克奏湖南永綏協中軍都司員缺准
以長沙協守備張浩補授一疏奉

諭旨張浩依議用餘依議

是日

起居注官嵩貴茅元銘

十七日乙卯吏部議山東平度州知州員缺
擬以江蘇布政司理問郭清芳籤陞雲南鎮
南州知州員缺擬以浙江布政司經歷王學
靜籤陞一疏內閣奉

諭旨郭清芳等依擬用餘依議又議廣西巡撫孫
永清奏鎮安府知府員缺准以潯州府知府

陳玉麟調補一疏奉

諭旨陳玉麟依議調補餘依議又兵部奏四川建

昌鎮標左營遊擊員缺擬以提標前營都司

李揚奉掣補一疏奉

諭旨李揚奉依擬用餘依議又議兩廣總督孫士

毅奏廣西融懷營叅將員缺准以提標左營

遊擊馬龍陞補一疏奉

諭旨馬龍依議用餘依議又議孫士毅奏廣東永靖營遊擊員缺准以提標後營遊擊李文昇

調補一疏奉

諭旨李文昇依議調補餘依議是日鑲紅旗滿洲

都統奏補杭州佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨塞普星額著補授佐領

是日

起居注官陸伯焜白麟

十八日丙辰

上詣

安佑宮行禮是日內閣奉

諭旨鑲白旗漢軍副都統玉鼎柱所遺員缺著崔

成玉補授是日吏部議河南巡撫畢沅奏邕縣

知縣員缺准以以知縣用之太康縣典史毛師沆補授一疏奉

諭旨毛師沆依議用餘依議又議造冊遺漏戶口

之

盛京將軍永璋等照例罰俸一疏奉

諭旨永璋德福俱著罰俸六個月餘依議又議於

所屬龍南縣承審遲延逾違二叅不行揭報

之江西贛州府知府胡鼎蓉照例降調一疏

奉

諭旨依議其因不行揭報議以降調之胡鼎蓉著

該督撫出具考語送部引見再降諭旨又議承

緝盜案四叅不獲之廣西全州知州陳肇輅

照例降調一疏奉

諭旨依議其因承緝盜案四叅不獲議以降調之

陳肇輅著該督撫出具考語送部引見再降諭
旨又兵部奏雲南雲南城守營參將員缺擬以

湖南鎮標中軍遊擊許世昌籤陞福建
建寧鎮標中軍遊擊員缺擬以貴州凱里營
都司周文勝籤陞山東高唐營遊擊員缺擬
以湖南靖州協都司張虎臣籤陞廣東肇慶
城守副將中軍都司員缺擬以湖南綏寧營

守備楊崧籤陞山西陽和營都司員缺擬以
貴州長壩營守備李正品籤陞廣東那扶營
都司員缺擬以湖南提標左營守備向進才
籤陞江南江北泗州營都司員缺擬以貴州
大定協守備向正樂籤陞貴州仁懷營都司
員缺擬以陝西慶陽營守備趙文翰籤陞福
建興化城守副將右營都司中軍守備員缺

擬以貴州下江營千總武自珍籤陞一疏奉
諭旨許世昌等依擬用餘依議又奏湖南永順協
中軍都司員缺擬以湖北宜昌鎮標中軍守
備張廷樞籤陞一疏奉
諭旨張廷樞擬用餘依議又議漕運總督毓奇
奏湖北武昌左衛守備員缺准以浙江温州
衛守備吳本澄調補一疏奉

諭旨吳本澄依議調補餘依議又議毓奇奏江南
鳳陽衛守備員缺准以滁州衛守備曾紹蘭
調補揚州衛守備員缺准以大河衛守備張
其翮調補一疏奉

起居注官韋謙恒恭奏

是日



十九日丁巳內閣奉

諭旨臺灣賊匪林爽文滋事

案署都司守備

易連守備邱能成署守備事千總陳邦光於克復諸羅生擒要犯及保護鹿港新庄等處俱能率領兵民奮勇出力甚屬可嘉所有現在臺灣鎮標中營遊擊耿世文員缺即著易連補授左營遊擊李中揚員缺即著邱能成補授北路協

都司王宗武員缺即著陳邦光補授伊等率眾爭先收復擒拿是以逾格超擢用示優獎其臺灣北路協副將赫生額及諸羅守備郝輝龍員缺仍著常青於帶兵各員內擇其功績最著者酌量奏請陞補以昭獎勵又奉

諭旨福建臺灣逆匪林爽文等聚眾滋事一案節經該提鎮等奏報剿捕情形摺內據稱賊匪蜂

擁團聚各有萬餘及數千不等竟似現在賊眾已不下數萬而所奏每次打仗殺賊之數或稱數百或稱無數又似被殺之賊已不下數千人倉猝起事其糾約黨羽及沿途被脅入夥者何能即至數萬之多此必綠營將弁畏懦無能捏詞多報既可掩其惟怯又可藉以冒功不知被殺之賊俱有首級耳記屍身可驗而黨羽之

多寡將來生擒林爽文等亦無難跟究確數著常青於剿捕事竣後務將所報賊數與所殺所拏賊數詳細核查據實具奏毋任朦混至林爽文等敢於光天化日之下結夥肆擾攻犯城池戕官害民罪大惡極不特首要各犯罪應寸磔即入其黨夥者均屬法無可貸但念現在賊眾雖未必如該提鎮等所報之多

煽惑糾結稍為日久看此情形人數亦當有萬餘其中被賊逼脅附從者想亦不少若概予駢誅有所不忍現在大兵雲集分路會剿賊匪無難尅期撲滅立就蕩平著傳諭常青於官兵剿捕臨陣痛加殲滅不計外其續行搜獲暨賊黨畏懼縛獻乞降之犯著該督逐加審明分別辦理此內如受賊偽職及曾戕害抗拒官兵者仍當即行正法其止於被脅隨行並未與官兵打仗者尚可免其一死量予逕從該督其恪遵妥辦以副朕仰體

上天好生之德法外施仁至意是日吏部議摘簽允當之磨勘各省試卷官京畿道監察御史百齡等准照例紀錄一疏奉

諭旨百齡曹坦戴均元吳鼎震俱著紀錄一次又

兵部議

盛京將軍永瑋奏防禦瑪色年老患病准其休致查該員曾經出兵打仗得功牌可否給俸一疏奉

諭旨瑪色曾經出兵打仗得功牌著以原品休致給與半俸之半以養餘年又議永瑋奏駢騎校七什布年老患病應准休致查該員曾經出

兵打仗得功牌可否給俸一疏奉

諭旨七什布曾經出兵打仗得功牌著以原品休致給與半俸之半以養餘年

是日

起居注官德昌陳崇本

二十日戊午

上至靜明園妙高寺拈香是日



諭旨此次啟鑿後所有工部印鑰著綽克托帶管

理藩院印鑰著阿揚阿帶管是日吏部議工蘇

巡撫閔鶚元奏睢寧縣知縣員缺准以候補

知縣沈世壇補授一疏奉

諭旨沈世壇依議用餘依議

是日

起居注官王懿修瑋五珠

二十一日乙未吏部議廣東巡撫圖薩布奏

雷州府同知員缺准以候補同知陳國勅補

授一疏內閣奉

諭旨陳國勅依議用餘依議又議圖薩布奏從化

縣知縣員缺准以候陞知縣永清補授一疏

奉

諭旨永清依議用餘依議又議直隸總督劉峩奏

署昌平州知州陳及祖試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨陳及祖依議用餘依議又議廣東巡撫圖薩

布奏署順豐縣知縣伍禮彬試俸期滿准實

授一疏奉

諭旨伍禮彬依議用餘依議又議丙午科鄉試未

將錯謬抹出之江南等省主考官照例罰俸

一疏奉

諭旨戴心亨著罰俸六個月朱珪李克棟俱著銷

去紀錄一次免其罰俸吳敬輿著銷去加一級

免其降級再銷去紀錄一次免其罰俸闕槐著

銷去加一級免其降級再銷去紀錄一次其從

前罰俸一個月之處仍註於紀錄抵銷餘依議

又江西巡撫何裕城奏吉南贛寧道吳承緒

令幕容蔡甫亭在闕管賬任其出入署中窺探撞騙雖自行訪查稟究恐有通同容隱情事請革職確審一摺奉

諭旨這所叅江西吉南贛寧道吳承緒著革職文該督提同案内犯証一併嚴審定擬具奏摺併發是日吏部帶領直隸總督劉峩奏請陞署滄州知州之現任密雲縣知縣郭兆麟引

見奉

諭旨郭兆麟著照該督所請准其陞署滄州知州又帶領兩江總督李世傑保舉堪勝道員之現任安徽廬州府知府錢金殿引

見奉

諭旨錢金殿著回任又帶領江西巡撫何裕城保舉堪陞知府之現任袁州府同知谷廷珍南

安府同知王衍緒二員引

見奉

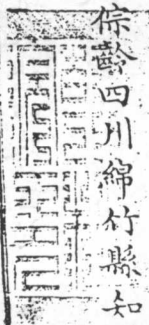
諭旨谷廷珍王衍緒俱著回任又帶領江南河道總督李奉翰奏請實授之現署河庫道司馬駒引

見奉

諭旨司馬駒著照該督所請准其實授又帶領病痊赴補之原任浙江台州府同知周承芳山西長治縣知縣宋本敬引

見奉

諭旨周承芳著仍發往浙江以同知用宋本敬著仍發往山西以知縣用又帶領病痊赴補之原任山西渾源州知州張傑齡四川綿竹縣知縣柴綦引



見奉

諭旨張宗齡著仍發往山西以知州用柴養著仍

發往四川以知縣用又帶領錯擬罪名照例革

任之江西新昌縣知縣張紳引

見奉

諭旨張紳著仍發往江西以知縣用其革任之案

帶於新任又帶領辦理平糶遲延照例革職之

原任甘肅中衛縣知縣明福引

見奉

諭旨明福著發往甘肅以知縣用其革職之案帶

於新任又帶領失察西洋人過境照例革任之

四川署崇慶州知州仁壽縣知縣倪鼎銓引

見奉

諭旨倪鼎銓著仍以知縣用其革任之案帶於新

任是日正藍旗蒙古都統奏補印務章京中公

佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨特屯太著補授印務章京德福著補授中公

佐領

是日

起居注官圖敏鄭際唐

二十二日庚申卯刻

上御勤政殿聽政部院各衙門官員面奏並帶領

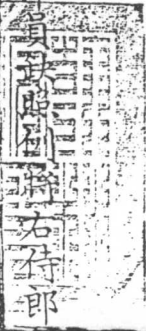
侍班司員引

見畢大學士公阿桂大學士嵇璜和坤王杰協辦

大學士吏部尚書劉墉學士阿肅瑞保胡高

望張若溍以折本請

旨覆請吏部奏工部左侍郎



趙缺轉補所遺員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰趙缺轉補工部左侍郎劉躍雲補授工部右

侍郎又覆請吏部奏補都察院左副都御史員

缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰陸錫熊補授都察院左副都御史又覆請吏

部議協辦大學士仍留陝甘總督任福康安

奏原議降調蘭州道蘇楞泰係屬甘省道員

內出色之員可否准其改為革職留任一疏

上曰蘇楞泰准其改為革職留任又覆請吏部議

失察驛夫郭世名等遲延軍臺奏摺不能先

事覺察又於該犯罪名僅擬發遣殊屬輕縱之

福建巡撫徐嗣曾等應行革任一疏

上曰徐嗣曾著從寬免其革任仍註冊凌廣赤著

改為革職從寬留任李浚原著從寬免其革任

俱俟八年無過再行開復餘依議又覆請戶部

奏請

欽點左翼監督一疏

上曰左翼稅差著惠齡調管其右翼稅差著舒濂

去餘依議又覆請兵部議吉林將軍奏該處佐

領瑪喀那年老患病應准休致查該員曾經

出兵打仗殺賊得功牌可否給俸一疏

上曰瑪喀那曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原

品休致給與全俸以養餘年又覆請兵部議察

哈爾都統奏該處佐領音達拉什年老患病

應准休致查該員曾經出兵打仗捉生得功

牌可否給俸一疏

上曰音達拉什曾經出兵打仗捉生得功牌著以
原品休致給與全俸以養餘年又覆請兵部議
察哈爾都統奏該處駢騎校蒙克年老患病
應准休致查該員曾經出兵打仗殺賊得功
牌可否給俸一疏

上曰蒙克曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原品
休致給與全俸以養餘年是日內閣奉

諭旨江西贛州府知府員缺著德泰補授又奉

諭旨現在陸錫熊已補授左副都御史所遺光祿

寺卿員缺著管幹珍補授仍留巡漕之任又奉

諭旨據李世傑徵瑞奏查明營伍硝磺缺額實由

採運稽遲請將三十六年以後辦磺遲延四十

六年以後辦硝遲延之歷任江寧蘇州各藩司

交部嚴加議處一摺硝磺為軍火要需我國家

武備修明戎行整飭凡遇臨敵制勝尤藉鎗砲
為利器必需平時操演精熟方能所向無前即
如京師健銳火器等營按期每日操演需費硝
磺甚多而各直省營伍亦皆按期操演是採辦
火藥為兵丁練習之需最關緊要斷無因多費
硝磺遂停止操演之理且各省俱經委員採辦
未聞缺額何獨江南遂形短絀至李世傑前奏

硝磺不數由於歲需烟盒之故更無是理硝磺
係自然之利舖戶製造花爆售賣者甚多即如
京城每遇除夕元旦燈節居民所放花爆晝夜
喧闐不可勝計又如江浙等省商賈輻輳之區
售買花爆何止數千百萬與營伍軍火有何關
涉若果於軍器所儲有碍朕必早降旨禁止花
爆矣况現據李世傑等查奏江蘇通省各營歲

聞見所司何事何以並未查辦著明旨回奏所
有三十六年以後辦硝遲延之歷任江寧蘇州

布政使著交部嚴加議處外並著照各營短缺
硝磺例價各令十倍罰賠以示懲儆餘俟該督
等查送職名到部一併議處經此次查辦之後
各營火藥務須嚴飭委員採買足額迅速解營
年清年款若再因循遲玩朕必照貽誤軍需之

例重治其罪決不稍為寬貸也陳杰據實直奏
可嘉著交部議叙將此通諭知之摺併發又奉
諭旨江西吉南贛寧道員缺著廣厚補授是日吏
部議前任山東巡撫明興奏益都縣知縣員
缺請以蒙陰縣知縣張大海調補查該員歷
俸未滿與例不符既經專摺奏請可否准其
調補一疏奉

諭旨張大海准其調補餘依議又議夫察西洋人
匿境傳教之前任直隸布政使明興等照例
降級留任一疏奉

諭旨明興著降一級留任餘依議又議夫察西洋
人潛住傳教之四川省歷任各員照例降級
留任一疏奉

諭旨陳用敷著於補官日降一級留任李承鄴著
銷去紀錄四次免其降級餘依議又兵部奏江
南提標右營遊擊員缺擬以高資營都司巴
彥掣補一疏奏

諭旨巴彥依擬用餘依議又吏部帶領失察假官
病痊赴補照例降調之原任江南山陽縣知
縣孫儒引

見奉

諭旨孫儒著仍以知縣用其降級之案補官日帶
於新任是日正黃旗蒙古都統奏補副參領印

務章京各缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨百明額著補授副參領福格著補授印務章

京又鑲紅旗蒙古都統奏補公中佐領員缺帶

領正陪人員引

見奉

諭旨達朗阿愛興阿著補授公中佐領

是日

起居注官王保王懿修白麟陳萬青

二十三日辛酉內閣奉

諭旨據保寧奏新疆行法寺之喀穆布喇嘛請再

留二年等語著照保寧所請再留二年若喀穆

布喇嘛留該處後如果能服衆心則三年期滿
後不妨再多留數年

是日

起居注官嵩貴葉觀國

二十四日壬戌內閣奉

諭旨康基田補授江蘇按察使伊由河南河北道

調任江南淮徐道於河工事宜最為諳習且辦

事認真不辭勞瘁每年伏秋大汛時仍應令其

赴淮徐一帶幫辦修防諸務庶於河工有裨其

本任臬司事件著交該督撫或委藩司兼署或

於道員內揀選一員署理不過數月俱無不可

至上年降旨令書麟於伏秋大汛以前赴清江

一帶幫辦河務嗣遇河湖並漲堤工漫溢數處

書麟在彼督率工員趕辦堵築事宜李世傑病

後精神未能照料全仗書辦認真督辦會同李
奉翰分投飭催漫口得以妥協竣事著書麟以
後伏秋大汛時仍應赴工將修防各務會同李
世傑李奉翰詳悉講求預行籌辦以期永慶安
瀾又奉

諭旨前據徵瑞奏長蘆商人呈請捐銀三十萬兩
備造撥船以為撥運漕糧之用民船得免官封

商引即無虞壅滯是以准其所請今湖廣江西
二省先行動項趕造解直備用仍令該商等分
限交納歸款茲據該二省題銷成造撥船共一
千二百隻實用銀二十八萬二千五百兩零核
計原捐銀三十萬兩共節省銀一萬九千七百
四十三兩零除已降旨准照該督撫原題核銷
外所有該二省節省銀一萬九千七百四十三

兩零著該鹽政於該商等應行歸款時按數扣
除毋庸照原捐之數交納以示體恤是日吏部
議陝西巡撫巴延三奏署安塞縣知縣劉玉
瑛試俸期滿准實授一疏奉

諭旨劉玉瑛依議用餘依議又兵部奏四川松潘
鎮標右營都司員缺擬以普安營守備年鋪
掣補一疏奉

諭旨年鋪依議用餘依議又吏部帶領二月分月
選籤掣刑部廣西司郎中徐兆伯兵部武選
司員外郎宋維琦戶部福建司員外郎吳振
藻大理寺右寺丞馬夔龍湖北漢武德道孟
鈺廣西潯州府知府李鏡圖湖南桂陽州直
隸州知州岳興阿廣西鬱林州直隸州知州
有德直隸保定府通判韋協中廣東南雄府

通判于灝四川叙州府雷波通判
西岳陽縣知縣陳昶山西樂平縣知縣
豐浙江桐鄉縣知縣劉希賢湖北應山縣知
縣劉嶢鐘浙江桐廬縣知縣荆自新江西德
安縣知縣張仕廷引

見奉

諭旨徐兆伯等依擬用掣得山西岳陽縣知縣之

陳昶著調補浙江桐鄉縣所遺岳陽縣知縣員
缺著掣得桐鄉縣知縣之劉希賢補授餘依議

是日

起居注官韋謙恒恭奏

二十五日癸亥內閣奉

諭旨薩炳阿所遺江寧副都統員缺著德成額補

授又奉

諭旨伊犁領隊大臣那望來京陛見者其年力衰
邁今若令伊回任不惟不能得力伊亦不情愿
從前那望曾經効力多年著加恩賞給散秩大
臣職銜前赴察哈爾遊牧地方原品休致所遺
領隊大臣員缺著散秩大臣職銜總管那彥補
授代那望管轄部落事務又奉

諭旨據奎林等奏審訊戰死民人馬成龍之馬海
是否果係獨子及馬成龍有無兄弟之處現在
行查內地如應留養由部辦理等語所辦屬悞
新疆地方豈可拘泥內地章程辦理且馬成龍
不過拳毆馬海脊背而馬海輒用金及戮傷斃
命自應照例定擬乃奎林等援獨子留養之例
行查內地實屬拘泥新疆地方不可如此辦理
奎林等著申飭是日吏部議調任閩浙總督常

青奏福建寧府知府員缺准以候補知府

鄭瑋補授一疏奉

諭旨鄭瑋依議用餘依議又議署陝甘總督永保

奏甘肅涼州府莊浪同知員缺准以候補同

知台斐英阿補授一疏奉

諭旨台斐英阿依議用餘依議又議陝西巡撫巴

延三奏署岐山縣知縣朱孝濂試俸期滿准

實授一疏奉

諭旨朱孝濂依議用餘依議又議調任閩浙總督

常青奏福建諸羅縣知縣員缺准以長汀縣

知縣王惠齡調補一疏奉

諭旨王惠齡依議用餘依議又議常青奏龍溪縣

知縣員缺請以署壽寧縣知縣秦為幹調署

查該員歷俸未滿與例不符既經專摺奏請

可否准其調署一疏奉

諭旨秦為幹准其調署餘依議又議直隸總督劉

我奏赤峯縣知縣員缺請以理事通判管灤

平縣事常興調補所遺員缺請以以理事同

知通判委用之景文補授查該員係以繁調

繁與例不符應毋庸議一疏奉

諭旨常興等著照該督所請行又兵部議兩廣總

督孫士毅奏廣東南澳鎮標右營遊擊員缺

准以吳川營都司陳天祥補授一疏奉

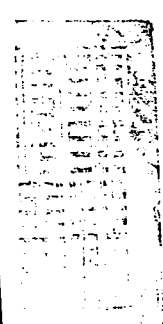
諭旨陳天祥依議用餘依議

是日

起居注官陸伯焜德昌

二十六日甲子

上恭謁



東陵自圓明園起鑿

駕至清淨化城拈香

詣慈雲寺拈香是日內閣奉

諭旨朕此次恭謁

東陵迴蹕便道巡幸盤山所有沿途經過地方本年

應徵地丁錢糧著加恩蠲免十分之三

是日
駐蹕烟郊行宮

二十七日乙丑

駐蹕白澗行宮

二十八日丙寅

駕至獨樂寺拈香

詣隆福寺瞻禮是日

駐蹕隆福寺行宮

二十九日丁卯

上恭謁

昭西陵

孝陵

孝東陵

景陵禮畢至

孝賢皇后陵酌酒

駕至桃花寺拈香是日

駐蹕桃花寺行宮

三十日戊辰

上至獨樂寺拈香是日吏部議湖南巡撫浦霖奏

武岡州知州員缺准以候補同知李裕文借

補一疏內閣奉

諭旨李裕文依議用餘依議又議浦霖奏零陵縣

知縣員缺請以桂陽縣知縣丁應甲調補所

遺員缺請以候補知縣黃芳誌署理查該員
歷俸未滿與例不符既
經專摺奏請可否准
其調補一疏奉

諭旨丁應甲准其調補餘依議又兵部議調任湖
廣總督李侍堯奏湖北施南協左營守備員
缺准以候補守備田業昌補授一疏奉

諭旨田業昌依議用餘依議又刑部等衙門議直
隸總督劉峩奏廣平縣民間五毆傷武希成
身死依律擬絞監候查武希成係在保辜限
外身死可否援例減等發落一疏奉

諭旨閩五毆傷武希成至保辜限外身死着從寬
免死照例減等發落餘依議是日

駐蹕盤山行宮

乾隆五十二年歲次丁未三月初一日巳
駐蹕盤山行宮

初二日庚午

上詣天成寺萬壽寺青峯寺拈香是日吏部議並
未將果郡王等行禮失儀之處叅奏之鴻臚
寺堂官佛爾額等照例罰俸一疏內閣奉
諭旨福泰梁景陽俱著銷去紀錄一次免其罰俸

佛爾額著銷去紀錄一次其從前罰俸三個
月之處仍註于紀錄抵銷又議繕摺錯悞之江
蘇巡撫閔鶚元照例罰俸既經自行檢舉可
否免其罰俸一疏奉

諭旨閔鶚元既經自行查出檢舉從寬免其罰俸
又兵部議直隸總督劉綏奏多倫營都司員
缺准以候補都司瑚松阿補授一疏奉

諭旨瑚松阿依議用餘依議又議四川總督保寧
奏重慶鎮標中營守備魯遇春准與夔州協
右營守備胡尚賢對調一疏奉

諭旨魯遇春等依議調補餘依議又議吉林將軍
奏鑲黃旗中公佐領舒舒納鑲藍旗防禦達
森保年老患病應准休致查舒舒納曾經出
兵打仗得功牌達森保曾經出兵打仗殺賊

得功牌可否給俸一疏奉

諭旨舒舒納等著以原品休致舒舒納曾經出兵
打仗得功牌給與半俸達森保曾經出兵打仗
殺賊得功牌給與全俸以養餘年又刑部等衙
門議湖南巡撫浦霖奏邵陽縣民陳潮景毆
傷黃相然身死依律擬絞監候查黃相然係
在保辜限外身死可否援例減等一疏

奉

諭旨陳潮景毆傷黃相然至保
寬免死減等發落餘依議具

駐蹕盤山行宮

初三日辛未

上詣千相寺拈香是日

賜隨

駕王公大臣蒙古王公等及直隸總督長蘆鹽政

等飯是日內閣奉

諭旨河南按察使員缺著景安調補所遺甘肅按

察使員缺著姚頤補授又奉

諭旨朕此次恭謁

東陵駐蹕盤山所有平墊山道人夫著加恩賞銀

二百兩是日軍機大臣大學士和坤等會議



署湖廣總督舒常等奏審擬江陵縣行劫
蔣竺氏家盜犯周谷太等分別斬決發遣
玩縱知縣湯廷芳發往伊犁充當苦差接
任各員分別杖徒革職均如所擬完結一
摺奉

諭旨此案於乾隆四十三年即經事主具報被盜
該守令等俱不上緊審辦上司亦未查催任意

遲延幾及十年之久足見湖北吏治廢弛已極
不可不嚴加懲創除歷任之督撫司道交部查
照職名嚴加議處具奏候朕另降諭旨外其知
縣湯廷芳著於該處先行枷號一年黃煒著枷
號半年俟滿日再照議分別發遣杖徒議以革
職之知縣亢依祿王嘉謨孔毓禧俱著枷號三
個月革職知府曾恒德廷毓俱著枷號一個月

汪獻琛俟解到之日該督撫審擬具奏後即照此辦理此內應行枷號各員如有回籍者並著提至該省枷號以為親民之官尸祿不理民事之戒其盜犯周谷太著即處斬餘依議是日

駐蹕盤山行宮

初四日壬申

上詣古中盤慧因寺雲淨寺東竺菴拈香是日兵

部議閩浙總督常青奏浙江台州協右營守備員缺准以浙江提標中營千總蔣世英補授一疏內閣奉

諭旨蔣世英依議用餘依議又議常青奏福建澎湖水師副將員缺請以督標水師營叅將潘韜陞補一疏奉

諭旨潘韜補授福建澎湖水師副將餘依議是日

駐蹕盤山行宮

初五日癸酉內閣奉

諭旨李國樑叅奏燕河營署都司觀音保於盧龍縣民王化青酗酒滋事一案未經送縣懲治輒將王化青杖責致斃請將該署都司觀音保革職等語燕河營距縣城寫遠都司衙門駐劄該處本有彈壓地方之責王化青酗酒滋事被人

控告已屬匪徒及經官審問仍敢出言不遜該署都司予以杖責本屬罪所應得又係如法決責非違例濫刑者可比所有燕河營署都司觀音保著加恩無庸革職其該管上司一體免其交部議處是日

駐蹕大新莊行宮

初六日甲戌內閣奉

諭旨正黃旗漢軍副都統員缺著烏密烏遜補授

又奉

諭旨徵瑞奏兩淮鹽務試用人員不敷差委請揀發運判二員大使八員等語著派劉墉綽克托胡季堂惠齡會同該部於候補候選人員內揀選俟回鑾後帶領引見發往該部知道是日禮部奏乾隆五十二年丁未科會試請

欽點正副考官一疏奉

諭旨正考官著王杰去副考官著姜晟瑞保去又

奏請

欽點同考官一疏奉

諭旨同考官著鮑之鍾毛鳳儀玉保白麟德昌恭泰陳萬青劉種之李堯棟李鎔茅元銘程維岳沈丙范鰲王友亮莫允宣張敦培史國華去又

奏請

欽點內場監試內簾監試一疏奉

諭旨內簾監試著書隆阿劉湄去至公堂監試著六十五廣泰邱文愷曹坦去又奏請

欽點收掌試卷等執事官一疏奉

諭旨這收掌試卷等官著有圈者去硃筆圈出逢盛楊峻趙槐符書明阿蘇保王學海

和寧陳木達德余廷球慶善沐翰郭儀長王堯

恒周鉉鶴林田文瑄張良玉又議原任內大臣

王進泰病故照例給與奠祭銀應否與諡一

疏奉

諭旨依議仍著與諡

欽定諡曰恭勤又兵部議閩浙總督常青奏浙江提標前營遊擊員缺准以溫州城守營都

司許纘補授一疏奉

諭旨許纘依議用餘依議又議常青奏浙江定

左營遊擊員缺准以福建臺灣水師中營遊

擊李隆調補一疏奉

諭旨李隆依議調補餘依議又議常青奏浙江定

海鎮標左營守備員缺准以定海鎮標左營

千總錢夢虎補授一疏奉

諭旨錢夢虎依議用餘依議是日

駐蹕三家店行宮

初七日乙亥

駐蹕湯山行宮

初八日丙子因重修明陵工成

上親臨閱視是日

駐蹕工部廠大營

初九日丁丑

上詣安佑廟拈香是日內閣奉

諭旨順治年間因明陵附近居民于陵旁樵採曾

奉

諭旨禁止並添設陵戶看守數十年來地方官並未

小心稽查以致殿宇損漏墻垣歌頌之處甚多

前年朕親臨奠醊緬懷前蹟用是惻然因特發

帑金揀派大臣監督將各陵重加修葺茲屆工

竣朕便道親臨閱視殿宇煥然松楸如舊第恐

閱時既久地方官查禁不力復不免有私行樵

採及殿宇墻垣間被風雨損壞等事嗣後應交

直隸總督責成霸昌道就近專管稽查仍於每

年十月著工部屆期奏請派叢部堂官一員前

往查勘如有殿宇墻垣樹株傷損等事惟該管

道員是問以示朕加禮勝朝保護舊陵至意著

為令是日吏部議福建巡撫徐嗣曾奏泉州府

馬家港通判陳士銜試俸期滿准實授一疏

奉

諭旨陳士銜依議用餘依議又議河南巡撫畢沅

奏武陟縣知縣員缺准以柘城縣知縣盧又

紳調補一疏奉

諭旨盧又紳依議調補餘依議又議因三次陪祀

不到前議降級留任之內閣學士尹壯圖限

滿准開復一疏奉

諭旨尹壯圖准其開復又兵部議調任閩浙總督

常青奏浙江溫州鎮標右營遊擊員缺准以

浙江嚴州協中軍都司色特爾海補授一疏

奉

諭旨色特爾海依議用餘依議是日

駐蹕湯山行宮

初十日戊寅

駐蹕圓明園

自二月二十六日起至是日止扈從

起居注官嵩貴陸伯焜

十一日己卯

是日

起居注官玉保吳璣

十二日庚辰內閣奉

諭旨戶部議覆九江關一年期滿短收盈餘銀三

萬五千四百餘兩請著落前任監督虔禮寶現

任監督海紹各按經征月日昭數賠補並請將

該監督等交部治罪一摺固屬照例辦理第念

上年楚省歉收以致木商難把過關較少稅課短絀尚屬有因著加恩寬免銀二萬五千四百四十二兩其餘銀一萬兩著令度禮寶海紹各按經征月日照數分賠並從寬免其治罪又奉諭旨直隸宣化府知府員缺著王衍緒補授又奉諭旨國棟病故所遺阿克蘇辦事員缺著福嵩調補錦格著賞給四品頂帶馳驛前往和闐協同

博興辦事是日吏部帶領直隸總督劉峩奏請調署深州直隸州知州之現署天津府同知徐琰引

見奉

諭旨徐琰著照該督所請准其調署深州直隸州知州所遺天津府同知員缺准其將通州知州闕廷牧陞署所遺通州知州員缺准其將祁州

知州雷應方調補又帶領護理廣西巡撫印務原任布政使瑞齡等奏請陞署養利州知州之現任平南縣知縣繆祺引

見奉

諭旨繆祺著照該撫等所請准其陞署養利州知州又帶領原任湖北巡撫吳虎炳保薦卓異前任通山縣知縣調任孝感縣知縣高為濟引

見奉

諭旨高為濟准其卓異加一級仍註冊回任候陞又帶領廣西巡撫孫永清保薦卓異北流縣知縣明德引

見奉

諭旨明德准其于知縣任內卓異加一級陞補西隆州知州所遺北流縣知縣員缺准其將試用

知縣趙之璧署理又帶領

照例草職之原任安徽

見奉

諭旨趙霖著仍發往安徽以知縣用其草職之案

帶于新任又帶領失察西洋人過境照例草任

之湖南前署祁陽縣事澧州直隸州知州王

闕伯引

見奉

諭旨王闕伯著仍發往湖南以府屬知州用又帶

領失察西洋人住宿傳教照例降調之山東

武城縣知縣莊誠立引

見奉

諭旨莊誠立著仍發往山東以知縣用其降級之

案帶于新任又帶領失察西洋人過境照例降

調之山東平度州知州陳蘭徵引

見奉

諭旨陳蘭徵著仍發往山東以知縣用又帶領失

察西洋人過境照例草任之四川前任蒼溪

縣知縣丁映奎引

見奉

諭旨丁映奎著仍發往四川以知縣用其降級之

案帶于新任

是日

起居注官王懿修圖敏

十三日辛巳內閣奉

諭旨各省舉人教職由本班截取銓選知縣例應

該省督撫驗看其不勝民社者隨時奏明改為

司鐸或仍留教職本任于

體恤寒峻之意在各督撫受朕簡任身為封疆大吏于驗看時本應悉心甄別秉公辦理不致徇情受賄任意愛憎俾才具良庸者得以濫竽而年力尚堪驅策者轉致屈抑但思舉班選用知縣需次多時人人各思自效一經督撫驗看不勝民社遽停其銓用未免心懷舛望妄生訾議究不足以服人心而昭公當嗣後直省舉人

教職由本班截取知縣經該督撫驗看難勝民社如該員不甘就職情愿赴京引見者仍著該督撫照例給咨送部候朕鑒定其或因路遠跋涉維艱不能赴京者准其赴鄰省督撫呈明覆加驗看倘係年力未衰原驗督撫果有不甚確實之處即由鄰省督撫奏明再行給咨送部引見以示朕用人行政一秉至公即徵員亦不使

稍有向隅至意是日吏部議山西巡撫勒保奏

署左雲縣知縣孫捷三試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨孫捷三依議用餘依議又兵部奏雲南臨元

鎮標中營遊擊員缺擬以過缺陞用雲南大

理城守營都司楊忠陞補一疏奉

諭旨楊忠依擬用餘依議又奏貴州畢赤營遊擊

員缺擬以預保註冊之貴州平遠協左營都

司常住掣補一疏奉

諭旨常住依擬用餘依議又奏浙江玉環右營守

備員缺擬以預保註冊之浙江鎮海營千總

李鉷掣補一疏奉

諭旨李鉷依擬用餘依議又議兩江總督李世傑

奏署江西翻湖水師營都司俞國智服制已

滿准實授一疏奉

諭旨俞國智依議用餘依議又帶領保列二等之

江南河標左營副將伊楞額廣西撫標中軍

叅將德克精額引

見奉

諭旨伊楞額德克精額俱准其一等註冊又帶領

推陞直隸保定營叅將楊秀引

見奉

諭旨楊秀准其陞用直隸保定營叅將著赴新任

又帶領選補兩廣督標後營叅將劉雙四川

提標前營都司羅定國右營守備賈彬江南

滁州衛守備渠文常州府白糧幫領運千總

田斯忠廬州衛二幫領運千總蔣成美引

見奉

諭旨劉雙羅定國賈彬渠文田斯忠蔣成美俱依

擬用又帶領題補閩浙督標水師營守備陳峯

毫江南新安衛池州幫領運千總馬元愷引

見奉

諭旨陳峯毫准其補授閩浙督標水師營守備馬

元愷准其補授江南新安衛池州幫領運千總

俱著赴新任又帶領揀補甘肅喀喇巴爾噶遜

營守備之滿洲烏鎗護軍校那山等引

見奉

諭旨甘肅喀喇巴爾噶遜營守備員缺著那山補

授又帶領呈請改用水師守備李文龍引

見奉

諭旨李文龍著發往山東省以水師試驗又帶領

保送未經出兵年滿之巡捕右營廣渠汎千

總馮秀引

見奉

諭旨馮秀著回任候推又帶領留任年滿之巡捕

南營花兒市汛千總馬得甘肅涼州鎮標右

營千總韓自昌引

見奉

諭旨馬得韓自昌俱准其留任又帶領分別營衛

用之期滿提塘黃維亮引

見奉

諭旨黃維亮著以營缺用是日正黃旗蒙古都統

奏補寧夏防禦員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨六十三著補授防禦

是日

起居注官茅元銘德昌

十四日壬午內閣奉

諭旨據琅玕奏署西安縣試用知縣張義路於
兵部發遞福建之奏事夾板一副並不由江山
縣轉遞乃由常山一路遞送江西以致道路紆
遠遲誤請將該署縣張義路革職並將不行查
出轉遞出境之常山縣知縣于知誦交部嚴加

議處該管知府舒慶雲按察使孫括一併交部
分別議處一摺現在正值臺灣勦捕賊匪之時
郵遞軍報最關緊要乃似此舛誤率行遞送不
可不嚴加懲治署西安縣知縣張義路即著革
職於該處枷號示儆待事完發往軍臺効力其
悞行接遞並未駁回之常山縣知縣于知誦亦
著革職即發往軍臺効力以示懲儆所著失察

之該管知府舒慶雲按察使孫括著交部嚴加
議處仍著該撫提齊該縣管站家人書役嚴審
定擬具奏該部知道摺併發是日吏部議福建
巡撫徐嗣曾奏政和縣知縣員缺請以候補
知縣陳恒開補授一疏奉

諭旨陳恒開依議用餘依議又議辦理錢糧奏銷
冊內遺漏聲叙之山西布政使鄭源濤照例

罰俸查該員既經自行檢舉可否寬免一疏
奉

諭旨鄭源濤既經自行查出檢舉從寬免其罰俸
又兵部議查明硝磺短少情形據實具奏尚
屬留心營伍遵

旨議叙之江南狼山鎮總兵陳杰照例加一級一
疏奉

諭旨陳杰著加一級

是日

起居注官白麟韋謙恒

十五日癸未內閣奉

諭旨據孫士毅奏李世榮勒索站規案內部議降
級各員前經奏明暫緩離任令其查拿閩省匪
犯該員等辦理尚屬認真請俟部選人員到粵

再令該州縣六員照例離任等語現在閩省正
在剿捕賊匪廣東惠潮一帶境壤毗連沿海口
岸必有餘匪偷渡所有前案降調各員俱著准
其留於該處協同緝捕統俟臺灣軍務告竣再
行給咨該部知道摺併發是日吏部議兩廣總
督兼署廣東巡撫孫士毅奏署感恩縣知縣
郭棠試俸期滿准實授一疏奉

諭旨郭崇依議用餘依議又兵部議直隸總督劉

我奏督標中軍副將員缺准以通州協副將

蘇寧阿調補一疏奉

諭旨蘇寧阿調補直隸督標中軍副將餘依議又

議兩江總督李世傑奏吳淞營參將員缺請

以預保註冊之江南蘇松鎮標奇營遊擊德

爾卿額陞補一疏奉

諭旨德爾卿額依議用餘依議又署湖廣總督舒

常奏勒休均州知州楊大猷詳報民人江池被

勒斃命一案覆審實係失火烟薰致死並非

因姦謀命該知州疊次刑夾煨鍊通詳請草

職提究一摺奉

諭旨這所叅勒休均州知州楊大猷著革職交該

署督等審擬具奏該部知道摺併發

是日

起居注官顏崇瀉恭奏



乾隆五十二年歲次丁未三月十六日甲申

內閣奉

諭旨昨據琅玕奏署西安縣試用知縣張義路於兵部發遞福建奏事夾板誤遞江西一摺已降旨將該員等分別革職枷號發往軍臺効力示儆矣現在正值臺灣剿捕賊匪之時郵遞軍報最關緊要此項夾板既經誤遞江西何裕城

接據屬員稟報理應一面具奏一面行查浙省何以該撫並不奏聞僅以一咨了事設或琅玕亦不行據實奏則此等舛錯貽悞之劣員竟可幸免叅處各省驛站何知儆畏雖臺灣逆匪不過公麼草竊易於藏事將來設過緊要軍務亦似此舛錯豈不有悞機宜耶何裕城自係瞻顧浙省不行奏奏外省官官相護積習牢不可

破著傳旨嚴行申飭外仍文部嚴加議處是日

副都御史劉權之奏會試後大挑舉人若照

上屆於前十日奏請

欽派王大臣難保無依草附木之徒借名指撞宜

令承辦各衙門於大挑前一日列名奏請其

派出王大臣聞

命即住宿朝房事竣始回私宅一摺奉

諭旨所奏是大挑各省舉人分別錄用原為疏通

寒峻俾得即時自効必當秉公揀選以杜夤緣

撞騙情弊其如何定立章程嚴防弊竇之處著

將劉權之原摺發交軍機大臣會同該部悉心

妥議速奏是日吏部議浙江巡撫覺羅琅玕等

奏署龍泉縣知縣王毓琨試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨王毓琨依議用餘依議又議前任山東巡撫

明興奏維縣知縣員缺請以官州州同許祖

懷陞補查該員任內有戴罪督催一案與例

不符應毋庸議應將遺漏聲叙之前任山東

巡撫今授刑部侍郎明興照例罰俸一疏奉

諭旨明興著於現任內罰俸六個月餘依議又帶

領揀發兩淮之候選通判秦永清等四員候

補鹽大使朱垣等十四員引

見奉

諭旨秦永清兆德著發往兩淮交與該鹽政以運

判差遣委用朱垣負維需方恩承溫常紀張琮

陶步蓋孫永祺蘇齡阿着發往兩淮交與該鹽

政以鹽大使差遣委用又兵部奏湖南靖州協

中軍都司員缺擬以預保註冊湖廣提標前

營守備李麟勳掣補一疏奉

諭旨李麟勳依擬用餘依議是日鑲白旗滿洲都

統奏補寧夏佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨雙全著補授佐領又鑲白旗蒙古都統奏補

杭州防禦員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨陳魁著補授杭州防禦

是日

起居注官玉保陳崇本

十七日乙酉卯刻

上御勤政殿聽政部院各衙門官員面奏並帶領

侍班司員引

見畢大學士公阿桂大學士

嵇璜和坤王亦協辦

大學士吏部尚書劉墉內閣學士阿肅瑞保

尹壯圖張若濟以折本請

旨覆請吏部奏補內閣學士員缺將應陞人員照

例開列請

簡一疏

上曰鄒奕孝補授內閣學士兼禮部侍郎又覆請

吏部奏通政使司叅議員缺將應陞人員照

例開列請

簡一疏

上曰朱依魯補授通政使司叅議又覆請吏部奏

詹事府左春坊左中允員缺照例將右春坊

右中允吳壽昌轉補所遺員缺將應陞人員

照例開列請

簡一疏

上曰吳壽昌轉補左春坊左中允朱紱補授右春

坊右中允又覆請吏部議山西代州民人張光

裕被毆身死承審失入之前任按察使長麟

等照例降級一疏

上曰長麟虔禮寶蔣兆奎盛祿著改為革職從寬

留任俟八年無過方准開復餘依議又覆請吏

部議秋審錯擬情實之前任山西巡撫伊桑

阿等照例降級一疏

上曰伊桑阿著革任註冊仍以副都統職銜留該

處辦事鄭源璫著降一級留任歸景照著改為

革職從寬留任俟八年無過方准開復餘依議

又覆請吏部議奉天府府尹奇臣奏岫巖理

事通判員缺請以

興京理事通判覺羅薩克丹奏調補查該員歷

俸未滿與例不符該府尹既經專摺奏請可否准其調補一疏

上曰薩克丹泰准其調補又覆請兵部議失察

行宮二次偷竊官物並未嚴行稽查之熱河副

都統宗室恒山保遵

旨議處照例降級一疏

上曰恒山保著降三級從寬留任又覆請刑部等

衙門議護理陝西巡撫秦承恩奏石泉縣民

劉三才踢傷劉祥高身死依律擬絞監候查

該犯雙目失明並非有心致死可否援例收

贖一疏

上曰劉三才從寬免死照例收贖餘依議又覆請

刑部等衙門奏無力完贖之符五等照例免

其著追一疏

上曰符五等應追銀錢准其豁免是日內閣奉

諭旨據柯藩奏現在已滿三年之期例應奏請陸

見但現有查緝匪犯及催趲糧艘事務請俟重

運回空過竣後再行奏請等語向來各省提鎮

布按每屆三年陛見之期即遇有地方要務無

不循例奏請其意並非出於至誠今柯藩因有

催趲重運等事奏暫緩陛見所見甚是現在東

省正值南糧重運漕船過境該鎮自應在彼親

赴沿河一帶督率查催俾重運迅速前進俟回

空過竣再行來京陛見是日吏部議安徽巡撫

書麟奏寧國府知府孫述曾患病可否准其

回籍調理一疏奉

諭旨依議孫述曾准其回籍調理又兵部議兩江

總督李世傑奏江西撫標中軍參將員缺請

以江西廣信營叅將德忠調補所遺員缺請
以江西南昌鎮標前營遊擊鄧應文陞補一
疏奉

諭旨德忠等依議調補餘依議又議吉林將軍咨
該處鑲藍旗駢騎校齊爾巴年老患病應准
休致查該員曾經出兵打仗得功牌可否給
俸一疏

諭旨齊爾巴曾經出兵打仗得功牌著以原品休
致給與半俸以養餘年是日鑲白旗蒙古都統
奏補察哈爾公中佐領員缺帶領正陪人員

見奉

諭旨根敦著補授公中佐領

是日

起居注官葉觀國圖敏王燕緒瑋五珠

十八日丙戌

上詣

安佑宮行禮是日軍機大臣大學士阿桂等會議副
都御史劉權之奏大挑舉人之王大臣若照
上屆十日前奏派恐有借名指撞等情應如
所請改定前一日列名具奏至所稱住宿朝

房一節防弊適以滋弊應毋庸議酌添滿漢
御史各二員監視並令步軍統領衙門會同
五城訪查撞騙奸徒一摺奉

諭旨依議此次大挑舉人著在午門內挑選並添
派護軍統領一員稽察所有派出之王大臣
俱著在內閣住宿以昭嚴肅是日吏部議直
隸總督劉峩奏清苑縣知縣員缺准以清豐

縣知縣仲貽桂調補一疏奉

諭旨仲貽桂准調補餘依議又兵部奏湖北德安

營參將員缺擬以西寧鎮標中營遊擊劉景

齡陞補湖南長沙協右營守備員缺擬以浙

江衢州鎮標左營千總蔣廷勳陞補湖北宜

昌鎮標中營遊擊中軍守備員缺擬以直隸

密雲城守營千總王茂陞補直隸天津鎮標

右營遊擊中軍守備員缺擬以四川瀘州營

千總朱仕彥陞補湖北德安營參將中軍守

備員缺擬以湖南提標左營千總朱慶錦陞

補一疏奉

諭旨劉景齡等依擬用餘依議又奏廣西新太協

中軍都司員缺擬以預保註冊之廣西提標

右營守備陳元變掣補一疏奉

諭旨陳元變依擬用餘依議又議直隸總督劉峩

奏順德營遊擊員缺准以正定鎮標右營遊

擊詹廷輝調補一疏奉

諭旨詹廷輝依議調補餘依議又都察院奏請

欽點巡視中城將科道各員帶領引

見奉

諭旨巡視中城著勒爾遜去

是日

起居注官嵩貴陳萬青

十九日丁亥內閣奉

諭旨四庫全書處進呈續繕三分書李清所撰諸史

同異錄書內稱我朝

世祖章皇帝與明崇禎四事相同妄誕不經閱之殊

堪駭異李清係明季職官當明宗社淪亡不能

捐軀殉節在本朝食毛踐土已閱多年乃敢妄逞臆說任意比擬設其人尚在必當立正刑誅用彰憲典今其身倖逃顯戮其所著書籍悖妄之處自應搜查銷燬以杜邪說而正人心乃從前查出時該省及辦理四庫全書之皇子大臣等未經掣回今續辦三分全書猶復一例繕錄方經朕摘取而得甚屬非是因檢閱文淵文源兩閣所貯書內已刪去此條查係從前覆校官編修許煥初閱時籤出擬刑是以未經繕入但此等悖妄之書一無可採既據覆校官籤出擬刪該總纂總校等即應詳加查閱奏明銷燬何以僅從刪節仍留其底本其承辦續三分書之侍講恭泰編修吳裕德雖係提調兼司總校但率任書手誤寫均難辭咎所有辦四庫全書之

皇子大臣及總纂紀昀孫士毅陸錫熊總校陸費墀恭泰吳裕德從前覆校許煥俱著交部分別嚴加議處至議叙舉人之監生朱文鼎係專司校對之人豈竟無目者乃並未校出其咎更重朱文鼎本因校書特賜舉人著即斥革以示懲儆所有四閣陳設之本及續辦三分書內俱著掣出銷燬其總目提要亦著一體查刪是日

兵部奏廣東大鵬營叅將員缺擬以預行保舉水師提標後營遊擊孫全謀掣補一疏奉諭旨孫全謀依擬用餘依議

是日

起居注官德昌鄭際唐

二十日戊子內閣奉

諭旨李世傑等奏准徐道員缺緊要必得久任河

工者方克勝任請將淮揚道師彥公調補淮徐道其淮揚道一缺擬即將成汝舟調補等語如此不泥於遵旨甚是已批照所請行矣李世傑等此奏係為河工要缺起見且師彥公成汝舟二人之孰能河務與否亦朕素所知是以准其對調至各省道員缺原有美惡各督撫不得託詞遷調以開趨避夤緣之弊若實因繁簡不同

不得不調當奏明請將二人一併送部引見將此通諭知之又奉

諭旨前經降旨令各省督撫保舉堪勝道府人員現據陸續奏到因令軍機大臣開單進呈此項保舉人員原因甄拔人材以備簡用在各省督撫自當秉公保奏不敢稍涉瞻徇但思滿漢大臣子弟現居外任者自復不少其中如果才具

優長堪膺保薦原不必有意避嫌轉令屈抑且由該部帶領引見朕無難臨時鑒察分別棄取惟是大臣子弟中或外任者不止一人伊等父兄既身居臚任若其子弟分官各省復得同膺薦剡不免有佔寒畯地步且其中才具豈俱過人實非朕旁求器使之意著將原單發交該部詳查有係內外大員子弟者俱著註明候朕酌

量簡用嗣後部中若有似此公保陞用者亦如此例是日吏部議河南巡撫畢沅奏孟縣知縣員缺准以按察使經歷仇汝瑚陞補一疏奉諭旨仇汝瑚依議用餘依議又議漕船行抵豫省東阻不能預為籌畫以致糧船阻滯之河南巡撫畢沅等照例降級一疏奉

諭旨畢沅著銷去尋常加一級免其降級其因不

能預為籌畫以致糧船阻滯議以降調之景善著該撫出具考語送部引見再降諭旨餘依議又議失察西洋人住宿傳教之江西省歷任各員照例分別降調一疏奉

諭旨李封姜晟馮光熊李綬俱著降一級留任蘭第錫秦承恩俱著銷去加一級穆克登著銷去隨帶加一級俱免其降級王昶著銷去軍功加

一級仍給還軍功紀錄二次額爾登布著降一級從寬留任其因失察西洋人傳教議以革任之張翹張明謙阿明阿俱著該督撫出具考語送部引見再降諭旨議以降級用之錢策侯補官之日著本籍督撫查照原咨考語送部引見餘依議又兵部議鑲白旗滿洲都統咨駭騎校達椿舊傷復發應准休致查達椿曾經出兵

打仗殺賊得功牌可否給俸一疏奉

諭旨達椿曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原品休致給與半俸以養餘年

是日

起居注官陸伯焜白麟

二十一日己丑內閣奉

諭旨向來大挑舉人俱於會試榜後該部定期奏請揀選但念各省會試舉人旅食京師若俟榜發後再行挑選未免又需時日此次大挑舉人著即在榜前辦理俾得及早回籍毋庸守候以示體卹再此內有年老舉人精力已衰情愿得受京銜者並著派出揀選之王大臣照上屆之例按其年齒分別存記俟榜發後開單具奏照例賞給職銜用昭嘉惠者

路壽考人至意又

奉

諭旨臺灣逆匪林爽文等糾眾滋事水陸兩提督帶兵分路進剿並不親臨行陣定期會攻黃仕簡株守郡城任承恩安居鹿仔港僅派委將弁等零星打仗二人彼此觀望不思埋根首進惟事遷延致賊匪日久未就撲滅節經降旨嚴飭並諭令常青前赴臺灣督辦將黃仕簡任承恩

貽誤之處據實嚴審查叅茲據李侍堯奏到軍務情形一摺內稱南北兩路該提鎮等各有牽掣不免坐費時日等語果不出朕所料黃仕簡受恩最久向來辦事尚屬黽勉乃於剿捕逆匪一事漫無籌畫安坐郡城因循玩愒本應即拿問治罪姑念其年老且係病後著常青將黃仕簡即遵前旨送回廈門內地候旨水師提督著

郝壯猷暫署至任承恩經朕屢加拔擢用至提督且係自請前赴臺灣剿賊伊年力正強理應加倍奮勉以期迅速歲功乃亦逡巡畏葸並不親督將弁上緊追剿與黃仕簡互相諉卸實屬辜負朕恩前已有旨令常青將任承恩解任送回內地俟伊到日即著傳旨革職拿交刑部治罪並著李侍堯派委妥員押解來京其陸路提督員缺前因柴大紀保守郡城尚為出力本欲將伊擢用但柴大紀於林爽文等滋事之先不能預為防範以致逆匪蔓延本即有罪且臺灣原設兵額一萬餘名該鎮督率守城之兵不過一千餘名此外兵丁現作何用並未據柴大紀奏及實有應得之咎即將來事竣時若查明果能如前奮勇自効亦僅可以將功抵罪不當復

邀優擢所有福建陸路提督員缺即著藍元枚
調補所遺江南提督員缺著陳杰補授陳杰於
江南營用硝磺缺額一事據實陳奏並不瞻徇
甚屬可嘉現在李世傑等因此獲咎或該督等
心懷嫌怨亦所不免是以朕轉加陞擢用示勸
懲將此通諭知之又奉

諭旨江南狼山鎮總兵員缺著強都補授是日吏

部帶直隸總督劉綎奏請陞署開州知州之
現任河間縣知縣梁鍾傑引

見奉

諭旨梁鍾傑著照該督所請准其陞署開州知州
所遺河間縣知縣員缺准其將安肅縣知縣章
協夢調補又帶領兩江總督李世傑等保舉堪
勝知府之現任揚州府總捕同知福德引

見奉

諭旨福德清語平常沾染外省習氣且係金簡之
子李世傑閔鷄元未免瞻徇著仍回原任不准
保舉又帶領協辦大學士仍留陝甘總督任福
康安保舉堪勝知府之現任延安府安邊同
知德興引

見奉

諭旨德興著回任准其保舉又帶領拿獲伊陽首
犯秦國棟遵

旨送部之商州州同李景蓮引

見奉

諭旨李景蓮著仍回陝西以同知用又帶領拿獲
盜犯王魁等之候補同知借補鳳陽府通判
李載陽引

見奉

諭旨李載陽著回任又帶領查明革生梅調元等

活埋多命之湖北孝感縣巡檢袁孝澄引

見奉

諭旨袁孝澄著仍回湖北以知縣用是日右翼前

鋒統領奏補前鋒叅領等缺帶領正陪人員

引

見奉

諭旨洋森著補授前鋒叅領寧章阿著補授前鋒

侍衛又正白旗護軍統領奏補委護軍叅領員

缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨成德著補授委護軍叅領

是日

起居注官吳璫恭奉

二十二日庚寅內閣奉

諭旨據謝墉條奏洪澤湖淤墊日高前之如釜者

今已如盤請加疏濬一摺經大學士九卿議駁

在案茲李世傑等奏到洪澤湖水下注清口暢

出因將原摺交與謝墉閱看據稱本未諳習河

工前年在江寧接見王兆崇言及洪澤湖日漸

淤高是以據傳說之言具奏本年王兆崇陸見

來京復與講論仍如前說等語前年湖水甚少

清口不能暢出朕屢訓諭籌畫以期濟運禦黃

仍即以盈虛消息事理之常慮及必有盛漲之

事亦預行諭飭該督等加意防範上年湖水大

漲果不出朕之所料是前年清淤短少實是意

中所知謝墉既未親至其地目擊情形何以率

行入告現在洪湖水勢日長清口暢出已非如盤之明驗謝墉復稱得之王兆崇所言而本年王兆崇來京陛見經朕面詢該處情形亦奏稱清水暢順並未有淤墊如盤之說謝墉身為卿貳王兆崇究係司員體制所闕自不屑令其來京面加質對但謝墉既有此說不可不詳查核辦著該侍郎自行前往洪澤湖會同李世傑等

周圍履勘測量湖中淺深實在有無淤墊秉公據實具奏是日江蘇巡蘇閔鶚元奏儀徵縣知縣焦式冲因山西省咨催寄居儀徵縣原任浙江象山協副將吉孔惠代賠胞弟原任雲南尋甸州知州吉孔修未完帑項銀兩一案將吉孔惠家產查封致吉孔惠情急自縊請革職嚴審至前任藩司袁鑒奉文轉行軌添

查封字樣致釀成事端請文部嚴加議處一摺奉

諭旨這所參儀徵縣知縣焦式冲著革職前任藩司袁鑒著交部嚴加議處該部知道摺併發是日兵部議正黃旗滿洲都統咨駢騎校白格年老患病應准休致查白格曾經出兵打仗可否給俸一疏奉

諭旨白格曾經出兵打仗著以原品休致給與半俸以養餘年又刑部等衙門議山西巡撫勒保奏鳳臺縣民趙小歸毆傷趙金志身死依律擬絞監候查趙金志係在保辜限外身死可否援例免死發落一疏奉

諭旨趙小歸毆傷趙金志至保辜限外身死者從寬免死照例減等發落餘依議是日鑲黃旗蒙

古都統奏補寧夏防禦員缺帶領正陪人員

引

見奉

諭旨五保著補授寧夏防禦

是日

起居注官茅元銘瑋五珠

二十三日辛卯內閣奉

諭旨湖北巡撫李封來京陛見奏稱年力就衰遇

事健忘恐貽誤封疆要務懇請留京補用等語

觀其詞意出於誠悃可憐著照所請准其留京

姜晟著補授湖北巡撫所遺刑部左侍郎員缺

即著李封補授湖北現有舒常在彼兼署巡撫

事務姜晟俟會試出榜請訓後即行前赴新任

是日

起居注官嵩貴韋謙恒

二十四日壬辰內閣奉

諭旨據長麟奏濟南兗州各府屬上年雨雪短少

麥田未能普種現屆青黃不接之時應完地糧

米穀及籽種銀兩數目繁多小民輸將稍形竭

蹶等語東省濟南等府屬頻歲歉收上年雖秋

成豐稔復因雨雪短少麥田未能普種今春雨

澤亦尚未一律優霑際此青黃不接之時若新

舊並徵民力不無拮据所有濟南府屬之歷城

章邱長清齊河禹城平原齊東鄒平長山新城

兗州府屬之嶧縣滕縣鄒縣陽穀壽張泗水東

昌府屬之聊城高唐莘縣恩縣在平清平堂邑

博平冠縣館陶青州府屬之邑都昌樂高苑博

興樂安壽光臨淄臨朐泰安府屬之東平東阿

平陰萊蕪武定府屬之濱州利津霑化曹州府屬之荷澤曹縣單縣濮州城武定陶鉅野鄆城范縣觀城朝城並臨清州共五十三州縣及坐落衛所除本年新糧照例徵收外其五十一年分應徵地糧米穀籽種及前次未經分年帶徵之項俱著加恩緩至本年秋收後分作二年帶徵內有五十年秋禾成災及勘不成災之州縣

衛所應行帶徵節年地糧米穀籽種前次定限二年之項著分作三年帶徵定限三年之項分作四年帶徵統於本年秋後開徵為始俾得從容輸納民力益資寬裕副朕惠愛閭閻有加無已之至意該部即遵諭行又奉

諭旨據書麟奏安省連年災歉蒙恩蠲緩司庫耗羨不敷支用請於鄰近省分協撥銀十五萬兩

以資接濟等語著照所請於江寧藩庫協撥耗羨銀十五萬兩蘇州藩庫協撥耗羨銀五萬兩照例解往備用是日吏部議督緝三案未獲之巡視北城福建道監察御史廣西學政潘會起等照例罰俸一疏奉

諭旨潘會起著銷去紀錄一次免其罰俸餘依議又議兩廣總督孫士毅奏澄海縣知縣員缺

准以三水縣知縣德文調補所遺員缺准以試用知縣王淦署理一疏奉

諭旨德文准其調補餘依議又兵部議吉林將軍奏該處正紅旗防禦倭星額年老患病應准休致查倭星額曾經出兵打仗得功牌可否給俸一疏奉

諭旨倭星額曾經出兵打仗得功牌著以原品休

致給與半俸之半以養餘年是日正白旗滿洲
都統奏補承襲佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨成明著承襲佐領又正白旗蒙古都統奏補
世管佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨國興阿著補授佐領達吉兒著補授游牧察

哈爾佐領

是日

起居注官王保顏崇為

二十五日癸巳內閣奉

諭旨直隸提督員缺著俞金鰲調補俞金鰲未到
任以前著李奉堯署理閩正祥著調補湖廣提
督其甘肅提督員缺著蘇靈補授所遺河州鎮

總兵員缺著福康安於陝甘總兵內調補所遺
員缺著佛喜補授又奉

諭旨直隸提督李國梁宣力有年奉職勤慎茲聞
溘逝深為軫惜著加贈太子少保銜所有應得
卹典該部察例具奏是日兵部奏江南京口水
師營都司員缺擬以預保之江南廟灣營守
備邵德掣補一疏奉

諭旨邵德依擬用餘依議

是日

起居注官圖敏王燕緒

二十六日甲午內閣奉

諭旨江西吉安府知府員缺著徐湘補授又奉
諭旨湖南長沙府知府員缺緊要著該督撫於通
省知府內揀選一員調補所遺員缺著張官五

補授是日吏部議前任山東巡撫明興奏章邱

縣知縣員缺請以邱縣知縣王彬調補所遺

員缺准以試用知縣紀大奎署理一疏奉

諭旨王彬依議調補餘依議又兵部議吉林將軍

奏該處正黃旗防禦塔蘭太年老患病應准

休致查塔蘭太曾經出兵打仗得功牌可否

給俸一疏奉

諭旨塔蘭太曾經出兵打仗得功牌著以原品休

致給與半俸以養餘年

是日

起居注官德昌陳崇本

二十七日乙未內閣奉

諭旨據李奉翰奏淮安府河務同知魏炯現在籤

陞甘肅慶陽府知府查該員於河務同知尚能

勝任若陞任知府難膺表率之責等語魏炯著

照該督等即行給咨送部引見所有甘肅慶陽

府知府著該部另行照例銓選是日吏部議兩

廣總督兼署廣東巡撫印務孫士毅奏署平

遠縣知縣張成勳試俸期滿准實授一疏奉

諭旨張成勳依議用餘依議

是日

起居注官白麟陳萬青

二十八日丙申

上至靜明園龍王廟拈香

是日

起居注官恭泰鄭際唐

二十九日丁酉內閣奉

諭旨工部奏各省工程報銷應駁應准各案分別

開單進呈此內有雲南省各營辦解硝磺及黑
鹽井地方修理井座礮岸楚雄縣修理兵房直
隸省豐寧縣移建墩臺營房山西省大同鎮等
營新添兵丁應需操演藥鉛江南省沛縣移建
新城等六款俱係乾隆五十年駁查之後迄今
未據造報應今該督撫即行查叅並上緊催辦
完結等語此等工程照例報銷之案既經該部

駁查各該督撫即應據實查核上緊完結何至
逾限一年有餘均屬遲緩著即令各該督撫明
白迴奏並將部駁各案分別查明迅速報部核
銷毋得再行延宕其逾限各員並著照例查叅
交部議處是日吏部議雲南巡撫譚尚忠奏臨
安府同知員缺請以候補同知吳蘭孫補授

一疏奉

諭旨吳蘭孫依議用餘依議又吏部議失察原任
平陽縣知縣黃梅向部民勒借派捐之前任
閩浙總督雅德照例降調一疏奉

諭旨雅德降三級調用之處俟差竣回京時該部
再行請旨又帶領四川總督保寧保舉堪勝知
府之現任瀘州直隸州知州明保引

見奉

諭旨明保著回任又禮部議江西巡撫何裕城奏
新昌縣壽婦張毛氏現年一百一歲照例給
銀建坊一疏奉

諭旨依議毛氏著加恩賞給上用緞一疋銀十兩
是日鑲藍旗滿洲都統奏補防禦員缺帶領
正陪人員引

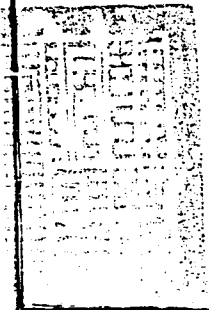
見奉

諭旨蒲成巴爾布俱著補授防禦又鑲藍旗蒙古
都統奏補京口防禦員缺帶領正陪人員引
見奉

諭旨圖敏住著補授京口防禦

是日

起居注官茅元銘瑋五珠



乾隆五十二年歲次丁未

成吏部帶領三月分月

主事張體公四川長壽縣

內黃縣知縣王廷桂山東新泰縣知縣高應

龍河南滑縣知縣歐陽春陝西安定縣知縣

許長浩直隸清豐縣知縣董董江西安福縣

知縣時本榮浙江奉化縣知縣令狐達四川

內江縣知縣程鵬搏雲南宗師縣知縣官學

詩山西馬邑縣知縣楊秉謙擬改教職浙江

常山縣知縣薛夢魁湖北蒲圻縣知縣鄧家

榕擬倫知縣王學淳王正策冀升三田營丁

如琦湯元芑引

見奉

諭旨張體公等依擬用掣得陝西安定縣知縣之

許長浩著調補河南內黃縣知縣所遺安定縣

知縣員缺著掣得內黃縣知縣之王廷桂補授

掣得湖北蒲圻縣知縣之鄧家榕著以教授用

所遺蒲圻縣知縣員缺著擬倫知縣王學淳補

授掣得浙江常山縣知縣之薛夢魁著以教職

用所遺常山縣知縣員缺著擬倫知縣丁如琦

補授餘依議又帶領本年二月分籤陞湖北鹽

法道之直隸宣化府知府沈榮勳五十一年

九月份籤陞廣東和平縣知縣之四川成都

府教授鄧在珩引

見奉

諭旨沈榮勳等依擬用餘依議

是日

起居注官王保陸伯焜



初二日己亥內閣奉

諭旨著派十一阿哥十五阿哥

封秉公驗看挑選彈壓之

稽查之御史著派素卜東阿窩興額施朝幹王

鍾健又奉

諭旨謝墉現往洪澤湖查勘吏部漢侍郎乏人謝

墉未回京以前著吳玉綸暫行兼署是日吏部

議辦理續繕四庫全書潦草錯悞之提調官

翰林院侍講恭泰等照例罰俸應註於紀錄

抵銷一疏奉

諭旨恭泰罰俸三個月之處著註於紀錄抵銷餘

依議又禮部奏請

欽點本年丁未科會試鈐榜大臣一疏奉

諭旨著紀昀去餘依議又兵部議直隸總督劉綎

奏大名協左營都司員缺准以居庸路都司

二達色調補一疏奉

諭旨二達色依議調補餘依議是日正藍旗滿洲

都統奏補察哈爾佐領員缺帶領正陪人員

引

見奉

諭旨柯興額著補授佐領

是日

起居注官高貴王懿修

初三日庚子

駕進宮自是日始

上以孟夏舉行

常雩禮致齋三日

是日

起居注官葉觀國白麟

初四日辛丑內閣奉

諭旨黃仕簡奏三月初四日海壇鎮總兵莊猷

來至臺灣郡城據稱初四日叅將瑚圖里稟報
自山猪毛被賊攔截不能過溪該總兵隨派員
帶兵前往接應行至琉璃溪猝遇賊匪圍截衝
散官兵未回甚多賊即來攻營盤併攻縣城東

門該總兵將城外官兵移駐城內防禦初八日
賊匪益見加增攻犯更急由南門進城放火攻
殺以致官兵衝散等語郝壯猷以派往南路勦
捕大員既經收復鳳山縣城自應一面派兵設
卡防守一面親率將弁追剿賊匪乃安坐營盤
既聞瑚圖里被賊攔截不即親往接應以致賊
匪乘勢攻圍縣城復陷該總兵所帶之兵計



有三千餘名不為不多當賊匪來犯時兵丁等
畏賊退避該總兵即應將退避者立時正法數
人使知儆懼其餘策令向前一鼓作氣同心抵
禦何至紛紛潰散即或賊多兵少勢不能支亦
應奮不顧身殺賊而死甚至無奈自刎庶不失
城亡與亡之義從前征勦緬甸時如明瑞觀音
保扎拉豐阿皆因綠旗兵丁懼怯不能勝敵今

日適有松潘鎮總兵穆克登阿來京陛見經朕
詢問據稱征緬甸時伊即跟隨明瑞等打仗目
擊彼時情事將軍等非不可以退出而明瑞等
僉言受恩深重兵散勢窮寧死于賊不死于法
即或退出後倖邀寬典亦何忍覩顏視息是以
不肯生還等語朕聞其言猶以為之墮淚明瑞
等能知大義咸以身殉其身後屍體還國也

復子專祠子孫至今受恩勿替效者餘禁郝壯
猷以專閫大員寧不聞知乃亦以綠旗兵可惟
怯惡習自懼重辟且日前降恩葉職

拿問時其陸路提督員缺朕因郝壯猷收復鳳
山尚為出力曾諭令常青查明如果郝壯猷堪
勝提督即行奏明候朕簡放今伊於賊匪復犯
鳳山時既不能先事防禦又不能督率弁兵奮

勇殺賊潛回郡城似此畏怯倖生之員若不明
正典刑其何以肅戎行而昭軍紀常青接奉此
旨即將郝壯猷在臺灣郡城傳集眾將弁將伊
正法並將前旨本欲用為提督及現在又因其
棄城潛回是以按軍法從事各緣由向其宣諭
俾知賞罰分明禍福惟其自取郝壯猷即身伏
刑誅亦當死而無怨其派往接應及城內各官

兵又皆何往並著常青查明據實奏至瑚圖
里身係滿洲前于賊匪滋擾鳳山時因兵丁衝
散該叅將遂乘馬馳至郡城已有應得之罪第
念其究因倉猝兵散所致與自行脫逃者有間
是以仍令帶罪効力今據貴仕簡奏該叅將又
於山猪毛地方被賊攔截不能過溪若係賊人
踞守溪河險隘尚屬可原倘竟係該叅將畏懼

賊勢借詞躲避亦如郝壯猷之逃回則其罪更
無可道著常青即查明此次瑚圖里如果有畏
蕙逃回情事亦即一面奏聞一面將該叅將正
法示眾若果戰而被賊所害尚應照陣亡賜卹
此事總由黃仕簡任承恩二人南北互相觀望
以致各鎮將弁效尤玩愒久稽藏事律而朕洞
燭機先早令常青往臺灣督城推及及時整頓

設法朕亦不能豫為籌及至此時始派常
青前往該處無人統率而黃仕簡又於其間
怯諸事督亂或竟至墮賊術其其所擄更屬
損失威重尚復成何事體現經常青將該提鎮
等罪狀查明叅奏並自請議處除郝壯猷應行
正法及黃仕簡任承恩拿問之處另經降旨外
柴大紀普吉保姑念其從前奮勉現令帶罪自
贖暫著從寬交部嚴加議處以觀後效常青從
前率據黃仕簡等咨報冒昧入告咎亦難辭但
念其遠隔重洋未能得知確信且該督現在臺
灣督辦本日奏到各摺悉合機宜常青著加恩
免其議處該督自當益加感激思奮安速籌辦
昨據李侍堯奏所調粵省兵丁四千名抵閩時
即陸續配渡現有添派閩省駐防及內地官兵

共三千餘名交恒瑞藍元枚分帶前往各兵未
到以前與其間住待兵常青應就臺灣現有官
兵選派精壯者先令前赴郡城附近處所或南
路鳳山一帶將竄聚賊匪掃除淨盡廓清後路
指日官兵雲集會合勦捕直搗賊巢更無返顧
之憂料此么麼草竊無難一鼓殲擒此事現交
常青督辦常青即著授為將軍恒瑞藍元枚著
授為叅贊俾事權歸一軍威益振以期迅速蕩
平綏靖海疆將此通諭中外知之又奉
諭旨前因李侍堯奏南北兩路提督各有牽掣不
免坐費時日等語已降旨將任承恩革職拿交
刑部治罪黃仕簡撤回廈門保奏此大臺灣
逆匪林爽文等糾眾滋事任承恩亦奏請前往
朕意即以任承恩不應同赴臺灣亦恐其非

其所轄呼應不靈未免掣肘轉於勦捕無益但
因任承恩業已登舟配渡多一人或可得三人
之益是以未令轉回詎伊二人指事後並不
親臨行陣定期會攻一南一北互相觀望果不
出朕所料以致賊匪日久蔓延迄今未能撲滅
其玩延貽悞厥罪維均即或黃仕簡因年老患
病不能親身帶兵及任承恩到彼後不能不零

星堵禦抑或賊匪衆多兵力實不敷勦捕之處
伊二人早應隨時據實直陳候朕指示籌辦乃
伊等並無一字奏及是其種種貽悞實無可置
喙而黃仕簡係水師提督臺灣乃其專轄現在
勦捕事宜又經朕特交督辦乃安坐郡城漫無
籌畫伊尚如此畏葸因循更無怪任承恩之意
存推諉其罪視任承恩為尤重任承恩既經革

職拿問黃仕簡亦難寬宥昨已降旨將黃仕簡
撤回內地俟伊到廈門時著李侍堯即傳旨將
伊一併革職拿交刑部治罪若論黃仕簡任承
恩貽悞緊要軍務之罪均應按律即行正法朕
辦理軍務信賞必罰而於畏葸退縮者尤必重
加懲治故能紀律嚴明將士用命所向克捷底
績成功今黃仕簡任承恩恒怯貽悞若在人

必當正法但念黃仕簡年老又係病後且伊從
前辦事尚屬奮勉受恩最久所有公爵係伊祖
所立功績自應承襲即照黃仕簡從前原奏令
伊長孫黃嘉謨承襲至任承恩係任舉之子任
舉前在金川出兵時打仗受傷陣亡其長子又
以巡捕營遊擊因救火得傷身故亦無子任承
恩現無子嗣若將任承恩法某在案

軀竟至絕嗣朕心實有所不忍黃仕簡往承恩
俟到部時該部自當照例定擬具奏然均可知如
恩貸其一死所有福建水師提督員缺著藍元
枚調補其陸路提督員缺自當於臺灣總兵內
擢用柴大紀於林爽文滋事不能豫為防範到
諸羅縣後又不進勦斗六門賊匪本不當復邀
陞擢但念其防守郡城尚為奮勉出力功罪自

不相掩所有陸路提督員缺著加恩令柴大紀
暫行署理以觀後效是日禮部奏請

欽點本年丁未科會試磨勘試卷官一疏奉

硃筆點出竇光鼐孟生蕙梁景陽陸伯焜法式善
平恕顏崇為陳嗣龍馬啓泰溫常綬蕭九成朱
攸曹城錢樾邱庭澄羅修源周瓊勵守謙王春
煦吳鼎雯邵晉涵祝堃德生戴聯奎王受劉錫

五陳昌齊馮集梧吳紹潔圖敏朱紱查善長劉
人睿王爾烈左周莫瞻萊百齡祝德麟李陽棫
周元良又奏請

欽點稽察磨勘分卷御史一疏奉

硃筆點出福克精額泰寧劉人睿孫家賢又奏請
欽點覆勘會試試卷大臣一疏奉

硃筆圈出阿肅達椿彭元瑞吳王綸劉躍雲李綬

又步軍統領衙門奏據吏部筆帖式甘露呈
控伊姊伊爾根覺羅氏自幼配與戶部筆帖
式安保為妻因安保與僕婦連姐有姦伊姐
時加勸阻反被打罵今伊姐身死屍有傷痕
顯係毆死等情請將安保解任交部審辦一
摺奉

旨著交該部據實檢驗秉公

研審據實具奏是

鑲紅旗護軍統領奏補委護軍統領員缺帶
領正陪人員引

見奉

諭旨七達色著補授委護軍統領

是日

起居注官茅元銘德昌

初五日壬寅寅刻

上御太和殿視孟夏

常雩祝版已刻

詣

園丘齋宮齋宿是日內閣奉

諭旨據富綱等奏雲南迤南道缺出例應在外揀

調現在並無合例之員其應陞知府內如普洱

府知府賀長庚久任滇省才具雖堪勝任但該

員邊俸未滿參罰亦有違碍奏請簡放等語賀

長庚在滇年久熟諳地方情形且曾任迤南道

朕所素悉雖該員與應陞之例未符但迤南道

為極邊要缺一時簡調乏人著加恩即令賀長

庚補授

是日

起居注官吳璣圖敏瑋五珠鄭際唐

初六日癸卯寅刻

上詣

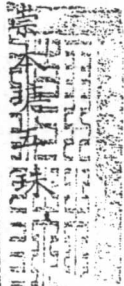
園丘行

常雩禮禮成

駕幸園明園

是日

起居注官圖敏顏崇為陳



初七日甲辰內閣奉

諭旨據永鐸奏烏魯木齊出有清營防禦缺核

定正陪奏請補放等語著照所奏阿所

遺防禦員缺著擬正驍騎校珠綸補授是日軍

機大臣會同兵部議四川總督保寧奏邊省

各項千總請照文職佐雜之例先行咨部註

冊俟推題陞缺再行送部引

見等語查留任千總歷俸多年若緊停送部引

見於考核未為周備應毋論邊疆內地統以引

見一次為定如俸滿保送及預保卓異題推營衛

各員均照舊例引

見其俸滿僅予留任者可停送部若至二次甄別

仍係留任應仍令送部其卓異在俸滿以後

並甄別拔補業經引

見之員均無庸再行送部至陞用守備時該督撫

提鎮秉公驗看堪以勝任將憑劄給發赴任

仍出具切實考語報部存案一摺奉

諭旨此項保送千總陞用守備時若僅交督撫提

鎮驗看咨部不復調取引見如該督撫等果能

秉公考驗將衰劣者據實叅劾固可將原保之

督撫提鎮議處第恐該弁陞任後各該督撫提

鎮彼此瞻顧雖經看出該員年力已衰或弓馬

平常慮原保各上司因此被議不免有官官相

護之見致衰庸之員仍得戀棧不可不防其漸

嗣後保送千總陞用守備者著於抵任三年後

仍即令出具考語來京引見一次在該員久經

遷擢庶俸自此千總微員稍獲無虞括括如此

內有督撫提鎮驗看不實經朕看者即將原

保及陞任後姑容之督撫提鎮一併照徇庇例
嚴加議處如此辨理則各督撫等恐于議處隨
時留心叅劾哀劣者自揣難逃留任當必及早
引退其年力壯盛者引見時如果人才出色並
可量加陞擢該員等知上進有階亦不憚於跋
涉庶於優加體卹之中仍寓精明考核之道立
法更為周備著為令餘依議是日兵部帶領保

列一等之陝西延安營叅將康世貴蘇州撫
標中軍叅將趙士魁引

見奉

諭旨康世貴趙士魁俱准其一等註冊又帶領推
陞直隸固關營叅將宋如璜山西石樓營都

司劉大魁引

見奉

諭旨宋如璜准其陞用直隸固關營叅將劉大魁
准其陞用山西石樓營都司俱著赴新任又帶
領分別遊擊都司用之漢三等侍衛何耀泰
引

見奉

諭旨何耀泰著以遊擊用又帶領選補直隸蒲河
口都司張翊豐湖廣提標前營守備劉沖霄

廣西提標右營守備李可立江西九江衛後
幫領運千總王振玉引

見奉

諭旨張翊豐劉沖霄李可立王振玉俱依擬用又
帶領題補廣東新塘營水師守備朱士鳳引

見奉

諭旨朱士鳳准其補授廣東新塘營水師守備著

赴新任

是日

起居注官白麟陳萬青

初八日乙巳

上詣永寧寺大報恩延壽寺拈香

是日

起居注官韋謙恒恭泰

初九日丙午寅刻

上御勤政殿聽政部院各衙門官員面奏并帶領

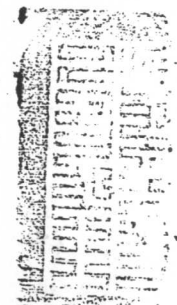
侍班司員引

見畢大學士公阿桂大學士嵇璜和珅王杰協辦

大學士吏部尚書劉墉內閣學士阿肅瑞保

尹壯圖張若淳以折本請

旨覆請吏部議前任山東巡撫明興奏商河縣知



縣員缺請以博山縣知縣章玉輅調補查該
員歷俸未滿與例不符既經專摺奏請可否
准其調補一疏

上曰章玉輅准其調補餘依議又覆請吏部議湖
南巡撫浦霖奏通道縣知縣員缺請以署平
江縣知縣范廷模調署所遺員缺請以候補
知縣戴高署理查范廷模歷俸未滿與例不

符既經專摺奏請可否准其調署一疏

上曰范廷模准其調署餘依議又覆請吏部議失
察屬員于兵部發遞福建奏事夾板誤遞江
西以致軍報舛誤應將漫不經心之浙江按
察使孫栝衢州府知府舒慶雲等照例革任
革職及既經屬員稟報並不具摺奏
聞僅以一咨了事應將徇情不行奏奏之江西巡

撫何裕城照例革任一疏

上曰何裕城著從寬免其革任仍註冊孫枯係某

司專管驛站舒慶雲係該管知府於所屬知縣
遞送軍報漫不經心以致舛誤非尋常失察可
比孫枯今日適來陛見覺其精神不如前通年
亦未見勤理政務黃梅之案已有應得處分今
復舛誤軍報著依議革任舒慶雲著革職又覆

請吏部議失察旗員逗遛兩月之兩淮鹽政

徵瑞等照例降級一疏

上曰徵瑞著銷去加一級免其降級倉聖喬著降
二級從寬留任餘依議又覆請兵部議正黃旗
護軍統領舒亮咨該旗護軍叅領霍寧保年
老患病應准休致查該員曾經出兵打仗殺
賊得功牌可否給俸一疏

上曰霍寧保曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原

品休致給與全俸以養餘年餘依議又覆請兵
部議察哈爾都統咨鑲紅旗護軍校瑪壘年
老患病准其休致查該員曾經出兵打仗殺
賊得功牌可否給俸一疏

上曰瑪壘曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原品
休致給與全俸以養餘年又覆請刑部等衙門

議四川總督保寧奏華陽縣民鍾庭德因堂
姊李鍾氏與唐成澄通姦因往捕捉誤傷鍾
氏身死依律擬斬監候唐成澄擬絞監候查
鍾庭德因黑暗中誤認鍾氏為姦夫以致戮
傷身死與逞兇干犯者不同照例聲明一疏
上曰唐成澄依擬應絞著監候秋後處決鍾庭德
戮死堂姊鍾氏釁起捕姦傷像誤中著減等發

落餘依議又覆請都察院奏補戶科掌印給事

中員缺擬定正陪請

簡一疏

上曰李臺補授戶科掌印給事中是日內閣奉

諭旨本日召見湖北按察使張廷化據奏伊父現

年七十八歲未經迎養懇請留京等語張廷化

著准其留京侍養胡翹元現出山東學差所有

鴻臚寺卿即著張廷化署理所遺湖北按察使

員缺著李天培補授又奉

諭旨浙江按察使員缺著歸景照補授又奉

諭旨本年春季以來熟河糧價稍覺昂貴兵丁等

生計不免拮据著施恩看守避暑山莊之千總

兵丁等借給一年錢糧自明年起作為三年扣

完是日兵部奏福建延平城守副將中軍都司

員缺擬以候補都司揚國英補授一疏奉

諭旨揚國英依擬用餘依議又吏部帶領五十一

年八月分論俸應陞之工部郎中福德禮部

員外郎新柱十二月分工部主事蘇彰阿補

行引

見奉

諭旨福德等依擬用又帶領直隸總督劉峩奏請

實授之現署北運河務關同知王嵩高引

見奉

諭旨王嵩高著照該督所請准其實授北運河務

關同知又帶領兩江總督李世傑保舉堪勝道

員之現任安徽安慶府知府臧榮青引

見奉

諭旨臧榮青著回任又帶領四川總督保寧奏請

陞補資州直隸州知州之現任廣安州知州

潘成棟引

見奉

諭旨潘成棟著照該督所請准其陞補資州直隸

州知州所遺廣安州知州員缺准其將試用知

州阮和署理又帶領河南巡撫畢沅奏請陞署

開歸陳許道之現任開封府知府陳文緯引

見奉

諭旨陳文緯著照該撫等所請准其陞署開歸陳

許道所遺開封府知府員缺准其將歸德府知

府趙載元調補其河陝汝道員缺即著劉同敬

調補又帶領江西巡撫何裕城奏請陞署瑞州

府銅鼓營同知之現任南昌縣知縣張五緯

引

見奉

諭旨張五緯著照該撫等所請准其陞署瑞州府

銅鼓營同知又帶領大計卓異之河南禹州知

州李大霽引

見奉

諭旨李大霽准其卓異加一級仍註冊回任候陞

又帶領拿獲聚眾抗官奸民王金等之河南

署柘城縣知縣葉大奇引

見奉

諭旨葉大奇著回原省以同知題補又帶領檢查

孝感縣革生梅調元活埋多命一案之湖北

署漢陽府事蘄州知州王希曾引

見奉

諭旨王希曾著回任又帶領拿獲隣境打劫盜犯

高文倬之四川署邛州知州候補同知永齡

見奉

諭旨永齡著仍回原省又帶領失察鄉約羅倫兆
毆傷蕭奉有身死約束不嚴照例降調之雲
南呈貢縣知縣李榮陞引

見奉

諭旨李榮陞著仍發往雲南以知縣用其降調之
案帶於新任是日鑲紅旗蒙古都統奏補成都
協領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨什金著補授成都協領

是日

起居注官嵩貴王懿修瑯五珠鄭際唐

初十日丁未內閣奉

諭旨湖南岳常澧道員缺著臧榮青補授又奉
諭旨據知貢舉藍應元奏本年會試舉子內九十
歲以上者七名八十歲以上者三十七名七十
歲以上者九名皆三場完竣揭曉後未經中式
等語此次各省舉子年老應試者多至五十餘
人俱龐眉皓首踴躍觀光允為昇平人瑞除馮

出佐田集盛張自道業於上次大挑後賞給光
祿寺署正等銜及本人大挑選入二等之唐泰
鄭國祥孫有謚楊士元照例以教職銓補外所
有年屆九十九歲之李宏道著加恩賞給翰林
院編修銜其八十九以上之彭一猷謝璜葉
有聲王協恭謝啓祚涂紅鵬朱紹璧蘇彩飛梁
元鈺王泓陳詩張宗賢許承憲趙家誠張啟瀟

李良棟葛維栢王澤週何紹怡程鳴岐閔選齡
韋元勛毛景燧全思義王輝祖彭有非譚諭美
曾錫嘏林復發王渭揚軒棘切劉子旭李晃秦
振東方永祥王家賓李作朋萬邦獻王志禮陳
養源俱著賞給翰林院檢討銜七十歲以上之
項朱張琴張維焯柴杰姜价俱著賞給國子監
學正銜以示朕嘉惠耆儒壽考作人之至意是

日吏部議江南河道總督李奉翰等奏淮安
府中河通判員缺請以委用州同袁秉鈞陞
署查該員係由州判陞署州同未經寔授與
例不符應毋庸議一疏奉
諭旨袁秉鈞著照該督等所請行又兵部奏湖廣
督標中軍副將員缺擬以候補副將劉乘龍
補授一疏奉

諭旨劉乘龍補授湖廣督標中軍副將餘依議

是日

起居注官王保王燕緒

十一日戊申

上詣妙喜寺拈香是日吏部議山西巡撫勒保奏
署太原縣知縣王鴻謨試俸期滿准實授一
疏內閣奉

諭旨王鴻謨依擬用餘依議又兵部奏四川普安

營守備員缺擬以預保千總溫廷俊掣補一

疏奉

諭旨溫廷俊依擬用餘依議是日

駐蹕靜宜園

十二日己酉內閣奉

諭旨據李侍堯奏蚶江上下一帶洋面屢有被劫

之案嚴飭該管總兵羅英笈專派弁兵出洋偵緝並未擒獲一名本月二十三日粵省第二起官兵自海澄縣水路赴厦到興行庫地方有盜賊二十餘人駕船來劫兵丁猝不及防互相格鬪受傷者六人賊旋逸去請將海澄縣知縣候謹度水師提標中軍守備李光輝革職留於地方協緝勒限一年如限滿不獲交部治罪其督

緝之石瑪通判安靜水師提標中軍叅將王祖烈並該管總兵羅英笈一併交部嚴加議處等語沿海地方盜賊出沒最為商民之害甚至駕船行劫渡海官兵尤屬不法已極該管地方文武員弁並不能立時緝獲非尋常疎縱可比候謹度李光輝俱著即革去頂帶暫行留任勒限半年在該處緝捕如限滿不獲即行據實叅奏

從重治罪總兵羅英笈係常青調赴彈壓之員乃於所轄地方因循怠惰全無整飭若僅交部議處不過革職留任不足示儆羅英笈亦著即革去翎頂暫行留任在該處督緝其通判安靜叅將王祖烈均著革去頂帶暫行留任督緝務於半年限內將各盜犯按名緝獲速正刑誅如限滿不獲即著該督據實叅奏分別從重治罪

摺併發又奉

諭旨現在福建臺灣地方賊匪林英文膽敢聚眾煽亂抗拒官兵殊屬可恨已就近派兵往勦須派曾于軍營閱歷之巴圖魯侍衛章京等令其分領打仗始得剿滅賊匪迅速歲事著派健銳營副翼長烏什哈達護軍叅領三保副護軍叅領官保德成額果爾彌色等侍衛雅爾江

阿富克精額委署護軍叅領塔斯哈著每人名賞銀一百兩作速束裝馳驛前往晝夜加緊赴福建臺灣府交常青等令其嚴管兵丁奮勉出力於沿途驛站不可騷擾遲緩是日吏部議辦運漕糧到次遲緩之河南署新鄭縣知縣耿錫觀署汲縣知縣王育樞封邱縣知縣張楷等各降一級調用一疏奉

諭旨依議其因運米到次遲延議以降級用之耿錫觀王育樞議以降調之張楷俱著該撫出具考語送部引見再降諭旨是日

駐蹕靜宜園

十三日庚戌內閣奉

諭旨浙江衢州府知府員缺著明保補授又奉諭旨安徽安慶府知府員缺緊要著該督撫於通

省知府內揀選一員調補所遺員缺著谷廷珍補授是日吏部議承緝盜犯限滿未獲之廣東順德縣知縣馮履謙照例降調查該員已另案降調應於補官日再降一級用一疏奉

諭旨依議其因承緝盜犯四叅限滿不獲議以降級用之馮履謙仍照前旨著該督撫出具考語送部引見又兵部議雲貴總督富綱奏雲南元

江營叅將員缺准以景蒙營遊擊倭星額陞補一疏奉

諭旨倭星額依議用餘依議又議察哈爾都統咨該處鎮蓋旗護軍校音布年老患病應准休致查該員曾經出兵打仗殺賊捉生得功牌可否給俸一疏奉

諭旨音布曾經出兵打仗殺賊捉生得功牌著以

原品休致給與全俸以養餘年

駐蹕靜宜園

十四日辛亥

上御演武廳

閱健銳營操畢

詣寶相寺寶諦寺拈香是日內閣奉

諭旨據福康安等叅奏署留壩同知西安府五郎

通判葉璐於姜廷相家被搶銀兩一案獲犯後並不嚴行收禁僅令管押班房致要犯王廷貴等六名同日脫逃請將該通判葉璐革職等語此等搶劫要犯既經拿獲即應一體鎖禁嚴行看守何得僅照尋常案犯祇令管押班房致同夥要犯同日脫逃至六名之多並據該督等委員查驗該處班房木籠有新換椿木土牆亦有



補砌痕跡明係撬開木籠由牆穴逃逸竟與越獄無異該管人役等顯有受賄故縱情事該署同知葉潞於所屬要犯疎縱至此玩愒已極福康安等僅奏請將該員革職所辦未免輕縱福康安不應如此葉潞著革職拿問交該督等提集應訊人役審明有無賄縱定擬具奏至該管上司漢興道豐紳漢中府知府郭繼儀俱著交

部分別議處其現在脫逃各犯仍著該督等飭屬上緊嚴緝務獲毋令遠颺漏網摺併發又奉諭旨劉戡奏現在直隸候補理事同知道判俱已陸續補用遇有缺出不敷差委請揀發理事同知通判四員發直差遣等語著照所請派劉墉綽克托惠齡會同該部照例揀選帶領引見發往是日兵部議雲貴總督富綱奏雲南普洱鎮

標左營遊擊員缺准以龍陵協都司陳大德
陞補一疏奉

諭旨陳大德依議用餘依議又刑部等衙門議雲

南巡撫譚尚忠奏陸涼州民王以禮砍傷徐
富甲身死依律擬絞監候查徐富甲係在保
辜限外身死可否援例減等一疏奉

諭旨王以禮砍傷徐富甲至保辜限外身死著從

寬免死照例減等發落餘依議是日署湖廣總

督舒常奏署天門縣知縣沈清直於遞送安
徽覓食民人龔文奇等男婦三十三名回籍
並不謹選妥役轉解以致龔文奇等全行散
去請交部嚴加議處一摺奉

諭旨這所叅署天門縣知縣沈清直著交部嚴加
議處摺併發是日

駐蹕靜宜園

十五日壬子

上詣十方普覺寺拈香是日內閣奉

諭旨據蘭第錫奏接奉諭旨前赴豫東交界適中
之處履勘河道應行挑濬各工又據長麟奏由
萊州府起程趕赴工次會同蘭第錫畢沅公同
妥議勘估並派濟東道齊克慎會同沈啟震辦

理又派同知佐雜等官赴工聽候分委等語此
次運河西岸應行疏濬處所工段綿長非沈啟
震一人所能料理雖現據東省遵旨派委道員
赴工幫辦又前經諭令畢沅於豫省能事道員
內派委一人協同辦理但現在應辦工程須於
伏汛前一律完竣關係緊要必須專派大員董
率稽查方能妥速周到蘭第錫現已將屆防汛

之期畢沅長麟又應趕辦本省秋審及地方事務難以分身兼顧因思明興曾任東省巡撫現任河道各工即係伊任內兩次未經料理妥協之事伊在京並無經手要務著明興即日起程不准馳駟前赴工次督同沈啟震等寔心辦事以已力往來稽察俟伏秋二汛過後再行回京供職伊係前任巡撫呼應自靈務須督率在工各員上緊趕辦以期妥速完竣稍贖前愆設工員等因伊已離巡撫之任稍存玩視於公事有悞即著明興據實叅奏倘明興竟以前任巡撫自居於舊日屬員中或因需索不遂藉端苛劾經朕查出必將明興加倍治罪決不稍貸是日

駐蹕靜宜園

乾隆五十二年歲次丁未四月十六日癸丑

上詣仁育宮龍王廟拈香

駕還圓明園是日內閣奉

諭旨刑部核覆福建省具題李吳氏砍傷李魏氏
幼子李連生身死一案將李吳氏依故殺律問
擬斬候閱其情節吳氏之夫雖係魏氏之夫總
麻服叔尊卑名分猶存吳氏與魏氏口角爭論

又被魏氏用刀劃傷手心然業經勸散何至相
隔數日後復至魏氏家中吵鬧輒將伊四歲幼
孩用刀連砍至斃兇殘已極未便照尋常故殺
律辦理使兇悍之婦久稽顯戮上年刑部具題
楊張氏致死八歲之李么兒一案以其因姦謀
殺僅擬斬候不足蔽辜曾降旨改為立決並諭
該部嗣後遇有謀殺十歲以下幼孩者俱照楊

張氏問擬斬決原欲使兇惡之人共知懲創童
穉亦多所保全但立法固已周詳恐愚民未能
家喻戶曉仍不免無知逞兇自罹重辟雖國家
定律如行劫大盜應問斬梟因姦謀死親夫者
應問凌遲處死此等律案愚賤皆所深悉而姦
盜之案仍時有固屬莠民愆不畏死然教化
不能臻于刑措致尚有淫兇殘忍之案我君臣

當引以為愧夫世風日下作奸犯科者實所難
免今既不能道德齊禮不得不道之以政齊之
以刑而不教而誅又非辟以止辟之道著各直
省督撫即將上年所降辦理楊張氏一案諭旨
遍行謄黃出示並轉飭各地方官務宜隨時剴
切訓誡俾窮鄉僻壤咸知戕死幼孩法在不赦
庶兇暴有所創懲童穉免于戕害此即刑弼

教之意所有李吳氏一案著該部即趕入本年
秋審情實辦理並通諭中外知之又奉
諭旨京城自入春以來雨澤稀少近日雖屢次得
雨不成分寸現屆麥秋之際大田亦須乘時播
種民間情殷望澤朕心甚切焦勞著該部敬謹
設壇虔誠祈禱以期速霽甘霖是日兵部奏貴
州安籠鎮標中軍遊擊員缺擬以預保鎮遠

鎮標右營都司陳綱掣補一疏奉

諭旨陳綱依擬用餘依議又議雲貴總督富綱奏

雲南鎮雄營叅將員缺准以督標右營遊擊

劉惠陞補一疏奉

諭旨劉惠依議用餘依議

是日

起居注官圖敏陳崇本

十七日甲寅吏部議辦理承追雲南尋甸州
知州吉孔修賠項輒將伊兄原任副將吉孔
惠家產查封以致釀成人命之前任江寧布
政使降補江寧府知府袁鑒照例革任一疏
內閣奉

諭旨吏部議處前任江寧藩司袁鑒於承追尋甸
州知州吉孔修賠項輒令將伊兄原任副將吉

孔惠家產查封以致釀成人命請照例革任一
本此案如果係袁鑒於奉文轉行時添出查封
字樣以致吉孔惠情急自縊自應照部議革任
但閱本內閔鶚元原奏內稱接據前任藩司袁
鑒詳稱奉經轉飭儀徵縣勒令吉孔惠回籍並
令將該員家產查封等語則又似袁鑒仍係奉
巡撫原文轉行到縣者聲敘殊未明晰現交李

世傑詳細確查俟覆奏到日再降諭旨又兵部

議雲貴總督富綱奏雲南騰越鎮標右營都

司員缺准以昭通鎮標前營守備盧陳模補

授一疏奉

諭旨盧陳謨依議用餘依議

是日

起居注官白麟陳萬青

十八日乙卯內閣奉

諭旨據劉莪奏天津府屬之慶雲鹽山二縣得雨

濡遲大田雖已播種尚未出土民力未免拮据

慶雲鹽山二縣得雨較少秋禾未能出土際此

青黃不接之時若照例開徵小民迫於輸將未

免更形竭蹶著加恩將該二縣應徵本年并節

年新舊錢糧倉穀一體緩至本年秋成後徵收

以紓民力該部即遵諭行是日吏部議失察湖

北江陵縣民婦蔣竺氏家被劫諱盜匿詳之

湖廣歷任督撫藩臬等照例分別降調革任

一摺奉

諭旨劉莪汪新俱著從寬免其革任仍註冊舒常

降級調用之處俟卸署交代回京後吏部屆期

提奏請旨特成額降調之處俟差滿來京交兵

部提奏再降諭旨餘依議又吏部議於所屬民

人淡思敬家被竊一案應將限滿未獲之四

川廣元縣知縣張官禮照例降調一疏奉

諭旨依議其因盜案四叅承緝不力議以降調之

張官禮著該督出具考語送部引見再降諭旨

又兵部奏廣東肇慶營叅將員缺擬以江南

狼山鎮中軍遊擊王永安職陞廣東提標後

營遊擊員缺擬以四川阜和協左營都司張維籤陞直隸正定鎮標右營遊擊員缺擬以雲南開化鎮標右營都司冷登弼籤陞江南蕪采營遊擊員缺擬以四川巫山營都司郭廷璋籤陞廣西提標左營遊擊員缺擬以四川冕山營都司徐超籤陞江南壽春鎮標中軍遊擊員缺擬以四川黔彭營都司薛如英

籤陞湖南永安營都司員缺擬以貴州安籠鎮標左營守備何忠籤陞四川永寧營參將中軍守備員缺擬以湖南撫標左營千總王宗儻籤陞江南宣化衛守備員缺擬以江南淮安衛千總劉煜籤陞一疏奉

諭旨王永安等依擬用餘依議又議雲貴總督富綱奏督標左營守備員缺准以雲南廣南營

守備施縉調補所遺員缺准以候補守備臨元鎮標千總馬匡周補授一疏奉

諭旨施縉等依議調補餘依議又吏部帶領調任湖廣總督李侍堯保舉堪勝知府之現任湖北荊州府理事同知峻亮引

見奉

諭旨峻亮著回任是日正藍旗滿洲都統奏補公

中佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨來成著補授公中佐領艾圖保木之族襲佐領著索撲通阿承襲定昌著補授副叅領明祿著補授印務章京

是日

起居注官德昌鄭際唐

十九日丙辰吏部議四川總督保寧奏著汶川縣知縣沈念茲試俸期滿准實授疏內閣奉

諭旨沈念茲依議用餘依議又議失察黃安縣知縣陳玉冒賑一案之前任湖廣總督特成額等照例革職查特成額現以副都統職銜派往烏什辦事其革職之處應否仍以副都統

職銜留該處辦事抑或作為兵丁効力之處

恭候

欽定一疏奉

諭旨特成額著革職仍以副都統職銜留該處辦事張廷化著革任舒常著降二級留任餘依議又刑部等衙門議江西巡撫何裕城奏長寧縣民黃來鳳毆傷黃古氏身死依律擬絞監

候查該犯因見黃古氏身死賄屬忤作捏報服毒身死應將未能審出實情之該縣黃大鵬擬徒及任意遲延不即審辦之署贛州府知府施恩祖等照例降調一疏奉

諭旨黃鳳來依擬應絞著監候秋後處決至署贛州府知府施恩祖經道發審不即究辦著降三級調用知府胡鼎蓉於本屬命案一任延擱至

半年以上未能查催迅結著降二級調用該員等于緊要命案任聽玩延遲緩均非尋常貽誤者可比實有應得之咎是以均照部議降調又議承審王二等拒捕之案未能究出行行劫重案之山東鉅野縣知縣鄧長信照例降調一疏奉

諭旨依議其因未能究出行行劫重案以降調之

鄧長信著該撫出具考語送部引見再降諭旨

又吏部帶領河南巡撫畢沅奏請陞署歸德

府知府之現署開封府下南河同知歸朝煦

引

見奉

諭旨歸朝煦著照該撫等所請准其陞署歸德府

知府是日鑲藍旗滿洲都統奏補世管佐領員

缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨查隆阿之世管佐領著永桂承管

是日

起居注官陸伯焜恭奏

二十日丁巳內閣奉

諭旨此次翰林散館之修撰錢榮茹茶編修汪學

金邵玉清業經授職其清書二甲之庶吉士吳

芳培崔景儀吳廷選周兆基俱著授為編修漢

書二甲之庶吉士陳萬全曹振鏞王錫奎程嘉

謨文寧李驥元蔣攸銛溫汝迺謝振定俱著授

為編修三甲之庶吉士張翹倪思淳蔡共武朱

依吳鄧再馨劉忻俱著授為檢討潘奕藻賀賢

智劉若琛楊志信俱著以部屬用是日吏部議

直隸總督劉峩奏署隆平縣知縣勞兆鴻試

俸期滿准實授一疏奉

諭旨勞兆鴻依議用餘依議又議江西巡撫何裕

城前在河北道內因堵築壩工不堅革職留

任之案照例准開復一疏奉

諭旨何裕城革職留任之案著開復餘依議又議

四川總督保寧奏署青提漢馬木使全王試

俸期滿請以實授查該員任內有草職留任

一案與例不符應毋庸議應將違例題請實

授之該督照例罰俸一疏奉

諭旨保寧著罰俸九個月餘依議又兵部奏江南

蘇松鎮標奇營遊擊員缺擬以蘇松鎮標右

營都司童陞掣補一疏奉

諭旨童陞依議用餘依議是日鑲紅旗護軍營奏

補副護軍叅領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨永舒著補授副護軍叅領

是日

起居注官吳璫瑋五珠

二十一日戊午

上詣黑龍潭拈香是日策試天下貢士顧鈺等一

百三十七名於

太和殿奉

天承運

皇帝制曰朕撫馭九寓膺祚久長於今五十有二

年仰荷

吳蒼眷佑幸而精神純固車書又安五世一堂胥宙

合臻於蕃祉老壽如前代批政無一蘖芽庶底

小康見於向之古稀說矣然而宵旰益懋惟日

孜孜罔敢自暇逸思欲鑑古觀文與民遊大道

而裕所天教養大備式躋郅隆茲多士觀光沐

浴誦習之已久庶幾敷贊其敬聽予詢史非徒

紀事所以監先式後等百世以為因革損益者

也則表志尚矣顧曰書曰志曰考或有或無或

取他家以益之或越數代以補之或統及古今

或併詳五朝徵其體例能較然與且或作通史而全書以志名能著其凡與地理之山川物產古蹟經籍之類例撰人何者為當符瑞釋老不已細與傳之隱逸止足獨行孝義更易其名儒林道學文苑紛岐其品可類指與贊論評毋乃贅與論史家體例者劉知幾鄭樵能述晰與本大公至正之心慎守器勿失之戒闢紀載失實

之誣屢經論斷宜逖聞而心識之其抒所見焉夫虞書標言志之文宣聖示辭達之旨經典所垂具有明訓迨後世體裁遞變門徑各殊論詩論文遂多乖正旨劉勰文心雕龍雖局於齊梁之儷偶然其書首以原道次以徵聖次以宗經次以正緯所見實在諸家上能約舉其說與杜詩韓筆為後來作者冠冕其論詩論文之宗旨

具見本集能舉其得失與昭明文選多取華藻真德秀文章正宗深矯其弊然蕭之末流至於綺靡真之末流亦或傷樸儷欲酌文質之中其何道之從歟且詩文之體雖殊其為載道則一也宰之以理運之以氣亦既文成數萬矣所期以化成天下而共泳聖涯同遊藝府能知所致力歟古人有言積貯者生民之大命周禮之廩人遂人屋粟糶粟後人師其遺意而取壽昌長孫平朱子皆有規制及夫上熟中熟下熟之斂和糶俵糶兌糶之名言積貯者靡弗能詳固不必泥古而颯縷也朕截漕平糶所以為閭閻計朝夕之供者數十年時舉亦無一日或間然欲求實貯則墨吏之虧缺宜繩欲乎惠心則猾胥之蠶蠹宜察欲平市價則鬪僧之囤積宜懲而

且穀數民數歲報可稽酌盈劑虛詎易言給足
歟採買則慮價昂散給則虞中飽籌後日之饑
節目前之食朝三暮四寧善術與作民父母仰
我乳哺即一饗殮計而為君之難如此諸生服
疇食德亦有一二區畫可採裨乎昔先王設奇
衰之禁嚴左道之誅立法綦詳誠以邪說誣民
易於惑惑非預遏其萌恐為世道人心之患也

我國家化澤涵濡士大夫讀書明理自不為異
論所移至鄉里愚氓或誘於罪福之說姦黠匪
徒或借為箕斂之術自扞法網者間亦有之如
概從禁絕則祈報蜡社皆將為胥吏需索之端
若慮其滋擾不為區畫又恐日累月積久且草
蔓今將為杜漸防微清源正本使人人知禮義
之維而謾妄之言不能盡其視聽其何道之從

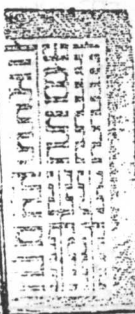
焉朕撫臨悠久無時不以稽古明理期天下之
士無時不以正德厚生籌天下之民多士以讀
書起家宜明古今著述之源流又新自田間來
宜悉土俗民生之利弊其以夙所抱者臚於簡
末毋浮毋隱朕親覽遴焉是日吏部議山西巡
撫勒保奏署寧鄉縣知縣劉懷芳試俸期滿
准實授一疏內閣奉

諭旨劉懷芳依議用餘依議又議失察筆帖式武
爾喜沖阿在外誑騙之刑科掌印給事中西
平等照例罰俸一疏奉

諭旨西平著罰俸一年查善長納福李臺趙鏌著
各銷去紀錄二次俱免其罰俸餘依議又禮部

奏請

欽點殿試讀卷大臣一疏奉



諭旨著有點者去

硃筆點出阿桂嵇璜劉墉紀昀

彭元瑞李紱阿肅

胡高望又奏請

欽點殿試執事各官一疏奉

諭旨這執事各官著有點者去

硃筆點出監察御史斐靈額恒溥曹坦陳化龍受

卷官明祿平恕李潢秦潮彌封官明太吳舒惟

彭元琬吳鼎雯胡榮富色克收掌官揆文李鼎

元戴聯奎俞廷楡印卷官興麟豐紳填榜官英

祥佛保達春窩克精額馮世校梁廣泰德通吉

隆阿張經田王鵬瞿照丁榮祚又奏請

欽點察看殿試卷標識大臣一疏奉

硃筆點出王杰瑞保惠齡劉權之又兵部議正黃

旗滿洲都統咨該旗驍騎校七十六年老患

病應准休致查該員曾經出兵打仗殺賊得

功牌可否給俸一疏奉

諭旨七十六曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原

品休致給與半俸以養餘年

是日

起居注官嵩貴葉觀國

二十二日己未內閣奉

諭旨湖北武昌府知府員缺緊要著該督撫于通

省知府內揀選一員調補所遺員缺著楊恪曾

補授又奉

諭旨湖北黃州府知府員缺著德興補授又奉

諭旨王四一犯上年既經館陶縣拿獲乃該縣馬

照藜竟將該犯押拘月餘存意取保外省習氣

實屬可惡馬照藜著革職

擬具奏其接任知縣汪立本亦著三研革職至此案係在長麟未經到任以前乃明興任內之事何以未經查出著交部嚴加議處其失察之各上司及營汛員弁並著一併查明叅奏長麟著從寬免其議處又奉

諭旨長麟奏濟南府屬之濟陽陵縣臨邑淄州德州德平武定府屬之商河惠民樂陵青城蒲台

海豐陽信青州府屬之博山泰安府屬之泰安肥城新泰等十七州縣從前或與災地毗連或因被旱歉收俱有歷年未完之項現在雨澤未霑麥秋無望請將該州縣等舊欠錢糧緩至秋後徵收等語濟南等府屬上年既被旱歉收本年又雨澤愆期若將新舊錢糧一併徵收民情未免竭蹶所有濟陽陵縣臨邑淄川德州德平

商河惠民樂陵青城蒲台海豐陽信博山泰安肥城新泰等十七州縣及坐落衛地除本年應徵錢糧照例徵收外其節年積欠未完正耗錢糧及緩徵帶徵籽種口糧米穀等項著加恩自本年秋後為始分作二年帶徵以紓民力該部即遵諭行又奉

諭旨朕此次駐蹕熱河巡幸木蘭著怡親王質郡

王大學士阿桂嵇璜留京辦事所有吏兵二部應行引見官員文職知縣以上武職守備以上于未啟鑾進木蘭之前著該部每月派堂官一員輪流帶赴熱河引見其文員內佐雜等官武員內八旗護軍校驍騎校及外省送到之補放水手驍騎校並年滿千總等官弁仍著王大臣照例驗放至八月以後月選等官亦照例辦理

理其各省督撫提鎮等奏摺著齋摺人前赴行
在投遞進哨後著兵部派員駐劄哨門接遞各
省奏摺封送行在候朕批示發回仍於哨門交
付齋摺人祇領該部即通諭知之是日吏部議
河南巡撫畢沅奏虞城縣知縣員缺准以候
補知縣周世傑補授一疏奉

諭旨周世傑依議用餘依議又議江西巡撫何裕

城奏署新城縣知縣朱樹暈試俸期滿准實
授一疏奉

諭旨朱樹暈依議用餘依議又兵部議直隸總督
劉峩奏牆子路都司員缺准以蔚州路西城
都司七十三調補一疏奉

諭旨七十三依議調補餘依議又署湖廣總督舒
常奏署黃安縣事漢陽府經歷李雲鰲于縣

民彭西俸彭深遠家被盜扶同前縣陳玉諱
盜匪詳請將該員革職並提案內應訊人等
嚴審一摺奉

諭旨這所叅前署黃安縣事漢陽府經歷李雲鰲
著革職所有此案應訊人等著交該督等提齊
審明定擬具奏摺並發該部知道

是日

起居注官玉保茅元銘

二十三日庚申內閣奉

諭旨據謝墉李世傑等奏會勘洪澤湖水勢深至
八九丈及十丈不等淺者亦在一二丈之間實
無淤墊謝墉前此未經身履其地乃以傳聞不
實之言率行陳奏懇交都察院議處等語洪澤
湖水前年因上游河南安徽等省雨澤稀少淮

流未能暢發以致湖中存水較少當經諭令畢沅前往桐栢山疏濬淮源虔誠祈禱上年朕即以盈虛消息事理之常淮水必有盛漲令該督等加意預防今自去年以來湖水充裕自由淮神默佑來源旺盛得資濟運謝墉所奏乃係前年水短情形且治河如聚訟原無定論該侍郎得自傳聞據以入告尚非無因茲既勘明水勢

深通並無淤墊所有自請議處之處著加恩寬免摺併發又奉

諭旨唐侍陞准其實授河北道又奉

諭旨本日大挑舉人引見時適值陰雨衣服未免沾濕者加恩各賞紗二疋以示體卹寒峻至意是日查看明陵工程大臣惠齡等奏將各陵工程詳加查驗均屬堅固用過銀兩與原估

相符所有出估銀七千五百零係七孔橋開挖引河及添修石道工程所用當加詳查惟七孔橋等工銀三千四百三十兩零業經該監督呈明有案應准其照例開銷外其添修石道工程銀四千一百八兩零未據呈明應不准其開銷一摺奉

諭旨知道了所有該侍郎等核減添修石道等工銀四千一百八兩零并准一體開銷免其賠繳是日吏部議直隸總督劉峩奏安肅縣知縣員缺准以候補知縣徐曰言補授一疏奉

諭旨徐曰言依議用餘依議又議江西巡撫何裕城奏龍泉縣知縣員缺准以廣豐縣知縣胡光祖調補一疏奉

諭旨胡光祖依議調補餘依議又兵部議兩江總

督李世傑奏提標城守營遊擊員缺准以平

望營都司楊果亭補授一疏奉

諭旨楊果亭依議用餘依議又議調任閩浙總督

常青奏浙江太湖營遊擊員缺准以錢塘營

都司朱坤陞補一疏奉

諭旨朱坤依議用餘依議又議

盛京將軍永瑋奏該處防禦奇明年老患病准

其休致查該員曾經出兵打仗殺賊得功牌

可否給俸一疏奉

諭旨奇明曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原品

休致給與全俸以養餘年

是日

起居注官白麟陳萬青

二十四日辛酉

上詣覺生寺拈香

駕進宮是日讀卷官進呈

殿試策前列十卷恭候

欽定

上御乾清宮

召讀卷官入

賜坐

上閱卷

親定甲乙擬進第七卷易置第三卷

命讀卷官開拆彌封按名傳到貢士帶領引

見第一卷史致光浙江山陰人第二卷孫星衍江

南陽湖人第三卷董教增江南江寧人第四

卷朱理安徽涇縣人

上命大學士嵇璜照所定前後名次填寫卷面畢

讀卷官捧卷退出是日吏部議前任山東巡撫明興奏署諸城縣知縣姚學捷試俸期滿准實授一疏奉

諭旨姚學捷依議用餘依議又議四川總督保寧奏西昌縣民隴耀綜踢傷何聯陞身死依律擬絞監候查何聯陞係在保辜限外身死可否援例減等發落一疏奉

諭旨隴耀綜踢傷何聯陞至保辜限外身死著從寬免死照例減等發落餘依議

是日

起居注官陸伯焜圖敏德昌陳崇本

二十五日壬戌卯刻

上御太和殿陞座

賜貢士史致光孫星衍董教增一甲進士及第朱

理等四十五人二甲進士出身焦以厚等八十九人三甲同進士出身諸進士行禮畢詣時應宮 萬壽寺拈香

駕還圓明園

是日

起居注官嵩貴吳璫王燕緒瑋五珠

二十六日癸亥內閣奉

諭旨甘肅河州總兵一缺前經降旨令福康安於陝甘總兵內揀選一員調補所遺員缺著佛喜補授今據福康安奏佛喜業經病故所有調補河州鎮總兵遺缺著哈攀鳳補授是日吏部奏本年三月分呈請捐復各員核其情節輕重准以捐復之原任湖南岳陽道孫景曾一員不准捐復之原任山西高平縣知縣毛振

翹等三員一摺奉

諭旨毛振翹前在高平縣知縣任內捐修鼓樓一

案未經詳請候示即行查辦究屬因公並非入

己著准其捐復餘依議又吏部奏請改教之員

未奉新例以前可否仍令送部引

見一摺奉

旨此項未奉新例以前奏准改教人員俱著該督

撫送部引見候朕鑒定其自揣年力衰老不願

赴部者聽其自便又兵部議調任閩浙總督常

青奏福建閩安水師副將員缺准以三年期

滿調回內地之臺灣水師副將丁朝雄調補

所遺員缺准以烽火門叅將李威光陞補一

疏奉

諭旨李威光補授福建臺灣水師副將丁朝雄調

補福建閩安水師副將餘依議又吏部帶領兩

江總督李世傑保舉堪勝知府之現任安徽

和州直隸州知州宋思仁引

見奉

諭旨宋思仁著回任又帶領原任兩江總督薩載

等奏請陞署江南邳州知州之現任青浦縣

知縣康杰引

見奉

諭旨康杰著照該督等所請准其陞署邳州知州

所遺青浦縣知縣員缺准其將試用知縣黃映

庚署理又帶領協辦大學士仍留陝甘總督任

福康安保舉堪勝知府之現任陝西乾州直

隸州知州高珺引

見奉

諭旨高珺著回任又帶領福康安保舉堪勝知府
之現任陝西以知州借補渭南縣知縣王啓
舒引

見奉

諭旨王杏舒著回任又帶領前任山東巡撫明興
奏請陞署濮州知州大計卓異之禹城縣知
縣洪玳引

見奉

諭旨洪玳准其于知縣任內卓異加一級陞署濮
州知州所遺禹城縣知縣員缺准其將試用知
縣王樑署理又帶領失察西洋人過境照例降
調之山東署禹城縣事試用知縣陳鼎鈞引
見奉
諭旨陳鼎鈞著仍發往山東以知縣用其降級之

案帶於新任是日正黃旗滿洲都統奏補世管
佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨定柱之世管佐領著阿揚阿承管

是日

起居注官韋謙恒恭奏

二十七日甲子

上詣聖化寺廣仁宮拈香

御演武廳

閱火器營操是日內閣奉

諭旨朕此次駐蹕熱河巡幸木蘭所有步軍統領

印鑰仍著綿恩帶管吏部印鑰著綽克托帶管

理藩院印鑰著阿揚阿帶管又奉

諭旨據常青奏報臺灣南路賊匪擾擾府城屢經

親率官兵出城迎捕堵殺將弁用命義兵爭先奮勇協勦接仗數次共鎗砲打死賊匪二千餘人人生擒正法者五十餘名各獻首級奪獲器械甚多並有賊目帶領手下二千餘人棄械投順隨同殺賊現有南路賊匪經此番截殺勢漸消退一俟添調官兵到日即統率大兵前往諸羅等處各賊巢合兵會勦務期生擒首逆殲盡根

株等語連日盼望該將軍捷報正深焦急今閱奏到情形消息轉好機會甚佳覽奏深為欣慰此次賊匪有侵犯府城之信常青預先設法防堵於桶盤棧等衝要地方派令遊擊蔡攀龍等各帶兵分劄營盤相機堵勦籌畫調度俱合機宜逮賊匪分路攻犯府城常青親率官兵鄉勇迎捕截殺斬獲甚多賊匪敗退常青年逾七旬

尚能如此勇往督戰朕心甚為嘉獎伊係年老之人宣力海疆無親子在旁侍奉殊堪繫念著將伊子刑部筆帖式希明賞給三等侍衛馳駟前往臺灣省親並將賞給常青之御用玉搬指一個大荷包一對小荷包二對並節物庫紗二疋葛紗二疋香珠一匣香牌一匣香袋一匣官扇十柄即著伊子帶往以示優眷常青感激朕

恩益思奮勇迅能剿除賊匪永靖海疆朕必格外加恩也至遊擊蔡攀龍前據孫士毅奏稱聞伊帶兵打仗頗為賊匪所畏之語今據常青奏稱該遊擊於上年賊匪攻圍郡城時即督率弁兵奮勇截殺保護無虞追赴南路進勦嗣又調回郡城防守歷經打仗無不身先士卒奮勇直前且能審度機宜弁兵用命

表臣等伏願是以屢

次均獲勝仗殲賊甚多等

語該遊擊其屬奮勇

出力為賊匪所畏宜加恩

權奏禁龍者照常請

所請即起補臺灣北路協副將仍加賞戴花翎

若再能感激奮勇打仗遇有總兵缺出常青即

奏請陞補以示獎勵其陣亡遊擊卹維揚把總

余壽王澤高及陣亡受傷各兵丁均查明照陣

亡例賞卹至鄉勇義民隨同官兵晝夜防範為

國家禦賊實屬可嘉其殺賊立功者應遵照前

旨拔補千把總實缺其陣亡受傷者均著照兵

丁之例加倍卹賞以示鼓勵此事總由黃士簡

任承恩二人一南一北互相觀望以致各鎮將

效尤玩誤久稽歲事幸而朕及早料及預令常

青前往臺灣督辦得以及時整頓並將失陷城

池私自回至郡城之總兵郝壯猷正法如此賞

罰嚴明自必壁壘一新士氣振奮所有添調各

處官兵日內諒已陸續到齊軍威壯盛常青廓

清後路賊匪即統率大兵赴北路諸羅等處合

兵會勦直到賊巢生擒首夥各犯料此么麼草

竊無難一鼓殲擒膚功迅奏將此通諭中外知

之又奉

諭旨據劉我泰奏青縣知縣吳燾於衙役趙國棟

逼斃六命一案請將該縣吳燾革職並將衙役

趙國棟問擬斬候請趕入本年秋審辦理等語

所辦過寬已於摺內批示矣此案趙國棟赴窩

主陳三家起贓無獲胆敢逞兇碎毀什物用言

恐嚇致陳三之妻劉氏陳六之妻李氏畏累帶

領子女一併投井淹斃至六命之多兇暴已極

該督僅將該犯擬以斬候殊屬輕縱至該縣吳

獻因拿獲隣境窩主差役起贓雖非無故差擾
但失察衙役逞兇逼斃六命實非尋常失察釀
命可比僅予革職亦不足蔽辜劉峩辦理此案
失之過寬著傳旨嚴行申飭所有趙國棟一犯
著改為立決其青縣知縣吳獻著革職拿問至
案內各犯著交刑部從重改擬發落以示懲創
摺併發是日吏部議陝西巡撫巴延三奏褒城

縣員缺准以候補知縣丁校補授一疏奉

諭旨丁校依議用餘依議又議直隸總督劉峩奏

署東明縣知縣陳子承試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨陳子承依議用餘依議又議湖南巡撫浦霖
奏署通道縣知縣范廷謨試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨范廷謨依議用餘依議又兵部議失察居民
吳企原被盜限滿未獲之山西太原鎮總兵
福敏太等照例罰俸一疏奉

諭旨福敏太著罰俸三個月伊桑阿罰俸一年之
處著註冊餘依議

是日

起居注官玉保顏崇滿

二十八日乙丑內閣奉

諭旨正紅旗漢軍副都統范建忠現在出差哈密
其副都統員缺著王炳署理

是日

起居注官茅元銘白麟

二十九日丙寅內閣奉

諭旨山東兗州府知府員缺著李載陽補授又奉

諭旨戶工二部議奏龍江西新關征收盈餘比較上屆短少銀六萬九千九百餘兩著落該監督照數賠補並請交部議處等語固屬照例辦理第念上年淮陽等處河湖泛漲商民挽運維艱客販無多以致船隻障扞到關稀少盈餘短絀尚屬有因所有西新關短少戶稅盈餘銀二萬一千三百餘兩龍江關短少工稅盈餘銀四

萬八千六百餘兩令該監督成善共賠補銀一萬兩其餘銀五萬九千九百餘兩俱著加恩寬免並從寬免其議處是日吏部議浙江巡撫琅玕奏江山縣知縣員缺准以義烏縣知縣謝惇調補所遺員缺准以候補知縣熊孔言署理一疏奉

諭旨謝惇依議調補餘依議又吏部帶領調任湖

廣總督李侍堯保舉堪勝道員之現任湖北襄陽府知府伊勒圖引

見奉

諭旨伊勒圖著回任又帶領四川總督保寧奏請

陞署叙永同知之現任崇寧縣知縣孫念祖

引

見奉

諭旨孫念祖著照該督所請准其陞署叙永直隸

同知所遺崇寧縣知縣員缺准其將試用知縣

陳文綏署理又帶領調任河南巡撫何裕城奏

請陞署開封府同知之現任洛陽縣知縣李

之駿引

見奉

諭旨李之駿著照該撫所請准其陞署開封府同

知又帶領河南巡撫畢沅奏請陞署睢州知州
拿獲行劫隣省盜犯王二等之前任商邱縣
知縣鞠毓韃引

見奉

諭旨鞠毓韃著回任准其陞署睢州知州又帶領
畢沅等奏請陞署寧陵縣知縣之現任祥符
縣縣丞王嘉訓引

見奉

諭旨王嘉訓著照該撫等所請准其陞署寧陵縣
知縣又帶領山西巡撫勒保保舉堪勝道府之
現任澤州府知府姚學瑛等四員引

見奉

諭旨姚學瑛達明阿王用浚汪志伊俱著回任又
帶領失察西洋人潛住傳教照例降調之直

隸署廣平府事宣化府同知筠翮引

見奉

諭旨筠翮著仍發往直隸以同知用其降級之案
帶於新任又帶領失察不即查拿袁黑等生事
擾害一案之病痊赴補照例降調之前署湖
北漢陽縣事鄖陽府通判孫誦曾引

見奉

諭旨孫誦曾著仍發往湖北以通判用其降級之
案帶于新任又帶領失察西洋人過境照例降
調之湖南署常寧縣知縣閻廣居引

見奉

諭旨閻廣居著仍發往湖南以知縣用其降級之
案帶于新任又帶領失察西洋人過境照例降
調之山西長子縣知縣張思炯引

見奉

諭旨張思炯仍發往山西以知縣用其降級之案

帶于新任是日鑲白旗滿洲都統奏補廣州等

處佐領等缺帶領保送人員引

見奉

諭旨巴音太珠爾根著補授佐領寶明著補授防

禦又鑲藍旗滿洲都統奏補吉林佐領帶領正

陪人員引

見奉

諭旨音登額著補授佐領又鑲白旗蒙古都統奏

補察哈爾世管佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨根敦之世管佐領著策靈朋楚克管理又正

白旗漢軍都統奏補族襲佐領員缺帶領正

陪人員引

見奉

諭旨族襲佐領著佛住管理又鑲白旗漢軍都統

奏補世管佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨陳良之世管佐領著陳文敬管理

是日

起居注官王懿修塘五珠

乾隆五十二年歲次丁未五月十六日壬午
內閣奉

諭旨據常青奏接奉諭旨將郝壯猷押赴軍前正
法在軍將弁無不共知儆懼現俟粵省兵四千
名及駐防滿兵一千名到齊即親自統領嚴整
紀律從南路以至中路北路乘勝長驅自可尅
期蕺事又據柴大紀同日奏到賊匪於二月十

二二十六三月初二二十九四月初四初十十
二等日賊首林奕文聚集夥黨分路侵擾諸羅
縣城該總兵帶領遊擊楊起麟守備邱能成等
督率官兵義民番壯出城迎捕堵殺爭先奮勇
接仗數次共鎗炮打死賊匪數千名生擒正法
者五十餘人割獻首級奪獲器械甚多並有奸
匪張慎徽假充義民先將與逆首林奕文不和

之偽先鋒吳聰擒獻以為憑信帶匪夥三十八
名求在軍前効力希圖內應該總兵見其形跡
可疑密飭將備將匪夥盡行擒獲審得實情將
該犯等即行正法各等語所辦甚是已於摺內
詳悉批示矣柴大紀駐守諸羅兩月有餘賊首
糾合匪徒萬餘屢次侵擾該總兵督率官兵義
民奮勇殺賊連得勝仗斬獲甚多賊匪敗退並

能識破內應奸匪擒拿正法柴大紀前此保衛
郡城及此次駐守諸羅堵禦賊匪始終奮勉出
力朕心深為嘉獎並將私住村庄強取民人衣
物之兵丁陳恩成審明正法衣物給還原主所
辦尤為得當柴大紀著交部議叙並賞給大荷
包一對小荷包二對仍賞常青恒瑞奶餅各一
匣藍元枚柴大紀普吉保奶餅各一匣

明打仗出力將備官員分散賞給俸得均沾恩
賚以示鼓勵至該鎮摺內稱四月初十日與賊
接仗時有鎮標外委劉欽兵丁程忠吳森三名
遇賊懼怯不放鎗炮即行逃回以致賊冲入隊
當經遊擊楊起麟把總程宏猷等奮勇殺賊隊
伍得以不亂隨將劉欽等三名恭請王命在軍
前正法將首級遍傳各營示衆等語所辦甚是

柴大紀深明軍律將臨陣退縮之弁兵立正典
刑並將私取民家衣服之兵丁亦按軍法從事
是以將弁兵丁共知儆懼用命爭先得以屢次
克捷郝壯猷守禦鳳山所帶之兵計有二千餘
名不為不多當賊匪來犯兵丁等畏賊退避即
應將首先退縮數人立時正法使衆知儆懼其
餘飭令向前同心抵禦何致紛紛潰散乃郝壯猷

不惟不能如柴大紀之賞罰嚴明且亦從而逃
回身為總兵大員似此畏怯倖生若不明正典
刑其何以肅戎行而昭軍紀是郝壯猷之身伏
刑誅尤為情真罪當至常青所奏遊擊鄭嵩延
山在鳳山殺賊陣亡又委放兵餉之原任同知
王雋一員罵賊被害俱屬可憫鄭嵩延山王雋
均著交部照例賜卹又柴大紀連次打仗所有

陣亡受傷弁兵俱著該部查明照例賞卹至鄉
勇義民隨同官兵晝夜防範奮勇殺賊實屬可
嘉其陣亡受傷者均著遵奉前旨照兵丁之例
加倍卹賞以示鼓勵又柴大紀奏番民吧咆被
賊炮打死阿里稍被炮受傷較之鄉勇義民更
當優賞著常青分別妥為賞卹其隨同柴大紀
打仗出力之武舉陳宗器黃奠邦亦著常青酌

量獎賞具奏現在粵兵及駐防滿兵均已到齊
常青即可親自統領厚集聲勢鼓作氣廓清
後路以至中路北路會同藍元枚等合兵進剿
直搗賊巢生擒首夥各犯自可尅期歲事綏靖
海疆將此通諭中外知之常青柴大紀摺併發
是日直隸馬蘭鎮總兵李奉堯奏唐三營守
備鄭君泰護庇伊子告假提標左營食糧兵

丁鄭永安抗違假限一摺奉

諭旨這所叅守備鄭君泰著革職其兵丁鄭永安
亦著照所奏責革枷號示儆是日

駐蹕承德府行宮

十七日癸未

上詣須彌福壽之廟普陀宗乘之廟拈香是日內

閣奉

諭旨昨據柴大紀奏四月初十日與賊接仗時有
鎮標外委劉欽兵丁程宗吳森三名遇賊懼怯
不放鎗炮即行逃回隨將劉欽等三名恭請王
命在軍前正法將首級遍傳各營示衆又有私
往村庄強取民人衣物之兵丁陳恩成審明亦
正法衣物給還原主所辦俱屬公當嚴明不料
柴大紀竟能如此可嘉之至已明降諭旨將該

鎮交部議叙矣武職大員如或心存私見於所
屬弁兵有需索不遂及挾嫌專戮情事不但當
革職治罪即予抵償亦所應得若行軍之際紀
律貴在嚴明綠營惡習最為可惡平時則強取
民物臨陣則懼怯退回此而不誅其何以昭軍
令而肅戎行柴大紀深明紀律將臨陣退縮之
弁兵立正典刑並將私取民家衣服之兵丁亦

按軍法從事是以將弁兵丁共知儆懼用命爭先得以屢次克捷而郝壯猷駐守鳳山不惟不能如柴大紀之策勵士卒抵禦賊匪且畏怯倖生從而逃回是以身伏刑誅朕於軍務從來信賞必罰其奮勇出力者必從優甄錄而畏葸退縮者亦必重治示懲國家累洽重熙兵可百年不用不可一日無備前於甘省剿捕逆匪嚴事

後曾命軍機大臣會同該部將行軍紀律擇其緊要數條頒發各營操演講習乃尚有郝壯猷等之畏葸偷生者著將柴大紀用法嚴明得邀獎叙郝壯猷怯懦逃回按律正法之處補行載入通行訓諭各營伍俾專閫大員曉然於敵愾大義共矢蓋忱而將備兵丁人人有勇知方恪遵軍紀盡成勁旅以副朕整飭戎行諄切告誡

之至意又奉

諭旨江南江寧府知府員缺緊要著該督撫於通省知府內揀選一員調補所遺員缺著永齡補授又奉

諭旨前據吏部議處江寧府知府袁鑒在藩司任內於承追雲南尋甸州知州吉孔修賠項輒令將伊兄吉孔惠財產查封以致吉孔惠情急自

縊請將袁鑒照例革任一本朕閱本內閱鶚元原奏未能明晰似袁鑒係奉巡撫劉文轉行該縣辦理其咎尚可寬宥特交李世傑詳查覆奏到日再降諭旨茲據李世傑查奏閱鶚元原行該司文內只稱勒令回籍完項並無查封財產字樣實係袁鑒於轉行文內自行添出等語並據李世傑將原劄詳文批稟封送軍機處備查

是此案之濫添查封字樣致釀人命實屬倡自
素鑒揆其意不過以官項無著即將吉孔惠財
產查封見其辦事認真但因此竟至吉孔惠情
急自縊是素鑒意欲見長致釀命案况奉文查
封之知縣已經革職素鑒之咎實無可寬著照
部議革任是日吏部議廣西巡撫孫永清奏寧
明州知州員缺准以象州知州李早榮調補

所遺員缺准以委用知州永恰布署理一疏
奉

諭旨李早榮依議調補餘依議又議兩江總督李
世傑等奏山陽縣知縣員缺請以鹽城縣知
縣孫慰祖調補所遺員缺准以候補知縣謝
遇補授查孫慰祖歷俸未滿與例不符該督
既經專摺奏請可否准其調補一疏奉

諭旨孫慰祖等准其調補餘依議又議浙江巡撫
覺羅琅玕奏台州府同知員缺准以台州府
通判羅君祚陞署所遺員缺准以候補通判
宋登崙補授一疏奉

諭旨依議宋登崙依議用又議承造剝船辦理妥
速遵

旨議叙之前任湖南布政使今調任江蘇布政使

英善前署江西布政使現任按察使額樂春
等照例紀錄一疏奉

諭旨英善額樂春俱著紀錄二次餘依議又禮部
議福建巡撫徐嗣曾奏龍溪縣已故候選州
同楊釗之妻甘氏現年一百一歲准照例給
銀建坊一疏奉

諭旨依議甘氏著加恩賞給上用緞二疋銀十兩

又議徐嗣曾奏候官縣已故民人陳昌位之妻王氏現年一百二歲准照例給銀建坊一疏奉

諭旨依議王氏著加恩賞給上用緞一疋銀十兩又兵部奏江南建陽衛守備員缺擬以卓異浙江杭嚴衛四幫千總金振掣補一疏奉

諭旨金振依擬用餘依議又奏貴州黎平營叅將員缺擬以預保之貴州提標右營遊擊王格掣補一疏奉

諭旨王格依擬用餘依議又奏廣東雷瓊鎮標右營都司員缺擬以預保之廣東羅定協左營守備戴懷李掣補一疏奉

諭旨戴懷李依擬用餘依議又奏江南江北廟灣營守備員缺擬以預保之江南京口水師營

千總劉崧掣補一疏奉

諭旨劉崧依擬用餘依議又議署湖廣總督舒常奏湖南永順協副將員缺准以湖南衡州協副將梁秉春調補一疏奉

諭旨梁秉春調補湖南永順協副將餘依議又議直隸總督劉峩奏督標前營遊擊李奉瑤准與天津鎮標中軍遊擊李正勇對調一疏奉

諭旨李奉瑤等依議調補餘依議又議察哈爾都統咨該處正黃旗護軍校西里扎布年老患病應准休致查西里扎布曾經出兵打仗殺賊得功牌可否給俸一疏奉

諭旨西里扎布曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原品休致給與全俸以養餘年是日駐蹕承德府行宮

十八日甲申內閣奉

諭旨副都御史劉權之條奏籌辦民食一摺內稱

雍正五年設有八旗官局二十四處內務府官局三處收買旗米官為轉糶後因經理不善裁并停止請仍復八旗官局欽派大臣總理稽查按照舊日章程酌定辦理等語米糧盈絀民食攸關總在轉運流通源源接濟方不至市價騰

踴商民兩受其益如有奸商牙販囤積居奇抬價病民者自應嚴加查察隨時懲治現在京城查出囤戶酌令減價平糶原以平價便民使商販無從逞其壟斷之術而軍民不致食貴之虞但杜弊之法惟在去其太甚若概欲官為經理勢必有所難行從前雍正年間設立八旗內務府官局收買旗米官為轉糶原係一時調劑之

法行之日久即不免滋生弊端是以仍行歸併停止况國家重熙累洽生齒日繁百物價值勢不能不較前增貴即如從前一人之食今且將二十人食之其土地所產仍不能有加是以市集價值不能不隨時增長若如該副都御史所奏欲仿照舊例設立官局無論弊端難以杜絕前已礙難經久施行且官局共有二十七處而

辦事大臣為朕親信者不數簡派况大臣中非辦理機務即係兼綜部旗各事豈能捨繁要政務於不辦令其專司收米販糶之理若僅隨便充數管理於事仍屬無益抑且更滋弊竇均所難免且經管大臣耳目難周雖悉心稽查督辦即家人吏胥等俱可保無暗中串通滋弊情事而奸商狡獪倩雇之人亦難一一從而辨識是

欲防弊而弊即叢生仍屬有名無實殊多未便
但該副都御史既有此奏未必竟無所見著交
留京王大臣會同大學士九卿人旗都統等將
該副都御史所奏是否可行之處詳悉妥議具
奏摺併發又奉

諭旨據李世傑奏接准提臣陳杰扎稱臺灣逆匪
林爽文未經殄滅該提督已奏請在江南各營

內挑兵一千二百名派將備親自統領由陸路
赴閩剿賊等語此事未據陳杰奏到陳杰器小
易盈可笑可怪豈有此理臺灣逆匪不過么膺
小醜連遭敗衄現在添調福建駐防滿兵及粵
浙官兵陸續到齊將軍叅贊等統領進剿無難
克期殲滅陳杰即欲見其勇往急公即請獨自
赴彼出力已屬不當乃不揆事理輕重率行擬

派江南將備紛紛調兵安有辦一臺灣烏合匪
犯遠藉江南兵力而輕率徵調不顧沿海地方
人心惶惑成何事體李世傑飛札阻止無庸調
動所見甚是陳杰甫經擢授提督即如此冒昧
妄行竟係福薄不能承受恩眷著交部嚴加議
處又奉

諭旨烏里雅蘇臺副都統興福之缺著烏密烏遜

補授馳驛前往是日巡視中城給事中勒爾遜
御史劉坤奏據副指揮盛惇復節次詳報孛
獲匪徒請將擾害舖戶扎刺花字胎膊之孛
三自稱綽號花胎膊混駕營城司坊攔阻過
往行人之李四各枷號三個月示衆滿日移
送刑部轉送兵部發往黑龍江給披甲人為
奴一摺奉

諭旨李三李四胆敢於輦轂重地騷擾叫罵且有
綽號混名情節甚為可惡著交刑部嚴行夾訊
如有別項不法情事另行從重定擬若尚無別
情即照該御史勒爾遜等原擬枷號三個月滿
日發往黑龍江給披甲人為奴是日

駐蹕承德府行宮

十九日乙酉

上詣普寧寺普佑寺拈香是日

駐蹕承德府行宮

二十日丙戌內閣奉

諭旨山東學政著劉權之去是日吏部議福建巡
撫徐嗣曾奏迴避建陽縣知縣單去非准仍補

原缺一疏奉

諭旨單去非依議用餘依議又議兩廣總督孫士

殺奏揭陽縣知縣員缺請以始興縣知縣徐
崇奎調補查該員歷俸未滿與例不符既經
專摺奏請可否准其調補一疏奉

諭旨徐崇奎准其調補餘依議又議失察湖北孝
感縣民焦發言等私鑄銅錢之前任漢陽府
知府今任江西贛州府知府德泰降二級調
用前任湖廣總督今派往烏什辦事副都統

職銜特成額降一級留任一疏奉

諭旨特成額降一級留任之處著註冊其因失察
私鑄銅錢議以降調之德泰著該督撫出具考
語送部引見再降諭旨餘依議又兵部議署陝
甘總督永保奏署陝西靜寧協副將富爾賽
歷俸期滿准實授一疏奉

諭旨富爾賽補授陝西靜寧協副將餘依議又議

永保奏署陝甘督標右營守備馬天樞歷俸
期滿准實授一疏奉

諭旨馬天樞依議用餘依議又議江南河道總督

李奉翰奏桃源安清中河營守備員缺准以
裏河營千總王開惠補授一疏奉

諭旨王開惠依議用餘依議又議失察西洋人在
境潛匿傳教之山東歷任各武職照例分別

降調一疏奉

諭旨哈攀鳳著改為降二級從寬留任烏大經著
銷去加一級免其降調其因失察西洋人潛匿
傳教議以降調之武克勤德楞泰金坦鄧應文
著各該督撫出具考語送部引見議以降級用
之李鳳翥俟病痊之日著本籍該撫查照原咨
考語送部引見餘依議又刑部等衙門議山東

巡撫明興奏掖縣民王秉吾戮傷李玉身死
依律擬絞監候查李玉係在保辜限外身死
照例減等發落一疏奉

諭旨王秉吾戮傷李玉至保辜限外身死著從寬
免死減等發落餘依議是日

駐蹕承德府行宮

二十一日丁亥內閣奉

諭旨向來滿洲蒙古繙譯鄉會試每屆三年將應
否舉行之處請旨辦理但旗人進身之途甚廣
並不專藉繙譯且其中亦未見出真才也三年
奏請考試一次為期太近嗣後竟著每屆五年
舉行一次亦不必請旨可行與否矣是日吏部
議失察大名要犯張君德過境不能覺察之
前任江蘇按察使王兆棠照例降調一疏奉

諭旨王兆崇著銷去加一級免其降調餘依議又
議失察屬員於大名要犯王崇仁拿獲後並
不細心詳究復行取保經陝西委員拿獲應
將未能查取叅奏疎縱要犯之前任山東巡
撫今授刑部侍郎即明興照例降級用查明興
任內有革職暫行留任之案無級可降應行
革任一疏奉

諭旨明興著從寬免其革任仍註冊又兵部議署
陝甘總督永保奏署松山營守備肖福祿歷
俸期滿准實授一疏奉
諭旨肖福祿依議用餘依議是日
駐蹕承德府行宮

二十二日戊子

上詣殊像寺廣安寺拈香是日內閣奉

諭旨湖南鎮筵鎮總兵尹德禧辦理所屬勾補塞
苗匪滋事一案甚屬妥速著加恩賞戴花翎是

日

駐蹕承德府行宮

二十三日己丑吏部議直隸總督劉峩奏新
安縣知縣員缺准以候補知縣曾汾補授一
疏內閣奉

諭旨曾汾依議用餘依議又議劉峩奏新河縣知
縣員缺准以候補知縣邱健補授一疏奉
諭旨邱健依議用餘依議又議劉峩奏多倫諾爾
理事同知員缺准以保定府理事同知德溥
調補所遺員缺准以委用同知永清補授一
疏奉

諭旨德溥等依議調補餘依

西巡撫衙

裕城奏清江縣知縣員

謝袞調補所遺員缺准

署理一疏奉

試用知縣朱有成

諭旨謝袞依議調補餘依議又議失察沙州南山

推莫爾圖兩次偷挖金砂之前任甘肅按察

使今任貴州布政使汪新照例每起降一級

用查係革任註冊無級可降應行革任一疏

奉

諭旨汪新著從寬免其革任仍註冊又兵部議雲

貴總督富綱奏雲南龍陵協副將員缺請以

順雲營叅將蘇爾相陞署查該員歷俸未滿

與例不符一疏奉

諭旨蘇爾相著照該督所請准其陞署雲南龍陵

協副將又議山東巡撫覺羅長麟奏署德州營

守備仙鶴林歷俸期滿准其實授一疏奉

諭旨仙鶴林依議用餘依議是日正藍旗滿洲都

統奏補防禦員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨那木善著補授防禦是日

駐蹕承德府行宮

二十四日庚寅內閣奉

諭旨直隸天津府知府員缺著達明阿補授是日

駐蹕承德府行宮

二十五日辛卯

駐蹕承德府行宮

二十六日壬辰吏部議閩浙總督李侍堯奏

候官縣知縣員缺准以候補知縣黃呈暉補

授一疏內閣奉

諭旨黃呈輩依議用餘依議

奏署新蔡縣知縣劉涑

一疏奉

諭旨劉涑川依議用餘依議又戶部議經征歷年

餘地租銀全完之錦州副都統薩克慎等照

例紀錄一疏奉

諭旨薩克慎著紀錄二次餘依議是日

駐蹕承德府行宮

二十七日癸巳內閣奉

諭旨據柴大紀奏四月二十一二十三二十七等

日賊首林爽文潛聚夥黨分路侵擾諸羅縣城

該總兵帶領遊擊楊起麟林光玉邱能成守備

楊彰署諸羅縣陳良翼武舉陳宗器黃奠邦等

督率官兵義民出城迎捕截殺爭先奮勇接仗

數次共鎗砲打死賊匪數百名生擒正法者十

餘名割獲首級奪獲器械甚多賊匪被官兵殺

退四散逃竄等語柴大紀自駐守諸羅以來賊

首糾合匪徒屢次攻擾該總兵督率官兵義民

奮勇截殺連得勝仗賊匪敗退實屬可嘉柴大

紀著交部議叙其隨從打仗出力之遊擊楊起

麟林光玉邱能成守備楊彰陳明德署諸羅縣

陳良翼武舉陳宗器黃奠邦貢監生張明義等

著交常青侯將來到彼時查明具奏候朕降旨

議叙獎擢以示鼓勵又奉

諭旨劉莪奏徐州衛河南前幫漕船於五月初七

日在天津縣於蒲溝地方被盜十餘人持刀上

船劫去旗丁月糧並撥運費

銀一千二百餘

兩及衣飾等物請將天津縣知縣莊士寬把總

程烈巡檢高超一併革職留任協緝等語現在

重運幫船啣尾過津地方應督率

兵役晝夜巡查以昭嚴密乃蒲溝地方竟有盜

匪持刀上船行劫之事非尋常盜案可比知縣

莊士寬犯總程烈巡檢高超俱著革職暫行留

任勒限一年緝拿如限滿不獲即行離任該船

被劫銀兩即著莊士寬全行賠補至天津鎮總

兵托賓泰於漕船過境並不實力督率巡查看

其才具不及王柄天津道玉成於所管地方漫

無查察致有糧艘被劫之事均有應得之咎托

賓泰玉成俱著交部嚴加議處其疎防文武各

官並著該督查明一併交部議處摺並發是日

駐蹕承德府行宮
二十八日甲午內閣奉

諭旨常青自抵臺灣即慰撫義民鄉勇俾伊等共

知激勸用命爭先至賊匪攻犯府城預先設法防

堵並督率官兵鄉勇迎捕截殺屢次克捷甚合

機宜朕心深為嘉獎常青著交部從優議叙至

李侍堯駐劄廈門一帶照料官員配渡迅速及

辦理軍需糧餉均能先事預籌源源接濟孫士

毅挑備粵兵遠赴閩省所有火藥鉛彈等物均

能寬裕籌備解送應用皆屬急公可嘉李侍堯

孫士毅亦著交部議叙又奉

諭旨向來內文武大臣遇有應得處分該部議

以降調革職革任經朕從寬留任及免其革任

者甚多竟有一人而累至十餘業者蓋因該大

臣等屢經簡擢任事有年朕念人才難得且因

其尚係公過是以每遇議處之案酌量從寬

寬留任者不一而足但念愈積愈多未晚視為
故常無所做惕轉屬有名無實積弊未除整飭吏治

之意也著交吏兵二部將內而大學士九卿都
統副都統外而督撫將軍副都統提鎮現任各
員部議降調革職革任經朕從寬留任及免其
革任者查明每人名下所積之案各若干次數
分別開單進呈候朕詳加察核其情案較重處

分數多者或酌量議罰再准開復其情節尚輕
處分數少者或竟予開復庶屢獲愆咎人員知
所做勸而宥其小過益當感激思奮如此各予
以自新之路於澄叙官方較為核實嗣後著吏
兵二部每屆五年即查明具奏一次請旨辦理
著為令又奉

諭旨江寧將軍西明員缺著永慶補授永慶所遺

乍浦副都統員缺著莊浪城守尉科凌阿補授

是日

駐蹕承德府行宮

二十九日乙未內閣奉

諭旨本日召見新授狼山鎮總兵強都據奏伊母
年老懇請留京供職等語強都准其留京著在
頭等侍衛上行走所有江南狼山鎮總兵員缺

著袁國璜補授是日吏部議署四川總督印務
成都將軍鄂輝奏署嘉定府知府倭什布試
俸期滿准實授一疏奉

諭旨倭什布依議用餘依議又議鄂輝奏署襟谷
理番同知楊禮行歷俸期滿准實授一疏奉
諭旨楊禮行依議用餘依議又議山東巡撫覺羅
長麟奏署城武縣知縣李若若試俸期滿准

實授一疏奉

諭旨李若杏依議用餘依議

又

湖廣總督舒常奏湖北黃陂縣知縣員缺請以巴東縣知縣陳士鳳調補所遺員缺以委用知縣呂士銀署理查陳士鳳歷俸未滿與例不符既經專摺奏請可否准其調補一疏奉

諭旨陳士鳳准其調補餘依議又兵部奏福建烽火門叅將員缺擬以預保之廣東海塞營遊擊張天宿掣補一疏奉

擊張天宿依擬用餘依議又奏貴州威寧鎮標左營守備員缺擬以預保之貴州提標右營千總王登榮掣補一疏奉

諭旨王登榮依擬用餘依議是日

駐蹕承德府行宮

三十日丙申

上詣羅漢堂拈香是日內閣奉

諭旨江西贛州府知府員缺著趙其璿補授是日駐蹕承德府行宮

乾隆五十二年歲次丁未六月十六日壬子

內閣奉

諭旨前經降旨將藍元枚調補福建水師提督其
福建陸路提督員缺令常青李侍堯於柴大紀
普吉保常泰三人內察看孰為出力並才具堪
勝提督者保舉一人候朕簡放今觀柴大紀自
駐守諸羅以來屢次將賊敗退實屬奮勉可嘉

柴大紀著即補授福建陸路提督但柴大紀任
臺灣總兵已經數年于該處情形較為熟悉將
來剿賊完竣所有善後事宜正須該提督隨同
常青悉心籌辦柴大紀著以陸路提督兼管臺
灣鎮總兵事務在彼彈壓照料俟軍務告竣候
朕酌量可以調回內地時再行降旨柴大紀未
回任以前所有福建陸路提督事務著常泰暫

行署理是日

駐蹕承德府行宮

十七日癸丑內閣奉

諭旨臺灣逆匪林爽文糾眾滋事黃仕簡任承恩
水陸兩提督帶兵分路進剿並不親臨行陣定
期會攻黃仕簡株守郡城任承恩安坐鹿仔港
僅派委將弁等零星打仗彼此觀望遷延以致

賊匪日久未就撲滅貽誤軍機較之郝壯猷之
遇賊退避棄城潛逃者厥罪維均本應一體寬
以重典因念黃仕簡究因年老患病且伊從前
辦事尚屬奮勉受恩既久任承恩之父任舉前
在金川陣亡伊兄又因救火傷斃皆屬致于王
事任承恩現無子息朕軫念
前經降旨令捐軀
以資其死未即
効命之臣絕嗣是以二人俱

在臺灣一律正法僅令常青將黃任簡任承恩
革職等語解赴行在今據常青等委員將黃任
簡任承恩解到令軍機大臣訊問伊二人雖皆
供認罪狀情甘重典但供詞尚有支吾狡展避
重就輕難以憑信之處已另降諭旨令常青藍
元枚等查明據實覆奏黃任簡任承恩著交刑
部嚴行監禁俟常青等查覆到日若伊二人既

貽誤於前又復巧飾於後即是不知朕恩應仍
按律治以貽誤軍旅之罪亦所自取總之伊二
人之罪案皆係自取但臺灣之事未完雖欲法
外加恩斷無即令其身在外之理應俟該將
軍等查明到日再交軍機大臣會同該部按律
定擬具奏又奉

諭旨湖南鳳凰廳屬苗匪石滿宜等搶奪拒捕滋

事不法一案經總兵尹德禧會同該道親率將
備官兵前往直搗賊巢立時平燬生擒首犯石
滿宜等所辦妥速可嘉已明降諭旨將該總兵
交部從優議叙並賞戴花翎以示獎勵矣此案
該總兵本屬有功無過但尹德禧有奏事之責
於所屬苗匪滋事不法帶兵前往剿捕理應一
面查辦一面具奏由驛馳遞何以該鎮於此事

始終並不專摺具奏僅以咨報浦霖俞金鰲聽
其具奏完事耶且各省總兵俱例得專摺奏事
者原不獨藉悉地方情形且據伊等所奏朕隨
時可以觀其才具器識如該鎮等有喜事見長之
人干預地方事務越俎妄陳者奏到時自難逃
洞鑒至其本分應奏之事理應隨時據實陳奏
乃近來各省總兵所奏不過其報到任及查閱

營伍等事即雨水收成亦不過間有奏及者但該鎮等果能將實在情形據以入告披閱之下設所奏與督撫不同或督撫有諱飾之處原可參互照察降旨詢問以收兼聽並觀之益乃該鎮等即使奏及雨水收成亦不過仿照督撫所奏敷衍塞責又妄用此具文為耶著通諭各省總兵此後遇有地方緊要事件皆須專摺奏聞

即尋常雨水收成情形亦應隨時據實奏報毋得循照舊例虛應故事並著尹德禧於苗匪滋事一案何以不將查辦情形自行具摺之處據實覆奏將此通諭知之是日兵部奏陝西西安城守營叅將員缺擬以貴州上江協右營遊擊廖文藻籤陞廣西提標右營遊擊員缺擬以湖北道士汛營都司張純籤陞貴州提標

右營遊擊員缺擬以甘肅梨園營都司馬雲籤陞貴州鎮遠鎮標右營都司員缺擬以四川越雋營守備熊文元籤陞廣東羅定副將中軍都司員缺擬以陝西提標後營守備蕭玉龍籤陞廣東右翼鎮標右營都司員缺擬以貴州安籠鎮標右營守備施文奎籤陞貴州平遠協左營都司員缺擬以雲南開化鎮

標右營守備湯相籤陞浙江湖州協右營守備員缺擬以山東臨清營千總陳鐸籤陞湖北宜昌鎮標中營遊擊中軍守備員缺擬以陝甘督標前營千總楊傑籤陞貴州思南營遊擊中軍守備員缺擬以四川小河營千總唐士元籤陞一疏奉

諭旨廖文藻等依擬用餘依議又議協辦大學士

仍留陝甘總督任福康安奏甘肅涼州鎮標

前營都司員缺准以候補都司黃聯輝補授

一疏奉

諭旨黃聯輝依議用餘依議又議福康安奏甘肅

新城營都司員缺准以蘭州城守營守備張

洪得陞補一疏奉

諭旨張洪得依議用餘依議又刑部等衙門議失

察兵丁趙生魁鎖押傅友亮縊死之張義營

都司董文珍照例降調一疏奉

諭旨依議其因約束不嚴議以降調之董文珍著

該督出具考語送部引見是日

駐蹕承德府行宮

十八日甲寅

駐蹕承德府行宮

十九日乙卯內閣奉

諭旨現在臺灣剿捕賊匪林爽文等尚未完竣辦

理軍需糧餉等事該省官員恐不敷差委著派

伊轍布德明額李滉李華國袁秉義成明即各

由驛起程前赴閩省交與常青李侍堯酌量分

派差遣委用又奉

諭旨據李侍堯等奏臺灣道永福因前在湖北荆

州府任內失察蔣竺氏被劫歷任知縣諱盜匪

詳一案部議革職現在臺灣逆匪滋事大兵進

剿一切軍營糧餉正需熟手請將該道暫行留

任等語永福著照該督等所請准其暫留臺灣

道之任俟大功告竣該督等核其功過具奏到

日再降諭旨又奉

諭旨據毓奇奏江西贛州幫永建幫漕船於五月

初二日在鄱陽湖陡遭風暴將贛州幫船三隻
永建幫船六隻同時打散漂蕩米一萬一千四
百餘石請將委員千總路悅書楊嘉穀革職留
任并准何裕城咨將所漂米石著落糧道初之
朴賠補並將該道及押運通判徐坤叅奏等語
江西贛州等幫重運漕船在鄱陽湖地方揚帆
渡湖之際陡遇暴風猛雨搶救不及以致糧艘

打散漂失米石究係人力難施尚非該旗丁等
有心玩悞所有漂蕩糧米一萬一千四百六十
三石著加恩豁免無庸令其賠補該道初之朴
及運員徐坤亦著免其議處至該丁軍船遭風
漂沒隨船什物土宜亦漂失一空且淹斃人口
至十七名之多情殊可憫所有該幫漕船九隻
著加恩一體免其賠造照例官為成造隨船席

竹等物一併免賠淹斃人口均著照例分別卹
賞其委運千總路悅書楊嘉穀不能及早催償
渡湖自有應得之咎俱著從寬革職留任俟八
年無過方准開復以示懲儆該部知道摺併發
是日

駐蹕承德府行宮

二十日丙辰吏部議河南巡撫畢沅奏署偃

師縣知縣湯毓倬試俸期滿准實授一疏內

閣奉

諭旨湯毓倬依議用餘依議又議據控提訊輒將
原中差押以致釀成人命之廣東督糧道吳
廷瑞照例降調一疏奉

諭旨此案吳廷瑞於丁鐘所控欠項並不待兩造
到齊質訊輒將原中張承先差押釀成人命該

督撫訊無袒庇同鄉情事但因錢債細故該道
遽將原中先行提訊以致張承先拖累斃命吳
延瑞竟不免瞻顧鄉情之意著照部議降一級
調用又議於所屬驛馬疲瘦缺額不行揭報之
署湖北按察使事荆宜施道陳大文等照例
降調一疏奉

諭旨依議其因屬縣驛馬疲瘦缺額不行揭報議
以降調之陳大文伊勒圖蕭良玉俱著該督撫
出具考語送部引見再降諭旨又議緝拏兇犯
不慎選壯役以致兇犯拒捕傷差之陝西白
河縣知縣李宗信照例降調一疏奉

諭旨依議其因緝拏兇犯不慎選壯役議以降調
之李宗信著該督撫出具考語送部引見再降
諭旨又議報銷造冊遲延違限二年以上之前

署湖北黃岡縣事調任天門縣知縣張瑤照
例降調一疏奉

諭旨依議其因造冊遲延違限二年以上議以降
調之張瑤著該督撫出具考語送部引見再降
諭旨又兵部議署湖廣總督舒常奏湖北施南
協副將員缺准以湖南撫標中軍叅將樊繼
祖補授一疏奉

諭旨樊繼祖補授湖北施南協副將餘依議又議
察哈爾都統咨稱本處護軍校扎木素索諾
木年老患病應准休致查扎木素曾經出兵
打仗捉生得功牌索諾木曾經出兵得功牌
可否給俸一疏奉

諭旨扎木素等著以原品休致扎木素曾經出兵
打仗捉生得功牌給與全俸索諾木曾經出兵

得功牌給與半俸以養餘年是日

駐蹕承德府行宮

二十一日丁巳

駐蹕承德府行宮

二十二日戊午

駐蹕承德府行宮

二十三日己未內閣奉

諭旨舒常等奏湖北武昌府知府員缺緊要現在

通省知府內實無堪調之員請旨簡放等語所

有湖北武昌府知府著穆通阿補授摺並發又

奉

諭旨何裕城奏據星子縣稟報江西贛州永建二

幫漕船出口時阻風落後在左蠡地方陡遇暴

風打散船隻漂蕩米石又據署糧道初之朴稟

稱照料糧船先至前途催趲贛永二幫阻風在

後致遭漂沒各等因但押運廳弁不行沿途照

料任聽尾船落後署糧道顧前失後率行捏報

出境請旨將押運之建昌府通判徐坤革職初

之朴交部嚴加議處所有漂失米石即令初之

朴照數賠交並自請一併交部嚴加議處等語

前據毓奇奏贛永二幫漕船在鄱陽湖陡遇暴

風人力難施非運員玩悞失事可比是以降旨

加恩將漂沒米石免其賠補並該道廳等處分

俱行寬免今據何裕城奏該幫糧艘因阻風並

未出境該道先至前途催趲率行捏報出境該

廳又不沿途小心照料以致尾船落後猝遇暴

風打散船隻漂沒米石閱其情節毓奇係在

聞信具奏自不若該撫見聞較捷應請旨將

顧前失後捏報不實自有應得之咎不得諉之
風狂浪湧人力難施倖邀寬宥著照該撫所奏
將押運之建昌府通判徐坤革職署糧道初之
朴交部嚴加議處其漂失漕米一萬一千四百
餘石即著初之朴照數賠交補運其運丁撫卹
免賠造船之處仍照前旨何裕城既據實奏聞
著免交部是日太常寺奏七月初十日

孝懿仁皇后忌辰致祭

景陵一疏奉

諭旨遣弘融行禮又奏七月十五日致祭

景陵一疏奉

諭旨遣永皓行禮又奏致祭

昭西陵一疏奉

諭旨遣永錫行禮又奏致祭

孝陵一疏奉

諭旨遣亮煥行禮又奏致祭

孝東陵一疏奉

諭旨遣弘謙行禮又奏致祭

泰陵一疏奉

諭旨遣永璫行禮又奏致祭

泰東陵一疏奉

諭旨遣弘閔行禮又奏致祭

孝賢皇后陵寢一疏奉

諭旨遣綿循行禮又奏致祭

端慧皇太子園寢一疏奉

諭旨遣永鑿行禮又吏部議貴

貴東道尼堪富什渾歷俸

奉

期滿准其致祭
疏

諭旨尼堪富什渾依議補授餘依議又議奉天府

府尹奇臣奏署寧遠州知州伊湯女歷俸期

滿准實授一疏奉

諭旨伊湯安依議用餘依議又兵部奏湖南衡州

協副將員缺擬以候補副將趙玉衡補授一

疏奉

諭旨趙玉衡補授湖南衡州協副將餘依議又議

署湖廣總督舒常奏湖南桂陽營叅將員缺

准以永州鎮標中軍遊擊常懷義補授一疏

奉

諭旨常懷義依議用餘依議又議署四川總督鄂

輝奏署疊溪營守備馬登朝照例准實授一

疏奉

諭旨馬登朝依議用餘依議又刑部等衙門議江

蘇巡撫閔鶚元奏睢寧縣民張成毆傷張錫

仁身死依律擬絞監候查張錫仁係在保辜

限外身死可否援例減等一疏奉

諭旨張成毆傷張錫仁至保辜限外身死著從寬

免死照例減等發落餘依議又都察院奏請

欽點考試大宛兩縣審音御史一疏奉

硃筆點出福克進百齡是日

駐蹕承德府行宮

二十四日庚申內閣奉

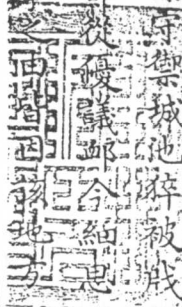
諭旨臺灣逆匪林爽文等糾眾不法劫縣戕官該

處知府同知知縣等官同時被害前經常青等

查明具奏朕因各該員究係守禦城池被戕

害尚屬因公是以降旨交部從優議卹

徐訪知逆匪林爽文等起事



官平日廢弛貪黷視臺灣缺分為利藪不以冒險渡海為畏途轉以得調美缺為喜督撫之無能者又或徇情保荐明知不察曖昧牟利皆不可知而劣員等並不整頓地方撫綏安戢於作奸犯科者又不及早查辦惟知任意侵漁肥橐以致歛怨殃民擾累地方遂使桀驁奸民有所藉口即如上年楊光勳等結黨倡會拒捕戕官

一案該地方官並不徹底嚴究痛示懲創轉將所立天地會名目改為添弟字樣希圖化大為小將就了事此即明證也以致會匪奸民等由是益無忌憚肆意妄行是林爽文等滋事不法實由該地方官養癰貽患釀成事端且林爽文恃其險阻將所住大里杙巢穴繕完布置竟成負固之勢又私造旗幟器械是其蓄謀已非一

日該地方官平日惟利是圖漫無覺察形同木偶以致逆匪等乘機竊發猖獗蔓延至今剿捕尚未歲事除近年歷任督撫已令罰賠軍餉及現任文武各員令常青李侍堯等於事竣後嚴行查叅辦理外至此次被害各員身任地方全無整頓致使民怨滋事賊匪縱橫使其身若在尚當治以重罪今雖身被戕害已為僥倖非釁

起倉猝仗節抱忠歿於王事者可比今不加追究將伊等家屬治罪已屬格外從寬而伊等種種廢弛激變縱惡養奸貽害地方該處民人受其荼毒若此等劣員仍得復邀恩卹之榮於身後又何以警貪劣而肅官方不可託之善善欲長惡惡欲短也所有已經具題請給卹典者著暫停辦給其未經咨部具題者從嚴核辦此等

被害各員內或有平日居官尚稱廉謹當被賊
戕害時實能抗節罵賊而死及到任未久在倡
會以後者該省官民自有公論著交常青李侍
堯詳確訪查據實具奏到日另行分別降旨以
示彰善禪惡微勞必錄至意又奉

諭旨新放直隸口北道伊勒圖前在襄陽府知府
任內因應山縣驛馬疲瘦缺額一案部議降二

級調用已降旨著該督出具考語送部引見但
念其究屬因公失察小過且甫經引見看其才
具尚可將來送部引見時其降調之處原可寬
免伊勒圖著改為革職留任無庸送部引見又
奉

諭旨湖南衡州府知府員缺著潘成棟補授又奉
諭旨新授鴻臚寺卿朱依魯前來行在謝恩當經

召見看其精神恍惚病體委頓難以供職朱依
魯著以原品休致所有鴻臚寺卿員缺著劉樽
補授其降級之案改為革職留任又奉

諭旨據綿恩奏訪查山西西峯寺有婦人張李氏
自號西峯老祖活佛能看香治病誑騙財物當
即派司員同宛平縣密赴該處查辦搜出符咒經
卷畫像及金銀衣服器皿均非該氏應有之物

並詢出原任大學士三寶之寡媳現任銀庫員
外郎恒慶之妻俱施銀蓋廟捨婢焚修等情節
一摺閱之殊堪駭異張李氏係鄉野愚婦胆敢
潛住近畿妄稱活佛畫符賣藥煽惑人心誑騙
貲財至數萬金置買房地開設舖面且該犯擅
用黃緞坐褥靠墊情節甚為

惡著交部議處
刑部堂官嚴
密稽察
張李

氏並非喇嘛竟敢擅用黃緞坐褥將來定案時
應照例從重問擬不得僅照^{刑部}辦惑眾辦理致
有輕縱所有該犯及伊子財產俱應入官恒慶
著解任歸案聽候審訊其張李氏之子張明德
廣月及案內有名犯証一併嚴審定擬具奏摺
併發是日

駐蹕承德府行宮

二十五日辛酉

駐蹕承德府行宮

二十六日壬戌內閣奉

諭旨前據蘭第錫畢沅奏黃河水勢異漲南岸睢
州下汛十三堡本無修防處於六月初九日寅
刻堤工漫水二十餘丈分溜不過二三分現在
督率文武員弁捆埽堵截以期掛淤集事并各

自請交部治罪等語前因該督等奏黃河水勢
於伏汛前暴漲即經降旨諭令加意修防乃睢
州下汛十三堡竟有漫溢之事但念該處原無
埽工且因水勢陡長又值急風暴雨以致搶廂
不住是以將蘭第錫畢沅所請交部治罪之處
加恩寬免至漫口不過三十餘丈正河溜勢未
掣口門分溜不過二三分尚易堵築是以諭令

該督等上緊籌辦以期速行堵合本日據蘭第
錫等奏稱漫口漸次塌寬已掣溜六七分十八
十九二十等日大雨傾注北風大作河水復又
增長大溜全注口門正河存水僅止一分現在
催儻承辦之員竭力上緊堵築等語是睢州下
汛十三堡已成決口大溜全^{掣不可無重臣前}
往督辦阿桂於堵築事宜屢^{經任使素為蒞練}

呼應較靈著即馳驛前往睢州江次熟籌妥辦
並即自京起程毋庸前來行在請訓昨據李奉
翰書麟等奏聞豫省南岸堤工有漫溢之處即
派令臬司康基田造擊韓勝帶領備弁兵丁馳
赴豫工隨同進埽堵築李奉翰亦俟過秋汛即
前往幫同辦理書麟俟淮揚廳修守事宜商定
即往漫水下注之亳州蒙城一帶查勘被水情

形等語但本年湖水節經漲發水勢較大現在
睢州南岸漫水由亳州等處下注入淮匯歸洪
澤湖將來湖水自必日就增長該處高堰一帶
堤岸關係緊要皆須李奉翰在彼督率修防李奉
翰不必前赴豫省竟當在清口洪澤湖等處會
同李世傑加意防護以期鞏固書麟赴亳州蒙
城等州縣查勘被淹情形即由彼至睢州本屬

順道著書麟於查勘災務事畢即交地方官妥
協經理勿使一夫失所即行就便前赴工次彼
時阿桂自己到工即可幫同蘭第錫等商辦堵
築事宜至睢州漫工現築圈堤挑水壩固為挑
溜進占而設但亦須察看情形現在大溜全掣
口門必寬不妨次第進占若口門漸收而溜勢
湍激遽行進埽不能堅實到底徒滋糜費則不

可不相機妥辦目下已過立秋節屆處暑但庚
伏未過又值大雨之際水勢有增無減恐一時
未能堵合然計阿桂書麟抵工正屆秋汛末期
伊等商辦一切雖未免有需時日不久即過白
露俟水勢漸退自易為力彼時料物充足兵夫
踴躍合龍可期穩固至蘭第錫等奏現須撥料
等項幸今歲秋田豐稔購辦辦尚易等語本年秋

成尚早摺內所稱秋田豐稔自指去歲而言乃
悞寫今歲字樣已於摺內改正採青一事斷不
可行新糧既不堅實體又重脆於壩工既不能
得益且未經成熟即行刈割以致小民不能收
獲甚為可惜及至將來築壩急需料物時轉致
短絀殊屬兩有妨碍自應先儘去歲舊料買用
斷不可存欲速之見用青苗也阿桂已差往豫

省督辦漫工著添派綽克托辦理留京事務綽
克托身兼兩部職任較繁著暫不必辦理戶部
事務所有未回鑾以前戶部尚書著金簡暫行
兼署是日吏部議署湖廣總督舒常奏署黃岡
縣知縣王正常試俸期滿准實授一疏奉
諭旨王正常依議用餘依議又議山西巡撫勒保
奏署石樓縣知縣劉世傳試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨劉世傳依議用餘依議又兵部奏陝西黃甫
營遊擊員缺擬以預保都司馬勝國掣補一
疏奉
諭旨馬勝國依議用餘依議又議兩廣總督孫士
毅奏廣西慶遠協右營守備員缺准以預保
千總郭升榮陞補一疏奉

諭旨郭升榮依議用餘依議又議漕運總督毓奇
奏浙江温州衛守備員缺准以試用守備高
景洙補授一疏奉

諭旨高景洙依議用餘依議又議辦理臺灣賊匪
督率官兵鄉勇屢次克捷之將軍常青等遵
旨議叙照例加級紀錄一疏奉
諭旨常青著軍功加三級李侍



紀錄二次孫士毅著將軍功府一級林前降
級仍著軍功紀錄二次又議裁殺臺海賊匪

得勝仗之福建陸路提督柴大紀遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨柴大紀著軍功加一級是日

駐蹕承德府行宮

二十七日癸亥內閣奉

諭旨湖北荆宜施道員缺著沈世燾補授又奉

諭旨廣東督糧道員缺著俞廷垣補授又奉

諭旨前因內外文武大臣遇有應得處分部議降

革經朕從寬留任及免其革任者甚多竟有一

人而累至十餘案者未免視為故常無所警惕

轉屬有名無實非所以整飭官方之意是以諭

吏兵二部將內外文武大臣每人名下所積處

分查明具奏候朕核辦並令嗣後每屆五年查

奏一次茲據該部摘叙原案次數開單呈覽朕

詳加察核在京大臣內如喀寧阿穆精阿所得

降革處分俱已積至七案姜晟積至九案處分

數多喀寧阿穆精阿著將任內應得廉俸分例

各罰出二年姜晟已任湖北巡撫但其所處

分俱係在刑部侍郎任內之事仍著將侍郎任

內應得廉俸分例罰出二年所有喀寧阿穆精

阿姜晟從前降革處分俱准其開復至各省督

撫處分積至六案以上至十案者八人內如尚

書德保侍郎李封所得降革處分多係從前在

巡撫任內之事德保李封俱著罰出巡撫養廉

二年劉我李世傑孫士毅開編元軍元俱著照

本任罰出總督養廉二年內

文經等滋事一案停止本年廉俸

營火藥短少一案停止三年廉俸此二案不

尋常失察仍著照舊扣支外畢沅並未挈獲要

犯其本年廉俸仍照前旨支給一半雅德現以

副都統銜在喀什噶爾辦事所得處分俱在從

前督撫任內者著罰出總督養廉二年所有德

保劉我李世傑孫士毅雅德閔鶚元畢沅李封

從前降革處分既已議罰俱著准其開復伊等

俱係屢獲愆尤經朕從寬留任今又概予開復

益當倍加警省感激思奮以副朕棄瑕委任之

意此外降革處分俱在五案以下之各員統俟

五年查辦時該部查明具奏再行核辦是日

駐蹕承德府行宮

二十八日甲子

駐蹕承德府行宮

二十九日乙丑內閣奉

諭旨鑲藍旗蒙古副都統員缺著海寧補授又奉

諭旨據長麟阿那布同日奏宣州幫漕船於六月

十九日在鉅野縣通濟閘地方猝風暴雨交作

拔起大樹帶斷鉛纜旗丁王宗城等軍船六隻

被風拔倒大桅船身破裂登時沉溺除已撈獲

濕米外計冲瀆虧折米九百五十石押令抵通

買補交納等語漕船在內河失風沉濕米石例

應著落旗丁賠補但念此次宣州幫船猝遇風

暴斷纜拔桅又值昏夜風大溜急究屬人力難

施非該旗丁等玩悞失事者可比所有破裂船

隻仍令該旗丁自行修造撈獲米准其分限

臨倉買餘抵補其漂沒米石著加恩免其賠補

摺併發是日吏部議廣東巡撫圖薩布奏署陸

豐縣知縣許懿善試俸期滿准實授一疏奉

諭旨許懿善依議用餘依議又議江蘇巡撫閔鶚

元奏青浦縣知縣員缺准以候補知縣孫鳳

鳴補授一疏奉

諭旨孫鳳鳴依議用餘依議又兵部議署湖廣總

督舒常奏湖北施南協中軍都司員缺准以

預保守備張順陞補一疏奉

諭旨張順依議用餘依議是日

駐蹕承德府行宮

乾隆五十二年歲次丁未秋七月初一日丙寅內閣奉

諭旨阿桂現在出差所有四庫全書遺失底本及書目卷帙著添派惠齡嚴行查辦是日

駐蹕承德府行宮

初二日丁卯內閣奉

諭旨副都統王炳係王進泰之子曾任總兵人尚

明敏現在閩省總兵調赴臺灣進剿賊匪者甚多署缺需員王炳著即馳驛前往福建交李侍堯酌量委署不必來行在請訓是日

駐蹕承德府行宮

初三日戊辰內閣奉

諭旨前據何裕城奏撥運閩省米石已陸續從新城縣一路運送又檢查舊案有改由海運較為

便捷之案隨札詢江蘇督撫查明海船俟咨覆到日分撥起運等語因該撫辦理此事輾轉札詢意存推諉已節次降旨申飭並諭李世傑閱鶚元將運米海船於何日預備齊集及江西米石於何日運到裝載開行之處查明具奏昨據閩鶚元覆奏何裕城咨商海運情形摺內亦未聲叙明晰茲據李世傑奏稱初接江西省來咨

即以上海船隻甚少現在江浙僱用已不無竭蹶所有江西米石不如全由新城陸路運送可以計日而到之處飛咨何裕城是李世傑之過但未將此咨奏明耳又稱旋准該撫咨覆以新城陸路過嶺過渡運送頗難必須由海道分運方克迅速等因隨飭司道等速辦船隻以便江西省運米到日即行過載但何裕城來咨止令

江蘇預備海船其分運米若干石何日開行之處均未聲叙等語李世傑素能辦事所奏原委始為詳晰是此事竟係何裕城辦理錯悞軍需米石關係緊要何裕城既查明改由海運較為便捷即應一面將應運米石數目及開行日期飛咨李世傑等預備船隻一面將應運之米運至海口等候以便裝載開行並應以海口船隻倘屬短少或將江浙米石先行運送俟江西之米陸續運赴海口時再將接運之處一併咨明庶李世傑等可以酌量籌辦乃徒事往返札商並不將運米實數及何日可以運到海口過載開行之處詳晰咨會而又不行詳悉奏明是何裕城不但意存推諉併不知事理輕重實屬糊塗著交部議處李世傑摺併發是日吏部議署

湖廣總督舒常奏漢陽縣知縣員缺准以廣濟縣知縣王鵬南調補所遺員缺准以候補知縣黃愷補授一疏奉

諭旨王鵬南等依議調補餘依議是日鑲黃旗滿洲都統奏補印房章京世管佐領各缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨文惠著補授印房章京富寧阿著補授世管

佐領是日

駐蹕承德府行宮

初四日己巳工部尚書金簡等奏賞卹孫景燧墓祭銀兩據伊子孫曰增具呈並同鄉官戶部郎中吾祖望印結赴部親領經司員具領付庫給發入於月摺具奏而臺灣緩辦卹

典卽於是日早報到未將給發緣由具奏實屬疎忽請交部察議至郎中吾祖望聲稱孫曰增已經回籍只留家人守候請領所領銀兩現存伊處卽日繳回等語前後情節殊多疑實應行文浙江巡撫查明一摺奉

諭旨此案孫景燧之子孫曰增既在京親領該部據呈給發尚無不合承辦司員及出結官俱不

必交部議處亦無庸行文浙江巡撫查訊其孫曰增所領銀兩現已繳回貯庫應俟將來查明另行降旨辦理至工部於六月二十六日早接到諭旨卽應將摺內孫景燧家屬請領卹賞銀兩一款扣除乃仍復列入具奏殊屬疎忽所有工部堂官俱著交部察議是日

駐蹕承德府行宮

初五日庚午

駐蹕承德府行宮

初六日辛未內閣奉

諭旨長麟奏濟南府知府史傳遠染患痰疾難以就痊懇請解任回籍調理等語史傳遠准其回籍調理其山東濟南府知府員缺緊要著該撫於通省知府內揀選一員調補所遺員缺著宋

思仁補授是日太常寺奏八月十一日

太祖高皇帝忌辰致祭

福陵一疏奉

諭旨遣續恒行禮又奏八月初九日

太宗文皇帝忌辰致祭

昭陵一疏奉

諭旨遣和齊匡郭行禮又吏部奏補光祿寺卿員

缺照例將應陞人員開列請

簡一疏奉

諭旨德英著調補光祿寺卿所遺太常寺卿員缺

著多隆武補授又議陝西巡撫巴延三奏署興

平縣知縣謝天爵試俸期滿准實授一疏奉

諭旨謝天爵依議用餘依議又兵部議協辦大學

士仍留陝甘總督任福康安奏陝西神木協

中軍都司員缺准以巴里坤鎮標中營守備

楊應春陞補一疏奉

諭旨楊應春依議用餘依議是日廣西巡撫孫永

清奏全州民人蔣國偉爭婚互搶毆斃三命

該知州陳肇輅違例妄斷以致釀成命案又

稽延不報恐有受賄枉斷情事請將該員革

職以便提同案內犯証嚴審一摺奉

諭旨這所叅全州降調知州陳肇輅著革職交該

撫提同案內犯証一併嚴審定擬具奏該部知

道摺併發是日

駐蹕承德府行宮

初七日壬申內閣奉

諭旨戶工二部議覆淮安等關一年期滿徵收盈

餘比較上三屆共短少銀九萬三千餘兩著落

該監督照數賠補並請交部察議等語回屬照

例辦理第念上年廬鳳淮揚等屬被水歉收又

兼豫東二省積歉之後豆麥等貨出售無多商

販船隻到關稀少盈餘短絀尚屬有因所有此

次淮安關短少盈餘銀七萬八千三百兩海關

短少盈餘銀二千四百餘兩宿遷關短少盈餘

銀一萬二千七百餘兩共短少銀九萬三千餘

兩著該監督補銀一萬兩其餘八萬三千餘兩俱著加恩寬免並免其察議餘依議又奉

諭旨據順天府奏查抄西峯靈應二寺及張李氏之子張明德本籍家產什物請發交崇文門及地方官變價入官一摺張李氏以鄉野愚婦潛住京畿畫符賣藥誑騙財物所有查出該氏及伊子家產什物自應入官但西峯寺靈應寺及

所有經卷畫像佛龕伍供旛掛鐘磬等件俱係寺廟應用之物著六阿哥照單檢出仍留於該寺安設其餘應入官者再交內務府發交崇文門及地方官分別辦理至西峯靈應二寺既經供奉佛像並著六阿哥選派誠實男僧令其住持焚修又奉

諭旨安徽徽州府知府員缺著峻亮補授又奉

諭旨據太常寺夾片奏稱秋祭雙忠祠出派弘豐

行禮等語各神祠及祭各王等自應出派宗室等行禮至雙忠祠昭忠祠俱係祭功臣之所理應由各散秩大臣內出派行禮何必派宗室大臣德保等見不及此甚屬不曉事體所有此次派出關帝廟行禮之善明著與弘豐調換改簽外即著為令是日

駐蹕承德府行宮

初八日癸酉內閣奉

諭旨湖南鹽法長寶道員缺著姚學鏞補授又奉諭旨據御史莫瞻菴奏續辦三分書從前校對生監僅二十餘人又止校過一次恐多訛謬請將現在詳校官所閱書籍籤改冊稽核等因欽此



以防迴護仍令大臣一二員總校其校補
填字紙張匠役及派出各員分湯等費校
對承辦等語續辦三分書止由該生監等校對

一次其中訛謬必多現在文淵文源兩閣業經
詳校官籤改記檔自應將三分書查照挖改以
免舛錯著照該御史所奏於文淵閣校改完竣
即令原辦三分書校對在武英殿悉心覆校逐

一更正但該御史請令該校對等迴避原校之
書以防迴護一節尚未妥善三分書既係該校
對等承辦即彼此互相閱看皆係原辦之人仍
難免心存迴護所有此項書籍著令該校對等
覆閱查改後仍交現在派出校勘文淵文源兩
閣書籍之大臣官員等再行詳校如有看出語
句狂悖及潦草荒謬者詳校大臣即行奏明將

原校對斤革除書內校出錯字應行填寫並抽
換篇頁應令該校對自行繕辦及收發書籍等
事交原管提調經理外其紙張匠役及派出各
員茶湯等項仍著照文淵文源兩閣之例官為
辦理至三分書內業經發往江浙各冊著於校
勘事竣後將簽改冊檔抄寄陸費墀一體遵照
查改以臻完善摺併發是日吏部帶領本年六

月分月選籤陞湖北德安府知府之戶部郎
中盛德昌籤陞福建延平府知府之兵部郎
中佟兆寧籤陞山西隰州直隸州知州之兵
部主事韓湯衡籤陞安徽池州府同知之兵
馬司指揮牟文烜籤陞江蘇徐州府通判之
內閣中書楊德芳籤掣雲南知府知縣
筠湖南清泉縣知縣吳繩

黃大有廣西陽朔縣知縣

知縣教時忤直隸故城縣知縣

溫江縣知縣方寶昌陝西白河縣知縣徐文

博引

見奉

諭旨盛德昌等依擬用餘依議又帶領雲貴總督

富綱保舉堪勝道員之貴陽府知府宋文型

引

見奉

諭旨宋文型著回任又帶領兩江總督李世傑保

舉堪勝知府之現任江蘇蘇州府總捕同知

夏家瑜引

見奉

諭旨夏家瑜著回任又帶領湖南巡撫浦霖保舉

堪勝知府之現任寶慶府同知孫藩等二員引

見奉

諭旨孫藩張朝樂俱著回任又帶領協辦大學士

仍留陝甘總督任福康安奏請陞署靜寧州

知州之現任鎮番縣知縣王賜均引

見奉

諭旨王賜均著照該督所請准其陞署靜寧州知

州所遺鎮番縣知縣員缺准其將委用知縣文

楠署理又帶領揀補江西饒州府景德鎮同知

之現任吏部司務皂福住等三員引

見奉

諭旨江西饒州府同知員缺著武鴻補授又帶領

原任安徽巡撫農起奏

惜重貲購線拿獲服闋

和縣縣丞不

知縣鄭維祉引

見奉

諭旨鄭維祉著以同知用又帶領山西巡撫勒保

奏點解接遞盤獲盜首之陽曲縣知縣蔡齊

明引

見奉

諭旨蔡齊明著回任以同知用又帶領直隸總督

劉我奏請陞署南皮縣知縣之現任新城縣

管河縣丞文調元引

見奉

諭旨文調元著照該督所請准其陞署南皮縣知

縣又帶領兩江總督李世傑等奏請陞署東臺

縣知縣之現任東縣縣丞李琛引

見奉

諭旨李琛著照該督所請准其陞署東臺縣知縣

又帶領四川總督保寧奏請陞署成都縣知

縣之現任冕寧縣縣丞胡廷章引

見奉

諭旨胡廷章准其陞署成都縣知縣又兵部帶領

保列一等之四川會川營叅將趙秉彛引

見奉

諭旨趙秉彛准其一等註冊又帶領邊俸俸滿之

湖北衛昌營遊擊豆霽雲南普洱鎮標右營

守備洪德引

見奉

諭旨豆霽洪德俱著回任候陞又帶領推陞福建

福寧鎮標左營遊擊張世全江蘇鎮標右營守

營左營都司鍾世元廣東鎮標右營守

都司楊崧引

見奉

諭旨張世奎准其陞用福建福寧鎮標左營遊擊

鍾世元准其陞用江南江寧城守營左營都司

楊崧准其陞用廣東肇慶城守營中軍都司俱

著赴新任又帶領選補福建汀州鎮標右營遊

擊李紹曾江西南昌衛守備張顯引

見奉

諭旨李紹曾張顯俱依擬用又帶領題補浙江嘉

興協中軍都司劉大勳引

見奉

諭旨劉大勳准其補授浙江嘉興協中軍都司著

赴新任又帶領揀補直隸蔚州路西成都司之

鑲白旗滿洲委署烏鎗護軍叅領特通額委

署前鋒叅領文魁引

見奉

諭旨直隸蔚州路西成都司員缺著特通額補授

又帶領揀補山東東平守禦所千總之候選

衛守備李選棟李光文引

見奉

諭旨山東東平守禦所千總員缺著李選棟補授

是日

駐蹕承德府行宮

初九日甲戌內閣奉

諭旨浙江督糧道員缺著鹿荃補授又奉

諭旨本年熱河滿洲兵丁射步把甚好且平素當

差亦皆奮勉著施恩普賞

丁亦各賞一月錢糧以示

鼓舞之旨又奉

諭旨據永鐸等奏稱巴里坤吐魯番管佐領
缺擬定正陪人員奏請補放等語著照永鐸等
所請額圖渾所遺巴里坤佐領員缺著擬正之

防禦鄂博圖補授烏爾占所遺吐魯番佐領員
缺著擬正之防禦西林布補授並著遇便送京
補行引見又奉

諭旨據都爾甲等奏稱因辦給參票短少將承辦

各員及該管大臣等交部分別查議等語但此
等挖參人役或一年多一年少亦事之所有非
人意所能勉強惟該管大臣董率屬員實心妥
辦嚴查毋致私行盜挖而已只可驗票盡力辦
放以實數具奏並不在拘泥從前辦放數目以
沽奏請查議虛名除將此次應行查議之大臣
官員等俱著寬免外嗣後該管大臣官員等惟

留心毋致私行採參盜挖以盡力辦放挖參驗
票是日太常寺奏八月初三日致祭
社稷壇一疏奉

諭旨遣永錫恭代又奏八月初二日致祭

先師孔子一疏奉

諭旨遣劉墉行禮兩廡遣翰林官二員各分獻又

奏八月初四日致祭

關帝廟一疏奉

諭旨遣弘豐行禮後殿遣陳桂森行禮又吏部議

直隸總督劉峩奏肅寧縣知縣員缺准以候

補知縣孫炳文補授一疏奉

諭旨孫炳文依議用餘依議又議協辦大學士仍

留陝甘總督任福康安奏

以委用同知慶格借補



諭旨慶格依議用餘依議又議山東巡撫覺羅長

麟奏館陶縣知縣員缺准以候補知縣陳蘭

徵補授一疏奉

諭旨陳蘭徵依議用餘依議又議山西巡撫勒保

奏徐溝縣知縣員缺准以絳縣知縣林琅奉

調補所遺員缺准以試用知縣宋如林署理

一疏奉

諭旨林琅奉依議調補餘依議又議湖南巡撫浦

霖奏署永興縣知縣張博試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨張博依議用餘依議又議刑部駁改各省督

撫案件應將主稿及同畫稿之司員照例議

叙加級紀錄一疏奉

諭旨王德著紀錄一次餘依議又兵部議協辦大

學士仍留陝甘總督任福康安奏甘肅西寧

鎮標左營遊擊員缺准以陝西靖遠營都司

趙國斌補授一疏奉

諭旨趙國斌依議用餘依議又議福康安奏廣武

營守備員缺准以署漢武營守備張愷補授

一疏奉

諭旨張愷依議用餘依議又議署湖廣總督舒常

奏湖廣督標左營守備王調准與湖南宜章

營守備聞朝傑對調一疏奉

諭旨王調等依議調補餘依議是日

駐蹕承德府行宮

初十日乙亥內閣奉

諭旨李侍堯奏閩省現在軍

數差委請揀發叅將二員

務請武職人員不
得與文職人員
同列

守備六員速飭來閩以資差遣委署等語著留京辦事王大臣會同該部於候補候選及應陞人員內詳慎揀選具奏即令該員等騎減從迅速馳驛前往福建交與李侍堯差委至該員等到閩之後毋庸再予廩給是日留京辦事王大臣奏審訊西峯寺惑眾斂錢之張李氏工匠任五擬絞立決一摺奉

諭旨此案工匠任五即任極盛因修廟圖利起意為張李氏裝點畫像妄稱該氏為菩薩佛祖轉世惑誘遠近民人是張李氏之種種不法皆該犯慫恿所致實為此案罪魁且騙得修廟工銀八百餘兩亦應依竊贖滿貫例辦理任五著照留京王大臣等所擬即行處絞至張李氏假神畫符以燒香治病為名惑眾斂錢固屬不法但

鄉村愚婦不過為圖騙錢財起見究無悖逆詞語張李氏著從寬改為按例應絞監候秋後處決餘依議是日

駐蹕承德府行宮

十一日丙子內閣奉

諭旨江蘇鎮江府知府員缺著汪志伊補授其所遺員缺著李大霽補授又奉

諭旨陝西興漢鎮總兵員缺著劉允桂補授又奉諭旨劉峩奏據靜海縣知縣劉以觀稟報山東學政劉權之家眷由水路前赴山東於六月十八日在靜海縣地方被盜十餘人持刀上船砍傷水手二人並砍開衣箱搶去銀兩請將靜海縣知縣劉以觀把總王崇書靜海營都司劉法程交部嚴加議處等語已批交該部議具奏矣

靜海係天津內河地方乃有盜賊多入持刀行劫砍傷水手搶去銀兩官眷船隻高且被劫則商民往來豈不更多貽累似此有害行旅非尋常失察疎防可比不獨鎮道等毫無稽察咎有難辭即該督於所屬地方平日漫無整飭所司何事亦有應得處分著劉莪即將該管文武各員查明據實叅奏以示懲儆是日

駐蹕承德府行宮

十二日丁丑內閣奉

諭旨據常青等奏稱此次征勦臺灣逆匪等柴大紀蔡攀龍臨陣打仗實屬奮勉超眾等語柴大紀蔡攀龍在陣打仗如此超眾向前奮勉實屬可嘉著加恩賞給柴大紀壯健巴圖魯名號蔡攀龍強勝巴圖魯名號仍照巴圖魯例由彼處

各賞銀一百兩以示獎勵又奉

諭旨長班校尉二十四名著著施恩每名各賞給一月錢糧是日吏部議安徽巡撫書麟奏廬州府通判員缺准以候補同知靈璧縣知縣徐嘉祿借補一疏奉
諭旨徐嘉祿依議用餘依議又議直隸總督劉莪奏署新城縣知縣歐陽泰健試俸期滿准實

授一疏奉

諭旨歐陽泰健依議用餘依議又兵部議協辦大學士仍留陝甘總督任福康安奏陝西神木協副將增福歷俸期滿准實授一疏奉
諭旨增福補授陝西神木協副將餘依議又議閩浙總督李侍堯奏浙江黃巖鎮標中軍遊擊員缺准以瑞安協中軍都司董步雲借補一

疏奉

諭旨董步雲依議用餘依議又奉江甯揚州船務

營守備員缺擬以江南金山營千總郭顯章

籤陞一疏奉

諭旨郭顯章依擬用餘依議又議

盛京將軍宗室永瑋等奏鑲黃旗滿洲協領阿

揚果爾年老患病應准休致查阿揚果爾曾

經出兵打仗得功牌可否給俸一疏奉

諭旨阿揚果爾曾經出兵打仗得功牌著以原品

休致給與半俸以養餘年又議永瑋等奏正紅

旗滿洲防禦全德患病應准休致查全德曾

經出兵打仗殺賊得功牌可否給俸一疏奉

諭旨全德曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原

品休致給與半俸以養餘年又議雲貴總督

富綱奏雲南鎮雄營右軍守備趙瓏年老患

病應准休致查趙瓏曾經出兵打仗受傷可

否給俸一疏奉

諭旨趙瓏曾經出兵打仗受傷著以原品休致給

與全俸以養餘年又直隸總督劉峩奏永定河

南岸同知員缺請以大名府管河同知嵇承

孟調署一摺奉

諭旨著照所請行該部知道是日

駐蹕承德府行宮

十三日戊寅內閣奉

諭旨據舒常姜晟奏湖北省早稻豐收秋成可卜

大有現在動支倉穀二十萬碾米一十萬石遴

委委員分作四起由江西一路運往閩省以濟

軍儲舒常並往湖南與浦霖等勸穀碾米運

閩以資備用等語現在臺灣剿捕逆匪尚未戡事一切軍糧及撫卹平糶等事所出需資較多不妨寬為預備該督等能不分畛域先事預籌殊屬急公舒常姜晟俱著交部議叙又奉

諭旨福建陸路提督署臺灣鎮總兵柴大紀自剿捕逆匪以來督率官兵義民奮勇殺賊一切調度深合機宜著授為叅贊協同將軍常青等悉

心籌辦以期迅奏膚功又奉

諭旨臺灣現在剿捕賊匪尚未竣事所有軍需一切費用繁多著戶部於附近省內酌撥銀一百萬兩令該督撫等派員解赴閩省交與該督等存貯備用又奉

諭旨據常青等奏稱烏什哈達自到臺灣軍營以來每逢打仗爭先奮勉等語烏什哈達至臺灣

打仗爭先前進殲殺賊衆如此奮勉殊屬可嘉從前烏什哈達曾經賞過發福哩巴圖魯名號綠事將巴圖魯名號革去今施恩著仍復賞給發哩巴圖魯名號以示鼓勵是日正黃旗滿洲都統奏補霸州協領員缺帶領正陪人員引

見奉
諭旨常福著補授協領又正白旗滿洲都統奏補

勲舊佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨清德著承襲勲舊佐領又正紅旗滿洲都統奏補印務叅領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨皂王保著補授印務叅領又奏補叅領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨金樑著補授參領德恒著補授副參領貴中

著補授印務章京又鑲紅旗滿洲都統奏補參

領各缺帶領正陪人員奉

諭旨五福興阿著補授參領阿林太著補授副參

領同安著補授印務章京依聖保著補授佐領

又正藍旗滿洲都統奏補防禦員缺帶領正

陪人員引

見奉

諭旨七親太雅倫俱著補授防禦又正黃旗蒙古都

統奏補佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨伍三保著補授佐領又正黃旗護軍營奏補

護軍參領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨伊吉蘇著補授護軍參領鄂金保著補授副

護軍參領又正紅旗護軍營奏補護軍參領員

缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨富哈納著補授委署護軍參領是日

駐蹕承德府行宮

十四日巳卯內閣奉

諭旨湖南岳州府知府員缺著圖爾炳阿補授其

所遺員缺著鄧汝敏補授又奉

諭旨江蘇淮安府知府員缺著劉澧補授其所遺

員缺著孫之岸補授是日

駐蹕承德府行宮

十五日庚辰吏部議陝西巡撫巴延三奏署

郟縣知縣錢雋選試俸期滿准實授一疏奉

諭旨錢雋選依議用餘依議又議前在刑部巡撫

任內辦理曹受兒謀勒李大生身死一案隨

同議駁列銜具奏並未將從前辦理錯悞聲

明之刑部侍郎李封照例降級留任一疏奉

諭旨李封著降一級留任又禮部奏八月十三日

恭逢

皇上萬壽聖節照例行慶賀禮一疏奉

諭旨依議照例行禮又兵部奏陝西郿州城營都

司員缺擬以陞銜留任甘肅玉泉營守備朱

維貴補授一疏奉

諭旨朱維貴依擬用餘依議又奏福建金門鎮標

左營守備員缺擬以福建水師提標左營千

總謝恩詔補授一疏奉

諭旨謝恩詔依擬用餘依議又議協辦大學士仍

留陝甘總督任福康安奏署甘肅莊浪營叅

將中柱歷俸期滿准實授一疏奉

諭旨中柱依議用餘依議又議福康安奏署甘肅

巴燕戎格遊擊永明歷俸期滿准定授一疏

奉

諭旨永明依議用餘依議又議福康安奏提標左

營遊擊員缺准以署陝西蘆塘營遊擊吳繼

或陞補一疏奉

諭旨吳繼或依議用餘依議又議雲貴總督富綱

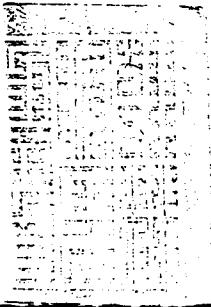
奏貴州鎮遠鎮標中軍遊擊員缺准以候補

遊擊岱明阿補授一疏奉

諭旨岱明阿依議用餘依議又議吉林將軍宗室

都爾嘉咨該處鑲藍旗之驍騎校鄂哈禮年

老患病准休致查噶哈禮曾經出兵打仗殺
賊得功牌可否給俸一疏奉
諭旨噶哈禮曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原
品休致給與半俸以養餘年是日
駐蹕承德府行宮



乾隆五十二年歲次丁未七月十六日辛巳

內閣奉

諭旨據德成奏京通各倉收兌新漕之際易滋弊端派員前往分查有新舊相攬及蟲蛀之米將米樣包封進呈又據蘓靈阿等奏本年南糧各帮米包原有參差不等現在驗係米粒堅實者隨即起卸運進京倉今帮船及早回空乃侍郎

德成派委工部光祿寺司官筆帖式等三十餘員進倉監收混分等第有悞免收時日各等語前因閩鷓元琅玕具奏江浙兩省上年秋成之際霜信早寒米質間有青腰白臍未能一律純淨因諭令毓奇驗明通融收運於抵通倉後並令倉場侍郎等分別收貯酌量支放原因江浙二省上年被霜較早米質未能純淨是以准該

撫等所請俾小民易於輸納且因今歲係全漕抵通之年特令該倉場侍郎等不必過事苛求隨到隨收以便及早回空無悞冬兌乃德成於上年即誤聽人言奏稱各帮漕船所載之米多不足額於抵通後採買陳米交倉以致京城米價昂貴當經欽派大臣會同德成在通州及德州安陵一帶查驗並無情弊即德成亦不能指

出實在情弊今又欲實其前言分派司員前往通倉監收米石過為區別此項南糧漕米如果實有弊竇自當由本省地方交兌時從中舞弊但閩鷓元琅玕身任封疆且有漕運總督及倉場侍郎等盤驗兌收伊等俱身為大臣豈肯任其朦混自擔干係之理乃德成因一時誤聽必欲實其前言雖以為公事起見但有意吹求強為

分別必致抵通漕米兌收遲滯有悞回空况胡季堂金簡與德成俱係查倉大臣若通倉收米果有弊竇胡季堂金簡豈有不聯銜具奏之理自係伊等見此事無弊不肯會銜且朕之信德成亦在胡季堂金簡之次而乃欲實前言固執紛撓貽悞公事甚屬非是德成著交部嚴加議處其派出司員等監收查驗究係該堂官指使

尚無不合著德成即行掣回仍著該倉場侍郎等將抵通漕米秉公迅速收兌俾及早回空以副朕卹丁利運之意倉場侍郎及德成摺併發
又奉

諭旨各省理事同知通判各缺有例應在外揀補者有應由部中請旨揀放者今勤保奏請將該省理事同知通判遇缺先儘試用補俟補完後

再由部臣請放實於銓政未協部中自應照例議駁但念該省現有試用者四員未免守候無期嗣候該省遇有缺出著由部請放一人後再於試用人員內請補一人如此分缺簡用庶在部記名人員不致無缺可補而分發人員亦得即時自効至現在阿明阿等四員補完後即應照舊由部請放不得援以為例且該撫既稱該

省理事同知通判試用人員得缺無期嗣後并不准再請揀發以重銓政是日署湖廣總督舒常奏署蒲圻縣知縣湯汝梅任聽糧書陳自謹折收侵款因而釀成人命又據屍妻以該縣内幕家丁藉端勒索具控請將該署縣革職以便提同案內犯証嚴審一摺奉
諭旨這所參署蒲圻縣事江夏縣縣丞湯汝梅著

革職交該督等提同案内犯証一併嚴審定擬具奏該部知道摺併發是日

駐蹕承德府行宮

十七日壬午

駐蹕承德府行宮

十八日癸未內閣奉

諭旨鑲黃旗蒙古奏德楞多爾濟所出公爵照例

請旨等語此公爵非由勞動而得特因額駙策凌公主施恩賞給者出缺後若即行裁除朕心深為不忍羅布臧尼瑪又係蘇布錫里之子著施恩命羅布臧尼瑪帶公爵銜作為頭等台吉承襲又奉

諭旨據留保住等奏稱將互相爭鬪致毆傷人命之凶惡番子貢覺策旺登住札什審明後即行

正法將不行嚴加約束之噶布倫伊什旺堆等議罪一摺留保住等將藏內胆敢毆傷人命之凶惡番子貢覺策旺登住札什即行正法所辦甚是噶布倫伊什旺堆等俱係愚蒙止不過未行嚴加約束下人尚無重罪不必將伊等交部但飭令嗣後各宜善為督率下人外仍令慶林等嗣後遇有此等事件但照伊番地之例完結

不必拘泥內地之例辦理是日吏部議山西巡撫勒保奏朔平府理事同知員缺准以委用理事同知阿明阿補授一疏奉

諭旨阿明阿依議用餘依議又議江西巡撫何裕城奏署廣昌縣知縣孫鉞試俸期滿准實授一疏奉

諭旨孫鉞依議用餘依議又議福建巡撫徐嗣曾

奏署寧洋縣知縣胡興燾試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨胡興燾依議用餘依議又議廣西巡撫孫永

清奏柳州府知府朱曾敬患病可否准其回

籍調理一疏奉

諭旨朱曾敬准其回籍調理又議辦理閩省軍需

米石不知事理輕重往返扎商意存推委之

江西巡撫何裕城照例議以降級查任內有

革任註冊之案無級可降應行革任一疏奉

諭旨何裕城著從寬免其革任仍註冊又議督運

漕船阻風落後率據轉詳出境以致被風漂

沒米石即著照數賠補之江西督糧道初之

朴照例降調一疏奉

諭旨初之朴著改為革職留任又議承審逾限二

叅之署太興縣知縣武廷選照例革職一疏

奉

諭旨依議其因承審遲逾二叅分限議以革職之

武廷選著該督撫出具考語送部引見再降諭

旨又兵部奏湖廣提標左營遊擊中軍守備員

缺擬以候推營守備許天元補授江西贛州

衛守備員缺准以應陞衛守備暨琰補授一

疏奉

諭旨許天元等依擬用餘依議又奏四川泰寧營

都司員缺擬以預保註冊之四川督標左營

守備李元培籤補一疏奉

諭旨李元培依擬用餘依議是日

駐蹕承德府行宮

十九日甲申內閣奉

諭旨三通館呈進皇朝文獻通考阿哥等詳加披

閱書內訛錯甚多殊屬草率所有校閱之編修

陳萬全著交部議處其總裁等俱著交部察議

仍著將原書按照籤出之處逐一更正又奉

諭旨據奎林等奏伊犁柔遠城滿營佐領員缺請

於現擬正陪人員內補放等語著照所請永昌

所遺佐領員缺以擬正之防禦德林保補授德

林保所遺防禦員缺以藍翎驍騎校誠泰補授

德林保著過便來京補行引見又奉

諭旨據奎林等奏稱伊犁厄魯特佐領員缺請於

現擬正陪人員內補放等語著照所請已陞副

管達瓦所遺佐領員缺以擬正之驍騎校波羅

特補授過便來京補行引見又奉

諭旨據奎林等奏稱將偷盜厄魯特馬匹之布魯

特額布什哈等三犯正法等語卡倫佐領達巴

策楞等知布魯特賊盜馬即帶領屬下人往追

擒獲布魯特二名仍將馬匹趕回再防禦德山

等巡察山谷復擒獲盜馬脫逃之布魯特賊一

名尚屬奮勉著將布魯特賊額布什哈等之原

騎馬三匹不必入官即分賞與拿獲偷馬賊犯

之達巴策楞德山是日吏部議直隸總督劉峩

奏據靜海縣知縣劉以觀詳稱山東學政劉

權之眷船於內河地方被盜行劫砍傷水手

似此肆行無忌該地方官平日疎縱已極非

尋常疎防可比應將靜海縣知縣劉以觀把

總王崇書均照並不實力查拿例革職都司

劉法程照不實力稽查例降三級調用至天

津道王成天津鎮總兵托爾泰均照漫無覺

察例降二級調用按察使托倫總督劉戡署
提督李奉堯均照失於查察例降三級調用
均毋庸議抵至該管知府捕盜廳員武職該
管各員應令該督查取職名咨送照例議處一
摺奉

諭旨此案劉權之卷船被盜係在天津府靜海地
方該處地近畿輔竟有此等肆行劫盜之事該

管地方文武各員漫無查察非尋常失察疎防
可比知縣劉以觀把總王崇書均著革職都司
劉法程著降三級調用天津道王成天津鎮總
兵托賓泰均著照部議降調仍著該二員留於
地方勒限一年務將盜犯緝獲尚可加恩錄用
如限滿不獲再行核辦按察使託倫自陞任臬
司以來上年即有大名府段文經等滋事等案

今內河地方復有盜劫官船之事係該司之責
難以留任託倫前在熱河道任內尚為熟諳著
降補熱河道所有直隸按察使員缺即著富尼
善補授至總督劉戡係統轄大員平日不能整
飭亦難辭咎著改為革職從寬留任署提督李
奉堯署事未久且隨從熱河尚有可原著改為
降三級從寬留任餘依議是日

駐蹕承德府行宮

二十日乙酉內閣奉

諭旨直隸天津鎮總兵員缺著強都補授強都前
因親老奏請留京供職今天津距京不遠強都
即可就近迎養並著速赴新任不必前來行在
請訓又奉

諭旨直隸天津道員缺著慶章補授著即日前往

新任其承德府事務著富尼善暫行兼攝託倫著即速來熱河任事富尼善俟託倫接任後再赴新任所有承德府知府員缺著該督於通省知府內揀選一員調補又奉

諭旨據劉峩奏前准常青咨臺灣賊匪高文麟等供出從賊之各犯姓名開單移知令於沿海各港口嚴密堵緝當即飛飭各屬一體查拿茲

據天津鎮道等稟稱查有福建來津之糖船內水手趙榮林光二名與高文麟等所供夥匪姓名相同隨訊據趙榮供係同安縣人原名歐陽煥林光供係彰化縣人原名魏寵其趙林二姓實係造船時報官姓名歷年換照均係頂認並不添改原籍俱有住址親屬可問並有天津行舖人等見該水手到過天津十數次情願具結

等因現在飛咨閩督查照所供是否屬實再行核辦等語所謂愈細愈遠殊屬不成事體常青等一正賊未獲而用心於無用之地可笑可鄙今之大臣等辦事率多如此實增愧懣也且臺灣逆匪滋事其夥黨即或竄逸不過在廈門附近一帶海口潛匿斷無遠逾數省直至天津之理無論趙榮等係屬悞拿即或實係逸匪伊二

人逃至天津又何能滋生事端况船戶等俱係身家殷實天津行舖皆為出結更屬可信乃劉峩率行拘訊殊為失當此等船隻皆係裝載貨物投行售賣若如此混行查拿將來商販未免畏累裹足不前必至百貨騰貴於閭閻日用大有關繫况該督及天津道府等於所屬地方現有劉權之眷船被劫一案並未能將盜犯拿獲

轉以數千里外閩省咨緝之案紛紛查究劉戕
何不曉事至此著交部嚴加議處並著將水手
趙榮林光二名即行釋放不得再行拖累並曉
諭該船戶等以此二人實係悞拿業經奉旨即
行釋放該督亦治罪矣嗣後各安商業不必心
存疑懼至常青現在剿捕賊匪於應行會合夾
攻之處不能妥速前進乃於餘匪竄逸咨緝至

數省之遠徒滋煩擾實屬不知事體輕重著傳
旨申飭常青既遠咨直省於海口查拿逸匪則
江浙等省自己早有咨會並著李世傑琅玕於
沿海各口岸祇須飭屬密行訪拿逸匪遇有商
船不得如劉戕之過事搜求累及無辜以致商
販聞風畏足是日

駐蹕承德府行宮

二十一日丙戌內閣奉

諭旨陝西同州府知府員缺著蕭登生補授所遺
員缺著何裕均補授又奉

諭旨直隸承德府知府員缺緊要著貢楚克扎布
調補所有大名府員缺亦屬緊要著該督於通
省知府內揀選一員調補其所遺員缺著王用
錕補授並著劉戕即行委員赴大名接署以便

令貢楚克扎布速來熱河任事是日吏部議浙
江巡撫覺羅琅玕奏德清縣知縣員缺請以
安吉縣知縣德英調補所遺員缺請以西安
縣知縣丁元鵬調補所遺員缺請以候補知
縣李秉鑰署理查德英歷俸未滿與例不符
既經專摺奏請可否准其調補再所遺西安
縣知縣員缺係歸月選與例不符應毋庸議

一疏奉

諭旨德英准其調補餘依議又議雲南巡撫譚尚

忠奏琅鹽井提舉方潤試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨方潤依議用餘依議又議廣西巡撫孫永清

奏署雒容縣知縣林世武試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨林世武依議用餘依議又議雲南巡撫譚尚

忠奏署河陽縣知縣蔚柱試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨蔚柱依議用餘依議又議兩廣總督孫士毅

奏原任總督富勒渾家人李世榮勒索站規

並不據實詳報違例供給之饒平縣知縣程

煥等照例降調續經奏留該省緝匪今該督

以該員等認真出力奏請捐復分別仍留原
任題補查該員等情節係屬私罪與捐復之
例不符一疏奉

諭旨此次姑念該處辦理過兵事宜緊要著照該

督等所請行嗣後不得援以為例又兵部奏江

南蘇松鎮標右營都司員缺擬以預保註冊

之江南吳松營守備鍾啟鶴掣補一疏奉

諭旨鍾啟鶴依擬用餘依議又奏甘肅肅州鎮標

中營守備員缺擬以預保註冊之陝西固原

提標中營千總朱進廷籤補一疏奉

諭旨朱進廷依擬用餘依議又議兩廣總督孫士

毅奏廣東電白營守備員缺准以候補守備

何昭補授一疏奉

諭旨何昭依議用餘依議又議直隸總督劉峽奏

直隸順義營都司賈永言准與曹家路都司
金積福對調一疏奉

諭旨賈永言等依議調補餘依議又議協辦大學士仍留陝甘總督任福康安奏甘肅古城營守備孫秀准與甘肅濟木薩營守備方國元對調一疏奉

諭旨孫秀等依議調補餘依議是日

駐蹕承德府行宮

二十二日丁亥內閣奉

諭旨福康安現來行在陞見所有陝甘總督印務前已令勒保赴甘暫署其山西巡撫事務著明興前往署理俟勒保回任再行來京供職又奉諭旨正紅旗漢軍副都統范建忠員缺著徐績署理又奉

諭旨戶部議覆濬墅關一年期滿徵收盈餘比較上三屆短少銀四萬八千三百餘兩請令該監督照數賠補一摺固屬照例辦理第念上年清江一帶河水漫溢豆船到關稀少商稅較絀盈餘短少尚屬有因所有此次濬墅關短少盈餘銀四萬八千三百餘兩著四德賠補銀一萬兩其餘三萬八千三百餘兩著加恩免其賠補又

奉

諭旨兵部奏准閩浙總督知會福建省應行添設站夫未將道理遠近事務繁簡分別聲明難以懸議請勅交該督查查明具奏一摺現在臺灣正在剿捕賊匪之時所有文報往來最為緊要自應酌量添設驛站以便迅速接遞朕字經想及未及降旨而李侍堯亦並未先行具奏僅咨部

辦理未免遲緩此時該省軍務繁多若候在來
行查更需時日所有福建省應行添設站夫即
著照該督所咨辦理其餘各處應行添設駟遞
夫馬之處著照該部所請行但各省驛站須有
大員專司督辦直隸省著派梁肯堂山東省著
派繆其吉江蘇省著派通思浙江省著派歸景
照福建省著派伍拉納照料查察毋致遲延貽

悞是日

駐蹕承德府行宮

二十三日戊子署湖廣總督舒常奏江夏縣
知縣魏耀于遞送緊要本箱理宜慎重乃失
於照管以致遲悞接遞請交部議處一摺奉
諭旨這所叅遞送冊箱遲悞接遞之江夏縣知縣
魏耀著交部議處摺併發又舒常奏署隨州知

州漢陽府通判信保于州民盧惟一短稅議
罰差役鄧榮將盧惟一鎖押伊家以致自縊
身死恐有受意婪索別情請將該員革職以
便提同案内犯証嚴審一摺奉

諭旨這所叅署隨州事漢陽府通判信保著革職
交該督等提同案証嚴審定擬具奏摺併發是

日

駐蹕承德府行宮

二十四日己丑太常寺奏八月十三日

萬壽聖節致祭

太廟後殿一疏內閣奉

諭旨遣永錫行禮又吏部議協辦大學士仍留陝
甘總督任福康安奏迪化州知州員缺請以
靈州知州孝順阿調補所遺員缺請以候補

知州現任伏羌縣知縣楊芳燦補授查孝順
阿任內有戴罪徵收各案與例不符應毋庸
議一疏奉

諭旨著照該督所請行又兵部奏雲南順雲營參
將員缺擬以預保註冊之貴州鎮標左營遊
擊熊必昇掣補一疏奉

諭旨熊必昇擬用餘依議又議兩江總督李世

傑奏狼山鎮標左營守備員缺准以預保守

備狼山鎮標左營千總晉會江補授一疏奉

諭旨晉會江依議用餘依議又議閩浙總督李侍

堯奏浙江撫標左營守備員缺准以台州協

左營千總李兆魁陞補一疏奉

諭旨李兆魁依議用餘依議又刑部等衙門議辦

理秋審失出一案之涼州副都統圖桑阿照

例降調一疏奉

諭旨圖桑阿著改為降三級從寬留任餘依議是
日閩浙總督李侍堯奏泉州馬巷通判陸士
錕於晉江縣民施懷義米船被劫在該通判
所轄地方盤獲任聽家人差役私賣並不全
行給領顯有吞匿情弊請將該員革職以便
提同案內犯証嚴審一摺奉

諭旨這所叅泉州府馬巷通判陸士錕著革職拿

問交該督嚴審定擬具奏摺併發是日

駐蹕承德府行宮

二十五日庚寅

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等寬食是

日內閣奉

諭旨長麟奏德平縣壽民趙琳現年一百五歲五

代同堂請旨旌表等語趙琳年逾期願孫曾慶

洽洵屬昇平人瑞特賜御製詩章御書匾額以

示寵榮所有應行加恩賞賚及旌表之處仍著

該部察例辦理又奉

諭旨刑部議駁雲南按察使王懿德條奏款款皆

是王懿德甫任臬司於例外多設科條徒滋煩

擾無謂殊屬非是著交部嚴加議處是日

駐蹕承德府行宮

二十六日辛卯

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等克食是

日內閣奉

諭旨承襲公爵之羅布臧尼瑪著補授頭等侍衛

在乾清門行走嗣後如果滿洲蒙古語學習熟

練一切差使奮勉行走再另行賞給差使是日

駐蹕承德府行宮

二十七日壬辰

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等克食是

日內閣奉

諭旨交留京辦事王大臣等海蘭察著為叅贊大

臣護軍統領舒亮普爾普著為領隊大臣各帶

侍衛章京拜唐阿等二十名舒亮領頭隊海蘭

察領第二隊普爾普領第一隊同前往福建

臺灣勦滅逆賊其由熱河前在之海蘭察普爾
普每人賞銀二百兩舒亮亦賞銀二百兩侍衛
章京官員人等各賞銀一百兩護軍校驍騎校
拜唐阿兵丁人等各賞銀五十兩均令整理行
裝分隊馳驛速往所有需用銀兩即由廣儲司
照數領給應領綿甲戰箭等項照例迅速辦給
又奉

諭旨廣東學政著關槐去是日太常寺奏八月十

二日致祭

夕月壇一疏奉

諭旨遣永琅行禮從壇遣惠齡分獻是日吏部議

兩江總督李世傑奏泗州直隸州知州員缺

請以候補直隸州知州亳州知州陳三辰補

授一疏奉

諭旨陳三辰依議用餘依議又議協辦大學士仍
留陝甘總督任福康安奏隆德縣知縣員缺
准以候補知縣張映宿補授一疏奉

諭旨張映宿依議用餘依議又議未能覺察家人
王振聲在外冒認地主控欠租銀之內閣學
士瑞保照例罰俸一疏奉

諭旨瑞保著銷去紀錄二次免其罰俸餘依議又

兵部議閩浙總督李侍堯奏浙江提標右營
守備員缺准以定海鎮標右營千總王國棟
補授一疏奉

諭旨王國棟依議用餘依議是日

駐蹕承德府行宮

二十八日癸巳

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等克食是

日

駐蹕承德府行宮

二十九日甲午

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等克食是

日內閣奉

諭旨據鄭源璫奏大同府屬豐鎮等九廳州縣秋

禾被旱成災農民不無拮据請將應征錢糧暫

緩徵收並賞給口糧以資接濟等語大同地居

關外土瘠民貧今歲被旱成災自應蠲賑兼施

以資口食所有豐鎮大同天鎮陽高山陰懷仁

廣靈應州渾源九廳州縣本年應納錢糧及應

完倉穀等項俱暫緩催徵以紓民力並著將被

災窮民賞給一月折色口糧其如何應蠲應緩

分別加賑之處著該撫查明具奏實心妥辦毋

使一夫失所以副朕軫念災黎之至意是日

駐蹕承德府行宮

三十日乙未

上詣普寧寺拈香

閱步踏是日太常寺奏九月初六日致祭

歷代帝王廟一疏內閣奉

諭旨遣雅朗阿行禮兩廡遣扎勒翰德明海寧德

成各分獻又吏部議署四川總督印務成都將

軍鄂輝奏營山縣知縣王絳疆試俸期滿准

實授一疏奉

諭旨王紱疆依議用餘依議又議浙江巡撫覺羅

琅玕奏杭州府西塘同知項缺請以湖州府

同知唐若瀛調補查該員任內有降級之案

與調補之例不符應無庸議一疏奉

諭旨著照該撫所請行又議江西巡撫何裕城奏

南昌縣知縣員缺請以新昌縣知縣林樹芳

調補所遺員缺請以候補知縣張翀雲補授

查林樹芳歷俸未滿與調補之例不符既經

專摺奏請可否准其調補一疏奉

諭旨林樹芳等准其調補餘依議又兵部議直隸

總督劉峩奏葛沽營遊擊員缺請以提標右

營遊擊額爾登布調補一疏奉

諭旨額爾登布依議用餘依議又議鑲藍旗護軍

統領奏本營護軍校常海年老患病應准休

致查常海曾經出兵打仗殺賊得功牌可否

給俸一疏奉

諭旨常海曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原品

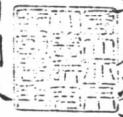
休致給與半俸以養餘年是日

駐蹕承德府行宮

乾隆五十二年歲次丁未八月初一日丙申

駐蹕承德府行宮

初二日丁酉內閣奉



諭旨臺灣逆匪林爽文等於光天化日之下胆敢
糾眾不法劫縣戕官前特派總督常青前往臺
灣授為將軍督辦剿捕事宜數月以來該將軍
督率調度尚無過失但統領多兵駐守府城營

盤雖屢有斬獲並未能痛加殲戮挪移尺寸之
地相機進剿是常青雖屬無過亦不得為有功
且該將軍年逾七旬究恐精神不能周到茲特
命福康安前來行在面授機宜令其攜帶欵差
關防馳赴臺灣更換常青督辦軍務即授福康
安為將軍並授海蘭察為叅贊大臣普爾普舒
亮為領隊大臣其恒瑞藍元枚柴大紀仍著照

前叅贊軍務並揀派曾經戰陣之巴圖魯侍衛
章京一百餘人分起前往領兵征剿至臺灣初
次調撥及續調官兵已有數萬嗣又於廣東浙
江添調綠營及駐防兵萬餘名並於福建本省
派撥兵六千現又添派四川屯練降番並於湖
北湖南貴州等省挑備兵數萬陸續造程前往
合計徵調各兵不下十餘萬福康安到臺灣後

察看情形如以兵力多多益善再應添兵若干
即一面檄調一面奏聞所有應用軍需已於浙
江江南江西湖廣四川等省撥運米百餘萬石
軍需火藥等項亦已廣為儲備著李侍堯通盤
核算妥為經理俾足數十餘萬官兵之用毋致
稍有短缺似此大兵雲集加以派出帶兵之巴
圖魯侍衛章京等皆屬屢經行陣以當千是

百餘人已足當萬餘人之敵諒此小醜一
時烏合何難立見殲除指日投首至常青剝捕
賊匪雖未能歲功奏績念伊究係年老尚無貽
悞著於福康安到臺灣後即行來京陛見再赴
湖廣總督之任又奉

諭旨據永鐸奏稱烏魯木齊効力贖罪之廢員張
龍年滿懇請送部引見等語張龍係獲重罪發

往烏魯木齊効力贖罪之人今雖六年已滿准
其回籍即朕之恩又何必送部引見永鐸接奉
朕旨即將張龍遣回原籍毋庸送部引見是日

駐蹕承德府行宮

初三日戊戌

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等克食是
日山東巡撫長麟奏歷城縣知縣員缺請以
長清縣知縣沈霖調署前經部駁與例不符
但歷城為附省首邑員缺緊要懇

恩准以該員調署一摺奉

諭旨著照所請行該部知道是日吏部議陝西巡
撫巴延三奏安康縣知縣員缺准以候補知縣

李帶雙補授一疏奉

諭旨李帶雙依議用餘依議又議辦理四庫全書
未將尚書古文疏證詳查刪削之原充總纂
官今授禮部尚書紀昀等照例降調一疏奉
諭旨陸費墀潘曾起著各銷去加一級陸錫熊紀
昀著各銷去紀錄四次俱免其降調又議辦理
四庫全書遺漏空頁未填之總校官翰林院侍

講王燕緒等照例罰俸一疏奉

諭旨勵守謙著罰俸六個月王燕緒著銷去紀錄

一次仍罰俸六個月又兵部議失察武爾喜冲

阿等誣騙衣物描印假契盜典房屋之鑲紅

旗滿洲都統多羅定郡王綿恩等照例罰俸

一疏奉

諭旨綿恩著罰都統俸六個月永瑞罰都統俸六

個月之處著註於王分紀錄抵銷弘叶穆精阿

綽克托德保俱著罰都統副都統俸六個月善

德陽春保俱著銷去紀錄一次免其罰俸福寧

罰俸三個月之處著註於紀錄抵銷餘依議又

議失察在洋被劫案內開報應議職名逾限

一年以上之浙江黃巖鎮標守備江得勝照

例降調一疏奉

諭旨依議其因開報職名逾限一年以上議以降

調之江得勝著該督出具考語送部引見又議

鑲藍旗護軍都統咨稱本營護軍校二達色

年老患病准以休致查該員曾經出兵打仗

殺賊得功牌可否給俸一疏奉

諭旨二達色曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原

品休致給與半俸以養餘年是日

駐蹕承德府行宮

初四日己亥

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等克食是

日兵部奏廣東左翼鎮總兵李化龍服闋准

實授一疏奉



諭旨李化龍著實授廣東左翼鎮總兵餘依議是

日

駐蹕承德府行宮

初五日庚子

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等克食是

日

駐蹕承德府行宮

初六日辛丑

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等克食是

日吏部議署四川總督印務成都將軍鄂輝

奏署萬安縣知縣孫廷錦試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨孫廷錦依議用餘依議又議兩江總督李世

傑奏安徽安慶府知府員缺准以鳳陽府知

府喬人傑調補所遺員缺准以候補知府谷

廷珍補授一疏奉

諭旨喬人傑等依議調補餘依議又奏四川重慶

府同知員缺擬以廣西平樂府通判李堽戴

陞一疏奉

諭旨李堽依擬用餘依議又議碾動倉穀運閩接

濟軍儲之湖廣總督舒常等遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨舒常姜晟俱著將加一級抵前降一級餘依議

又兵部奏浙江嘉興協石灣守備員缺擬以

預保千總羅世斌掣補一疏奉

諭旨羅世斌依擬用餘依議又議失察西洋人潛

匿傳教之江西歷任武職各員照例降調一

疏奉

諭旨烏大經著降一級留任王集李杰龍著各銷

去尋常加一級劉君輔彭承堯著各銷去軍功

紀錄二次俱免其降級其因失察西洋人潛匿

傳教議以降調之多舒劉興隆劉文敏王逢時

俱著該督出具考語送部引見餘依議是日

駐蹕承德府行宮

初七日壬寅

上御卷阿勝境是日左部哈薩克汗瓦里蘇爾坦

之弟哈斯木及副使達雅爾等五人入

覲

召見並

命同隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等

賜克食是日

駐蹕承德府行宮

初八日癸卯

上出西北門是日土爾扈特貝子奇布坦等五人

又都爾伯特貝子鄂爾哲布圖庫等七人入

覲於路傍跪迎

聖駕

上溫語慰問並

命隨至獅子園

賜食是日內閣奉

諭旨浦霖奏龍陽縣壽民萬銘現年五十二歲請

旨旌表等語萬銘年逾期順孫曾繞膝洵為昇
平人瑞所有應行建坊旌表不加恩賞之處
著該部照例辦理摺併發是日

駐蹕承德府行宮

初九日甲辰內閣奉

諭旨據何裕城奏德興縣壽民劉永安現年一百
歲請旨旌表等語劉永安年享期頤精神矍鑠

洵屬昇平人瑞所有應行建坊旌表之處著該
部照例辦理摺併發又奉

諭旨據李世傑等奏本月初一二日風雨交加高
郵邵伯等湖水勢湧漲運河內陡長水三四尺
東岸周家溝等處大隄有平水漫水處所搶護
不及請將文武疎防職名照例查叅並自請交
部治罪等語現在高寶等湖水勢盛長在工文

武各員不能先事預防以致邵伯迤上東岸隄
工有漫水之處自應照例叅處至李世傑李奉
翰彼時正赴二套查勘引河自不能兼顧所有
李世傑李奉翰自請交部之處著加恩寬免至
下河州縣地方據奏晚稻尚未刈獲恐小民口
食不無拮据著該督撫飭屬查明妥為撫卹至
關繫驛路地方文報絡繹往來仍著督飭地方

官妥為辦理勿致稍有阻滯是日吏部議陝西
巡撫已延三奏署醴泉縣知縣陳朝覲試俸
期滿准實授一疏奉

諭旨陳朝覲依議用餘依議又議閩浙總督李侍
堯奏福建南平縣知縣員缺請以德化縣知
縣蔣履調補查該員歷俸未滿與例不符既
經專摺奏請可否准其調補一疏奉

諭旨蔣履准其調補餘依議又議委派司員監收

米石混分等第幾致誤公之三部侍郎德成照

例降調查該侍郎任內有革職留任又革任

註冊之業無級可降應行革任一疏奉

諭旨德成免其革任仍註冊所有應得廉俸飯銀

三年內不准支給又議發抄遺漏之刑科掌印

給事中查善長等照例罰俸一疏奉

諭旨查善長納福俱著銷去紀錄一次免其罰俸

又兵部議山東巡撫兼提督銜長麟奏山東

兗州鎮標中軍遊擊王文雄准實授一疏奉

諭旨王文雄依議用餘依議又議錯辦移駐游牧

之前任烏里雅蘇台叅贊大臣恒山保降級

留任之案照例准開復一疏奉

諭旨恒山保准其開復餘依議又議保送補放官

員錯擬正陪之察哈爾都統烏爾圖那遜照

例降級一疏奉

諭旨烏爾圖那遜著銷去加一級免其降級餘依

議又吏部奏補湖廣道監察御史員缺帶領服

闕赴部之原任掌浙江道監察御史史夢琦

引

見奉

諭旨湖廣道監察御史員缺著史夢琦補授又帶

領本年六月分擬陞

景陵禮部郎中之

東陵工部員外郎克興額七月分擬陞

盛京戶部主事之方略館議叙戶部筆帖式九

保引

見奉

諭旨克興額等依擬用又帶領兩江總督李世傑
保送道員並請陞授江西督糧道之南昌府
知府初之朴引

見奉

諭旨初之朴著照該督所請准其補授江西督糧
道又帶領山西巡撫勒保奏請陞署冀寧道之
現任太原府知府盛祿引

見奉

諭旨盛祿著照該撫所請准其陞署冀寧道又帶
領四川總督保寧保送堪勝知府之現任石
柱同知劉炳引

見奉

諭旨劉炳著回任又帶領大計卓異之雲南糧儲
道永慧引

見奉

諭旨永慧准其卓異加一級仍註冊回任候陞又
帶領拿獲鄰境在洋行劫首夥盜犯陳阿雪
等八名奉

旨送部之浙江臨海縣知縣華瑞璜引
見奉

諭旨華瑞璜著回任以同知題補又帶領失察西
洋人經過照例降調之前任湖南湘陰縣知
縣陞任山西潞安府知府李舟引

見奉

諭旨李舟著仍以知府用其降級之案帶於新任
又帶領失察西洋人潛住傳教照例降調之
四川署叙州府事夔州府知府舒寧引

見奉

諭旨舒寧著仍以知府用其降級之案帶于新任

又帶領失察西洋人傳教照例革任之江西

饒州府知府降調發往江西以知府同知題

補之阿明阿引

見奉

諭旨阿明阿著仍發往江西以同知題補其革任

之案帶于新任又帶領失察西洋人經過照例

降調之廣東和平縣知縣張映衡引

見奉

諭旨張映衡著仍發往廣東以知縣用其降級之

案帶于新任又帶領失察僧人抄傳護身榜文

照例降調之廣西宜山縣知縣葛洪範引

見奉

諭旨葛洪範著仍發往廣西以知縣用其降級之

案改為革職留任八年無過開復是日

駐蹕承德府行宮

初十日乙巳

上御萬樹園大幄次

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及左部

哈薩克汗瓦里蘇爾坦之弟哈斯木並副使

達雅爾等五人及土爾扈特貝子奇布坦等

五人又都爾伯特貝子鄂爾哲布圖庫等七

人宴是日內閣奉

諭旨工部奏湖南造辦撥船所開物料工價與例

不符應令據實刪減再行核銷等語固屬照例

辦理但念該省雖屬年歲豐稔而一切木料價

值既已增長自未能一時驟減所有該省請銷

銀兩著加恩准其核銷又奉諭旨據明亮等奏稱老格帶領官員兵丁追赶燕起至朔台地方詢得燕起迹跡嚴交喀爾塔錦部落沙泥雅思等追赶燕起遂將燕起拿獲等語所辦甚屬妥善除明亮等分別賞給外明亮雅德聞報此事即派老格追赶尚合機宜著賞給明亮大荷包一對小荷包二對雅德大荷包

一對小荷包一對老格此次帶領官員兵丁追赶雖非本身將燕起鄉拿皆由伊善于交派辦理老格實屬出力著加恩賞給副都統職銜俟出缺補放賞銀一百兩鄂思滿一聞此事即將伊所備回兵交付老格鄂思滿誠心効力著加恩賞給大緞四疋大荷包一對小荷包二對多庶此次跟隨老格始終奮勉著賞給大緞二疋喀

爾塔錦部落沙尼雅思薩滿起訥德爾莫特百克特莫爾等遵老格劄付即帶領屬下人等上緊追赶燕起打仗拿獲俱屬盡力奮勉沙尼雅思薩滿起訥德爾莫特百克特莫爾著加恩俱賞四品頂戴孔雀翎每人賞給大銀鏢二個體依特部落阿哈拉克起百色克百喜等遇此事往還送信引導拿獲燕起之際亦屬奮勉著

交明亮等查百色克百喜如有翎頂加陞一級本無翎頂即賞五品頂戴孔雀翎仍每人賞給銀鏢一個薩木薩克所遣捉敵之六品頂帶布魯特薩爾察亦著賞五品頂戴孔雀翎賞大鏢一個拿獲燕起處活口索倫佐領馬來布魯特多庶每人賞大鏢一個所餘大銀鏢明亮等斟酌分賞沙尼雅思等屬下奮勉人等以示鼓

勵沙泥雅思之子塞達業克薩滿起之子業勒
莫特白克特莫爾之弟花特訥德爾莫特之子
托克體莫特思克之子白克托擺等遵老格所
交往還甚屬奮勉塞達業克等五人每人賞緞
一疋老格帶往索倫回子布魯特兵丁每人賞
給一月鹽菜銀兩以示鼓勵是日

駐蹕承德府行宮

十一日丙午內閣奉

諭旨江西南昌府知府員缺緊要著該督撫於通
省知府內揀選一員調補所遺員缺著張朝樂
補授又奉

諭旨山西太原府知府員缺緊要著該撫於通省
知府內揀選一員調補所遺員缺著高燦補授
又奉

諭旨前據舒常等奏湖北省動支倉穀碾米十萬
石運閩以備軍儲並往湖南與浦霖酌議動穀
碾米運閩等語已降旨將舒常姜晟交部議叙
昨又據舒常浦霖奏湖南附近水次州縣酌撥
倉穀碾米十萬石分作四起遴委妥員運往閩
省以資備用等語該撫辦理妥速亦屬急公浦
霖著一體交部議叙又奉

諭旨現在覆勘文淵等閣所藏四庫全書據詳校
官祝莖簽出周亮工讀畫錄吳其貞書畫記內
有違碍猥褻之處已照簽撤改矣又前據胡高
望吉夢熊阮葵生詳校文津閣書簽出尚書古
文疏証松陽講義二書並有違碍字句業經撤
出銷燬所有詳校之胡高望吉夢熊阮葵生祝
莖俱著交部議叙又奉

諭旨據劉我奏文安縣左各庄行宮內失去御筆八種一摺該縣等輾轉接收交代已隔數任或即係伊等取回珍藏供奉亦屬情事所有此事尚可無庸深究其詩聯等件俟另行補發外劉我請將歷任知縣周嘉賓審習陸耀交部之處著加恩寬免是日
駐蹕承德府行宮

十二日丁未

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及左部哈薩克汗瓦里蘇爾坦之弟哈斯木並副使達雅爾等五人及土爾扈特貝子奇布坦等五人又都爾伯特貝子鄂爾哲布圖庫等七人

克食是日內閣奉

諭旨據毓奇奏江蘇省領兌華亭婁縣奉賢等三縣浙江省領兌海寧臨安新城於潛昌化嘉興海鹽嘉善平湖秀水石門桐鄉歸安烏程等十四州縣漕米各帮米色霉變不堪交納將行月耗米抵補再加交倉贈耗行糧外不能復有餘米請將此次應交三升八合餘米俟下運分作

兩年買補帶交等語各帮領運漕米例有餘米以資該丁等回空飯米之需此次抵交外若再令買補餘米分年帶交恐近年丁力疲乏轉行支絀所有江蘇省華亭等三縣浙江省海寧等十四州縣各船應交三升八合餘米竟著加恩寬免以副朕體恤丁力至意又奉

諭旨朕寅紹鴻圖仰承

昊眷臨御五十餘年壽躋上耄五世一堂錫光篤慶

介景延禧允為史冊罕覩昇平盛瑞茲王公大臣及直省將軍大吏等以乾隆五十五年朕八旬萬壽額請舉行慶典預祝蕃釐覽奏具見誠悃前此朕七旬慶節內外大臣奏懇恭祝萬壽朕以徒增糜費未俞所請今內而王公大臣外而將軍督撫大吏以朕壽屆八旬臣工身際昌

期久承渥澤感激懼忭出自積誠朕若仍不允准無以申臣下臚懽祝嘏之願轉似近於矯情且載稽前史三代以後帝王克享大年莅國最久者不過六君其年逾八旬者僅梁武帝宋高宗二君而其在位則不過三四年一則侯景擅權一則南渡內禪考其事跡殊不足比數若朕躬膺上壽海宇乂寧親理萬幾孜孜不倦五十

餘年如一日者實古所未有此皆朕仰賴

上天嘉佑

列祖垂庥用能膺受純熙康彊逢吉允宜光昭感軌
以答

景貺而洽輿情著照所請於五十五年舉行萬壽盛禮所有一切儀文俱恭照朕從前率天下臣民
恭祝

聖母皇太后六旬七旬八旬

萬壽慶典之例備辦毋得稍有加增致滋繁靡若內外臣工等不能仰體朕意惟務踵事增華鋪張過甚轉非至誠愛戴之心逮時朕亦必不受也至此次慶節率土歡騰宜特沛殊恩以光鉅典除普免天下錢糧一節前經降旨俟朕歸政之時於嗣君元年再降恩旨錫免外所有此次應

行加恩各事宜著內閣及軍機大臣擬開條款
進呈候朕酌定另降諭旨

吳日吏部議河南巡

撫畢沅奏寶豐縣知縣員缺准以候補知縣
陸蓉補授一疏奉

諭旨陸蓉依議用餘依議又議山西巡撫勒保奏
署榮河縣知縣楊湘試俸期滿准實授一疏
奉

諭旨楊湘依議用餘依議又議雲南巡撫譚尚忠
奏署通海縣知縣徐維城試俸期滿准實授
一疏奉

諭旨徐維城依議用餘依議又議循例催備熱河
船隻並不確查徒滋糜費之直隸歷任藩司
照例革任降調一疏奉

諭旨明興著從寬免其革任仍註冊永保伊桑阿

降二級調用之處俱俟事竣回京日該部再行
請旨餘依議又議大名要犯張君德過境不能
查拿之安徽按察使馮光熊等照例革任降
調一疏奉

諭旨馮光熊著從寬免其革任仍註冊王懿德陳
步瀛俱著銷去加一級免其降調餘依議又議
辦硝遲延違限之江南宿遷縣歷任知縣照

例分別革職降調一疏奉

諭旨依議其因辦硝遲延違限四月以上議以降
調之武綸布違限五月以上議以革職之康杰
袁維輔朱續發議以革職註冊之馬充符俱著
該督撫出具考語送部引見再降諭旨議以革
職之任可舉張紹祖俟病痊服闋之日著本籍
該撫查照原咨考語送部引見又議于所屬平

和縣匪犯周思等強搶楊森等家牛隻穀石
該縣並不上緊緝捕以致復行搶劫後經事
主控縣又僅添差拘拿並未申報該管上司
不能查出揭報之福建汀漳龍道朱光會等
照例降調一疏奉

諭旨此案周思等糾緝匪類執械行劫經兵役圍
拿復敢放槍抵拒致傷兵丁該管上司並不能

查出揭叅非尋常失察可比朱光會黃彬俱應
照部議降調但目今臺灣有事福建需人所有
汀漳龍道及漳州府員缺著李侍堯酌量或于
事完再按例降調或即于前次發往閩省差委
之保舉堪勝道府人員內各揀選一員奏請補
授餘依議又兵部議雲貴總督富綱奏貴州丹
江營左軍守備員缺准以台拱營左軍千總

卜雲雯陞補一疏奉

諭旨卜雲雯依議用餘依議是日

駐蹕承德府行宮

十三日戊申

皇上萬壽聖節是日卯刻

上御澹泊敬誠殿隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及大小

官員等行慶賀禮畢

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及左部

哈薩克汗瓦里蘇爾坦之弟哈斯木並副使達

雅爾等五人及土爾扈特貝子奇布坦等五

人又都爾伯特貝子鄂爾哲布圖庫等七人

克食是日

駐蹕承德府行宮

十四日巳酉

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及左部

哈薩克汗瓦里蘇爾坦之弟哈斯木並副使

達雅爾等五人及土爾扈特貝子奇布坦等

五人又都爾伯特貝子鄂爾哲布圖庫等七

人克食晚

上御萬樹園大幄次觀火戲並

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及左部

哈薩克汗瓦里蘇爾坦之弟哈斯木並副使

達雅爾等五人及土爾扈特貝子奇布坦等

五人又都爾伯特貝子鄂爾哲布圖庫等七

人茶果是日

駐蹕承德府行宮

十五日庚戌

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及左部

哈薩克汗瓦里蘇爾坦之弟哈斯木並副使

達雅爾等五人及土爾扈特貝子奇布坦等

五人又都爾伯特貝子鄂爾哲布圖庫等七

人克食是日吏部議署湖廣總督舒常奏湖

北江夏縣知縣員缺准以枝江縣知縣魏耀

調補一疏奉

諭旨魏耀准其調補餘依議又議辦理孫景燧議

卹一案不將賞卹銀兩扣除仍例入月摺之

工部堂官照例罰俸一疏奉

諭旨金簡著罰俸六個月德成著銷去紀錄一次

仍罰俸三個月趙鋈劉躍雲俱著銷去紀錄一

次其從前罰俸三個月仍各註于紀錄抵銷又

議不能率屬上緊緝捕海洋盜案之前任閩

浙總督今在喀什喀爾辦事大臣雅德照例

降調一疏奉

諭旨雅德降二級調用之處俟差竣回京日該部

再行請旨又議接遞奏摺遲延違限三刻以上

之前署河南祥符縣知縣唐縣知縣魏冲照

例降調一疏奉

諭旨依議其因接遞奏摺遲延違限三刻以上議

以降調之魏翀著該撫出具考語送部引見再

降諭旨又兵部議雲貴總督富綱奏雲南鎮雄

營左軍守備員缺准以新營營守備楊大山

調補一疏奉

諭旨楊大山依議調補餘依議又議閩浙總督李

侍堯奏福建澎湖水師左營守備員缺准以

水師提標左營守備許祿調補一疏奉

諭旨許祿依議調補餘依議又議兩廣總督孫士

毅奏廣東平海營守備員缺准以吳川營千

總郭敏陞補一疏奉

諭旨郭敏依議用餘依議又議署湖廣總督舒常

奏湖北漢陽城守營中軍守備員缺准以宜

昌鎮標前營千總陳再陞補一疏奉

諭旨陳再陞依議用餘依議又議閩浙總督李侍

堯奏福建平和營守備員缺准以龍巖營千

總高如松陞補一疏奉

諭旨高如松依議用餘依議是日

駐蹕承德府行宮

乾隆五十二年歲次丁未八月十七日辛亥

上幸木蘭自熱河惠迪吉門

駐蹕中關行宮

十七日壬子

駐蹕波羅河屯行宮

十八日癸丑吏部議山西巡撫勒保奏河曲

縣知縣員缺准以候補知縣宋本敬補授一

疏內閣奉

諭旨宋本敬依議用餘依議又議勒保奏署靜樂

縣知縣郭欽儀試俸期滿准實授一疏奉

諭旨郭欽儀依議用餘依議又議湖北巡撫姜晟

奏署宜都縣知縣徐昱試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨徐昱依議用餘依議又議繳照違限不及三

月之雲南試用知州憚癸等罰俸之處可否
寬免一疏奉

諭旨憚癸等從寬免其罰俸又兵部奏廣西上思

營都司員缺擬以預保守備李奇芳掣補一

疏奉

諭旨李奇芳依擬用餘依議又奏江南江北六安

營參將員缺擬以湖南永州鎮標右營遊擊

梁忠籤陞湖北宜昌鎮標中軍遊擊員缺擬

以甘肅威遠堡都司來第籤陞湖北宜昌鎮

標左營遊擊員缺擬以四州督標中軍都司

馬愷籤陞直隸三河營都司員缺擬以雲南

普洱鎮標右營守備洪德籤陞江西橫岡營

都司員缺擬以雲南永北營左軍守備杜鈺

籤陞陝西宜君營參將中軍守備員缺擬以

福建陸路提標後營千總李日陞籤陞四川

督標左營遊擊中軍守備員缺擬以直隸葛

沽營千總嚴廷良籤陞廣東撫標左營參將

中軍守備員缺擬以直隸曹家路千總劉漢

籤陞陝西慶陽營參將中軍守備員缺擬以

四川督標左營千總馬良棟籤陞江南寧國

營參將中軍守備員缺擬以浙江嚴州協右

營千總李文升籤陞浙江台州衛守備員缺

擬以山東濮州所千總冀天翼籤陞一疏奉

諭旨梁忠等依擬用餘依議又議閩浙總督李侍

堯奏福建臺灣南路淡水營都司員缺准以

同安營都司許騰蛟調補一疏奉

諭旨許騰蛟依議調補餘依議是日

駐蹕張三營行宮

十九日甲寅

上行圍是日

駐蹕阿威圖大營

二十日乙卯

上行圍鎗殪虎一是日內閣奉

諭旨吏部議處陸費墀等於經手書籍底本文代

不清致有遺失又王燕緒等校對之書記脫錯

謬請將陸費墀革任王燕緒降三級調用其餘

各員分別降調罰俸二本均已照籤發下矣從

前辦理四庫全書時常諭軍機大臣等若纂校

諸臣果能辦理完善即徵倖數人成此鉅典亦

所不妨是以陸費墀由編修不數年間擢至卿

貳王燕緒屢經獲咎後復賞給編修辦理總校

得邀優叙洊陞侍講伊等既蒙恩遷擢自應倍

加感奮悉心校辦今四庫書籍繕寫潦草訛脫
錯謬違悞之處不可枚舉而陸費墀於各省採
進書籍又漫不經心致將有印底本遺失甚多
即此辦理草率伊二人實難辭咎是陸費墀王
燕緒所得處分俱由自取豈可復為寬貸其別
有牟利鬻爵之私亦不深究矣是日

駐蹕海拉蘇臺大營

二十一日丙辰

上行圍是日兩廣總督孫士毅奏崖州營倖滿守
備吳勇於應行離任時私開藥局取出火藥
分賞工房兵丁王國瑞等又該備散給防汛
兵丁火藥尅扣入已把總黃仕清陳芳俊於
兵丁領狀內益用鈐記恐有通同侵用情弊
請一併革職嚴審一摺奉

諭旨這所叅守備吳勇把總黃仕清陳芳俊俱著
革職拿問交該督嚴審定擬具奏該部知道摺
併發是日

駐蹕呼魯蘇臺大營

二十二日丁巳吏部議雲南巡撫譚尚忠奏
署雲南縣知縣梁燿宸試俸期滿准實授一
疏內閣奉

諭旨梁燿宸依議用餘依議又議遺失有印書籍
之原充四庫館提調陸費墀等照例革任降
調罰俸一疏奉

諭旨陸費墀革任之處著註冊韋謙恒彭元琬俱
著降一級調用吳裕德周興岱關槐俱著銷去
加一級免其降調徐鑑著降一級留任羅修源
罰俸六個月吳敬輿著銷去紀錄二次王保著

銷去紀錄一次俱免其罰俸恭奏著銷去紀錄
二次胡榮著銷去紀錄一次其從前罰俸三個
月之處仍各註於紀錄抵銷餘依議又議未經
校出通鑑輯覽繕寫錯謬之總校官翰林院
侍講王燕緒照例降調一疏奉

諭旨王燕緒著降三級調用餘依議又議山西巡
撫勒保奏蒲縣知縣員缺請以候補知縣崔

時泰補授查該員任內有降級留任之案應
將違例題請實授之該撫照例罰俸一疏奉
諭旨勒保著銷去紀錄一次仍罰俸三個月餘依
議又議於所屬民人涂長烈偷竊牛隻一案延
玩不結致釀重案之湖南寶慶府知府孟浩
等照例革職一疏奉

諭旨此案前任武岡州知州張紹鼎於民人涂長

烈偷竊牛隻一案延玩不結任聽差役滋擾以
致釀成重案寶慶府知府孟浩於屬州詞訟既
不按限嚴催及代理州事又明知前任知州有
差役詐贓之案不及查拿究辦均非尋常失察
可比張紹鼎孟浩著照部議革職餘依議又兵
部奏補湖南鎮軍鎮標中軍守備員缺擬以
預保千總湯大綬掣補一疏奉

諭旨湯大綬依擬用餘依議是日

駐蹕那爾蘇臺西山根大營

二十三日戊午都察院衙門奏湖北監利縣
孀婦李陳氏呈控夫姑墳棺被豪矜何文郁
發掘請交該督撫查辦一摺內閣奉

諭旨此案原告之陳李氏著交部照例解任湖北
質審又戶部左侍郎管理順天府戶將賜祭

等奏原任御史書寧家奴王七糾合多人將

順天府學宮門窗打毀詔置教官王信陽門

軍李福等請文部治罪一摺奉

諭旨此案王七等係旗下家奴乃敢於昏夜糾合

多人將學宮中門打毀並將教官辱罵甚屬可

惡著交刑部即將王七等嚴行審訊從重定擬

具奏摺併發是日

駐蹕那爾蘇臺梁西山根大營

二十四日己未

上行圍是日巴林郡王巴圖等於行營西門外設

大毬廬侍

上膳畢

上閱騎生駒跑等馬是日

駐蹕都穆達烏拉岱大營

二十五日庚申

上行圍是日內閣奉

諭旨福建海壇鎮總兵員缺著蔡攀龍補授又奉

諭旨安徽廬鳳道員缺著和寧補授潁州府知府

員缺緊要著該督撫於通省知府內揀選一員

調補所遺員缺著孫藩補授是日吏部議四川

總督保寧奏署夾江縣知縣莫應昌試俸期

滿准實授一疏奉

諭旨莫應昌依議用餘依議又議保寧奏署隆昌

縣知縣趙敬業試俸期滿准實授一疏奉

諭旨趙敬業依議用餘依議又議陝西巡撫巴延

三奏署平利縣知縣周冲試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨周冲依議用餘依議又議因緝臺匪從犯將

姓名相同之水手率行拘訊之直隸總督劉
峩照例降調查任內有革職留任之案無級
可降應行革任一疏奉

諭旨劉峩著從寬免其革任仍註冊餘依議又議
欲於例外多設科條煩瑣入奏之雲南按察
使王懿德照例降調一疏奉

諭旨王懿德著改為降三級從寬留任又兵部議

兩江總督李世傑奏江南平望營都司員缺
准以提標後營守備馬天麟陞補一疏奉

諭旨馬天麟依議用餘依議又議李世傑奏江南
青山營守備員缺准以督標千總王廷貴陞
補一疏奉

諭旨王廷貴依議用餘依議又都察院等衙門議

奏謝

恩賞紗葛合詞奏謝率照衙門列銜繕摺之協辦

大學士劉墉等照例罰俸一疏奉

諭旨劉墉金簡俱著罰俸六個月彭元瑞伊齡阿
俱著銷去紀錄一次其從前罰俸之處仍各註
於紀錄抵銷是日

駐蹕巴顏布爾哈蘇臺大營

二十六日辛酉

上行圍是日

駐蹕巴彥溝大營

二十七日壬戌

上行圍是日內閣奉

諭旨黃檢著加恩帶所降之級仍留藍翎上行走
是日四川總督保寧奏眉州學正石瑤光失
察學書范洪陶藉端勒索致武生閔善射牽

涉命案恐有主使縱容情事請將該員革職

嚴審一摺奉

諭旨這所叅眉州學正石瑤光著革職交該督提

集案內人犯一併嚴審定擬具奏該部知道摺

併發是日

蹕蹕達彥梁北口大營

二十八日癸亥

上行圍是日吏部議協辦大學士仍留陝甘總督

任福康安奏會寧縣知縣員缺准以候補知

縣舒德彭補授一疏內閣奉

諭旨舒德彭依議用餘依議又議四川總督保寧

奏署中江縣知縣吉士璜試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨吉士璜依議用餘依議又議查倉尚書胡季

堂金簡既知侍郎德成悞執漕米新陳攙雜

臆見不據實叅奏應各降二級留任金簡有

加級抵銷一疏奉

諭旨胡季堂著降二級留任金簡著銷去加二級

免其降級又刑部等衙門奏秋審雲南省可矜

人犯馮朝貴一名照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜人犯馮朝貴依議免死減等發

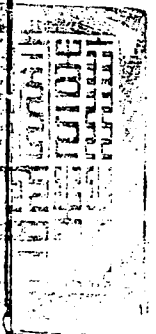
落餘依議是日

駐蹕伊綿溝大營

二十九日甲子

上行圍是日

駐蹕伊綿溝大營



乾隆五十二年歲次丁未九月初一日乙丑

上行圍是日

駐蹕案巴究溝口大營

初二日丙寅內閣奉

諭旨刑部具題四川省秋審各案犯本內九鄉從
緩決改入情實者共有九起朕遂案詳加披閱
內惟絞婦杜氏因姦好之僧元淨榕死伊夫梁

大潮一案元淨因姦敗露將梁大潮榕傷斃命
杜氏見梁大潮榕斃即行哭喊被元淨用言嚇
禁回家隱忍並不告知屍父此案杜氏因姦起
衅致伊夫被元淨榕死又懼恐嚇隱忍不言核
其情節本無可寬但杜氏見伊夫被元淨榕斃
即行哭喊究有不忍致死伊夫之心尚有一線可
原雖罪應情實尚祇可免勾至李明一案因伊

丐伴李娃子竊取葫荳煮食李明索食不給隨
拾柴塊毆傷斃命欺凌幼孩兇毆致死又復棄
屍攫物龍現鰲一案因向匡珍元索找田價致
相爭毆匡珍元拔刀向砍互相擄奪因刀落地
龍現鰲俯身拾取又被按毆即拾刀連砍殞命
理由肇衅刃殺傷多馮玉一案因郭榮向伊索
欠求緩不允被其毆罵馮玉用刀架格被揪隨

用刀砍傷殞命刀斃徒手理由傷重倪世斌一
案因七十五歲之道人王復元向鄰寺借宿倪
世斌恐來歷不明囑勿容留王復元爭詈向毆
該犯奪棍毆傷因被腳踏復取磚香爐擲傷殞
命毆斃老人傷多且重周興舉一案因妹出嫁
嗔伊弟不與點燈持刀欲砍碎伊弟所乘轎子
劃傷伊弟經葉開太趨勸拉任周興舉掙不脫

身用刀戮傷殞命逞忿遽怒刃斃徒手解勸之人郭元斌一案因曹芝試告知該犯九歲幼孩竊摘包穀郭元斌勸令不必理論被其毆罵隨用刀格傷因被脚踢復用刀戮傷殞命護子理曲刃斃徒手王潮一案因赴鄧燭家行竊被鄧燭追及抱住用刀戮傷事主竊匪拒捕刃戮事主多傷梅自重一案因李佐向伊父定買麥子

未經交還途遇向索致相爭推被李佐棍毆梅自重用刀砍傷殞命負欠理曲刃砍傷重以上八案俱係情真罪當於法無可寬貸部改甚當自應入於情實乃概行列入緩決殊為寬縱陳奉茲身為臬司於此案犯並不核其輕重悉心定擬致九卿改擬多案實屬有意從寬以為邀譽沽名之地陳奉茲著交部嚴加議處鄂輝署

理總督於該臬司辦理失當不能指駁改正亦有不合但鄂輝本係將軍因保寧來京陛見暫署督篆於刑名案件素所未諳應免置議至保寧身為總督秋讞大典關係緊要該督雖經准令來京陛見但應俟秋審事竣再行起程乃竟諉之署任總督辦理以致讞案不能核擬允當保寧著飭行嗣後各督撫除奉特旨令其來京

陛見者自當即行起程此外奏請陛見允准後如遇該省有大計軍政及文武科場秋審等項要務俱俟辦理完竣後再行起程來京陛見不得移交署任卸責致有遺悞將此通諭知之是

日

駐蹕烏蘭哈達南大營

初三日丁卯

上行圍鎗殪虎一是日內閣奉

諭旨據保寧奏四川阜和協右營都司張維已擊

陞廣東提標後營遊擊例應即赴新任但現因

揀派熟練將備管領番練需人張維素為熟諳

請將該員暫以陞銜留任遇有本省遊擊缺出

另行請補等語著照所請張維准其陞銜留任

遇有該省遊擊缺出該督即行奏明陞補該部

知道摺併發又奉

諭旨據保寧奏叙州府知府施光輅委令總運

閩省米石因欲遣家口回浙稟請順道回署照

料經保寧屢次嚴催該府至七月二十二日始

到重慶以至米船延至八月初九日始得掃幫

開行該府又不隨幫起程逗遛多日實屬任意

玩延請將施光輅革職仍令戴罪押運等語川

省辦運閩米關係軍糈該府係派令總運之員

輒以私事回署又復任意玩延逗遛多日泄視

公務非尋常玩悞可比僅予革職不足蔽辜施

光輅革職發往伊犁充當苦差以示懲儆摺併

發是日吏部議兩江總督李世傑奏江南清河

縣知縣員缺准以銅山縣縣丞王城陞補一

疏奉

諭旨王城依議用餘依議又議李世傑奏安徽鳳

陽府通判員缺准以寧國府通判博卿額調

補所遺員缺准以候補通判謝用淳署理一

疏奉

諭旨博卿額依議調補餘依議又議浙江巡撫琅

玕奏蘭谿縣知縣員缺准以浦江縣知縣吳

嗣湖調補所遺員缺准以候補知縣鄭裕國

署理一疏奉

諭旨吳嗣湖依議調補餘依議又議三道館承辦

通志天文畧複寫一條之纂修官茹荼總裁

官劉墉等照例罰俸一疏奉

諭旨茹荼著罰俸一年劉墉著罰俸六個月王杰

著銷去紀錄一次免其罰俸彭元瑞著銷去紀

錄一次其從前罰俸一個月之處仍註於紀錄

抵銷又刑部等衙門奏本年秋審貴州省可矜

人犯姜思炎徐光國二名照例減等發落一

疏奉

諭旨這情有可矜各犯姜思炎等依議免死減等

發落餘依議又奏秋審四川省可矜人犯汪啟

成陳潮璉李文強三名照例減等發落一疏

奉

諭旨這情有可矜各犯汪啟成等依議免死減等

發落餘依議是日巡視北城給事中興安劉紹

錦奏副指揮羅克昭盤獲行劫通州昌平州

房山縣盜犯韓二姜二等移交刑部審擬查

該員於上年三月拿獲積匪張四等七犯及

偷竊寶源局官銅賊犯本年二月連獲滿貫

竊盜及昌平州創墳積匪茲又於隣境行劫

盜犯甫經潛入境內即能立時盤獲可否送

部引

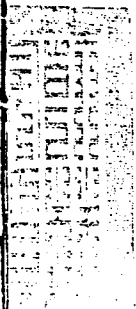
見一摺奉

諭旨羅克昭著於回鑾後交部帶領引見是日

駐蹕伊遜河東大營

初四日戊辰

上行圍是日內閣奉



諭旨四川叙州府知府員缺著吉陞保補授是日
駐蹕六道河大營

初五日己巳

賜蒙古王公貝勒額駙台吉等飯是日太常寺奏

九月二十七日

孝慈高皇后忌辰致祭

福陵一疏內閣奉

諭旨遣福寧額行禮又吏部議陝西巡撫巴延三

奏漢中府留壩同知員缺准以候補同知李

景蓮補授一疏奉

諭旨李景蓮依議用餘依議又議覆勘四庫全書

簽出違碍錯誤之詳校官內閣學士胡高望

等照例紀錄一疏奉

諭旨胡高望吉夢熊阮葵生祝堃俱著紀錄一次

又議酌撥米石運往閩省辦理安速之湖南

巡撫浦霖照例加級一疏奉

諭旨浦霖著加一級又議三通館承辦

皇朝文獻通考訛錯草率之校閱官陳萬全總裁

官劉壩等照例罰俸一疏奉

諭旨劉壩著罰俸六個月陳萬全著銷去紀錄一

次仍罰俸六個月王杰著銷去紀錄一次免其

罰俸彭元瑞著銷去紀錄一次仍罰俸一個月

註於紀錄抵銷又刑部等衙門奏秋審廣東省

可矜人犯賴奇勳陸振起二名照例減等發

落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯賴奇勳等依議免死減等

發落餘依議是日

駐蹕張三營行宮

初六日庚午刑部奏提記承辦密雲營房工程虧欠官項擬派監追劉思遠之子劉敬修所控商夥趙敬修姜成統兩人名下應分繳銀共八千四百兩請解交熱河副都統熱河道勒限嚴追一摺內閣奉

諭旨趙敬修姜成統名下應追官項著交熱河總管熱河道著追完項餘依議是日

駐蹕波羅河屯行宮

初七日辛未

駕至十八里臺安禪寺拈香是日內閣奉

諭旨據柴大紀奏官軍在諸羅縣城外剿殺賊匪二日一夜官兵不暇造飯俱係城內紳耆舖民挑飯送食并挑送凉水兵丁得無饑渴又據常青李侍堯等奏牌腹村義民運糧接濟諸羅城

中各等語該處民人當官軍剿殺賊匪之時能各知大義踴躍奉公深堪嘉尚自應特沛恩膏以示獎勵著福康安常青李侍堯即行查明首先創義之義民頭目一面奏聞一面酌給官職第念各該處義民衆多若僅將頭目給官嘉獎恩施總未普徧前曾降旨蠲免臺灣本年應徵錢糧著再加恩將五十三年分臺灣府屬應徵

錢糧概行豁免並著該將軍等即行普貼騰黃俾全郡民人共知感激加倍奮勉急公以副朕優獎義民有加無已之至意該部即遵諭行又奉

諭旨福建水師提督藍元枚於臺灣逆匪林爽文糾衆滋事以來屢經統領將弁奮勇直前剿殺逆匪并籌畫一切皆有條理特降旨授為叅贊

以示獎勵昨藍元枚奏染患痢症屢次力疾統
兵勇往堵剿復降旨賞給大小荷包用昭體卹
方冀速就痊愈迅奏膚功以承恩叙茲據李侍
堯奏藍元枚於八月十八日病故聞之深為憫
惻藍元枚著贈太子太保並賞銀一千兩以示
朕軫念勤勞優卹戎臣之至意所有應得卹典
著該部察例具奏是日

駐蹕中闕行宮

初八日壬申吏部議湖南巡撫浦霖奏署永
順府知府伯起圖歷俸期滿准實授一疏內
閣奉

諭旨伯起圖依議用餘依議又議安徽巡撫書麟
奏署太和縣知縣李長安試俸期滿准實授
一疏奉

諭旨李長安依議用餘依議又據兩江總督李世
傑奏安徽鳳陽府同知員缺請以宣城縣知
縣胡鵬雲陞署查該員歷俸未滿與例不符
既經專摺奏請可否准其陞署一疏奉

諭旨胡鵬雲准其陞署餘依議又議廣西巡撫孫
永清奏臨桂縣知縣員缺請以署義寧縣知
縣張曾誼調署所遺員缺請以候補知縣李

日躋署理查該員題署義寧縣知縣未據該
撫咨報與例不符應毋庸議一疏奉

諭旨張曾誼等著照該撫等所請行又議核覆陝
西省陳宗選盜賣官鹽地保張全奇扶同具
報沉溺各情節未經議駁之刑部堂司各官
照例罰俸一疏奉

諭旨胡季堂穆精阿李封俱著罰俸三個月阿桂

著銷去尋常紀錄一次免其罰俸喀寧阿著銷去紀錄一次仍著罰俸一月阮葵生著罰俸三個月之處著註於紀錄抵銷餘依議又兵部議兩廣總督孫士毅奏廣東春江協右營守備員缺准以雷州營千總陳朝棟補授一疏奉諭旨陳朝棟依議用餘依議又議盜竊各案限滿未獲並失察剗挖金砂及所屬叅將年衰技

疎不行揭報各員照例降級罰俸一疏奉

諭旨寶瓚於現任內罰俸一年又一案著降二級留任梁朝桂著銷去軍功紀錄一次仍給還尋常紀錄一次閔正祥著銷去尋常加一級紀錄四次葉至綱著銷去尋常加二級俱免其降級王柄著銷去尋常紀錄一次免其罰俸餘依議又刑部等衙門奏秋審奉天等處可矜人犯

王大吳成二名照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯王大等依議免死減等發落餘依議又奏秋審陝西省可矜人犯呂生一名照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜人犯呂生依議免死減等發落餘依議是日

駐蹕承德府行宮

初九日癸酉內閣奉

諭旨九月十六日勾到著改於十四日勾到又奉諭旨藍元枚剿捕臺灣逆匪以來一切籌畫皆有條理並屢次力疾統兵勇往殺賊昨據李侍堯奏於八月十八日病故業經加恩贈太子太保交部議卹並賞銀一千兩以示軫卹所有應襲輕車都尉雲騎尉世職著伊長子藍誠即行承

葉仍俟百日服滿該督咨送到部帶領引見用
昭優卹勤勞有加無已至意又奉

諭旨據常青等奏臺灣府知府楊廷樺現已病故
所遺員缺暫委海防同知楊廷理署理等語楊
廷樺自抵臺灣任事後於一切堵禦巡防及經
理糧餉等事均屬奮勉出力楊廷樺著給還布
政使原銜以示優卹楊廷理隨營剿捕甚屬奮

勉前已降旨賞戴花翎所有臺灣府知府員缺
即著楊廷理補授是日

駐蹕承德府行宮

初十日甲戌內閣奉

諭旨江蘇揚州府知府員缺著劉炳補授所遺員
缺著張炯補授又奉

諭旨閩鶚元奏江都縣監犯有葛小髻子王三仔

李二等三犯越獄脫逃隨即跟究查拿將葛小
髻子拿獲正法尚有王三仔李二等兩名未獲
請將署江都縣之甘泉縣知縣趙增革職典史
陳恭禮革職拿問知府恒豫交部嚴加議處等
語葛小髻子俱係戕傷人命及行劫逃遣重犯
該縣等理應加意防範嚴密監禁乃並不督飭
禁卒小心看守以致重犯同時脫逃致有三名

之多未便稍為寬假至恒豫近在同城於首邑
監獄不能整頓稽查以致重犯越獄多名亦非
尋常失察可比典史陳恭禮知縣趙增俱著革
職拿問知府恒豫著革職一併留於該省地方
協緝以為玩視監獄者戒該部知道摺併發是
日吏部議直隸總督劉峩奏署大城縣知縣
胡振坤試俸期滿准實授一疏奉

諭旨胡振坤依議用餘依議又議劉峩奏寶坻縣

知縣員缺准以廣昌縣知縣吳端立調署所

遺員缺准以候補知縣汪瀾署理一疏奉

諭旨吳端立依議調補餘依議又議查驗米色混

分等第不將誤聽人言情由據實覆奏之工

部侍郎德成照例降級留任一疏奉

諭旨德成著降二級留任又戶部奏請五城給散

煮賑銀米一疏奉

諭旨依議這煮賑銀米著五城御史親身散給務

使貧民得沾實惠勿致胥役侵蝕中飽仍著都

察院堂官不時察看又議接徵五十二年分漕

錢糧未完八分以上之前任江西署德安縣

丁憂知縣嚴儀照例革職一疏奉

諭旨依議其因漕項錢糧未完八分以上議以革

職之嚴儀俟服闋之日著本籍督撫查照原

咨考語叙入文內送部引見又兵部奏請

欽點本年丁未科武會試收掌試卷官一疏奉

諭旨這收掌試卷著有點的官員去

硃筆點出中書科中書楊潭又奏請

欽點執事各官一疏奉

諭旨這執事各官著照該部所擬人員去又刑部

等衙門奏秋審湖廣省可矜人犯程志義袁

正江陳德一鄭興詩四名照例減等發落一

疏奉

諭旨這情有可矜各犯程志義等依議免死減等

發落餘依議又奏秋審江西省可矜人犯張克

進劉起泉王苟生等三名照例減等發落一

疏奉

諭旨這情有可矜各犯張克進等依議免死減等

發落餘依議是日

駐蹕承德府行宮

十一日乙亥辰刻

上御行殿大學士和珅王杰兵部尚書福長安戶

部尚書董誥刑部尚書胡季堂左侍郎李封

內閣學士扎勒翰阿肅以刑科覆奏九卿詹

事科道秋審各省官犯服制雲南貴州二省

情實罪犯應勾決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至服制內舊列情實之斬犯車為翰等十一名

雲南省舊列情實之絞犯鄭起等八名貴州

省舊列情實之斬犯董玉成一名絞犯蕭應

甲等六名

上命俱仍著停決

閱至官犯內新列情實之絞犯招遠縣典史王鑿

因令社長盛入仕買豆致盛入仕投繯殞命

一案

上曰王鑿係招遠縣典史因令社長盛入仕買豆

四斗發價四百文盛入仕止交四升經衙役紀

惠撞過令其買交盛入仕不服紀惠拉令進署

見官復恃強抗拒致將屏門板落該典史責打

十五板押令賠修盛入仕自行投繯殞命買豆

業已發價死者本屬刁橫依法責打死由自縊

情尚可原著停決

閱至各省服制內新列情實之絞犯陸世昌誤傷

胞兄身死一案

上曰陸世昌因胞兄陸世爵將伊分授地土占種有年旋經長兄陸世明理論退回輒被懷恨持刀向砍該犯情急用担架格擊落刀口致傷陸世爵左胳膊左手腕因懼其復砍上前奪刀將刀抽出不期致傷其右脇等處旋即平復該犯自行赴縣投首釁起理直被砍奪刀倉猝誤劃致傷尚非逞兇干犯情稍可原著停決

閱至斬犯何文照戮傷服兄身死一案

上曰何文照因小功服兄何文進被伊父斥其不應代弟圖娶同姓孀婦為婚即持刀尋衅將伊父按地拳毆左乳伊父喊救該犯聞聲趨救何文進不放復欲行毆該犯情急拾刀嚇戮適傷其脊背殞命死者理曲犯尊該犯情切救護情稍可原著停決

閱至斬犯劉元書砍斃胞兄姊身死一案

上曰劉元書因胞兄劉元幅並出嫁胞姊王劉氏忤逆伊母致母抱忿自盡該犯外出回歸經伊父告知該犯忿激痛哭向論反被劉元幅王劉氏咒罵刀砍隨起意一併殺死取刀砍傷劉元幅王劉氏斃命兄姊俱罪犯應死該犯殺由忿激情尚可原著停決

閱至斬犯楊孫禮毆傷胞兄身死一案

上曰楊孫禮因胞兄楊孫義向姑母強借錢文嫌少不走經伊勸令回歸被其抱怨毆傷該犯情急奪棍回毆致傷其耳根腦後等處殞命死者強借無賴該犯被傷回毆適斃尚非無故干犯情稍可原著停決

閱至斬犯李林先跌傷胞兄身死一案

上曰李林先因胞兄李科先修離占路將伊子李三娃毆傷倒地該犯瞥見理論被其揪住欲毆冀圖脫走用力將被拉之手一摔不期李科先站立不穩自行側跌凳上磕傷左太陽李三娃移時身死李科先次早殞命死由自跌尚非逞兇干犯該犯之子已被毆斃情稍可原著停決
閱至斬犯陳光裕誤傷胞叔身死一案

上曰陳光裕因胞叔陳登輝與歐祖昌互相扭結該犯恐叔年老受傷上前分勸不開順拾木塊向歐祖昌毆打以致誤傷陳登輝左腦後殞命傷由誤中死非意料情尚有原著停決

閱至斬犯王二砍傷胞兄身死一案
上曰王二因胞兄王大強姦伊妻未成理斥不服先受拳傷復被斧砍揪毆該犯奪斧毆砍先後

致傷其頂心左膝等處殞命忿激毆斃淫惡滅倫胞兄情尚可原著停決

閱至斬犯安玉毆傷胞兄身死一案

上曰安玉因胞兄安啟黑夜強姦伊妻未成理斥不服反被拾担毆傷該犯奪担回毆致傷其偏右殞命忿激回毆死係淫惡滅倫胞兄情尚可原著停決

閱至斬犯張必科毆傷服兄身死一案

上曰張必科因伊父張賓斥大功服兄張必升不照顧牛隻即被拳毆鼻梁流血復按地騎壓亂毆并拾石欲打該犯聞聲起至恐父傷斃情切救護用拳向毆致傷張必升左脇殞命死者犯尊逞兇該犯情切救父稍有可原著停決
閱至斬犯王佑玉戳傷胞兄身死一案

上曰王佑玉因胞兄王佑金推跌伊母并持刀起殺該犯趕上救護奪刀被毆隨用刀先後抵戳致傷其臍腹等處殞命兄犯逆倫死罪該犯傷由抵戳情尚可原著停決

閱至斬犯朱承武毆傷服兄身死一案

上曰朱承武因伊妻摘取大功服兄朱謝中田內油菜致被奪去菜籃經伊父朱盛章向索被朱

謝中携杖出論互扭跌地該犯聞聲趨至見父被壓拉勸即被用杖毆傷情切救護奪杖回毆致傷朱謝中顛門殞命情由救父回毆適斃稍有可原著停決

閱至斬犯李才誤傷胞兄身死一案

上曰李才因胞兄李貴見伊携刀割菜即誣伊竊殺責令賠償該犯答以並未偷竊輒被持擔疊

毆多傷倒地李貴復用担向毆因扁担落空隨勢撲壓該犯身上以致該犯手內所執菜刀適傷李貴右脇殞命衅由死者誣竊自行撲壓受傷該犯尚非逞克干犯情稍可原著停決

閱至斬犯蕭道闔誤傷服兄身死一案

上曰蕭道闔因與族弟蕭道仵戲言牽衅被其詈毆迨經閃進門內又被持担趕至該犯情急順取鐵鍬向毆蕭道仵側身閃避不期小功服兄蕭道偕趕至蕭道仵背後拉勸以致鍬邊誤傷蕭道偕頂心殞命傷由誤中並非有心干犯情稍可原著停決

閱至斬犯李科才毆斃胞兄身死一案

上曰李科才因胞兄李科文推跌伊母劉氏倒地受傷劉氏忿恨取鋤喝令毆打手足李科才代

為求饒劉氏不依該犯無奈接鋤用背毆傷其
右手腕右腋肋等處殞命聽從母命毆斃忤逆
罪犯應死胞兄情稍可原著停決

閱至斬犯吳花苟毆傷服叔身死一案

上曰吳花苟因小功服叔吳三元與伊父爭論田
畝將伊父扭住不放該犯恐父年老受虧上前
救護左手拉住伊父隨用右拳向格適傷吳三

元胸膛越二十九日殞命傷由護父情切死在
保辜正限之外情稍可原著停決

閱至斬犯宋松扎傷服叔身死一案

上曰宋松因期親服叔宋開元在院砌牆不令伊
父宋開先牛驢行走經伊父將牆拆毀被宋開
元搭項扭靠牆上伊父氣塞不能言語該犯瞥
見拉勸不開情切救護隨拔小刀嚇扎冀其釋

手不期宋開元撲回毆打適傷其左乳殞命情
切救父尚非無故逞兇情稍可原著停決

閱至斬犯黃德誤傷服叔身死一案

上曰黃德因小功服叔黃守其向常文顯索討借
給布褂無償致與常文顯爭毆該犯瞥見趨救
拾石向常文顯擲打不期常文顯閃避以致誤
傷黃守其臍肚殞命傷由誤中並非有心干犯

情尚可原著停決

閱至斬犯任四兒戳傷胞兄身死一案

上曰任四兒因胞兄任祥以伊在禾場幫工不協
欲行致死即用鎌刀背向打該犯無處躲避執
住鎌柄勸令息怒任祥拉奪力猛仰跌倒地該
犯亦被帶跌以致刀尖誤傷其胸膛殞命傷由
誤戳死非意料且該犯於單大經等越獄時守

法未逃情稍可原著停決

閔至斬犯趙喜砍傷服兄身死一案

上曰趙喜因大功服兄趙均崇見伊在分得公地
割取高糧聲稱毋再混割致相爭毆被其拳毆
鼻準流血復行脚踢該犯隨用鎌刀毆砍致傷
其右臙肋等處越八十二日殞命雖係刃斃服
兄但死在保辜正餘限外情尚可原著停決

閔至斬犯惠添幅扎傷服兄身死一案

上曰惠添幅因小功服兄惠添全醉後見伊母舖
內炕煖欲行歇宿不允爭鬧而散嗣後至舖叫
罵伊母出論被其推倒騎壓拳毆該犯瞥見情
切救護順拾小刀扎傷其脊背等處殞命救母
情切尚非無故干犯稍有可原著停決
閔至斬犯馬七誤傷胞兄身死一案

上曰馬七因胞兄馬忠亮屢次向伊索錢陸續給

與嗣因無錢向索未給致被吵罵該犯勸其回
家不允隨用手拉令出舖馬忠亮不肯行走用
力一掙以致自行跌地磕傷額顱偏右殞命傷
由自跌並非逞克干犯情稍可原著停決其官
犯內新列情實之絞犯東野崇鑄一名服制
內新列情實之斬犯范良現等二名雲南省

新列情實之斬犯張蜚榮等十一名絞犯高
洪亮等六名貴州省新列情實之斬犯楊昌
傑等十二名絞犯陳仕忠等二十名俱情罪
重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日留京辦事王大臣等奏遵
旨查詢孫景燧之子孫曰增請領卹銀一案當即

傳到出具印結之戶部即中吾祖望再四究詰雖無冒領侵漁情弊但從前工部堂官傳詢時並不供明孫曰增實未在京殊屬有心捏飾應請交部嚴加議處一摺內閣奉

諭旨此案即中吾祖望於孫景燧家屬請領卹賞銀兩一事捏詞承領及六月間傳旨查詢仍謊稱孫曰增實在來京殊屬有心捏飾吾祖望著

革職至工部堂官發給此項銀兩並不查明請領之人率行發給亦屬非是俱著交部察議該部知道摺併發是日

駐蹕承德府行宮

十二日丙子內閣奉

諭旨提督山西學政著鄭際唐去是日

駐蹕承德府行宮

十三日丁丑辰刻

上御行殿大學士和坤王杰兵部尚書福長安戶部尚書董誥刑部尚書胡季堂左侍郎李封內閣學士扎勒翰阿肅以刑科覆奏九卿科道秋審四川省情實罪犯應勾決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至舊列情實之斬犯馬伸等十二名絞犯史在

高等十一名

上命俱仍著停決

閱至新列情實之絞犯霍倬幫捕致斃一案

上曰霍倬因衙役奉差傳喚死者拒捕傷差該犯幫捕致斃並無詐贓逼拷情事尚有可原著停決

閱至絞婦杜氏因姦致死本夫一案

上曰杜氏因伊姦好已正法之僧元淨格死伊夫

當即哭喊尚有不忍致死其夫之心情稍可原

著停決其斬犯大用等三十四名絞犯戴文等

三十四名俱情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日太常寺奏九月二十九日

孝敬憲皇后忌辰致祭

秦陵一疏內閣奉

諭旨遣弘閔行禮又吏部議廣西巡撫孫永清奏

平南縣知縣員缺准以候補知縣桂林府經

歷孫鑒補授一疏奉

諭旨孫鑒依議用餘依議又議兩江總督李世傑

奏安徽宣城縣知縣員缺請以休寧縣知縣

徐日簪調補所遺員缺請以候補知縣趙霖

署理查該員歷俸未滿與例不符既經專摺

奏請可否准其調補一疏奉

諭旨徐日簪准其調補餘依議又議四川總督保

寧奏宜賓縣知縣員缺請以洪雅縣知縣魏

之琳調補查該員歷俸未滿與例不符既經

專摺奏請可否准其調補一疏奉

諭旨魏之琳准其調補餘依議又議河東河道總

督蘭第錫等奏河南開封府下南河同知員

缺請以考城縣知縣陳士駿陞署查該員任

內有罰俸十一案與例不符應將遺漏聲叙

之該督等照例罰俸一疏奉

諭旨畢沅著罰俸三個月蘭第錫著銷去紀錄一

次免其罰俸餘依議又議失察大石要犯張君

德過境不能覺察查拿之河南布政使江蘭等照例降調一疏奉

諭旨江蘭著銷去加一級畢統著銷去隨帶加一

級俱免其降調餘依議又刑部等衙門奏秋審

江蘇省可矜人犯姚三一名照例減等發落

一疏奉

諭旨這情有可矜人犯姚三依議免死減等發落

餘依議又奏秋審安徽省可矜人犯徐曉雲朱

添彩等二名照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜人犯徐曉雲等依議免死減等

發落餘依議是日

駐蹕承德府行宮

十四日戊寅辰刻

上御行殿大學士和坤王杰兵部尚書福長安戶

部尚書董誥刑部尚書胡季堂左侍郎李封

內閣學士扎勒翰阿肅以刑科覆奏九卿詹

事科道秋審廣西廣東二省情實罪犯應勾

決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至廣西舊列情實之斬犯何福等四名絞犯陳

茂等二名廣東省舊列情實之斬犯周維發

等七名絞婦楊氏等八名

上命俱仍著停決

閱至廣東省新列情實之絞犯梁佐泰毆死卑幼

一案

上曰梁威逞兇械毆死係總麻服兄法無可寬是以勾決梁佐泰拾磚回擲僅止一傷死係卑幼

情尚可原著停決

閱至絞犯陳日盛語言調戲致婦羞忿自盡一案
上曰陳日盛因語言調戲致本婦羞忿自盡尚無
手足勾引情稍可原著停決其廣西省新列情
實之斬犯曾芝翔等七名絞犯余自敬等十
一名廣東省新列情實之斬犯吳亞龍等十
三名絞犯韓廷魁等四十九名俱情罪重大

萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨陝西興漢鎮總兵員缺著保興調補其所遺

員缺即著劉允桂調補是日

駐蹕承德府行宮

十五日巳知

駐蹕承德府行宮

乾隆五十二年歲次丁未九月十六日庚辰

辰刻

上御行殿大學士和珅王杰兵部尚書福長安戶

部尚書董誥刑部尚書胡季堂左侍郎李封

內閣學士扎勒翰阿肅以刑科覆奏九卿詹

事科道秋審福建省奉天等處情實罪犯應

勾決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至福建省舊列情實之斬犯蘇秩等四名絞犯

鄧恩老等六名其奉天等處舊列情實之斬

犯周篤等三名絞犯張進英等五名

上命俱仍著停決

閱至福建省新列情實之絞犯俞細婢殺死姦夫

姦婦一案

上曰俞細婢因妻犯姦慮及到官出醜起意將姦

夫姦婦一併殺死殺由忿激死係犯姦罪人情

尚可原著停決

閱至絞犯潘聰等十名糾夥行劫一案

上曰首犯陳薦等糾夥行劫該犯等均屬另案搶

奪為從並未傷人且首犯俱經正法斷不因該

省現有林奕文滋事之案概予處決著停決

閱至奉天等處新列情實之絞犯陳世富毆死甲

幼一案

上曰陳世富毆死陳六因死者醉鬧理曲且係小

功卑幼情稍可原著停決其福建省新列情實

之斬犯賴賜祿等三十名絞犯老林子等三

十九名其奉天等處新列情實之斬犯施信

功等十六名絞犯喻四等十七名俱情罪重

大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日太常寺奏十月初一日孟冬時享

太廟一疏內閣奉

諭旨朕親詣行禮

後殿遣永錫行禮東廡遣弘豐西廡遣鄂爾弼圖各

分獻又吏部議直隸總督劉我奏隆平縣知縣

員缺准以候補知縣孫鑑補授一疏奉

諭旨孫鑑依議用餘依議又議四川總督保寧奏

署南部縣知縣游際泰試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨游際泰依議用餘依議又議保寧奏署珙縣

知縣張昱試俸期滿准實授一疏奉

諭旨張昱依議用餘依議又議安徽巡撫書麟奏

阜陽縣知縣張護試俸期滿准實授一疏奉

諭旨張護依議用餘依議又議大理寺少卿何曰

珮患病告假可否給假調理一疏奉

諭旨何曰珮准其給假照例開缺又戶部奏山東

省經徵四十八年分耗羨銀兩未完應將督

催不力各員照例罰俸一疏奉

諭旨繆其吉著罰俸一年明興著于現任內罰俸

一年餘依議又兵部議兩廣總督孫士毅奏廣

東龍門協副將員缺准以海門營叅將趙勇

陞補一疏奉

諭旨趙勇補授廣東龍門協副將餘依議又議兩

江總督李世傑奏江南福山營守備員缺准

以預保千總章如麟陞補一疏奉

諭旨章如麟依議用餘依議又刑部等衙門奏秋

審河南省可矜人犯靳智賈得富等三名照

例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯靳智等依議免死減等發

落餘依議又奏秋審山東省可矜人犯孫三呂

增二名照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯孫三等依議免死減等發

落餘依議又奏秋審山西省可矜人犯楊五羊

師必青張二保李維翰閔庭富等五名照例

減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯楊五羊等依議免死減等

發落餘依議是日

駐蹕喀喇河屯行宮

十七日辛巳巡視西城給事中納福黃騰達

奏副指揮胡齊崙盤獲行劫平谷縣盜犯閔

三羅二錄供詳解臣等親加究詰無異請

旨交刑部嚴審定擬再查胡齊崙本年四月曾經

拏獲逃逸積匪魏三業交刑部定擬在案八

月盤獲西安駐防逃兵富珠隆阿今復盤獲

鄰境關緝行劫盜犯二名洵屬急公向上可

否送部引

見一摺內閣奉

諭旨著交部胡齊崙著准其送部引見又奉

諭旨本日刑部進呈山東省單大經越獄案內畏

法未逃各犯招冊情實各犯仍著免勾交刑部

一體列入明年之牢固監候外其原擬緩決之

公坦張文曹從諫魏思法鄧三俱著該部照例

減等發落又奉

諭旨刑部核擬山東德平縣劉致武毆死伊妻龐氏一案因照凡論將劉致武擬斬並聲明趕入本年秋審情實所辦殊屬過當該部大與人命攸關該部于核擬時自應斟酌情理詳晰妥辦以期無枉無縱其間有趕入本年秋審情實者原因案犯情罪重大如關係倫常及連殺多命殘忍逞兇編造逆詞邪教惑眾未便日久稽誅

是以趕入情實辦理所以懲儆兇頑申明法紀實明刑弼教不得已之心並非欲速置之于死也若此等夫毆妻至死之案不過尋常事犯該部祇應按例核辦入于下年情實辦理乃遽行趕入本年情實豈所謂維持風化乎轉使無識之徒妄以朕有意從嚴輕視人命豈朕矜恤庶獄之意耶朕辦理獄典務持情理之平每年秋

審勾到時於案犯招冊無不詳加披閱逐案推求至再至三其子勾之犯必係情真罪當法無可寬若稍為曲貸轉令死者含冤於地下不得不予以勾決以示與眾共棄之義所謂求其生而不得者此也該部堂官辦理秋讞有年豈尚未能深喻朕意乃為此刻覈過當之事殊屬無謂除將原摺交刑部另行照例更正並著該部

嗣後遇有此等尋常命案俱止須按律辦理毋庸趕入秋審情實外將此通諭知之是日駐蹕常山峪行宮

十八日壬午辰刻

上御行殿大學士和珅王杰兵部尚書福長安戶部尚書董誥刑部尚書胡季堂左侍郎李封內閣學士扎勒翰阿肅以

五
奏
九
卿
詹

事科道秋審陝西浙江二省情實罪犯應勾

決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至陝西省舊列情實之斬犯郭喜兒等五名絞

犯雷法等十一名浙江省舊列情實之絞犯

江合珠等六名

上命俱仍着停決

閱至浙江省新列情實之絞婦俞氏與厲汝成通

姦致本夫羞忿自盡一案

上曰俞氏與厲汝成通姦致本夫戚斯信羞忿自

盡尚無謀害別故情尚可原着停決其陝西省

新列情實之斬犯米辟兆子等三十一名絞

犯楊海等二十二名浙江省新列情實之斬

犯施亭松等七名絞犯黃受仔等二十二名
俱情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命子勾是日內閣奉

諭旨昨據李侍堯奏諸羅剿散賊匪情形一摺內
稱常青派令蔡攀龍等帶兵接應諸羅於八月
二十日分隊進剿直抵縣城二十二日復自諸

羅帶兵出城剿殺賊匪廓清道路等語諸羅為
臺灣南北兩路要區屢經賊匪窺伺糾眾滋擾
柴大紀督率官兵義民悉力捍禦因兵少力單
正在望援之際今蔡攀龍同貴林孫全謀楊起
麟邱能成等帶領官兵直前攻剿殺散賊匪速
達諸羅復帶兵出城將該處屯聚賊匪痛加剿
殺實屬奮勇出力可嘉之至蔡攀龍自派赴軍

營以來連次打仗殺賊屢著勞績已由遊擊疊加陞擢用至總兵此次援應諸羅尤能鼓勇前進往來殺賊宜沛特恩以昭獎勵所有福建水師提督員缺著崇大紀調補其陸路提督員缺即著蔡攀龍補授並著授為參贊至副將貴林等協力攻剿俱屬奮勇可嘉亦應加恩陞擢前此常青派令總兵魏大斌援應諸羅在中途被

賊攔阻及抵諸羅後又祇知坐守縣城並未能帶兵出城剿殺賊匪實屬畏葸無能魏大斌已降旨革職交福康安留於軍前効力贖罪所遺浙江温州鎮總兵員缺即著貴林補授所遺廣東羅定協副將員缺即著孫全謀補授孫全謀所遺廣東大鵬營參將員缺即著楊起麟補授其遊擊邱成能著交福康安遇有參將缺出即

奏請陞補除蔡攀龍貴林已賞戴花翎外孫全謀楊起麟邱成能俱著賞戴花翎用示鼓勵是日吏部議失察偽造假照誑騙銀兩不能覺察查拏之江西署瑞昌縣知縣事德興縣知縣楊謙照例降調一疏奉

諭旨依議其因假造印照行使不能覺察查拏議以降調之楊謙著該督撫出具考語送部引見

再降諭旨又兵部奏廣西隆林營遊擊員缺擬以左江鎮標左營都司馬為錦掣補一疏奉諭旨馬為錦依擬用餘依議又議兩廣總督孫士毅奏廣東左翼鎮標右營都司員缺准以大鵬營守備陳上高陞補一疏奉

諭旨陳上高依議用餘依議又議協辦大學士何留陝甘總督任福康安奏由肅塔爾納沁都

司員缺准以木壘營守備尚崇陞補所遺員

缺准以預保千總牛義陞補一疏奉

諭旨尚榮依議用餘依議又刑部等衙門奏秋審

直隸省可矜人犯李雙一名照例減等發落

一疏奉

諭旨這情有可矜人犯李雙依議免死減等發落

餘依議是日

駐驛兩間房行宮

十九日癸未

駐驛要亭行宮

二十日甲申辰刻

上御行殿大學士和珅王杰兵部尚書福長安戶

部尚書董誥刑部尚書胡季堂左侍郎李封

內閣學士扎勒翰阿肅以刑科覆奏九卿詹

事科道秋審湖廣省情實罪犯應勾決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至舊列情實之斬犯嚴次元等二十一名絞犯

傅章等九名

上命俱仍著停決

閱至新列情實之絞犯楊元妄孛釀命一案

上曰楊元雖係妄孛釀命但該犯奉差緝賊誣扳

由於舊匪挾嫌死係自溺該犯尚無詐贓情事

稍有可原著停決其新列情實之斬犯余永祿

等二十五名絞婦石氏等六十五名俱情罪

重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日內閣奉



諭旨畢沅奏河南陳州府知府錢汝豐現在丁憂所遺員缺請將候補知府蘇爾芳阿補授等語著照所請蘇爾芳阿准其補授陳州府知府仍令該撫給咨送部引見該部知道摺併發是日駐蹕密雲縣行宮

二十一日乙酉吏部議直隸總督劉峩奏新城縣知縣員缺准以候補知縣金之忠補授

一疏內閣奉

諭旨金之忠依議用餘依議又議未能飭屬嚴防以致內閣存貯飯銀被竊之留京辦事王大臣永琮等照例罰俸一疏奉

諭旨皇六子永琮著銷去尚書紀錄一次免其罰俸永琅罰俸一年之處著註於親王紀錄抵銷嵇璜劉墉俱著罰俸一年又議造報教諭鄒書

麟到任日期舛錯之江寧布政使王兆崇應罰俸三個月既經自行檢舉可否免其罰俸一疏奉

諭旨王兆崇既經自行查出檢舉從寬免其罰俸又議承審賊犯商金富行劫拒捕戮傷事主俞輝良身死一案遲逾二叅之浙江嵎縣知縣陳純士照例革職一疏奉

諭旨依議其因承審遲逾二叅分限議以革職之陳純士著該督撫出具考語送部引見再降諭旨又議失察典史王璠派買料豆致釀人命之山東招遠縣知縣傅熹照例降調一疏奉

諭旨依議其因失察典史派買料豆致釀人命議以降調之傅熹著該撫出具考語送部引見再降諭旨又兵部奏浙江瑞安協中軍都司員缺

擬以鎮海營守備夏拔周掣補一疏奉

諭旨夏拔周依擬用餘依議是日

駐蹕南石槽行宮

二十二日丙戌

駕還圓明園

上詣

安佑宮行禮

自五月初八日起至是日止扈從

起居注官嵩貴

二十三日丁亥內閣奉

諭旨據李綬奏伊次子李文杞原任河南縣丞告

病回籍今已病痊理應赴部候補但伊年老懇

請改捐司務俾得在京供職等語李綬年逾七

十伊子李文杞著加恩免其改捐即以司務補

用又奉

諭旨據舒常等奏靖州吏目陸禮與因家人華坤

向兵丁李凱買梨喧鬧該吏目鎖入訊明當令

開放鎖鍊並將家人責處董世璉不許私開次

日吏目路過副將衙門董世璉等將該吏目用

鍊套頸經于總張宗榮喝散並據飭司訊取張

宗榮等供出係副將尚維昭派令孫彪等前往

吏目衙門不許開鎖及發出稟稿傳諭于總控

稟華坤行用小錢買梨各情節請將尚維昭解

任一併質審等語吏目陸禮與訊知家人與兵

丁買梨起衅押鎖兵丁即將家人責處釋放兵

丁並無不是乃兵丁董世璉挾嫌逞忿始而不

准開放繼而用鎖套頸其情其屬可惡吏目雖

屬微員究係職官即有理由之事亦應稟請該

管上司究辦何得擅行鎖願殊屬自無法紀此而不嚴加懲治必起兵丁鼓噪之漸兵丁董世璉著照軍營鼓噪之例即行正法以昭懲創至副將尚維昭平日既不能約束兵丁復私寫稟稿囑令捏稟居心狡詐已可概見何待根究尚維昭即著革職嚴審此案情節較重該督撫等自應親行提訊從重辦理乃謹委之兩司辦理

殊屬玩縱著嚴行申飭其案內有無別項情節及其餘犯証並著舒常等一併嚴審定擬具奏該部知道摺併發是日吏部帶領兩江總督李世傑等奏請陞補安徽鳳陽縣知縣之現任鳳陽府經歷謝承遠引

見奉

諭旨謝承遠著照該督等所請准其陞補鳳陽縣

知縣又帶領調任湖廣總督李侍堯等奏請陞署湖北隨州知州之現任襄陽縣知縣張璿引

見奉

諭旨張璿著照該督等所請准其陞署湖北隨州知州又帶領山東巡撫長麟奏請陞署東平州知州之現任聊城縣知縣王鴻引

見奉

諭旨王鴻著照該撫所請准其陞署東平州知州所遺聊城縣知縣員缺准其將堂邑縣知縣官懋弼調補又帶領廣西巡撫孫永清保舉堪勝道員之現任桂林府知府述德引

見奉

諭旨述德著回任

是日

起居注官王保葉觀國

二十四日戊子鑲黃旗滿洲都統奏補參領

等缺帶領正陪人員引

見內閣奉

諭旨慶安著補授參領永安著補授副參領寧安

著補授印務章京國興之世管佐領著伊精阿

補授又鑲黃旗漢軍都統奏補公中佐領員缺

帶領正陪人員引

見奉

諭旨郎宣著補授公中佐領

是日

起居注官圖敏陳萬青

二十五日己丑

上詣永寧寺 萬壽山大報恩延壽寺拈香是日

吏部議福建巡撫徐嗣曾奏署邵武縣知縣

牛世顯試俸期滿准實授一疏內閣奉

諭旨牛世顯依議用餘依議又兵部議兩廣總督

孫士毅奏廣東海安營守備員缺准以澄海

協右營千總文元智補授一疏奉

諭旨文元智依議用餘依議又議失察候補助教

富松安私往外省及拿獲圍場賊犯各員照

例罰俸紀錄一疏奉

諭旨弘暢罰都統俸三個月之處著註於親王紀

錄抵銷諾穆親著罰副都統俸三個月策藏著

銷去紀錄二次其從前罰俸五個月仍註于紀

錄抵銷德保罰俸三個月之處著註於紀錄抵

銷恒瑞著紀錄二次餘依議又刑部等衙門議

山西巡撫勒保奏蒲縣民元積毆傷范仕太
身死依律擬絞監候查范仕太係在保辜限
外身死可否援例減等發落一疏奉

諭旨元積毆傷范仕太至保辜限外身死著從寬
免死照例減等發落餘依議

是日

起居注官王懿修白麟

二十六日庚寅

上詣

大高玄殿拈香

壽皇殿行禮

駕進宮是日禮部議兩廣總督兼署廣東巡撫孫
士毅奏南海縣壽婦麥何氏現年一百一歲
准照例給銀建坊一疏內閣奉

諭旨依議何氏著加恩賞給上用緞一疋銀十兩
又兵部議漕運總督毓奇奏山東德州衛守
備員缺准以江西袁州衛守備蕭廷翰調補
所遺員缺准以候補衛守備寶永魁補授一
疏奉

諭旨蕭廷翰依議調補餘依議

是日

起居注官高貴茅元銘

二十七日辛卯

上詣弘仁寺 仁壽寺 極樂世界 大西天拈

香是日巡視北城給事中興安劉紹錦奏江西

宜黃縣革生胥玉銓永豐縣革監生王世俊

互控圖賴訛詐等情請

勅交江西巡撫審究一摺內閣奉

諭旨此案著派侍郎穆精阿馳驛前往會同該撫

秉公查審定擬具奏所有隨帶司員著一併馳

驛其原被告胥王銓等著照例解往質訊是日

吏部議江南河道總督李奉翰奏署宿虹同

知孫步雲歷俸期滿准實授一疏奉

諭旨孫步雲依議用餘依議又戶部議接徵五十

年分餘租銀兩未完八分以上之前任江西

丁憂德安縣知縣嚴儀照例革職註冊一疏

奉

諭旨依議其因接徵餘租銀兩未完八分以上議

以革職註冊之嚴儀仍照前旨俟服闋之日著

本籍督撫查照原咨考語送部引見

是日

起居注官陸伯焜瑋五珠

二十八日壬辰內閣奉

諭旨前因京城米糶市價昂貴特經降旨於京倉

內撥米五萬石分給五城地方交殷實舖商減

價平糶並派監糶大臣率同五城御史專辦其

事並令會同步軍統領順天府各衙門嚴密查

察以平市價自平糶以來雖覺糧價漸減但恐

糶竣之後又復漸次加長非朕軫念民依隨時

調劑之意著再發京倉米五萬石交與五城地

方減價平糶俱著交照前次章程妥協經理俾

軍民均沾實惠以副朕加惠無已至意是日吏

部議失察仙遊縣民馬榮搶奪陳草番銀之

前任福建興化府知府陞任都察院左副都

御史馮晉祚照例於補官日罰俸一疏奉

諭旨馮晉祚著於補官日罰俸三個月餘依議又

帶領前任山東巡撫明興等奏請陞署魚台
縣知縣之現任兗州府經歷王毅引

見奉

諭旨王毅著照該撫等所請准其陞署魚台縣知
縣又帶領孛獲匪徒周三之中兵馬司副指揮

盛惇復引

見奉

諭旨盛惇復著照例陞用又帶領孛獲盜犯龐世
傑等十四名之江蘇銅山縣知縣袁知引

見奉

諭旨袁知著回任以同知題補又帶領服闋赴補
籤掣兩淮委用之原任兩淮海州運判郝敏

安引

見奉

諭旨郝敏安著照例發往又帶領病痊赴補之原
任直隸交河縣知縣王作霖引

見奉

諭旨王作霖著照例用又帶領辦理運米遲延照

例降調之河南署汲縣知縣試用知縣王育

標引

見奉

諭旨王育標著仍發往河南以知縣用其降級之
業帶於新任是日正黃旗滿洲都統奏補協領
等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨舒通阿著補授綏遠城三品協領承德著補
授喜峯口四品協領訥清額著補授成都佐領
韋馱保著補授叅領西銘之世管佐領著智福

承管書元之世管佐領著蘇勒承管又正黃旗

蒙古都統奏補世管佐領等缺帶領正陪人

員引

見奉

諭旨興福之世管佐領著福克精阿承管濟蘭泰

著補授密雲縣佐領又正紅旗滿洲都統奏補

世管佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨常福之世管佐領著吉爾圖堪承管又正紅

旗漢軍都統奏補副叅領等缺帶領正陪人

員引

見奉

諭旨李承綸著補授副叅領羅繼謹著補授印務

章京溫瑤白圖祿著補授公中佐領自是日始

上以孟冬時享

太廟致齋三日

是日

起居注官葉觀圖敬

二十九日癸巳內閣奉

諭旨京城廣寧門外普濟堂冬間施捨貧民所有

經費米石恐不敷用著加恩將京倉內小米賞

給三百石以資接濟是日吏部奏刑部員外郎

員缺將直隸多倫諾爾理事同知兆傑擬補

昭西陵禮部部中員缺將刑部員外郎額爾登布擬

補

盛京刑部主事員缺將兵部筆帖式舒齡阿擬

補一疏奉

諭旨兆傑等依擬用又奏工部司庫員缺將工部

筆帖式伊星阿擬補

泰陵工部員外郎員缺將禮部堂王事阿興阿擬補

理藩院司務員缺將學習司務福山擬補

疏奉

諭旨伊星阿等依擬用餘依議又兵部奏浙江撫

標右營守備員缺擬以預保千總毛得寶擬

補一疏奉

諭旨毛得寶依擬用餘依議是日鑲白旗蒙古都

統奏補世管佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨巴雅爾之世管佐領著希郎阿承管

是日

起居注官陸伯焜白麟

三十日甲午卯刻

上御中和殿視時享

太廟祀版是日內閣奉

諭旨原任江蘇布政使英善著暫署正白旗滿洲

副都統又吏部議直隸總督劉莪奏署延慶州

知州紀聞歌試俸期滿准實授一疏奉

諭旨紀聞歌依議用餘依議又議福建巡撫徐嗣

曾奏壽寧縣知縣員缺准以候補知縣那福

補授一疏奉

諭旨那福依擬用餘依議又帶領雲貴總督富綱

等奏請陞署雲南昭通府大關同知之現任

楚雄縣知縣張曾駁引

見奉

諭旨張曾駁著照該督所請准其陞署昭通府大

關同知所遺楚雄縣知縣員缺准其特試用知

縣徐俊德署理又帶領河南巡撫平沅奏請署
理歸德府通判之委用通判李如槐引

見奉

諭旨李如槐著照該撫所請准其署理歸德府通

判是日鑲紅旗滿洲都統奏補印務叅領等缺

帶領正陪人員引

見奉

諭旨景文着補授印務叅領碩泰着補授包衣佐

領又鑲紅旗蒙古都統奏補勳舊佐領等缺帶

領正陪人員引

見奉

諭旨扎拉芬着補授勳舊佐領奇克慎着補授公

中佐領八十着補授印務章京

是日

起居注官王保吳璣陳崇本塘五珠

乾隆五十二年歲次丁未八月初一日乙未卯刻

上詣

太廟行時享禮是日內閣奉

諭旨朕前披閱朱載堉樂律全書所載樂譜內填註五六工尺上等字並未兼註宮商角徵羽而於雅頌蒸民思文諸詩以時俗豆葉黃等牌名

小令分譜未免援古而入於俗又所注琴譜一絃之內用正應和同四聲長至十六彈不勝其冗而一音之中已有抑揚高下是徒滋繁縟而近於靡曼有類時曲曾經降旨交皇六子永瑢及鄒奕孝等將朱載堉樂律全書內疎漏歧誤之處詳晰訂正分列各條載於本書提要之後以垂永久而昭雅正因思詩三百篇皆可歌詠

魏晉時尚有文王鹿鳴等四章但未著宮調學者茫然不知而朱載堉詩譜又固執周詩不用商聲之說以角調譜國風徵調譜小雅宮調譜大雅羽調譜周頌而專以商調譜商頌夫商調乃宮商之商非夏商之商此其穿鑿拘墟不待辨而自明豈足與言五音述三百哉且古樂皆主一字一音虞書依永和聲雖有清濁長短之

節合之五聲六律祇於一句數字內分抑揚高下不得於一字一音之內參以曼聲後世古法漸湮取悅聽者之耳多有一字而曼引至數聲此乃時俗伶優所為正古人所譏煩手之音未足與言樂也從前朕親定中和韶樂細繹

皇祖欽定律呂正義考訂精密註一字一音古樂正聲永當遵守現在朝會大典鐘虞鏗鈞

備極莊雅朕從前於經筵之典令歌抑戒之詩於瓊林鷹揚兩宴令歌棧穰干城之詩皆親為指定而三百篇全詩三代以後未有全行譜定者朱載堉所譜又復雜以俗調或自行杜撰不可為訓所當詳加訂正叶之宮商俾操縵安絃之士皆得矢詩遂歌更足以昭美盛著派皇六子等會同樂部大臣悉心精核其詩篇內應用

某宮某調者俱著詳審文義定為某宮某調仍於各譜駢注七音字樣彙成一書俾四始六義之文皆可歌咏分刊節度悉符正始元音庶幾考古而益進於古以副朕條理集成引俗入古至意將來書成時即將此旨弁於簡端亦不必重為之序矣又奉

諭旨前據王公大臣及直省督撫大吏等以乾隆

五十五年朕八旬慶節請舉行萬壽慶典朕以內外臣工等臚歡祝嘏自出積誠是以降旨允行朕臨御五十餘年壽躋上耄五世一堂篤慶錫光歡騰率土宜沛特恩用光鉅典除恩詔條款屆期頒發外所有下屆鄉會試正科著於五十年八月五十四年三月預先舉行五十四年秋舉行恩科鄉試五十五年春舉行恩科會

試以示朕樂育敷恩壽考作人至意又奉

諭旨據長麟奏推陞廣西柳州府知府之現任山東運同王訥才情拘謹難勝知府之任請照例加一級留運同原任仍給咨送部等語所奏情弊顯然柳州向係烟瘴唐時柳宗元曾貶官其地人所共知雖今昔情形不同倘該處屬遠不免視為畏途今王訥現在山東運同缺分

本為優厚推陞柳州知府自更憚於遠任該撫所奏雖以王訥才情拘謹難勝知府為辭而該員轉得以陞銜仍留運同之任享其厚祿是名為刻覈其實隱為屬員規避地步所謂害之其實愛之也此等情節豈能逃朕洞鑒今於該撫瞻徇及王訥規避之咎姑免深究但王訥若准仍留運同原任轉得遂其規避之私無以示儆

王訥著照例加一級即以原品休致無庸送部引見至嗣後各督撫若因有此旨而於由部推陞人員無論其才具勝任與否並不據實陳奏聽其陞任則該員等原皆應送部引見之人也彼時經朕看出才具平庸難以勝任惟該督撫是問恐不能當其咎也

是日

起居注官陸伯焜圖敏白麟陳萬青

初二日丙申卯刻

上御乾清門聽政部院各衙門官員面奏並帶領侍班司員引

見畢大學士嵇璜和坤王杰協辦大學士吏部尚書劉墉學士阿爾扎勒翰胡高望張若淳以折本請

旨覆請吏部奏補內閣學士員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰管幹珍補授內閣學士兼禮部侍郎又覆請吏部奏補大理寺少卿員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰李廷欽補授大理寺少卿又覆請吏部奏補翰林院侍講學士員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰陳崇本補授翰林院侍講學士又覆請吏部

議署湖廣總督舒常奏湖北安陸府知府員

缺請以候補知府吳棐龍補授查安陸府係

請

旨之缺與例不符應毋庸議一疏

上曰吳棐龍著照該署督等所請行又覆請吏部

議廣西巡撫孫永清奏全州知州員缺請以

永寧州知州陸澍調補所遺員缺請以候補

知州邵志望署理查該員任內有戴罪督催

一案與例不符應毋庸議一疏

上曰陸澍等著照該撫等所請行又覆請吏部議

不能覺察查拿駱愉編造書策狂悖之兩江總督李世傑照例降調一疏

上曰李世傑著改為革職從寬留任又覆請吏部

議承辦秋審各案並不悉心定擬致緩決改

擬情實失出十案之四川按察使陳奉茲照

例降調無級可降應行革任一疏

上曰陳奉茲著從寬免其革任仍註冊餘依議又

覆請刑部等衙門議雲南巡撫譚尚忠奏呈

貢縣民王小苟踢傷李小二身死依律擬絞

監候查王小苟年僅十三可否援例減等收

贖一疏

上曰王小苟從寬免死照例減等收贖餘依議是

日內閣奉

諭旨據奎林等奏伊犁領隊大臣福寧降馬身故

所遺員缺請另派發往等語福寧從前在軍營
殊屬出力現因墜馬身故甚屬可憫著加恩賞
銀二百兩所遺員缺著派成安授為伊犁領隊
大臣馳驛前往又奉

諭旨福寧之正藍旗蒙古副都統員缺著老格補
授又吏部議福建巡撫徐嗣曾奏政和縣知縣
員缺准以候補知縣寧淑昌補授一疏奉

諭旨寧淑昌依議用餘依議又閩浙總督李侍堯
奏福建馬家港通判員缺請以候補同知田
尹衡借補一疏奉

諭旨田尹衡准其借補泉州府馬家港通判該部
知道摺併發又吏部帶領八九兩月籤掣刑部
安徽司員外郎彭翼蒙大理寺左寺丞邊啟
崇山西澤州府知府周位庚安徽和州直隸

州知州邵自悅江蘇蘇州府同知王朝颺江
西建昌府通判鄭琇湖北漢陽府通判普香
浙江衢州府通判朱雲路湖北漢陽府通判
李英浙江安吉縣知縣周紹瀛湖北枝江縣
知縣李兆梅河南唐縣知縣棗增壽福建平
和縣知縣吳安祖江蘇碭山縣知縣漆開泰
直隸龍門縣知縣席啟豐江西高安縣知縣

李用中江蘇豐縣知縣田營湖南郵縣知縣
王廷瑛福建順昌縣知縣藍霖河南上蔡縣
知縣沈鵬廣西雒容縣知縣林大宏廣東合
浦縣知縣汪注湖南桑植縣知縣陳文彬直
隸南宮縣知縣張敦仁山東招遠縣知縣吳
于宣浙江嵯縣知縣唐仁植雲南恩安縣知
縣鄭濂江西德興縣知縣黃允凡

見奉

諭旨彭翼蒙等依擬用掣得

江蘇揚州府知縣

漆開泰著調補雲南恩安縣知縣所遺碭山縣知縣員缺著掣得恩安縣知縣鄭濂補授掣得直隸南宮縣知縣之張敦仁著調補江西高安縣知縣所遺南宮縣知縣員缺著掣得高安縣知縣之李中用補授掣得湖南桑植縣知縣之

陳文彬著調補江西德興縣知縣所遺桑植縣知縣員缺著掣得德興縣知縣之黃允芄補授餘依議又帶領九月分籤掣河南禹州知州崇士錦雲南雲龍州知州王鳳文引

見奉

諭旨崇士錦等依擬用又帶領五十一年八月分

籤陞四川永寧道之知府孫日秉本年七月

分籤掣直隸阜城縣知縣王正策引

見奉

諭旨孫日秉等依擬用又都察院奏請

欽點巡視漕務帶領科道各員引

見奉

諭旨巡視淮安漕務著劉涓去巡視濟寧漕務著和琳去巡視天津漕務著項家達去巡視通州

漕務著寶岱去是日鑲藍旗滿洲都統奏補參領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨尚福著補授參領

是日

起居注官嵩貴王懿修茅

初三日丁酉



是日

起居注官陸伯焜圖敏

初四日戊戌卯刻

上御懋勤殿大學士和坤王杰協辦大學士吏部

尚書劉墉刑部尚書喀寧阿胡季堂侍郎穆

精阿李封學士阿肅瑞保胡高望張若淳以

刑科覆奏九卿詹事科道秋審江西安徽二

省情實罪犯應勾決者請

旨定奪

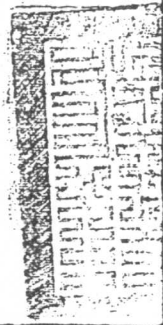
上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至江西省舊列情實之斬犯祝涓等十一名絞

犯楊宣俚等七名安徽省舊列情實之斬犯

程煥等十名絞犯關升等七名

上命俱仍著停決



閱至安徽省新列情實之絞犯李世平戲言作媒

致婦羞忿自盡一案

上曰李世平因靚面戲言作媒改嫁致本婦羞忿

自盡尚無手足勾引圖姦別情情稍可原著停

決

閱至絞婦丁氏與伊子李年圖財謀命一案

上曰圖財謀命首從向俱予勾此案李年為首起

意是以勾決伊母丁氏聽囑加功雖應縲首但

究不忍因其子及其母今其子已予抵償丁

氏著從寬免其勾決其江西省新列情實之斬

犯李榮如等八名絞犯李兆澗等二十四名

安徽省新列情實之斬犯陸世美等十九名

絞犯崔海等二十二名俱情罪重

生者



上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨成都將軍鄂輝現在帶領四川屯練兵丁赴

臺灣剿捕賊匪鄂輝久歷行陣於軍旅較為諳

習亦著授為叅贊協同福康安悉心籌辦進剿

以期迅奏膚功又奉

諭旨現在臺灣剿捕逆匪尚未竣事所有軍需等

項動用較多著該部於鄰近福建各省分酌撥

銀三百萬兩令各該督撫派委妥員迅速解往

閩省備用又奉

諭旨伊齡阿著總理工程事務是日吏部議廣西

巡撫孫永清奏署貴縣知縣張毓德試俸期

滿准實授一疏奉

諭旨張毓德依議用餘依議又禮部議山東巡撫

長麟奏昌邑縣壽民劉富齡現年一百五歲

准照例給銀建坊一疏奉

諭旨依議劉富齡著賞給上用緞一疋銀十兩又

兵部奏雲南新營營守備員缺擬以預保千

總周成宗掣補一疏奉

諭旨周成宗依擬用餘依議

是日

起居注官玉保茅元銘陳崇本塘五珠

初五日己亥卯刻

上御太和殿視朝王公大臣及文武陞轉各員行

謝

恩禮畢是日吏部議福建巡撫徐嗣曾奏長汀縣

知縣員缺准以候補知縣史必大補授一疏

內閣奉

諭旨史必大依議用餘依議又兵部議山東巡撫

長麟奏膠州營都司員缺准以登州鎮標中

營守備姚卿臣陞補一疏奉

諭旨姚卿臣依議用餘依議是日吏部帶領揀選

中兵馬司正指揮陳廷棟引

見奉

諭旨中兵馬司正指揮員缺著陳廷棟補授又帶

領雲貴總督富綱保舉堪勝知府之現任貴

州廣順州知州富興阿引

見奉

諭旨富興阿著回任又帶領前任山東巡撫明興

奏請陞補嶧縣知縣之現任汶上縣縣丞沈

則文引

見奉

諭旨沈則文著照該撫所請准其陞補嶧縣知縣又

帶領前任雲南巡撫劉秉恬奏請陞署武定州

直隸州知州之現任姚州知州馬文周引

見奉

諭旨馬文周著照該撫所請准其陞署武定州直

隸州知州所遺姚州知州員缺准其將候補直

隸州知州吳繼善借補

是日

起居注官葉觀國陸伯焜圖敏塘五珠

初六日庚子吏部議雲南巡撫譚尚忠奏定

遠縣知縣員缺准以候補知縣李學穎補授

一疏內閣奉

諭旨李學穎依議用餘依議又議陝西巡撫巴延

三奏署靖邊縣知縣周世

授一疏奉

諭旨周世紹依議用餘依議奉帶領棟補山西得

勝路叅將之漢軍雲麾使兆蘭李侍令引

見奉

諭旨山西得勝路叅將員缺著兆蘭補授又帶領

預行保舉之江南鹽城水師營遊擊楊瑞昂

陝西延安營守備王國棟江南東海水師營

千總陶繼堯引

見奉

諭旨楊瑞昂王國棟陶繼堯俱准其預保註冊又

帶領推陞直隸天津城守營都司秦中福廣

東右翼鎮標右營都司施文奎廣西富賀營

都司劉重光引

見奉

諭旨秦中福准其陞用直隸天津城守營都司施

文奎准其陞用廣東右翼鎮標右營都司劉重

光准其陞用廣西富賀營都司俱著赴新任又

帶領分別遊擊都司用之漢三等待衛楊正

聲引

見奉

諭旨楊正聲著以遊擊用

是日

起居注官嵩貴王懿修

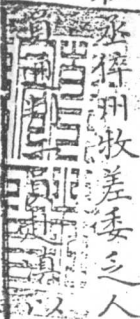
初七日辛丑

上詣火神廟

雍和宮 昭顯廟拈香是日內閣奉

諭旨據富綱等奏滇省現在丞擇州牧差委乏人

請揀發同知四員知州四



資差委等語著派點出驗看月官之綽克托彭

元瑞胡季堂金簡惠齡伊齡阿會同該部於候

補候選人員內照例揀選帶領引見發往是日

吏部議浙江巡撫琅玕奏寧海縣知縣員缺

准以候補知縣張鑄補授一疏奉

諭旨張鑄依議用餘依議

是日

起居注官玉保陳崇本

初八日壬寅卯刻

上御懋勤殿大學士和坤王杰協辦大學士吏部

尚書劉墉刑部尚書喀寧阿胡季堂侍郎穆

精阿李封內閣學士阿肅瑞保胡高望張若

澍以刑科覆奏九卿詹事科道秋審江蘓河

南二省情實罪犯應勾決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至江蘓省舊列情實之斬犯呂二等十一名絞

婦王氏等六名河南省舊列情實之斬犯劉

峩等四名絞犯董傑等七名

上命俱仍著停決

閱至江蘓省新列情實之絞犯王懷仁毆死未婚

妻一案

上曰王懷仁雖係毆斃年幼未婚之妻但死者究

屬不順情稍可原著停決

閱至河南省新列情實之絞犯徐應魁語言調戲

致婦羞忿自盡一案

上曰徐應魁因語言調戲致本婦羞忿自盡尚無

手足勾引情稍可原著停

決

閱至絞犯徐三語言調戲致婦羞忿自盡一案

上曰徐三語言調戲致本婦羞忿自盡尚無手足

勾引情稍可原著停決其江蘓省新列情實之

斬犯姜添麻子等四名絞犯姜二等十四名

河南省新列情實之斬犯丁喜等三十一名

絞犯張萬德等二十二名俱情罪重大萬無

可生者

上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨據書麟奏安省亳州等十八州縣連歲被災

又壽州等四州縣亦係積歉之區若將緩徵帶

徵錢糧同時並徵民力未免拮据等語安省毫

州等處疊被災稔本年睢州復有漫口之事該

處地居下游又被淹浸自應分別蠲緩以紓民

力所有成災之亳州蒙城懷遠鳳陽靈璧宿州

泗州五河盱眙天長等十州縣及勘不成災之

定遠鳳臺廬江無為和州含山滁州全椒等八

州縣其節年帶徵緩徵正雜錢糧及漕項漕米

著分別年限遞行展緩壽州合肥巢縣來安等

四州縣應徵五十年帶徵緩徵各項銀米著隨

同本年新糧徵收其五十一年帶徵緩徵銀米

著緩至五十三年秋後開徵俾小民次第輸將

以副朕軫念災黎至意又奉

諭旨據鑲藍旗滿洲都統奏原任遊擊尼克圖名

下應賠銀兩請著落尼克圖之弟任於應得俸

餉內坐扣代為完結等語尼克圖未完銀兩係

製造軍械浮用核減銀尚

克圖又無子嗣著加恩寬

免其未完之項

諭旨孫士毅奏據署海豐縣通判何鍾稟稱親赴海口駐劄巡訪見有雙桅船一隻形跡可疑即會同汛兵截拿旋據縣丞張士煜盤獲三人供係浙江溫州船戶遭劫被禁在船船內閩省二十八人均係江洋大盜現有盜首王馬成帶同夥盜十五人駕三板船脫逃其大船亦聞風開去何鍾即親自駕船出洋追至二十餘里賊人

欲圖拒捕碣石守備彭日高聞信駛至四面圍拿將盜犯十三名一併擒住復派人役趕至鵝埠地方同巡檢范桂將盜首王馬成等十四名拿獲脫去盜夥陳明一名請將何鍾彭日高送部引見張士煜范桂議叙等語王馬成等糾結多人在海洋肆行劫掠疊犯多案甚至搶劫官兵船隻傷斃多人可惡已極孫士毅能督飭屬

員留心查緝無分畛域將鄰省首夥盜犯拿獲至二十七名之多實屬可嘉通判何鍾守備彭日高俱著給咨送部引見仍將孫士毅及究出根由隨同追捕之縣丞張士煜巡檢范桂一併交部從優議叙其已獲各犯著孫士毅於審明後一面奏聞一面即在該處正法所有未獲盜夥陳明一犯即嚴飭所屬上緊查拿務獲毋致

漏網稽誅該部知道招併發是日吏部議江蘇巡撫閔鶚元奏署六合縣知縣葛建楚試俸期滿准實授一疏奉

諭旨葛建楚依議用餘依議又步軍統領奏直隸文安縣民人李善修呈控該縣書役指稱運米等事派累民間又邯鄲縣民人李連登呈控該縣戶書折收錢糧

等情

文請解交直隸總督查審一摺奉

諭旨此二案著派侍郎惠齡由駙前往提同案酌

犯証秉公查審定擬具奏其原告李善修等一

併交該部照例解往質審又安徽巡撫書麟奏

歙縣知縣馮履豐失察捕役私拷作作匪傷

經徽州府知府覺羅麟喜訪聞通稟正在提

訊間忽有已革績溪縣知縣張邦桓因從前

馮履豐監盤交代不容隱寄挾嫌捏稟馮履

豐聽囑鞭撻平民行賄私和等情請將馮履

豐革職與張邦桓一併審擬一摺奉

諭旨這所參歙縣知縣馮履豐著革職交該撫提

同案內犯証嚴審定擬具奏至已革績溪縣知

縣張邦桓亦著一併審擬具奏該部知道摺併

發是日火器營奏補鍊白旗副鳥鎗護軍叅領

員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨額爾錦額爾登著補授副鳥鎗護軍叅領

是日

起居注官嵩貴吳璫圖敏陳萬青

初九日癸卯

上詣

大光明殿拈香是日大學士九卿會同刑部奏遵

旨監提官犯黃仕簡任承恩逐加研鞫皆因循畏

縮坐失機宜實屬罪無可逭若不擬置重典

無以儆玩悞而勵戎行應依統兵將帥致悞

軍機例擬斬立決一摺內閣奉

諭旨黃仕簡任承恩著從寬改為應斬監候秋後

處決是日太常寺奏十一

十四日冬至致祭

永陵

福陵

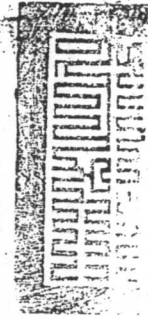
昭陵一疏奉

諭旨

永陵遣祿興行禮

福陵遣和齊匡郭行禮

昭陵遣續恒行禮又吏部議四川總督保寧奏署龍



安府知府賈廷彥歷俸期滿准實授一疏奉

諭旨賈廷彥依議用餘依議又議江蘓巡撫閔鶚

元奏署鎮洋縣知縣何曾試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨何曾依議用餘依議

是日

起居注官茅元銘瑋五珠

初十日甲辰吏部議貴州巡撫李慶茶奏普

安縣知縣員缺准以候補知縣李廷佑補授

一疏內閣奉

諭旨李廷佑依議用餘依議又議湖南巡撫浦霖

奏署永定縣知縣張季廉試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨張季廉依議用餘依議是日吏部帶領揀發

雲南同知鄭維祉松年慶玉福桑阿知州熊

學淮王慶鏊涂標翁元圻通判阿林木通阿

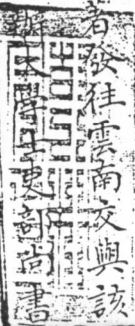
引

見奉

諭旨鄭維祉松年慶玉福桑阿熊學淮王慶鏊涂

標翁元圻阿林木通阿俱著發往雲南交與該

督等差遣委用又帶領協



仍留陝甘總督任福康安奏請陞署秦州直隸州知州之現任臯蘭縣知縣齊佳士引

見奉

諭旨齊佳士著照該督所請准其陞署秦州直隸州知州所遺臯蘭縣知縣員缺准其將張掖縣知縣郭明德調補又帶領前任陝西巡撫永保奏請陞署邠州直隸州知州大計卓異之現

任三原縣知縣王榮榮引

見奉

諭旨王榮榮准其於知縣任內卓異加一級陞署邠州直隸州知州所遺三原縣知縣員缺准其將按察使經歷陳希賢陞署又正黃旗滿洲都統奏補公中佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨巴爾桑阿著補授公中佐領那興阿之世管

佐領著明德承管富廣之世管佐領著中玉承

管六十三著補授副叅領哈吉納著補授印務

章京又鑲紅旗滿洲都統奏補公中佐領員缺

帶領正陪人員引

見奉

諭旨武爾喜著補授公中佐領

是日

起居注官玉保葉觀國

十一日乙巳

上詣正覺寺拈香

駕幸圓明園是日內閣奉

諭旨據琅玕奏閩民黃崑山

朱交卸搭船回營之兵丁

此在洋被盜將押

劫去軍器一案先據太平
等供稱被劫處所是名披

會訊據兵丁
信指洋面請

委員會勘等情當經檄委寧波府知府陳鍾琛
並經提臣派委鎮海營參將熊灝前往確勘實
係太平縣所轄外洋黃巖鎮標右營水師汛地
請將捏詳推諉之護遊擊事守備華封太平縣
知縣張景運一併革職留於該處協緝如限滿

不獲即分別發往伊犁軍臺効力並訊據已獲
之夥犯郭亮究出盜夥姓名嚴行追拿務獲等
語此案盜犯前據孫士毅奏拿獲首夥王馬成
等二十七名業經降旨令將拿獲各犯之員送
部引見並將該督及在事出力各員交部從優
議叙矣海洋地面最關緊要孫士毅於鄰省劫
殺兵船盜犯不分畛域督飭所屬拿獲要犯多

名實為奮勉可嘉至黃巖鎮標汛地係浙江所
屬該處文武各官於本省劫盜重案既不能先
事預防又復彼此互相推諉並不上緊緝拿外
省積習最為可惡所有護遊擊之守備華封著
即革職先加號三月再發往伊犁効力贖罪太
平縣知縣張景運一併革職發往軍臺均不必
留於地方協緝以杜借端耽延之弊其疎防之

千總趙以仁外委李朝龍亦著一併革職協緝
至總督李侍堯現在駐劄廈門辦理軍務自不
能無顧而該撫琅玕該提督陳大用及黃巖鎮
弓斯發於海洋劫盜重案不能預為防範又未
能飭屬上緊拿獲咎無可辭琅玕陳大用弓斯
發俱著交部嚴加議處仍著
發俱著交部嚴加議處仍著
弁務將在逃各犯實力嚴緝

地方文武員
務將在逃各犯實力嚴緝

犯漏網稽誅其已獲之郭亮下右即著該撫嚴

審定擬具奏摺併發是日吏部總督保

寧奏署儀隴縣知縣楊作霖試俸期滿准實

授一疏奉

諭旨楊作霖依議用餘依議又議河南巡撫畢沅

奏署中牟縣知縣劉豐衍試俸期滿請以實

授查該員任內有徵收耗羨銀兩未完一案

與例不符應毋庸議將違例題請之該撫照

例罰俸一疏奉

諭旨畢沅著罰俸九個月餘依議又兵部議閩浙

總督李侍堯奏福建閩安水師左營守備員

缺准以福寧鎮標左營守備吳秉鈞調補一

疏奉

諭旨吳秉鈞依議調補餘依議

是日

起居注官陸伯焜圖敏

十二日丙午內閣奉

諭旨所有本年中式武進士著派十一阿哥十五

阿哥綿恩福長安再行覆試又奉

諭旨據畢沅奏豫省商邱寧陵睢州被水地方應

徵漕糧等項分別緩徵帶徵等語該省自本年

睢州十三堡漫口商邱寧陵睢州三州縣地處

頂衝被灾較重民力未免拮据所有該三屬被

水地畝應徵米麥豆三項緩至五十三年徵收

四十九五十年帶徵漕糧並著遞緩一年其

該三屬未經被水村庄秋禾雖屬有收但與灾

地毗連亦應量加體卹除本年應徵錢糧照例

徵收外其節年帶徵漕糧著緩至五十四年

輸納以示朕軫念灾黎至意至商等三屬應

徵麥豆亦准其於不被灾州縣應徵粟米丙改

徵以紓民力該部即遵諭行是日吏部議山東

巡撫長麟奏臨朐縣知縣員缺准以候補知

縣莊誠立補授一疏奉

諭旨莊誠立依議用餘依議又兵部議閩浙總督

李侍堯奏福建臺灣城守營右營守備員缺

准以福寧鎮標右營千總王維武補授一疏

奉

諭旨王維武依議調補餘依議

是日

起居注官嵩貴王懿修

十三日丁未內閣奉

諭旨兵部尚書慶桂差竣回京福長安毋庸署理

兵部尚書現在舒常署理湖廣總督所有工部

滿尚書事務即著福長安署理是日吏部議雲

貴總督富綱奏雲南普洱府知府員缺請以

順寧府知府全保調補查該員任內有罰俸

等案與例不符應毋庸議一疏奉

諭旨全保著照該督所請行又兵部議署湖廣總

督舒常奏湖南辰州協副將員缺准以提標

中軍參將花連布補授一疏奉

諭旨花連布補授湖南辰州協副將餘依議是日

江蘇巡撫閔鶚元奏元和縣知縣員缺請以

陞署丹徒縣知縣蔣梗調補並聲明以繁調

繁與例稍有不符一摺奉

諭旨著照所請行該部知道摺併發

是日

起居注官葉觀國塘五珠

十四日戊申吏部議湖南巡撫浦霖奏長沙

縣知縣傅廣聰試俸期滿准實授一疏內閣奉

諭旨傅廣聰依議用餘依議又禮部議原任福建

水師提督藍元枚病故照例給與葬祭銀應

否與謚一疏奉

諭旨依議仍著與謚

欽定謚曰襄毅

是日

起居注官玉保吳璣

十五日巳酉內閣奉

諭旨據阿桂等奏豫省睢州漫工現已合龍淮徐

河營遊擊韓勝幫辦河工最為得力請加恩賞

戴花翎南河守備莊剛革職守備包宗堯在工

辦事俱屬奮勉請將莊剛賞給四品頂帶遇有

應陞缺出陞用包宗堯以千把等官降補等語

俱照所請遊擊韓勝著賞戴花翎守備莊剛先

賞給四品頂帶交與李奉翰等遇有缺出補用

革職守備包宗堯亦著李奉翰等降等以千把

等官補用以示獎勵又據另摺奏稱革職開歸

道蔣果在工効力往來催趨不辭勞瘁該員在

豫多年請留於該省河工差遣如能始終勤奮

再行奏請捐復又革職留工効力通判朱文昭

在工効力已將二年頗知奮勉請俟明年大汛

後如勤慎無過即奏請錄用等語蔣果著加恩

留工差遣並著該督等留

出力再行奏請捐復朱文

蔣果著加恩留工差遣並著該督等留出力再行奏請捐復朱文

該員如果出力該督等即奏明酌量補用該部知道摺併發又奉

諭旨據阿桂等奏河南睢州十三堡漫工晝夜搶築於初十日掛纜合龍至十二日金門以上業經漸次停淤等語以手加額覽之此次睢州漫口命阿桂等前往會同蘭第錫等上緊堵築嗣因兩壩水勢湍急屢經墊陷阿桂等督令在工

各員連夜搶廂不遺餘力得以尅期歲事阿桂蘭第錫畢沅書麟均著交部議叙其餘在工出力大小文武員弁著蘭第錫畢沅查明具奏交部分別議叙又奉

諭旨據御史莫瞻菴所奏此次詳校三閣書冊籤出錯謬甚多請將四庫館纂校議叙應陞各員概行註銷其已經陞用之員分別內外任酌罰

庶俸等語所奏甚是從前辦理四庫全書時朕因卷帙浩繁編纂不易原曾諭于敏中凡興作大事不能不徵倖數人但朕此旨原指纂修詳核讐校無訛而言是以不靳恩施優加錄叙今文淵等閣所貯四庫全書偶經披閱草率訛謬比比皆是因令諸皇子及在廷諸臣復加詳校籤出錯悞之處累牘連篇不可枚舉是辦理此

書者並未實心校閱竟以稽古右文之舉為若輩邀恩牟利之捷徑大負朕意此事發端於于敏中承辦於陸費墀其條款章程俱係伊二人酌定今所繕書籍荒謬至此使于敏中尚在必當重治其罪伊業經身故是以從寬止撤出賢良祠不復追論保全終始陸費墀業已革職亦不深究所有業經議叙纂校各員應行註銷

應行議罰廉俸及未經陞用將議叙註銷之處
著該部核議具奏摺併發

奉

諭旨據圖薩布奏福建委員試用知縣王履吉解
赴淡水備用銀米火藥軍裝等項於八月二十
三日於外洋忽遇狂風將桅柁折斷隨風飄蕩
至九月初七日風狂浪湧於廣東新安縣外洋
船遇礁石撞破幸有漁船將該員等救起並搶

出餉銀火藥軍械等物撈獲濕米九十餘石計
沉失米七百二十八石零大炮一門等語該員
解運軍項於外洋陡遇颶風人亦難施且飄蕩
至十餘日之久幾遭淹溺情殊可憫王履吉著
該督於臺灣事竣後給咨送部引見所有沉失
米石等項自應免其賠補以示體恤又刑部等
衙門議失察河津縣絃犯賀收收越獄脫逃

之原任山西按察使虔禮寶照例降級一疏

奉

諭旨虔禮寶著降一級留任餘依議

是日

起居注官陳崇本圖啟

乾隆五十二年歲次丁未十月十六日庚戌
上詣清淨化城拈香
駕進宮是日內閣奉



諭旨臺灣自逆匪林爽文滋事以來節經降旨令
各省撥運米石及添調兵丁前往接應現據各
該督撫先後奏報運閩米石及調赴兵丁俱各
妥為照料隨到隨行辦理甚為妥速甚慰朕懷

所有總督舒常保寧李世傑巡撫姜晟浦霖何
裕城閩鶚元琅玕孫永清李慶茶俱著交部議
叙閩廣二省於此項兵米到境時照料配渡亦
為妥協總督李侍堯孫士毅巡撫徐嗣曾圖薩
布亦著一併交部議叙以示獎勵又奉

諭旨據李侍堯奏新授漳州府知府李華國病故
所遺員缺緊要該省現無可補之人請旨簡放

等語福建漳州府知府員缺著江西建昌府知
府徐鎮調補即著馳驛前赴閩省任事至江西
省現有官兵過境及運送閩米事宜若建昌府
係官兵米石經過地方關係緊要著何裕城於
通省知府內揀選一員調補所遺員缺著和精
額補授若建昌府並非官兵米石經過銜途其
知府員缺即著和精額補授是日吏部議浙江

巡撫琅玕奏署崇明鹽大使陸費鑒試俸期

滿准實授一疏奉

諭旨吏部議覆琅玕題請以陸費鑒實授崇明鹽
大使一本陸費鑒著該部於調補別省後即准
其實授向來鹽大使因無地方之責並不迴避
本省是以陸費鑒籍隸浙江仍發浙江委用但
思鹽場各員與州縣官專司民事者雖屬有間

然鹽斤既闕係民食且所屬晒丁姓戶錢糧詞訟俱係該員經理究恐有徇私瞻顧等弊嗣後鹽務各員銓選分發俱令迴避本省其現在各省鹽務各員有籍隸本省者著該部一體查明簽掣更調以示慎重官方之意著為令

是日

起居注官嵩貴陸伯焜

十七日辛亥卯刻

上御懋勤殿大學士嵇璜和珅王杰協辦大學士吏部尚書劉墉刑部尚書喀寧阿胡季堂侍郎穆精阿李封內閣學士阿肅瑞保胡高望張若淳以刑科覆奏九卿詹事科道秋審山東省情實罪犯應勾決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定閱至舊列情實之斬犯范二麻子等二十四名絞犯楊士顯等十四名

上命俱仍著停決

閱至新列情實之絞犯葛洲語言調戲致婦羞忿自盡一案

上曰葛洲因語言調戲致本婦羞忿自盡尚無辜

足勾引情稍可原著停決

閱至絞犯張國爵倡立邪教一案

上曰張國爵雖起意倡立邪教但究係無耻鄉愚意圖聚眾斂錢尚無傳播煽惑情事情稍可原著停決其新列情實之斬犯王志才等三十四名絞犯劉五等三十四名俱情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨據保寧奏川東道黃軒委



該道在重慶府地方患病身故等語此次川省
辦運閩米該道黃軒督率地方官悉心經理不
辭勞瘁患病後仍復力疾監辦至米船全數開
行始請告假實屬急公可嘉今因病身故殊堪

憫惻著加恩賞給按察使銜以示軫恤所遺四

川川東道員缺著王啟焜補授又奉

諭旨據孫士毅奏粵東將備派赴臺灣勦匪數十
員現在武職不敷委署揀發滿員參將遊擊各
二員都司守備各三員速赴粵東以供差委嗣
後粵省仍照定例停止請揀等語著派軍機大
臣會同該部於候補候選人員內照例揀選帶

領引見發往摺併發又奉

諭旨德成著即由差次馳驛前往浙江查勘海塘
工程其隨帶司員均著一併馳驛是日吏部議
滁州生員駱愉在揚州編造書策語多狂誕
不能覺察查拏之前任江蘇按察使陞任江
寧布政使王兆崇江蘇巡撫閔鶚元前任淮
揚道今任淮徐道師彥公各降二級調用一

疏奉

諭旨王兆崇閔鶚元俱著改為降三級從寬留任
師彥公著革職從寬留任餘依議又議失察盜
犯施九九等行劫逃回入口之福建署霞浦
縣知縣高備生照例降調一疏奉
諭旨依議其因失察盜犯入口
生著該督撫出具考語送部

兵部議雲貴總督富綱奏貴州上江協副將
員缺准以提標中軍叅將書慶陞補一疏奉
諭旨書慶補授貴州上江協副將餘依議又議湖
廣總督舒常奏湖南撫標中軍叅將員缺准
以武岡營遊擊尚維侗陞補一疏奉
諭旨尚維侗依議用餘依議
是日

起居注官王保葉觀國王懿修塘五珠

十八日壬子

上御紫光閣閱武進士騎射是日吏部議遺漏河
南山東二省籌辦麥石谷文之戶部堂司各
官照例罰俸一疏內閣奉
諭旨綽克托金簡諾穆親將賜柴汪承需俱著罰
俸一個月餘依議又議承問失出盜犯陳昌敏

僅擬軍罪之福建署邵武府事福州府通判
李浚原照例革任一疏奉

諭旨依議其因承問失出議以革任之李浚原著
該督撫出具考語送部引見再降諭旨又兵部
議兩江總督李世傑奏安徽撫標中軍叅將
員缺准以徽州營叅將胡琰調補一疏奉

諭旨胡琰依議調補餘依議又議失察盜犯葉邦

昂等糾眾奪犯毆傷弁兵應將平日不能實
力巡查之福建汀州鎮標署都司事左營守
備常萬雄照例降調一疏奉

諭旨依議其因不能實力巡查議以降調之常萬
雄著該督出具考語送部引見是日正藍旗滿
洲都統奏補副叅領印務章京各缺帶領正
陪人員引

見奉

諭旨福齡著補授副參領希拉

布著補授印務章

京

是日

起居注官王保陸伯焜陳崇本圖敏

十九日癸丑

上御紫光閣閱武進士技勇是日兵部依次引

見

上親定甲乙並

閱定分別營衛各員是日內閣奉

諭旨四川成都府知府員缺緊要著該督於通省

知府內揀選一員調補所遺員缺著謝肇洙補

授又奉

諭旨候補知府鄧廷輯舒寧著發往福建交李侍

堯等差遣委用遇有知府缺出酌量奏補是日

吏部議失察民人收藏西洋經卷不查明禁

止之廣東南海縣知縣毛圻等並前署按察

使高廉道今任江蘓布政使奇豐額按察使

姚茶前任按察使今任貴州布政使汪新等

分別降調罰俸一疏奉

諭旨奇豐額姚茶汪新俱著罰俸六個月其因民

人收藏經卷並不查明禁止議以降調之毛圻

著該督撫出具考語送部引見再降諭旨餘依

議又議雲南威遠廳僉解綬犯中途脫逃該管

之雲南普洱府知府陞任迤南道賀長庚照

例降調一疏奉

諭旨依議其因並不嚴飭各屬慎選妥殺押解致

重犯脫逃議以降調之賀長庚著該督撫出具

考語送部引見再降諭旨又兵部奏陝西興漢鎮標中軍遊擊員缺擬以甘肅西寧鎮標後營都司赫明額籤陞貴州提標右營遊擊員缺擬以江南江北漕標左營都司王定國籤陞廣東提標後營遊擊員缺擬以江西興國營都司莫淇籤陞貴州仁懷營都司員缺擬以廣西右江鎮標右營守備周健勇籤陞廣

西集懷營守備員缺擬以江南江北漕標千總解超籤陞一疏奉

諭旨赫明額等依擬用餘依議

是日

起居注官吳璣圖敏陳萬青瑋五珠

二十日甲寅

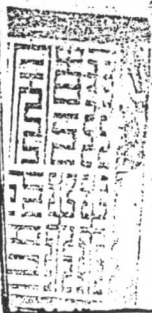
上御太和殿傳臚

賜武舉馬兆瑞侯瓚麥鷹揚三名一甲武進士及第揚雲龍等五名二甲武進士出身揚景芬等二十八名三甲同武進士出身是日內閣奉

諭旨據蘇凌阿等奏本年全漕起卸完竣及早回空南下現在全漕運船已於十月初四日催出津關十一月內總可全行出江歸次等語今歲

係全漕年分其額運及帶運各漕糧較往歲多至一倍有餘該倉場侍郎等督同在事各員上緊起卸俾運船得以及早回空趕歸水次受兌新漕辦理甚為妥速蘇凌阿劉秉恬俱著交部議叙其坐糧廳等員並著該侍郎等查明一併咨部議叙

是日



起居注官嵩貴王保王懿修孝元銘

二十一日乙卯卯刻

上御懋勤殿大學士嵇璜和珅王杰協辦大學士

吏部尚書劉墉刑部尚書喀寧阿胡季堂侍

郎穆精阿李封內閣學士阿肅瑞保胡高望

張若渟以刑科覆奏九卿詹事科道秋審山

西省情實罪犯應勾決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至舊列情實之斬犯段宗海等九名絞犯孟克

勉等十一名

上命俱仍著停決

閱至新列情實之絞犯郭崑毆斃一案

上曰郭崑雖倒地攢毆傷多斃命究因父被按毆

情切救護稍有可原著停決

閱至絞犯朱廷珍語言相狎致婦羞忿自盡一案

上曰朱廷珍因語言相狎致本婦羞忿自盡尚無

手足勾引情稍可原著停決

閱至絞犯衛靜佟殺死平人一案

上曰衛靜佟雖係僧人殺命究因死者黑夜尋衅

且死由跌溺情尚可原著停決其新列情實之

斬犯陳五保等十七名絞犯李文星等二十

五名俱情罪重大萬無可寬者

上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨德成現在出差所有監糶事務著蔣賜棻代

辦又奉

諭旨保成著署理正白旗蒙古

曹振文奉

諭旨兵丁等領過庫銀內應行坐扣

年正月分銀兩著加恩展限兩月又奉

諭旨據鑲黃旗滿洲都統奏原任和政使國棟名

下著賠銀兩請於伊子貼寫中書文福應得俸

銀每年坐扣一半完結等語國棟名下著賠銀

兩係工程所用遺漏未奏著伊賠繳之項今國

棟又在阿克蘇病故著加恩寬免毋庸在伊子

俸銀內坐扣是日吏部帶領協辦大學士仍留

陝甘總督任福康安保舉堪勝道員之現任

甘肅涼州府知府富異引

見奉

諭旨富異著回任又帶領江西巡撫何裕城奏請

陞補浮梁縣知縣之現任貴溪縣縣丞何浩

引

見奉

諭旨何浩著照該撫所請准其陞補浮梁縣知縣

又帶領直隸總督劉峩奏管理營田効力期

滿之原任廣東新寧縣草職後降級註冊知

縣周士孝引

見奉

諭旨周士孝著照例發往直隸以知縣用其草職

之案帶於新任是日鑲黃旗滿洲都統奏補江

寧佐領京城佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨伊常阿著補授江寧佐領圖渾之世管佐領

著善寧補授

是日

起居注官嵩貴陸伯焜圖敏

二十二日丙辰

上詣永安寺拈香是日內閣奉

諭旨孟生蕙奏請停止劉峩所奏昌平開採礦

礦一摺內稱該州坐落正當京城乾坎之位其
山即京城北面之屏障山以虛受氣以實流實
者削之使虛則甚易虛者補之復實則甚難等
語所奏已屬迂謬至摺內復稱安畿輔數百里

內之坤輿葆神京億萬斯年之元氣則國家幸
甚天下幸甚措語更屬荒誕京城外西山北山
一帶開採煤座及鑿取石塊自元明以來迄今
數百餘年取之無盡用之不竭從未聞以關係
風水設有例禁豈開採疏礦遂致於地脉有碍
即云開設礦廠恐聚集多人滋擾地方則每歲
採取煤斤石料所用人夫不知凡幾豈皆善良

安分之徒何以並未見有滋生事端之處乃孟
生蕙摺內妄以坤輿元氣為辭並以封閉開採
為天下國家之幸夫此等重語在楊繼盛參嚴
嵩楊連參魏忠賢用之則可今有其人有其事
乎明朝科道朋黨惡習好為虛詞激成廷杖為
榮以致屋社終無益國且開一礦礦何闕緊要
而張大其詞若此况昌平係前明陵寢所在若

以開挖礦廠有碍昌平風水隱為明陵起見則
孟生蕙恐不能當此罪戾且料伊庸愚之見未
必竟敢如此設想亦不值加以深究耳孟生蕙
人本平常今年夏間在熱河召見奏對模糊其
才具已久在洞鑒之內伊不過因近有京卿缺
出日內正在題本輒先為此奏欲思見長以為
邀恩陞用地步其居心殊為猥鄙妄詐昨內閣

進呈吏部題本因伊係開列應陞之員况員缺
並非緊要朕因山西在朝之大員少原已將孟
生蕙補用今伊所奏如此文離荒舉即不重治
其罪豈可復邀陞擢所有吏部缺本著即撤回
候朕另行簡用孟生蕙仍著交部嚴加議處至
昌平州開採硫磺一事孟生蕙既有此奏其產
磺衰旺情形應否開採之處亦宜查勘確實阿
彌達現赴昌平州查勘明陵工程著派蔣賜榮
即赴該處與阿彌達帶同該地方官親至產磺
處所詳悉履勘如該處產磺旺盛自應設廠開
採以資軍火之需若所產不旺即行據實奏明
封閉停採亦不必因有此奏稍存迴護之見孟
生蕙原摺著擲還

是日

起居注官王保茅元銘

二十三日丁巳內閣奉

諭旨晉吉保奏九月初六日帶領官兵由大突溪
前往笨港援應諸羅十三日行抵麥仔寮有賊
數千苛派良民銀米不能應付賊匪欲焚燬村
庄百姓正驚惶無措適官兵踵至賊眾奔逸百
姓歡聲動地隨密探賊匪均集笨港是夜賊匪

暗放火號並聞諸羅砲聲徹夜不絕當飭將弁
分作三隊直前冲殺賊眾蜂擁迎拒晉吉保督
率官兵奮勇攻殺鎗砲並施打死賊匪數百人
生擒賊夥楊意蘇媽張周三犯奪獲器械三十
餘件鞭砲二門耳記十八箇米穀薯乾百餘石
並焚燒坂頭厝等賊庄七處是日又有賊匪數
百人攻犯大營經官兵奮力堵殺賊匪十餘人

燒燬賊庄賊衆退散現在與恒瑞柴大紀訂期
三路會合並力夾攻賊匪可尅期殄滅等語臺
灣逆匪林爽文等糾衆不法肆行劫掠佔村
庄實為罪大惡極今晉吉保督率將弁兵丁由
大突溪一路偵探賊踪奮勇勦殺焚燒賊寮生
擒賊夥奪獲器械銀米甚多收復笨港實為出
力可嘉晉吉保著交部議叙出力兵弁著福康

安查明咨部一體議賞並賞給晉吉保玉搬子
大小荷包以示獎勵數旬以來因海洋風色不
順臺灣府城及諸羅鹽水港三處俱被賊擾文
報不能常通朕心正深廑注今晉吉保已將笨
港收復殺散賊匪該處距諸羅止二十里距鹽
水港止三十里聲息密邇晉吉保乘勝直前諸
羅鹽水港形勢聯絡恒瑞柴大紀自可接應會

合而常青處前此曾有被賊滋擾之信今據李
侍堯奏據臺灣地方官稟報常青因恒瑞在鹽
水港被賊攔阻未能前進即派委總兵梁朝桂
副將謝廷選帶兵一千前往策應恒瑞處原有
兵三千今復得此一千兵接濟自更可統領勦
賊而常青處既能分兵應援恒瑞則府城兵力
充足自守有餘可知無虞賊擾自諸羅鹽水港

及臺灣郡城三路均可自為保護乘機攻勦且
賊匪在麥仔寮苛派良民銀米焚燬村庄可見
賊衆糧食將次就盡已有潰散之勢而百姓一
見官兵踵至歡聲動地更可見民心効順不肯
從賊即日福康安海蘭察等統領大兵分路進
勦諒此么麼草寇無難一鼓擒獲現據
李侍堯奏尚在大擔門候風候風而新調廣西

兵三千已抵廈門四川屯練早入閩境不日可到而貴州湖南兵亦接踵而至福康安正可帶領勁兵揚帆同渡徑抵鹿港督率進剿上臺高府城及諸羅鹽水港三處於福康安未到之前俱各保守無虞令福康安又帶領銳勇新兵並總兵鄭國卿所帶之閩省兵丁共計生力官兵又有萬餘且有海蘭察及巴圖魯侍衛章京等

分隊統領軍威振作士氣百倍即日與常青恒瑞柴大紀普吉保等南北會合直搗賊巢似可掃穴擒渠膚功迅奏竚待捷音之至將此通諭知之又奉

諭旨據李侍堯奏金門鎮總兵羅英笈前經親自出洋督令將弁連獲盜犯一百餘名茲又在洋盤詰盜船獲盜葉述等七十三名又起出烏鏡

鉄砲等件併有旗一面上寫奉憲官運字樣其為前次行劫浙省米船之盜無疑等語前因洋面盜劫頻聞兼之粵兵經過海澄縣被盜均係金門鎮所轄是以將該鎮羅英笈革去頂帶勒限嚴緝今該鎮屢次出洋拿獲多盜尚屬奮勉著加恩賞還頂帶以示獎勵至浙省米船被劫盜犯既經羅英笈拿獲而海澄縣行劫粵省兵

船一案亦經該縣及將弁等獲盜三十餘名此等洋盜肆行劫掠殊屬可惡並著該督將現獲各盜犯審明後一面奏聞一面正法以示懲創又奉

諭旨據李侍堯奏接同知吳元琪稟稱九月初一日柴大紀有信至府城稱蔡攀龍等援兵惟蔡攀龍孫全謀帶兵七八百名外連連糧餉之義

民三千名到諸羅其貴林楊起麟杭富俱在正
音庄陣亡等語貴林等前經常派赴諸羅援
應奮勇打仗甚為出力是以降旨將貴林補授
總兵楊起麟補授叅將並俱賞戴花翎今貴林
楊起麟同都司杭富因勦捕賊匪臨陣捐軀殊
屬可憫貴林著照總兵例議卹楊起麟前在鹽
水港一帶堵禦防守尤為出力著加一等照副

將之例議卹其都司杭富亦著照例議卹以示
憫卹是日正白旗滿洲都統奏補世管佐領員

缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨巴爾太之世管佐領著台費英阿承襲吉陞
保之世管佐領著穆滕額承襲又正白旗漢軍
都統奏補公中佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨殷世林著補授公中佐領又正紅旗護軍統
領奏補副護軍叅領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨德忠著補授副護軍叅領又鑲藍旗護軍統
領奏補護軍叅領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨烏爾棍隆福著補授護軍叅領金福著補授

副護軍叅領

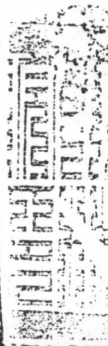
是日

起居注官葉觀國瑯五珠

二十四日戊午是日太常寺奏十一月十四

日冬至大祀

天於



園丘一疏內閣奉

諭旨朕親詣行禮四從壇遣積拉堪弘豐德陞善

明各分獻又兵部議署陝甘總督勒保奏署甘

肅破石營都司布勒亨歷俸期滿准實授一

疏奉

諭旨布勒亨依議用餘依議又工部議直隸省經

徵五十一年分應解河庫銀兩照數全完之

督催布政使梁肯堂等照例紀錄一疏奉

諭旨梁肯堂著紀錄一次餘依議

是日

起居注官陳崇本圖敏

二十五日巳未

上詣闕福寺大西天拈香是日兵部議署陝甘總

督勒保奏甘肅烏魯木齊城守營都司員缺

准以提標左營守備劉廷補授一疏內閣奉

諭旨劉廷依議用餘依議

是日

起居注官王保陳萬青

二十六日庚申內閣奉

諭旨普吉保奏九月二十二二十四等日逆首林

奕文率領夥黨在元長庄一帶蜂擁前來隨親

督官兵奮勇殺退賊眾仍屯踞附近村庄偵探

得實即分派官兵鄉勇預為埋伏二十五日賊

眾由溪墘厝到雲厝土庫東庄等處前來逼近

營盤普吉保親率官兵奮勇截殺鎗砲並施打

死賊匪甚多遊擊海亮都司馬元勳從白沙墩

橫衝賊隊用連環鎗砲打死賊匪一百餘人署

副將琢靈阿叅將張朝龍遊擊張春興從無底

潭環攻其背署同知黃嘉訓鼓勵鄉勇從水磨庄堵禦截殺自卯至未賊衆大潰共約計鎗砲轟斃賊匪數百名割獲首級七十一顆耳記

百三十四個奪獲器械賊旗多件等語普吉保由麻仔港進攻督率弁兵奮勇殺賊既已攻復笨港今復能偵探賊踪預為埋伏令將兵等從旁衝截賊匪從後環攻賊背前後殺死賊匪數

百餘人奪獲器械等件甚多實為奮勇可嘉普吉保已經交部議叙著再賞給蟒袍一件以示獎勵同日又據李化龍奏自鎮臣普吉保帶領官兵起程進勦後即親往各營盤察看地勢諄諭將備及義民等協力堵禦因現在賊匪注意諸羅正可乘機進擊以分賊勢隨於九月十八日密令遊擊穆騰額帶領官兵由番仔溝進至

大肚溪一帶以作疑兵親率遊擊裴起鰲署遊擊陳士份守備徐大鵬帶領弁兵義民首許伯達等引導由八卦山直抵柴坑仔賊匪蟻聚抗拒即令官兵施放鎗砲賊人敗退焚燬賊寮二十餘間賊人恃衆復行擁至李化龍率領官兵向前截殺鎗砲打死賊匪百餘名割取耳記十三個首級二夥生擒賊匪何華歐倚二人奪獲

鳥鎗二杆器械十九件賊旗一杆二十日在中寮地方鎗砲打死賊匪十餘人二十二日大肚溪賊匪出擾庄民復前往堵殺施放鎗砲打死賊匪約二百餘名割取耳記二十七個首級一顆奪獲賊旗一杆皮牌三面長鎗竹錚挑刀共三十五件等語李化龍因普吉保帶兵進勦留駐麻仔港防守今能探察賊情乘隙進擊奮勇

攻勦殺賊多人奪獲器械賊匪望風奔潰李化龍亦屬奮勇可嘉著交部議叙所有此次晉吉保李化龍派出隨同打仗殺賊之文武官員等

均屬出力並著查明呈報將軍咨部議叙以示嘉獎又奉

諭旨據孫永清奏廣西現在候補同知止有一員通判知州二項已經用竣遇有缺出不敷委署

請揀發同知二員通判二員知州四員前來委用等語著照所請即令派出驗看月官之劉塘綽克托慶桂胡季堂金簡伊齡阿於候補候選人員內照例揀選帶領引見又奉

諭旨吏部議駁舒常等奏請將糧道連柱與鹽道王均對調與例不符應無庸議並請將該督等照例議處一本已依議行矣但念該省鹽道近

日事務較繁著照該督所請連柱准其調補武昌鹽法道王均即著調補湖北糧道仍著將該二員一併送部引見是日兵部奏跌損兩廣總督孫士毅報匣之山東銅城驛馬夫馬志發往該縣從重責處其失察之驛站官交部議處一摺奉

諭旨所有墮馬跌損報匣之馬夫馬志著免其責

處餘依議是日吏部議湖北巡撫姜晟奏督糧道連柱請與鹽法武昌道王均對調查均係簡缺應歸月選且連柱任內有罰俸等案與例不符應毋庸議將遺漏聲叙之該撫並列名具題之署湖廣總督舒常照例罰俸一疏奉

諭旨姜晟著罰俸六個月舒常著銷去軍功紀錄

一次仍給還尋常紀錄一次餘依議又戶部議

江蘇巡撫閔鶚元奏本年秋禾被水之淮安

等府屬二十三州縣衛准照例分別蠲緩賑

借所有本年應徵各項銀米并新舊漕項錢

糧可否緩徵一疏奉

諭旨依議這災田應徵本年漕糧漕項銀米蠲剩

銀米及勘不成災田地應徵新舊漕項銀米並

漕糧俱著照該撫所請速行

是日

起居注官王懿修圖敏

二十七日辛酉卯刻

上御乾清門聽政部院各衙門官員面奏並帶領

侍班司員引

見畢大學士嵇璜和坤王杰協辦大學士吏部尚

書劉墉內閣學士阿肅扎勒翰胡高望張若

淳以折本請

旨覆請吏部奏補詹事府少詹事員缺將應陞人

員開列請

簡一疏

上曰葉觀國補授詹事府少詹事兼翰林院侍講

學士又覆請吏部奏補翰林院侍講員缺將應

陞人員開列請

簡一疏

上曰曹城補授翰林院侍講又覆請吏部奏補欽

天監監正員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰安國寧補授欽天監監正

廣總督孫士毅奏順德縣

知縣員缺請以興

寧縣知縣嚴守田調補查該員懇請未滿與例不符既經專摺奏請可否准其調補一疏

上曰嚴守田准其調補餘依議又覆請戶部奏粵

海關監督佛寧一年期滿照例請更一疏

上曰粵海關稅務著佛寧再管一年又覆請禮部

議江蘇巡撫閔鶚元等奏丹徒縣民胡世貴

之未婚妻閔氏等十二口皆夫亡殉節可否

加恩准其

旌表一疏

上曰閔氏等著加恩旌表餘依議又覆請刑部等

衙門議陝西巡撫巴彥三奏安定縣民劉敬

扎傷張鳳身死依律擬絞監候查張鳳係在

保辜限外身死可否援例減等發落一疏

上曰劉敬扎傷張鳳至保辜限外身死著從寬免

死照例減等發落餘依議又覆請都察院奏巡

視兩淮鹽政徵瑞一年期滿照例請更一疏

上曰徵瑞著再留一年是日內閣奉

諭旨李侍堯奏於泉州等處挑取新舊兵三千名

派員帶赴鹽水港有陸路提標兵五百名於八

月十九日由同安縣之潯尾過渡其先到開船

者均已抵岸有後到之兵丁汪國清等一船駛

至海汊中央風力過猛該兵丁等見前隊均已

過渡急於前進促令揚帆打棹以至蓬側船覆

淹斃兵丁汪國清等十九名請照陣亡例減半

之半給予卹賞等語該兵丁等奉派前赴臺灣

勦捕逆匪海中猝遇暴風因急欲前進以致船

覆溺斃情殊可憫著加恩即照陣亡例議卹毋

庸減半以示軫卹該部知道摺併發是日步軍

統領秦廣西灌陽縣民鄧燦東在京控告族姪鄧培祿將因病身死之鄧樹屏唆令屍親裝傷誣告伊子鄧培芝毆斃致擬絞抵請交部解往該省質審一摺奉

諭旨此案著侍郎穆精阿於江西審案事竣馳驛前往廣西提同案內人證秉公查審定擬具奏其原告鄧燦東著交部照例解往該省質審是

日兵部議兩廣總督孫士毅奏廣西隆林營守備員缺准以提標右營千總王名望陞補一疏奉

諭旨王名望依議用餘依議又兵部議正黃旗漢軍叅領祖尚蕙於德勝門城上空房內披甲巴彥布自縊身死一案規避處分隱匿本身職名應降一級調用不准抵銷該管之署都

統阿揚阿副都統劉鑑照例罰俸一疏奉諭旨阿揚阿劉鑑俱著罰俸六個月餘依議又吏部帶領拿獲盜犯閔三等犯之西城副指揮胡齊崙引

見奉

諭旨胡齊崙著照例陞用又帶領病痊赴補之原任安徽廬江縣知縣裴伊引

見奉

諭旨裴伊著照例用又帶領失察流犯逃回原籍不行查拿病痊赴補照例降調之原任廣東曲江縣知縣許必引

見奉

諭旨許必著仍以知縣用其降級之案帶於新任又帶領經徵鹽課未完八分以上照例革職

之廣西署永安州事柳州府通判呂士鈐引

見奉

諭旨呂士鈐著仍發往廣西以通判用其革職之

案俱帶於新任

是日

起居注官王保陸伯焜吳璫瑋五珠

二十八日壬戌卯刻

上御懋勤殿大學士嵇璜和坤王杰協辦大學士

吏部尚書劉墉刑部尚書喀寧阿胡季堂侍

郎穆精阿李封內閣學士阿肅瑞保胡高望

張若淳以刑科覆奏九卿詹事科道秋審直

隸省情實罪犯應勾決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至舊列情實之斬犯張智明等三名絞犯張士

仁等九名

上命俱仍著停決

閱至新列情實之絞犯高喜謀殺一案

上曰高喜雖係謀殺已行但被傷之人究係理由

且傷已平復情稍可原著停決

閱至絞犯宋元鞞子語言調戲致婦羞忿自盡一

案

上曰宋元鞞子因語言調戲致本婦羞忿自盡尚

無手足勾引情稍可原著停決

閱至絞犯張桐毆斃本地職官之子一案

上曰張桐雖聽糾毆本地職官之子但當段文經

劫獄之時該犯畏法不從尚可寬貸著停決其

新列情實之斬犯劉柱等二十四名絞犯孫

得澄等五十名俱情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨山西河東道員缺著和明補授又奉

諭旨現在彭元瑞覆看三分四庫全書卷帙繁多

著添派劉躍雲胡高望幫同辦理又太常寺奏

十一月十三日

聖祖仁皇帝忌辰致祭

景陵一疏奉

諭旨遣永琅行禮又奏十一月十四日冬至致祭

昭西陵一疏奉

諭旨遣裕豐行禮又奏致祭

泰陵一疏奉

諭旨遣永瑛行禮又奏致祭

泰東陵一疏奉

諭旨遣永碩行禮又奏致祭

景陵一疏奉

諭旨遣永錫行禮又奏致祭

孝陵一疏奉

諭旨遣永珩行禮又奏致祭

孝東陵一疏奉

諭旨遣弘謙行禮又奏致祭

孝賢皇后陵寢一疏奉

諭旨遣永瓊行禮又奏致祭

端慧皇太子園寢一疏奉

諭旨遣永珊行禮又刑部奏天津縣船戶張成等

赴步軍統領衙門呈控大名縣知縣葉陽將

伊子張富榮船夥劉國瑞殺斃一案據直隸

總督咨覆該縣葉暘並未詳報則匿詳自行
完結恐別有情弊請

旨交與侍郎惠齡就近審明定

諭旨此案大名縣知縣葉暘於相驗張富榮劉國
瑞身死之案並未詳報顯有庇護縣役聽囑刑
弊情事葉暘著即行革職惠齡現在邯鄲縣審
辦案件俟審結後即馳赴天津將張富榮等屍

身詳細檢驗提同案內犯證嚴審究擬具奏並
著刑部遴派諳練滿漢司員帶同謹慎仵作前
往相驗所有屍親證佐及應質人犯一并交部
照例解往該處聽候審辦又步軍統領奏拿獲
受僱擡運官銀偷竊元寶四個之吳朝喜等

一摺奉

諭旨此案吳朝喜等受僱擡運官銀膽敢私自偷

竊實屬目無法紀所有吳朝喜高老兒吳老謠
李得馬黑子八一兒王二格得山雨子等及夫
頭曹大李六俱著交刑部嚴行審究並查明各
犯內如係內務府食錢糧蘇拉即著問擬絞罪
趕入本年秋審情實其餘閑散人及民人等夥
竊各犯亦著從重分別發遣其內務府銀庫庫
使等交總管內務府大臣分別責處總管內務

府大臣等向未經心亦著交該部察議嗣後廣
儲司造辦處等庫應行撥發銀兩即著內務府
蘇拉匠役擡運圓明園庫撥發銀兩即著苑戶
擡運概不准僱用民夫以示慎重餘依議是日

翰林院奏補

日講起居注官帶領開坊

檢十員引

各員並律深編

見奉

諭旨平恕陳崇本方燁陳嗣龍俱著以原銜充日

講起居注官陳萬青曹城俱著以原銜著日講

起居注官又鑲藍旗蒙古都統奏補世管佐領

帶領承襲人員引

見奉

諭旨倭克精額之世管佐領著興倫承襲

是日

起居注官王保吳墩茅元銘瑋五珠

二十九日癸亥

上詣

奉先殿

壽皇殿行禮

詣闕帝廟拈香是日內閣奉

諭旨陝西西安府知府員缺緊要著該督撫於通

省知府內揀選一員調補所遺員缺著富興阿

補授又奉

諭旨甘肅甘涼道滿岱現在病故所遺員缺著富

巽補授又奉

諭旨廣西南寧府知府員缺著顧葵補授

是日

起居注官平恕圖敏

乾隆五十二年歲次丁未十月初一日甲子內閣奉

諭旨現在勦捕臺灣逆匪事宜總督李侍堯孫士毅於調兵運餉等務均能辦理迅速甚為妥協殊屬可嘉李侍堯孫士毅俱著加太子太保銜至參贊提督柴大紀自駐劄諸羅以來屢經奮勇抵禦勦殺賊匪洵為懋著勞績著加太子少

保銜以示嘉獎又奉

諭旨甘肅涼州府知府員缺著清安泰補授是日禮部議山東巡撫長麟奏德平縣壽民趙琳現年一百五歲准照例給銀建坊一疏奉諭旨依議趙琳著加恩賞給上用緞一疋銀十兩又兵部奏雲南提標左營守備員缺擬以預保千總李天林掣補一疏奉

諭旨李天林依擬用餘依議又吏部帶領十月分

月官籤掣戶部江西司郎中汪濬籤陞戶部湖廣司員外郎額爾謹籤掣禮部祠祭司主事李奕疇刑部司務王侶兵部司務吳蔭暄籤掣廣東雷州府知府楊長林雲南曲靖府同知劉大祺籤掣湖南寶慶府同知王九儀籤陞湖北荊州府同知錫純福建福州府通判周燮籤掣山西樂平縣知縣和邦額籤陞湖北公安縣知縣薩炳阿籤掣浙江太平縣知縣楊掄引

見奉

諭旨汪濬等依擬用餘依議

是日

起居注官嵩貴陸伯焜

初二日乙丑內閣奉

諭旨據常青奏准柴大紀咨報遊擊邱能成等於
八月內在諸羅城外打仗被傷即由軍營醫治
初九日因傷身故又八月內隨同蔡攀龍援應
諸羅之副將等官貴林等四員及千總外委陳
邦材陳洪猷等二十一名在途遇害又守備楊
鵬在西門外打仗受傷身故各等語邱能成自

勦捕逆匪以來節次奮勇殺賊甚為出力屢經
擢陞遊擊今因傷身故實堪憫惜著交部加一
等以參將銜照陣亡例議卹至援應諸羅中途
被害各員除貴林楊起麟杭富業經降旨賜卹
外其守備馬大雄及在西門外打仗傷亡之守
備楊鵬均著交部議給卹典其餘千總外委陳
邦材陳洪猷等各員並著該將軍查明咨部照

例議卹以示軫惻又奉

諭旨據常青奏准參贊柴大紀詳稱福寧鎮標中
營遊擊田藍玉於七月帶兵赴援諸羅中途遇
賊打仗官兵損失過半所到之兵軍器不全又
捏報並無遺失至八月內該參贊帶領將弁出
城接應蔡攀龍田藍玉又復在後緩行請旨將
遊擊田藍玉革職仍留軍前効力等語田藍玉

帶兵前赴諸羅於官兵遺失軍械有心捏飾迨
跟隨柴大紀接應蔡攀龍又復行走遲緩實屬
狡詐怠緩僅予革職効力不足示儆田藍玉著
革職即在臺灣府城永遠枷號示衆以昭儆誠
又奉

諭旨本年閩省剿捕臺灣逆匪所有添調各省官
兵經過地方一切軍需供應俱經發帑支給絲

毫不以累及閭閻惟是運送糧餉軍械等物間亦酌用民力雖並給與口糧脚價而該處民夫急公向義無不踴躍從事實堪嘉尚自宜特沛渥恩以示優恤除漳泉二府本年被旱歉收曾經降旨加恩令該督等查明緩征並臺灣府屬本年及五十三年應征錢糧概行豁免外仍著李侍堯等將福建通省承辦軍務各州縣所有

官兵經過地方就其差務繁簡出力輕重查明應如何酌量加恩分別蠲緩之處詳細核定迅速奏聞候朕另降恩旨又奉

諭旨從前因粘竿處拜唐阿等時常隨圍差務亦屬近要曾降旨將支食二兩錢糧之拜唐阿令各該旗遇有本佐領下馬甲缺出即行酌補今思各處拜唐阿在本旗佐領下當差者較少若

馬甲糧缺為所佔補則旗人生齒日繁生計未免拮据所有上虞等處食二兩錢糧之拜唐阿均著加恩照馬甲例賞給三兩錢糧其馬甲原缺仍歸各該旗佐領下以示朕軫念旗人一視同仁至意又奉

諭旨據鑲黃旗滿洲都統奏原任知州官成名下應賠銀九千八百餘兩無力完賠請著落原任各上司分賠等語官成名下應賠銀兩均係屬員長支代賠浮用核減銀兩並非伊侵肥之項家產業經抄沒又發往伊犁其子年幼並無錢糧著照該旗所請著落原任各上司分賠完結寬免官成賠繳是日步軍統領衙門奏據湖北漢川縣監生羅正榜呈控該縣書吏張志忠等侵蝕賑濟銀兩一摺奉

諭旨此案羅正榜所控漢川縣侵蝕賑濟銀兩

事甚有關係著派慶桂汪承霈馳驛前往秉公

查審嚴行定擬具奏所有帶司員併馳驛

其原告羅正榜交該部照例解往質審是日吏

部議戶部雲南司失火燒燬檔案應將並不

留心防範之戶部堂司各官照例罰俸一疏

奉

諭旨綽克托蔣賜祭汪承霈俱著罰俸六個月諾

穆親著罰俸三個月董誥著銷去紀錄一次其

從前罰俸四個月之處仍註於紀錄抵銷和坤

著銷去紀錄一次免其罰俸餘依議又戶部議

湖北省通城等縣經徵五十年分耗羨銀兩

未完應將督催不力之前任湖北巡撫陞任

刑部侍郎李封照例罰俸一疏奉

諭旨李封著於現任內罰俸三個月餘依議又戶

部議貴州省督催五十一年分地丁銀兩全

完之布政使汪新照例紀錄一疏奉

諭旨汪新著紀錄一次餘依議又兵部議兩廣總

督孫士毅奏廣西義寧協副將員缺請以提

標中軍叅將常福陞署查該員歷俸未滿與

例不符既經專摺奏請可否准其陞署一疏

奉

諭旨常福准其陞署廣西義寧協副將餘依議又

議雲貴總督富綱奏雲南昭通鎮標前營守

備員缺准以臨元鎮標右營守備萬忠調補

一疏奉

諭旨萬忠依議調補餘依議是日翰林院奏補

日講起居注官員缺帶領翰

翰林院奏補

見奉

諭旨鐵保著以原銜充日講起居注官

是日

起居注官王保陳嗣龍

初三日丙寅卯刻

上御懋勤殿大學士嵇璜和坤王杰協辦大學士

吏部尚書劉墉刑部尚書喀寧阿胡季堂侍

郎穆精阿李封學士扎勒翰阿肅張若溍胡

高望以刑科覆奏九卿詹事科道朝審情實

罪犯應勾決者請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至官犯舊列情實之斬犯蘇泰一名絞犯特通

額一名常犯舊列情實之斬犯陳二等三名

絞犯劉二等三名

上命俱仍著停決

閱至官犯新列情實之斬犯黃任簡任承恩貽誤

軍事一案

上曰黃任簡任承恩係提督大員於逆匪林爽文

糾眾滋事之初不即合力攻勦彼此觀望以致

滋蔓日久勞師糜餉實皆該犯等畏葸貽誤即

立正典刑亦罪所應得但黃任簡年老又係病

後任承恩現無子嗣不忍使任舉臨陣捐軀竟

至絕嗣是以未勾

閱至常犯新列情實之絞犯岳大傷人致死一案

上曰岳大欠錢已償釁非理曲傷係手足情稍可

原著停決

閱至絞犯宛寧拒捕傷差一案

上曰宥寧聽從已死之韓連陞搶奪米馱拒捕傷

差固屬藐法但究係為從情稍可原著停決其

官犯新列情實之陳玉一名絞犯溫有光等二

名常犯新列情實之斬犯邱三等三名絞犯李

六等十二名俱情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨臺灣逆匪林爽文糾眾倡亂以來提督柴大

紀統兵剿捕收復諸羅後賊匪屢經攻擾城內

義民幫同官兵奮力守禦保護無虞該處民人

急公向義衆義成城應錫嘉名以旌斯邑著將

諸羅縣改為嘉義縣俾闔縣良民倍加奮勵以

昭獎勸又奉

諭旨慶桂現在出差所有兵部尚書事務著福長

安署理又奉

諭旨本日勾到朝審官犯內黃仕簡任承恩二犯

同係福建提督于臺灣逆匪林爽文糾眾滋事

一案既領兵過臺灣乃彼此遷延觀望貽誤軍

機經大學士九卿問擬斬罪本屬按律辦理從

來軍紀貴在嚴明而失律之誅尤難寬貸黃仕

簡于上年冬間帶兵前渡臺灣剿捕賊匪其時

逆首林爽文不過與一二奸民糾合倡亂若黃

仕簡能督率兵弁實力搜捕何難即時撲滅乃

到臺灣以後惟知坐守郡城零星派撥巡緝

怯一籌莫展以致逆匪輾轉糾集日久稽誅黃

仕簡從前于黃教一案亦曾經親往查辦何此

次竟致束手無能即因染患病症自問不能辦

理此事亦應及早奏明候朕另派大臣前往督

辦乃一味因循延玩貽誤事機核其情罪本應予勾姑念黃仕簡究係年老抱病一聞逆匪滋事之信即力疾渡洋猶知以公事為重其按兵株守漫無籌畫實由老病昏憤尚非出于有心是以姑從寬宥免其勾決至任承恩年力正壯非黃仕簡可比且伊前往臺灣剿捕逆匪係自行陳請尤應倍加奮勇力圖自効乃亦安坐鹿

仔港與黃仕簡互相觀望並不親臨行陣奮力剿殺律以逗遛之罪實屬法無可寬特念任承恩之父任舉前在金川出兵陣亡伊兄任承緒又因在京營供職救火傷斃皆屬歿於王事任承恩又現無子嗣若即予勾使捐軀効命之臣竟至絕嗣於朕心實有所不忍是以法外施恩貸其一死設使任承恩尚有子姪必將伊予勾

斷不能稍存未減但黃仕簡任承恩溺職辜恩致逆匪負嵎猖獗該處兵民受其戕害者不少今剿捕事務尚未完竣皆係二人之罪茲雖曲加恩貸已屬格外從寬未便即行釋放黃仕簡任承恩仍著牢固監禁至朕於軍旅之事有功必賞有罪必誅從不稍存姑息即如此次在臺灣帶兵之郝壯猷因賊匪復擾鳳山棄城不守

潛回郡城以專閫大員如此畏葸偷生若不明正典刑何以肅戎行而昭法紀是以不待大學士九卿核擬即將伊於軍營正法示衆以昭炯戒而現在帶兵出力之員如柴大紀力捍圍城不辭勞瘁兼能激勵兵民屢次殺賊連獲勝仗即特加拔擢優予恩賚其貴林楊起麟邱能成諸人皆因奮勇剿賊臨陣捐軀即勅部從優議

卹一律得給世職以示軫惻設郝壯猷當賊擾鳳山時能奮不顧身授命疆場亦可與貴林等同邀卹典是與其死於國法曷若歿於戎陣刑賞昭然惟人自取今臺灣領兵官員俱能爭先効用未必不因郝壯猷覆轍在前共知做勵蓋兵可百年不用不可一日不備而信賞必罰絲毫難以假借此後身膺閫寄者當倍加凜惕過

行軍之際務須身先士卒克敵致果共曉然於功罪所分視乎勇怯如能共矢蓋誠著有勞蹟必當躬膺茂賞承受渥恩若畏怯幸生必致自蹈重愆身罹憲典庶幾人知敵愾士皆用命毋負朕整飭戎行諄諄告誡之至意將此通諭知之又奉

諭旨據松春等奏土默特牧場牧放駝馬妥善並

未多倒請將叅領等照例賞給紀錄一次等語該牧章京札什札布根吉札布棟嚕布徹木伯勒珉珠驍騎校宗都伊伊塔木札布什許爾特伊烏巴什等均屬留心牧放駝馬妥善著照所奏各紀錄一次外其跟隨章京等牧放駝馬之兵丁亦應酌加賞賚著松春等查明人數將彼處銀兩動用酌賞以示獎勸是日吏部帶領棟

發廣西同知等官之姚師孟等十四員引

見奉

諭旨姚師孟祥雲以同知用沐翰楊峻永春德明阿以知州用福昇阿永起以通判用俱著發往廣西交與該撫差遣委用又帶領病痊赴補之原任山東樂陵縣知縣賴鵬紳引

見奉

諭旨賴鵬翀著仍發往山東以知縣用又帶領病

痊赴補之原任陝西富平縣知縣張星文引

見奉

諭旨張星文著仍發往陝西以知縣用又帶領服

滿赴補之原選福建漳平縣知縣改補河南

新野縣知縣李聲振引

見奉

諭旨李聲振著發往福建仍以知縣用又帶領失

察西洋人住宿傳教應行革任之直隸署藁

城縣事鷄澤縣知縣高偉修引

見奉

諭旨高偉修著仍發往直隸以知縣用其革任之

案帶於新任又帶領前在江南丹陽縣任內造

冊遲延照例降調病痊赴補之原任陝西宜

君縣知縣吳瀚引

見奉

諭旨吳瀚著仍發往陝西以知縣用其降級之案

帶於新任是日正黃旗滿洲都統奏補防禦員

缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨永謙著補授防禦又正黃旗蒙古都統奏補

世管佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨貴保之世管佐領著福寧阿承襲又奏補公

中佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨伍爾得呢著補授中公佐領

初四日丁卯內閣奉

諭旨據普吉保奏九月十六日克復笨港後十九

日笨港潰散賊匪復糾約各路夥黨萬餘分路

繞截隨督率官兵分路抵禦自辰至酉鎗砲攻

擊賊猶不退普吉保親率遊擊海亮千總李漢

陞帶兵直撲上山賊匪潰散鎗砲打死百十餘

人各路官兵人人奮進即漳州隊內各兵亦皆

踴躍直前適護副將琢靈阿叅將張朝龍帶同

守備章國興王德俊帶兵堵截前來衝殺夾攻

共打死賊匪三百餘名奪獲長鎗器械五十餘

件髮辮三十九根耳記十七個二十日又督率

將弁官兵分路勦殺自辰至未鎗砲打死一百

餘名奪獲器械二十餘件各村居民見官兵連

日勦殺賊匪歡聲動地現在紛紛來歸者不計

其數均發交署同知黃嘉訓妥為安撫等語前

據普吉保奏帶領官兵由大哭溪前往笨港勦

殺賊匪克復笨港已降旨將普吉保交部議叙

茲據奏到十九二十兩日打仗殺賊情形該鎮

督率將弁兵丁奮力勦殺前後打死賊匪五六

百人奪獲器械甚多該鎮此次打仗更為奮勇

可嘉除普吉保業經議叙優賞外所有隨同出

力之官兵著將軍福康安查明咨部分別議叙

以示獎勵又奉

諭旨常青奏現在出有副將叅將遊擊各缺請將

隨征出力之宋鼎等陞補等語著照所請宋鼎

准其陞補福建福州城守營副將黃鳴鳳准其

陞補廣東平海營叅將黃象新准其陞補福建

水師提標右營遊擊李步雲准其陞補福寧鎮

標右營遊擊又據另摺奏莊錫舍隨同官兵打

仗出力請補建寧鎮標守備等語莊錫舍自投誠以後屢次奮勇打仗受傷實屬可嘉著將軍福康安查有閩省都司缺出即行補用該部知道摺併發又奉

諭旨據柴大紀奏八月內守備楊麗在諸羅西門外堵勦賊匪連次打仗該守備施放大炮連發連中斃賊甚多實屬奮勇出力嗣因中炮傷重

醫治不痊至十七日身故又據常青奏遊擊卹維揚打仗陣亡各等語楊麗業經降旨交部議卹今閱常青柴大紀奏到情形該員等奮勇殺賊臨陣捐軀均堪嘉憫遊擊卹維揚著加一等以叅將銜照陣亡例議卹守備楊麗著加一等以都司銜照陣亡例議卹以示格外軫卹又奉諭旨據富綱叅奏私設稅口肥已累民之通海縣

知縣徐維城請旨革職嚴審等語該縣地處偏僻向無官設稅口乃該員竟敢設立馬櫃房私收騾馬稅為侵肥飽索之計殊出情理之外該督等僅請革職殊覺寬縱徐維城著即革職拿問交該督等提同案內犯証嚴審定擬具奏該部知道摺併發是日吏部奏督辦河南睢州漫工合龍之大學士公阿桂

等遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨阿桂蘭第錫畢沅書麟俱著加一級餘依議又兵部奏雲南督標中營都司員缺擬以預保守備陳耀先掣補一疏奉

諭旨陳耀先依擬用餘依議

是日



起居注官鐵保方燁

初五日戊辰太常寺奏

大祀

天於

園丘前期視牲看牲一疏奉

諭旨遣永瑞視牲藍應元看牲又兵部帶領歷倭

期滿之湖南岳州城守營叅將西成引

見奉

諭旨西成著留京在頭等侍衛上行走又帶領揀

補廣西桂林城守營遊擊之漢軍雲慶使李

侍令李慶雲引

見奉

諭旨廣西桂林城守營遊擊員缺著李侍令補授

又帶領邊倭倭滿之湖南辰州協中軍都司

楊定謀引

見奉

諭旨楊定謀著回任候陞又帶領揀補直隸古北

城守營都司之滿洲治儀正靈惠音得引

見奉

諭旨直隸古北城守營都司員缺著靈惠補授又

帶領題補廣西隆林營守備王名望引

見奉

諭旨王名望准其補授廣西隆林營守備著赴新

任是日正紅旗滿洲都統奏補世管佐領員缺

帶領正陪人員引

見奉

諭旨明紹之世管佐領著朋陵承管又正紅旗蒙

古都統奏補世管佐領員缺帶領正陪人員

引

見奉

諭旨寧俊之世管佐領著明德承襲

是日

起居注官圖敏曹城

初六日己巳吏部議率行給發孫景燧家屬

賞卹銀兩之工部堂司各官照例降級一疏

奉

諭旨德成劉躍雲俱著降一級留任金簡著銷去

加一級趙瑛著銷去紀錄四次俱免其降級餘

依議又議飭屬查拏隣境在洋行劫盜犯王馬

成等二十七名之兩廣總督孫士毅遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨孫士毅著加二級餘依議是日鑲白旗滿洲

都統奏補江寧佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨金柱著補授佐領庚音保之世管佐領著靈

喜承管達冲阿著補授包衣叅領又鑲白旗漢

軍都統奏補印務章京等缺帶領正陪人員

引

見奉

諭旨戴邦垓著補授印務章京秦揚祖著補授公

中佐領

是日

起居注官平恕塘五珠

初七日庚午內閣奉

諭旨浙江黃巖鎮總兵弓斯發因商民黃崑山船

隻在洋被盜一案已照部議將黃巖鎮

總兵員缺著提督陳大用暫行兼署候朕另行
簡放該部知道是日吏部議未能飭屬上緊緝
拏在洋行劫盜犯王馬成等

玕提督世襲三等子陳大用各降三級調用

黃巖鎮總兵弓斯發降四級調用一疏奉

諭旨此案琅玕陳大用係無轄之員著加恩改為

革職從寬留任弓斯發係統轄總巡之員於所

轄汛地海洋劫盜重案不能預為防範又未能

上緊拏獲非尋常疏防可比著照部議降四級

調用餘依議

是日

起居注官葉觀國玉保

初八日辛未禮部議四川總督保寧奏三台

縣壽婦李陶氏現年一百二歲准照例給銀

建坊一疏內閣奉

諭旨依議陶氏著加恩賞給上用緞一疋銀十兩

是日翰林院奏補文淵閣直閣事二缺一摺

奉

諭旨鄒奕孝管幹珍著以原銜充文淵閣直閣事

又鑲藍旗滿洲都統奏補佐領員缺帶領正

陪人員引

見奉

諭旨木隆阿之世管佐領員缺著阿林保承管

是日

起居注官嵩貴吳璣

初九日壬申內閣奉

諭旨臺灣諸羅縣自被賊匪攻擾以來柴大紀統

兵堵剿該處義民隨同固守出力可嘉前經降

旨將諸羅縣改為嘉義縣以昭獎勵本日又據柴大紀奏賊匪連日環攻縣城義民等無不踴躍急公捐助軍糈悉力守禦人心固結尚能保護無虞等語該處縣城被賊攻圍已閱半載而民人等共知大義幫同官兵奮力保守久而益堅實堪嘉尚除節經降旨將臺灣府屬本年及五十三年應徵錢糧豁免外著再加恩將新改

嘉義縣五十四年應徵錢糧再行豁免以示朕優獎忠義有加無已之至意又奉

諭旨柴大紀奏接到常青札稱昨已有旨交柴大紀不必拘泥守城存亡之見設遇緊急即帶兵殺出縣城再圖進取等因惟思諸羅地居臺灣南北之中其縣城四面堆土種竹作圍本難為守前此克復後環營開溝並堆矮牆安設炮位

營盤甚屬堅固若一旦棄之而去則城池營盤大炮均為賊據恐賊勢益張鹽水港笨港兩路之兵均難駐守且城廂內外住居百姓及各庄避難入城者共有四萬餘人至今協力守禦並捐助軍糈急公向義實不忍將此數萬生靈盡付逆賊毒手現在恒瑞駐鹽水港普吉保駐元長庄距諸羅俱不過三四十里三方鼎峙聲勢壯盛惟有竭力保守縣城以待援兵齊集併力進勦擒逆首等語所奏忠肝義胆批覽之下為之墮淚前因新改嘉義之諸羅屢次被賊滋擾柴大紀數月以來激勵官兵義民悉力守禦保護城池但該處賊匪雖屢經柴大紀奮勇剿殺仍四處屯聚心生窺伺百計攻擾而常青等先後派援之兵未能即時齊抵縣城惟恐柴大

紀激於忠憤堅守城存與存城亡與亡之義因
 守勿去是以降旨令柴大紀酌量情形如有
 難支不妨率領官兵整隊而出此因該處義民
 幫同柴大紀守城殺賊甚為出力若柴大紀帶
 兵出城此等義民必致受賊戕害朕心更為不
 忍復諭令柴大紀如縣城萬難守禦必須出城
 另圖進取之時務將城內義民及其家屬妥為

捍衛先行送出俾義民不致失所經常青將此
 旨賚送柴大紀閱看而柴大紀以縣城一切守
 禦事宜久經布置周密且因縣城內外居民甚
 多不忍將數萬生靈委之於賊立意堅守以待
 援應是其保護合縣民人與朕軫念義民多方
 愛護之意適相脗合所謂我君臣各盡其義也
 柴大紀力捍圍城且能乘間殺賊已屬奮勇可

嘉今接奉前旨即全師而出亦係遵旨而行未
 為不可而柴大紀被圍日久心志益堅勉勵兵
 民忍饑固守惟知以國事民生為重古之名將
 何以加之柴大紀在臺灣剿捕賊匪勞績最著
 即守城一節其功甚大本欲俟大功告竣後優
 加封賞今伊能如此繫念民生忠良激發為國
 家出力尤堪嘉獎柴大紀著即封為一等義勇

伯世襲罔替並著浙江巡撫琅玕賞給伊家屬
 銀一萬兩用示朕軫念勲勞錫爵酬庸之至意
 至柴大紀忠義奮發兵民當益加感動仰蒙
 上天嘉佑縣城自必保護無虞現在福康安統領大
 兵迅抵鹿仔港聲威壯盛士氣百倍柴大紀惟
 當更加勉力痛剿賊匪共奏膚功永承格外恩
 眷是日吏部議四川總督保寧秦名山縣知縣

員缺准以候補知縣七寶補授一疏奉

諭旨七寶依議用餘依議

是日

起居注官王懿修鐵保

初十日癸酉內閣奉

諭旨臺灣嘉義縣自賊匪攻擾以來柴大紀統兵堵剿該處兵民等共知大義悉力固守久而益

堅實堪嘉尚昨已降旨將柴大紀優加封賞并令福康安查明出力文武員弁咨部從優議叙其縣民等五十四年應徵錢糧概予豁免矣至隨營守禦兵丁與柴大紀同心協力奮勇打仗固守城池亦應一體加恩賞賚除已降諭旨將打仗傷亡之官兵義民等分別給與恩卹外所有現在守城打仗出力官兵著賞給兩月錢糧

以示獎勵是日吏部議河南巡撫畢沅奏署新

安縣知縣楊懷斗試俸期滿准實授一疏奉

諭旨楊懷斗依議用餘依議又議失察大名逆匪

張君德過境不能查拏之直隸前任成安縣

知縣觀禧等照例降調革任一疏奉

諭旨此案該縣於張君德逃竄過境及潛回原籍均未能即時查獲實屬漫無覺察知縣觀禧王

步瀛俱著照部議降調大名道龍舜琴失於查察固有應得之咎但係統轄之員著從寬改為暫行革職留任仍勒限四年令其查拏段文經劉勤該道若能限內拏獲一二人當另行加恩甄叙若限滿不獲著該部屆期提奏即照原議革任是日正白旗護軍統領奏補副護軍統領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨富僧額著補授副護軍叅領

委護軍叅領

是日

起居注官陳崇本瑋五珠

十一日甲戌都察院奏安徽太湖縣孀婦胡

氏費氏等控告監生李盛廷趙浩江指差勒

派致死夫命請交該省督撫親提審訊一摺

內閣奉

諭旨此案著交阿桂在清江浦就近提集案内犯

証嚴審定擬具奏所有原告胡氏費氏等交該

部照例解往該處聽候質訊是日正黃旗護軍

統領奏補副護軍叅領員缺帶領正陪人員

引

見奉

諭旨著委署護軍叅領富明三等侍衛兼安達噶

里補授副護軍叅領自是日始

上以冬至大祀

天於

圜丘

御齋宮致齋三日

是日

起居注官圖敏曹城

十二日乙亥內閣奉

諭旨向例每年葉爾羌和闐春秋二季採玉輸納

該處回人按季跟隨大臣無甚閒暇俱各奮勉

既應酌量施恩以舒其力而此時節次採運之

玉亦足充用嗣後每年春季停止採運惟秋季

仍令採王解運自明年起即著為令以示朕惠
愛回人之意又奉

諭旨據李侍堯奏閩省委員王履吉解送糧餉在

洋遭風沉溺船隻案內尚有第六號米船一隻
載米九百石遇礁擊碎淹斃兵丁一名水手五
名米石盡行沉失又另起委員何中尊解運臺
米船內有郭聖華一船載米八百五十石將進

鹿耳門遭風沉失米二百餘包又閩縣船戶李
生財載運軍米赴廈門遭風覆船米盡沉失淹
斃兵丁水手七名又船戶曾長瑛運赴鹿仔港
軍米一千石在洋遭風船碎尋獲該船水手
二名餘人不知下落米船並無踪影等語此等
解運餉米於外洋陡遇颶風人力難施以致船
隻沉溺淹斃數人情殊可憫所有沉失米石均

著免其賠補外其前後斃溺之兵丁水手人等
均著該督查明照陣亡之例議卹以示體卹摺
併發是日吏部帶領直隸總督劉峩奏請陞署
靜海縣知縣之現任景州州判左學義引

見奉

諭旨左學義著照該督所請准其陞署靜海縣知
縣又帶領劉峩題請實授之現署正定府通判

何裕堦引

見奉

諭旨何裕堦著照該督所請准其實授又帶領兩
江總督李世傑奏請陞署淮北監掣同知之
現任震澤縣知縣巴哈布引

見奉

諭旨巴哈布著照該督等所請准其陞署淮北監

掣同知所遺震澤縣知縣員缺准其將金匱縣
知縣張曾太調補所遺金匱縣知縣員缺准其
將候補知縣彭元璟補授又帶領雲貴總督官

綱奏保舉堪勝知府之現任雲南麗江府中
甸同知王友蓮引

見奉

諭旨王友蓮著回任又帶領病痊赴補之原任河

南汝州直隸州知州汪濤引

見奉

諭旨汪濤著仍發往河南以直隸州知州用又帶

領病痊赴補之原任甘肅隆德縣知縣汪鳴
引

見奉

諭旨汪鳴著仍發往甘肅以知縣用又帶領勒令

休致績經丁憂病痊赴補之原任浙江慶元
縣知縣徐傳一引

見奉

諭旨徐傳一著仍發往浙江以知縣用又帶領大
計劾叅才力不及降二級調用之原任湖南
興寧縣知縣勵守訓引

見奉

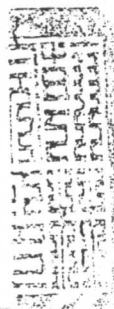
諭旨勵守訓著照部議降調是日鑲黃旗滿洲者

統奏補吉林所屬拉林佐領等缺帶領保送
人員引

見奉

諭旨薩瑪拉著補授吉林所屬拉林佐領朱隆阿
著補授綏遠城防禦是日

上御齋宮



是日

起居注官嵩貴陸伯焜

十三日丙子寅刻

上御太和殿視冬至大祀

天於

圜丘祝版已刻

詣

圜丘齋宮齋宿

是日

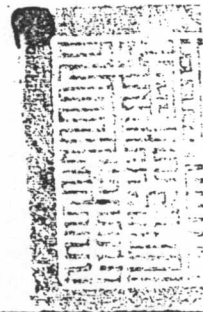
起居注官鐵保茅元銘陳萬青塘五珠

十四日丁丑寅刻

上大祀

天於

圜丘禮成



駕進宮

是日

起居注官王保平恕圖敏方煒

十五日戊寅內閣奉

諭旨御史李陽棫奏吏部議處降調有級紀不敷抵銷人員其有情節較重不准捐復請於議處時嚴為酌定不致先後兩歧一摺內所稱毛振

翮蔣基培報捐一准一不准似屬上下其手不知二案該部俱經議駁朕閱其案情毛振翮係山西高平縣知縣因紳士捐修鼓樓並不詳請候示其事尚屬因公是以降旨仍准其捐復至山東東平州知州蔣基培於所屬捕役拖斃無辜事關人命是以即照部議不准捐復是此案吏部皆係一體議駁具奏而與活盤出自

朕定並非部臣辦理兩歧所能高下其手也況現在綱紀肅清內外庶政亦斷無敢有意存軒輊之理乃該御史復行援引入奏已屬無謂至所稱嗣後捐復人員其情節較重無級可抵者應照舊酌核請旨其有加級紀錄而不敷抵銷者應嚴為酌定等語是此後被議各員凡有加級紀錄不敷抵銷者皆得援以為詞廣其捐復之路是語從嚴而意從寬非澄叙官方核實辦理之道此乃取巧或受人指使然朕亦不深究耳但該御史既有此奏除兼管吏部之員應行迴避外著今日同進見之嵇璜王杰福長安董誥彭元瑞胡季堂金簡會同詳查例案悉心妥議具奏摺併發又奉

諭旨據書麟奏貴州亮寨土司龍世勳之父龍紹

儉主使龍世勳挾嫌誣告知府王勳勒索土司林秉乾等銀兩一案審屬虛誣將龍紹儉按律擬軍同妻史氏子龍世俊等遷徙安慶省城安插乾隆四十五年龍紹儉在配病故伊子龍世俊等呈請扶柩回籍經前臬司呂爾昌批飭不准龍世俊等携眷私行回籍龍世偉亦乘間脫逃該地保因龍世俊等私行回籍時失於查報

隨捏稟龍世俊等五名先後病故該縣劉增據稟詳報請將前任懷寧縣知縣張繼曷及現任懷寧縣知縣劉增交部議處并咨明貴州巡撫將龍世偉龍世佐一併提解前來安徽仍發該縣安插等語所辦殊屬不成事體貴州土司本為管理苗民而設因其誣告知府按律擬軍該土司及伊家口俱隨同遷徙安插屬安插

法該土司到配後因病身故伊子呈請扶柩回籍本不應准乃並不奏聞請旨已屬不合而於伊子龍世俊私行回籍後該縣又率據捏稟詳報尤非尋常疎脫可比該撫書麟又僅請將該縣張繼曷劉增交部議處殊屬失當書麟著交部議處其前任懷寧縣知縣張繼曷現任知縣劉增俱著革職發往軍臺効力捏報之地保發

伊犁給兵丁為奴其失察之各上司亦著交部分別察議該部知道摺併發又大學士管步軍統領事和珅奏正白旗滿洲步甲定福轉託禮部書吏造入樂舞生冊內咨行止差初用白片繼復盜用印文請交刑部嚴審定擬一摺奉
諭旨著交部其禮部咨取八旗樂舞名數著軍機

大臣另行查核據實酌減具奏又大學士管禮部事王杰等奏祠祭司書吏李炳等盜用印片移會步軍統領衙門請將掌印郎中監印各官及臣等分別議處一摺奉

諭旨此案王杰日直內廷於該書吏私用印信未能查察其咎尚屬可寬著免其議處其餘失察之堂司各官俱著交部分別議處是日吏部奏

刑部主事員缺擬以

上諭處委署主事多福補授一疏奉

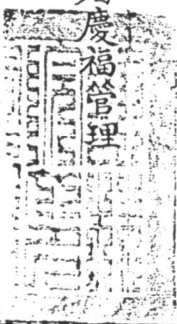
諭旨多福依擬用是日正白旗漢軍都統奏補佐

領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨德倫太之族襲佐領著慶福管理

是日



起居注官高貴葉觀國

高貴葉觀國

高貴葉觀國

乾隆五十二年歲次丁未

外

上幸瀛臺閱水技是日內閣奉

諭旨昨據李世傑閔鶚元等奏動撥錢文委員附

米船解閩本日琅玕奏動撥寶浙局錢文委員

運往上海附搭米船解閩應用又何裕城奏湖

南頭起官兵於十一月初一日入境前進各督

撫所辦俱屬妥協前因江浙兩廣四川湖廣江

西貴州各督撫辦送解閩米石及料理官兵過

境各事宜均為妥速業經降旨交部議叙該督

撫等身任封圻於軍需要務俱能奮勉急公實

心任事殊屬可嘉即日大功告竣自當再降恩

旨予以甄叙該督撫等務須倍加感奮遇有地

方公事益當實力妥辦以副朕委任而承優眷

所有李世傑各摺俱著發抄是日吏部議承辦

宗室謨隆額娶妻

恩賞銀兩重復行文之宗人府堂司各官照例罰

俸應註於紀錄抵銷一疏奉

諭旨雅朗阿著罰尚書俸三個月崇尚著罰侍郎

俸三個月永瑞弘暢罰俸三個月之處俱著註

於尚書紀錄抵銷淳穎罰俸三個月之處著註

於親王紀錄抵銷斌寧罰俸三個月之處著註

於公紀錄抵銷餘依議又戶部議漕運總督毓

奇奏經徵五十五一兩年分漕項耗羨銀

兩未完六七分以上之原任終養浙江歸安

縣知縣王士昕等照例革職一疏奉

諭旨依議其因經徵漕項耗羨銀兩未完六分以

上議以革職註冊之王士昕仍照前旨後應補

之日著本籍府尹查照原咨考語送部引見議
以革職之楊澧培著該督撫去其考語送部引
見再降諭旨

是日

起居注官玉保王懿修

十七日庚辰內閣奉

諭旨虔禮寶現在丁憂所有廣西布政使員缺著

英善署理俟服闋後再行實授又奉

諭旨給事中劉謹之在軍機章京上行走二十餘
年奉職勤慎茲患病身故伊妻湯氏因夫亡殉
節殊屬可憫劉謹之著加恩賞賜鴻臚寺卿銜
並賞銀一百兩治理喪事湯氏著該部照例旌
表以示軫卹又奉

諭旨刑部核擬孔衍江之妾孔胡氏因姦謀死孔

孫氏一本將孔胡氏按律凌遲處死孔二牛擬
斬立決已照擬准行矣此案孔胡氏因姦謀死
正妻孔孫氏按律問擬凌遲處死孔二牛是姦
夫同謀起意擬斬立決固屬情真罪當但孔胡
氏並非謀死伊夫孔衍江而本內所引律例係
照妻妾因姦同謀殺死親夫例援引未為允協
自應即照奴僕謀殺家長律比照引用據該部

稱此等妾謀正妻致死之案律內向無專條現
在刑部修纂則例應即將此條擬議增入又奉
諭旨昨經朕於明興錯行銀米兼放申飭一事旋
據覆奏於初賑二賑銀米兼放三賑全放折色
之處曲為迴護又未將初賑時業經散放銀米
錯悞緣由據實陳奏又降旨申飭至今據鄭源
璠奏稱大同懷仁天鎮三縣今夏被旱成災已

於十月二十二日馳赴該處將四次應賑戶口查明散給銀米等語是該處被災州縣現在初賑業經銀米兼放明興接奉前旨自應將業經誤行散放銀米難以收回之處據實覆奏乃該撫前奏尚稱初賑二賑時值隆冬民間買穀維艱三賑在領過兩賑銀米之後自必稍可敷衍為此巧詞支飾試思初賑時民間甫經秋收自

尚略有糧食可以糴買應放給折色至二賑三賑為時較久若放給折色小民將於何處糴買米糧以資接濟耶明興似此糊塗尚敢於朕前文過飾非此等伎倆豈能逃朕洞鑒乎明興著再行傳旨申飭仍交部議處至鄭源疇摺內稱各州縣被災六分戶口明春尚可支持其七八九分戶口將來更歎請加恩展賑等語該省州

縣內既有被災較重處所自應查明酌量展賑應俟明興覆奏到日屆期另降恩旨至將來展賑時為期更遠小民買食尤艱自應本折兼放又不可仍行拘泥全行折色以致災黎不能得受實惠又奉

諭旨從前嚴飭禁止各省兵民製送上官衣傘陋習曾降漢字諭旨今各省駐防將軍副都統照

例年終繕清具奏其所繕造給服傘還音字樣殊覺費解當依清語改正著通行曉諭嗣後遇有此等字樣俱用清語書寫勿就漢字還音是日吏部議安徽巡撫書麟奏署廬江縣知縣嚴克任試俸期滿准實授一疏奉

諭旨嚴克任依議用餘依議又議失察不教之山東省歷任各員照例分別革職革任降調

疏奉

諭旨玉德梁肯堂俱著從寬免其革任仍註冊馮
晉祚著於補官日再降二級用錦格著降去頂
帶二級明興著於現任內降一級留任孫士毅
繆其吉俱著銷去加二級免其降調其因失察
邪教致釀不法議以革職之玉棟沈貽孫汪斌
議以革任之陳鵬飛議以降級用之胡德琳著

各該督撫出具考語送部引見再降諭旨議以
革職之唐啟元卞謨正俱俟服闋之日著各本
籍督撫查照原咨考語送部引見議以革職之
富爾巽著該堂官出具考語咨部引見議以降
級用之赫紳泰俟病痊之日著該堂官出具考
語咨部引見議以降級用之王興堯仍照前旨
俟補官日著本籍督撫查照原咨考語送部引

見餘依議又議於所屬縣民李芑林主使萬黃
氏毒死伊翁萬友山身死一案並不細心檢
驗任聽忤作受賄捏報之湖北署崇陽縣知
縣馮瑞照例降調一疏奉

諭旨依議其因並不細心檢驗議以降調之馮瑞
著該督撫出具考語送部引見再降諭旨是日
廂白旗滿洲都統奏補佐領員缺帶領正陪

人員引

見奉
諭旨廣寒之世管佐領著格渾承管又廂藍旗漢
軍都統奏承襲騎都尉恩騎尉各世職帶領
承襲人員引

見奉

諭旨金大禎之騎都尉加一雲騎尉著該處承襲

王作亮之恩騎尉著永寧承襲

是日

起居注官鐵保陳嗣龍

十八日辛巳

上幸瀛臺閱水技是日吏部奏浙江鹽道員缺擬以河南漳德府知府盧崧籤陞湖北武昌府通判員缺擬以山西按察司經歷金炯籤陞

一疏奉

諭旨盧崧等依擬用餘依議又議失察革後復充誣詐捏稟不能審出實情之前署湖北武黃同知通山縣知縣鄭師照例降調一疏奉諭旨依議其因失察革役復充議以降調之鄭師著該督撫出具考語送部引見再降諭旨又戶部議直隸省經徵五十年分地丁銀兩全完



之前任清河道顧學潮等戴罪督催之案照例准開復一疏奉

諭旨顧學潮准其開復餘依議又兵部奏福建福寧鎮標左營守備員缺擬以湖南辰州協左營千總顧燾籤陞廣東提標前營守備員缺擬以浙江處州鎮標左營千總袁大章籤陞廣西提標左營守備員缺擬以四川漳臘營

千總陳文奇籤陞山西孟壽營守備員缺擬以雲南景蒙營千總楊士英籤陞一疏奉諭旨顧燾等依擬用餘依議

是日

起居注官曹城塘五珠

十九日壬午卯刻

上御乾清門聽政部院各衙門官員奏事



侍班司員

見畢大學士嵇璜和坤王杰協辦大學士吏部尚

書劉墉內閣學士阿肅扎勒翰張若溍胡萬

望以折本請

旨覆請吏部奏補大理寺少卿員缺將應陞人員

開列請

簡一疏

上曰李臺補授大理寺少卿又覆請吏部奏翰林

院侍讀員缺照例將侍講鄭際唐轉補所遺

侍講員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰鄭際唐轉補翰林院侍讀其侍講員缺著陳

嗣龍補授又覆請吏部議兩江總督李世傑

奏江蘇江都縣知縣員缺請以阜寧縣知縣

懋圖調補所遺員缺請以候補知縣福慶補

授查懋圖歷俸未滿與例不符既經專摺奏

請可否准其調補一疏

上曰懋圖等准其調補餘依議又覆請吏部議湖

南巡撫浦霖奏瀏陽縣知縣員缺請以新化

縣知縣顧振聲調補查該員歷俸未滿與例

不符既經專摺奏請可否准其調補一疏

上曰顧振聲准其調補餘依議又覆請吏部議奏

請停止開採硫磺語多荒誕之通政司參議

孟生蕙照例革職一疏

上曰孟生蕙著從寬改為降二級用又覆請吏部

議不能先事覺察督飭所屬監收秋審情實

斬犯王上元自應牢固監候乃一任禁卒携

帶菜刀入獄並手鑄任意開落以致砍傷禁

卒身死之福建巡撫徐嗣曾等照例降調一疏

上曰徐嗣曾著降一級留任馬騰蛟元克中俱著改為革職從寬留任餘依議又覆請吏部於所屬拿獲要犯不行鎖禁以致脫逃之陝西按察使周樽照例降調一疏

上曰周樽著改為革職從寬留任巴延三永保俱

著降一級留任又覆請都察院奏補禮科掌印給事中員缺將正陪職名開列請

簡一疏

上曰劉紹錦補授禮科掌印給事中是日吏部議廣東巡撫圖薩布奏儋州知州員缺准以布政司經歷余之煥陞補一疏奉

諭旨余之煥依議用餘依議又議於所屬荆門州

民人楊時等夥搶路行婦女圖財姦詐一案並不依限審結任意耽延之前任湖北巡撫李封等照例降調一疏奉

諭旨此案李封著於現任內降一級從寬留任至王希曾於承審盜犯楊時等夥搶婦女圖財姦詐一案並不迅速訊明定擬乃任意延宕以致獲犯一年後始行辦結可見湖北省吏治廢弛

已非一日除前任總督特成額及藩臬永慶王廷燮等業經另案分別懲治外所有此案承審遲延之護漢陽府事蘄州知州王希曾著照部議降一級調用餘依議又兵部奏甘肅永昌營都司員缺擬以豫保陝西延安營守備王國棟陞一疏奉

諭旨王國棟依擬用餘依議

是日

起居注官鐵保陳崇本圖敏陳嗣龍

二十日癸未內閣奉

諭旨李侍堯奏審擬海洋盜犯一摺將為首之陳讀等七犯正法梟示其餘各犯因係聽從糾約入夥照例定擬杖流等語向來海洋盜犯原係不分首從槩行正法嗣因各犯內有止係接遞

財物並未搜贓或止行劫一次者較為首情有可原令得於摺內聲請免死發遣原指尋常無事時愚民一時被誘入夥尚未行劫得財與首先起意糾黨逞兇者稍為有間是以少從末減此乃法外施仁之意現在臺灣逆匪滋事官兵正在剿捕之時不法奸民輒敢乘此時在洋面糾夥肆行劫掠甚至傷害官兵搶奪兵糧軍器

此非尋常海洋行劫盜犯可比幸而已經拿獲者按律辦理設各犯聞拿緊急或竟投入逆匪夥黨肆兇助惡亦屬事之所有不可不嚴加懲創以戢兇暴而靖海疆所有已獲各犯自應不分首從槩行按律正法不得仍照尋常海洋盜犯之例分別定擬著刑部及沿海省分督撫於核擬審辦洋面行劫盜案時如臺灣剿捕事務

尚未完竣即將案犯無論首從俱應按律正法俟臺灣剿捕事竣後再照舊例分別聲請所有李侍堯審擬海洋盜犯陳讀等一案即著三法司遵照此旨核擬速奏摺併發是日廣西巡撫孫永清奏靈川縣知縣胡焜審理自縊命案稽延多日致差役乘空疊詐斃命一摺奉

諭旨這所參靈川縣知縣胡焜著革職所有案內

應訊人犯著該撫嚴審定擬具奏該部知道摺併發又山東巡撫長齡奏前任臨朐縣知縣今已勒休南國棟將竊賊拒捕毆傷事主身死之案不照例詳辦請革職嚴審一摺奉

諭旨這所參勒休之臨朐縣知縣南國棟著革職交該撫提同案内犯証嚴審定擬具奏該部知道摺併發是日吏部議三通館承辦食貨畧學

校考訛錯之纂修周瓊等照例罰俸一疏奉

諭旨周瓊著罰俸一年吳錫麒著銷去紀錄二次仍罰俸三個月又議督率官兵援應嘉義剿殺

賊匪之臺灣鎮總兵普吉保遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨普吉保著軍功加一級是日廂藍旗滿洲都統奏補印務章京員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨鶴凌著補授印務章京又廂藍旗蒙古都統奏補成都佐領員缺帶領保送人員引

見奉

諭旨色布青額著補授成都佐領

是日

起居注官玉保平恕

二十一日甲申

上幸瀛臺閱水技是日內閣奉

諭旨據紀昀奏罰往熱河看書人員內朱鈴呂

雲棟陳木石鴻翥四員至今將滿一月尚俱未

到等語此等校書各員前已濫邀優叙今復查

出錯悞免其降革僅罰令前赴熱河看書已屬

格外之恩該員等自應倍加感奮迅速前往實

力校勩圖稍贖前愆乃延遲至一月之久尚未到彼伊等於此等校書之事尚如此遷延設派令前赴軍營亦將托故不往耶所有朱鈐等四員著該部將該員等因何延遲之處據實嚴查分別從重議處如係無故逗遛即應革職以為怠玩悞公者戒摺併發是日禮部議湖南巡撫浦霖奏龍陽縣民萬銘現年一百一歲准

照例給銀建坊一疏奉

諭旨依議萬銘著加恩賞給上用緞一疋銀十兩又兵部奏浙江黃巖鎮標左營守備員缺擬以預保千總徐宗耀掣補一疏奉

諭旨徐宗耀依擬用餘依議

是日

起居注官鐵保茅元銘

二十二日乙酉內閣奉

諭旨據保寧奏潼川府知府張松孫因病懇請回籍調理所遺員缺請以龍安府知府賈廷彥調補一摺已批交該部議奏矣向來道府告病人員自雍正年間改定條例惟准督撫題請解任調理至應否回籍由內閣票擬雙簽請旨其中有准回籍者亦有不准回籍者所以防規避而

杜瞻狗立法至為詳善朕臨御以來俱係遵循辦理然亦多有令其回籍者今該督於具題時即行奏請回籍則內閣又何必雙簽請旨耶著通飭各督撫嗣後遇有道府以上告病人員祇應循照向例題請解任調理其准令其回籍與否聽候部議請旨毋庸遽請回籍以符定制保寧著飭行是日巡視北城給事中興安劉紹錦

奏據吏目金城稟稱胡王氏喊稟伊繼子胡成在通州拐帶孟氏之女來家氏不容留胡成棒碎瓦盆傷氏額顛等情隨差役鎖押胡成詎胡成帶鎖潛逃所有應証人等供詞送刑部審訊外請將簽差不慎之吏目金城交部議處一摺奉

諭旨著交部所有胡成一犯著步軍統領衙門順

天府嚴拏務獲歸案審辦又奉

諭旨據海祿參奏奎林各款現在查訊已有証據數款業經降旨革職拿解來京審訊伊犁地方緊要其將軍員缺著保寧補授李世傑久任川省熟悉該處地方情形所有四川總督員缺著李世傑調補李世傑接奉此旨即馳赴新任毋庸來京陛見保寧俟李世傑到川接印後即馳

駟來京請訓再赴伊犁將軍之任兩江總督員缺著書麟補授陳用敷現在已屆服滿所有安徽巡撫員缺著陳用敷補授是日吏部議兩江總督李世傑奏直隸海州知州員缺請以吳縣知縣李逢春陞署查該員任內有承緝克犯不力等案與例不符應毋庸議一疏奉

諭旨李逢春著照該督等所請准其陞署海州直

隸州知州又議辦理本年全漕起卸完竣及早

回空甚屬妥速之倉場侍郎蘇凌阿等遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨蘇凌阿著將加一級抵前降一級劉秉恬著加一級餘依議又戶部奏山西省督催五十年分地丁正雜錢糧照數全完之山西布政使鄭源璣等照例加級一疏奉

諭旨鄭源濤著加職一級餘依議是日吏部帶領

原任湖廣總督特成額等奏請陞署湖南靖

州直隸州知州之現任寧鄉縣知縣陳疇引

見奉

諭旨陳疇著照該督等所請准其陞署靖州直隸

州知州又帶領雲貴總督富綱保舉堪勝道員

之現任雲南昭通府知府孫思庭引

見奉

諭旨孫思庭著回任又帶領丁憂服闋之原任河

南考城縣知縣張瀛引

見奉

諭旨張瀛著仍發往河南以知縣用又兵部帶領

保列一等之雲南永昌協副將孝順阿引

見奉

諭旨孝順阿准其一等註冊又帶領坐補陝西鞏

昌營遊擊張廷勳引

見奉

諭旨張廷勳准其坐補陝西鞏昌營遊擊著赴新

任又帶領題補甘肅西寧鎮標左營遊擊趙國

斌陝西文縣營都司樊瑛甘肅新城營都司

張洪得江南平望營都司馬天麟引

見奉

諭旨趙國斌准其補授甘肅西寧鎮標左營遊擊

樊瑛准其補授陝西文縣營都司張洪得准其

補授甘肅新城營都司馬天麟准其補授江南

平望營都司俱著赴新任又帶領邊俸俸滿之

廣西右江鎮標中軍守備徐朝綱引

見奉

諭旨徐朝綱著回任候陞又正黃旗護軍營奏補

副護軍叅領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨韋馱保著補授副護軍叅領又正紅旗護軍

營奏補副護軍叅領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨六十八著補授副護軍叅領伊勒圖著補授

委副護軍叅領又廂紅旗護軍營奏補護軍叅

領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨文治著補授護軍叅領

是日

起居注官嵩貴方燁

二十三日丙戌內閣奉

諭旨前於明興錯行銀米兼放一事降旨申飭後

旋據該撫覆奏於初賑二賑銀米兼放三賑全

放折色之處曲為迴護又未將初賑時業經散

放銀米錯悞緣由據實陳奏復經降旨申飭並

將明興交部議處矣今據梁肯堂奏查明宣化

府屬災賑一摺內稱秋間商販流通糧價不昂

可以量用折色而大賑口糧照例銀米兼放倉

貯足敷支用等語是各省辦理災賑其初賑時

民間甫經秋收尚有糧食可以糴買自可放給

折色至二賑三賑為時較久民間米糧短缺自

應銀米兼放方足以資接濟此係事理之顯而

易見者梁肯堂身為藩司尚能妥協籌辦明興

曾任巡撫有年豈於此等地方緊要事務反不

能見及此耶乃明興辦理此項既經錯悞於前

及接奉申飭諭旨後又不將初賑時業經錄米
兼放難以收回之處據實陳奏尚敢於朕前巧
詞迴護文過飾非既屬糊塗又復執謬可見前
此降旨將該撫交部議處實為罪所應得明興
著傳旨申飭所有明興梁肯堂摺俱著發抄通
諭各督撫府尹知之又奉

諭旨據舒常奏湖南派往閩省進剿官兵例帶壯

健餘丁內提標及常德澧州洞庭等營協召募
餘丁俱有短少節經查催始據提標及常德營
補送惟澧州營洞庭協尚未具報起程均屬遲
玩請將營員交部分別議處等語此次湖南派
往閩省出征官兵該督等料理起程出境尚為
迅速至隨帶餘丁召募短少俱因兵行甚急三
兩日之內一時未能募足尚屬有因現在該督

等飭令已到餘丁加緊趕往其未到餘丁催令
趕緊補送前進所有辦理遲延之署提標中軍
叅將左營遊擊恩特赫默常德營遊擊董天培
澧州營叅將金殿安洞庭協副將陳士龍俱著
加恩免其交部議處提督俞金鰲亦免其察議
該部知道摺併發又奉

諭旨據蘭第錫等奏豫省下南河同知衙署向來

建設開封省城距本管黑堽地方三十餘里防
汛未便請移駐黑堽等語河工設立各廳分段
修防其衙署自應建於要工處所以便親身督
辦朝夕巡查現在下南河所轄黑堽地方埽工
最為緊要該同知以專管之員遠駐開封每遇
汛期難於往來照應自當因時酌移以資近便
所有下南河廳衙署著照所請移建黑堽工次

俾得就近稽查防守其一切移建事宜並著照

該督等所請行該部知道摺併發是日吏部議

兩江總督李世傑奏高郵州知州員缺准以

江寧縣知縣候補同知吳瑛陞補一疏奉

諭旨吳瑛依議用餘依議又議李世傑奏原任江

蘇降調通判許兆陞縣丞侯封晉留工差委

俱屬出力可否准其捐復原官一疏奉

諭旨許兆陞等准其捐復餘依議又議辦理運閩

米石調赴兵丁甚屬妥速之各該督撫遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨保寧浦霖何裕城琅玕孫士毅俱著加一級

舒常李世傑李侍堯閔鶚元姜晟徐嗣曾孫永

清俱將加一級抵前降一級李慶茶圖薩布俱

著加一級註冊餘依議又兵部議河東河道總

督蘭第錫奏署河東河標左營叅將王洙歷

俸期滿准實授一疏奉

諭旨王洙依議用餘依議

是日

起居注官吳璣圖敏

二十四日丁亥內閣奉

諭旨據正黃旗滿洲都統奏著落原任試用通判

費揚武名下賠補銀五百餘兩請由伊子薩靈

阿馬甲錢糧內坐扣完繳等語費揚武著賠銀

兩非侵肥入己之項因多辦驛馬以備差委不

入開銷之項今已身故所奏伊子馬甲錢糧坐

扣完繳著加恩寬免又戶部奏廣西省督催五

十一年分地丁正雜錢糧照數全完之原任

布政使奇豐額等照例紀錄一疏奉

諭旨奇豐額著紀錄一次餘依議

是日

起居注官陳萬青塘五珠

二十五日戊子

上詣

壽康宮

英華殿拈香

詣永安寺拈香

閱冰技是日兵部議失察防守尉將例應存貯銀

兩私自領出及因隨圍並未整齊圍場以致

有虎逸去各員分別罰俸一疏奉

諭旨崇尚著罰護軍統領俸一年和雙額著銷去

紀錄一次免其罰俸餘依議

是日

起居注官王保曹城

二十六日己丑內閣奉

諭旨據保泰奏今年屯田糧石盈收請將官員議

叙兵丁給賞等語著照所奏將盈收糧石之蒙

古官員兵丁並錄旗兵丁分別賞給銀兩緞疋

茶葉外其收二十成之外委把總許尚志王進

忠著即補用把總收二十餘成之外委把總馬

進德著補用正外委把總其管理屯田事務遊

擊班達爾什把總于煥光正外委把總李承祿

著交部議叙其蒙古叅領格爾品既在屯田奮

勉亦照保泰所請賞給藍翎頂帶以示鼓勵又

奉

諭旨據保泰奏孛獲盜馬賊犯審訊明白請將首

犯薩水坦立絞從犯王占擬絞入於明年秋審

緩決案內等語所奏謬甚喀爾喀等久經內屬固與內扎薩克一體但王古係盜扎克沁之馬不可仍照喀爾喀等互相盜馬之例辦理如有偷盜土爾扈特等部落馬匹牲畜或至俄羅斯界內盜馬亦豈可拘泥內扎薩克之例辦理耶王占雖係從行賊犯不至立絞亦當擬絞入於明年秋審情實案內著飭保泰遵行其該旗署

理盟長事務之副盟長索諾穆多爾濟遇有此事即上緊拏獲正犯尚屬奮勉著加恩由該處存貯緞疋內賞給大緞一疋以示鼓勵是日倉場侍郎蘇凌阿劉秉恬奏京通倉廩應大修者一百三十五座請

欽派熟諳工程大臣帶領工部司員勘估一摺奉諭旨著派金簡前往各倉查勘核實估計具奏是

日正紅旗滿洲都統奏補佐領各缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨瑪章阿之世管佐領著中文承管七十五著補授公中佐領

是日

起居注官鐵保吳璫

二十七日庚寅

上幸瀛臺閱水技是日吏部奏

盛京刑部員外郎員缺將以員外郎用之興安擬補

盛京刑部主事員缺將詹事府筆帖式喜敬擬

補刑部漢堂主事員缺將禮部司務全柱擬

補一疏奉

諭旨與安等依擬用又議山東巡撫長麟奏署金

鄉縣知縣章典試俸期滿准實授一疏奉

諭旨章典依議用餘依議又議湖廣總督舒常奏

湖北潛江縣知縣員缺請以松滋縣知縣鄭

命三調補查該員任內有戴罪徵收一案與

例不符應毋庸議應將遺漏聲叙之該督並

列名具題之湖北巡撫姜晟等照例罰俸一

疏奉

諭旨姜晟著罰俸三個月舒常著銷去尋常紀錄

一次免其罰俸餘依議又兵部議督率官兵探

察賊情乘虛進剿殺獲多人之廣東左翼鎮

總兵李化龍遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨李化龍著軍功加一級

是日

起居注官陸伯焜圖敏

二十八日辛卯吏部帶領兩廣總督孫士毅

奏請陞補廣東瓊州府同知之現任惠州府

通判沈之浦引

見奉

諭旨沈之浦著照該督等所請准其陞補瓊州府

同知所遺惠州府通判員缺准其將委用通判

莊文和署理又帶領大計卓異之四川夔州府

通判福昌阿引

見奉

諭旨福昌阿准其卓異加一級仍註冊回任候陞

又帶領失察西洋人過境議以降調之山東

禹城縣知縣趙大淮引



見奉

諭旨趙大澁著仍發往山東

以知縣用其降級之

案帶於新任

是日

起居注官嵩貴陳崇本

二十九日壬辰

上詣永安寺拈香

閱水技是日內閣奉

諭旨據孫士毅奏接據碣石鎮總兵唐述先呈報

本年十一月初四日有閩省兵船一隻被風飄

泊來粵訊係福建水師提標征兵赴臺灣剿匪

於十月二十五日在洋遭風兵丁黃國生一名

落水身死翁知禮鄭連生二名被舵打傷其軍

裝器械俱無損失業經委員護送赴閩等語兵

丁赴臺灣剿匪在洋遭風落水身死併被舵打傷殊堪憫惻所有淹斃兵丁黃國生一名著照陣亡例議卹其被舵打傷之翁知禮鄭連生二名亦著照例給賞該部知道摺併發又奉

諭旨孫士毅等奏據洋商潘文嚴等呈稱現在臺灣剿捕逆匪粵省招募新兵巡防海口商船往來藉此兵威得免驚擾該商等情願捐銀三十

萬兩以充軍需又據鹽商李念德等呈稱粵省運鹽多經洋面今添兵巡防鹽務益增嚴密願備餉銀二十萬兩用展蟻忱各等語該洋商鹽商等請捐餉銀係因添兵巡防海口與伊等生計有益起見自應俯准所請以遂其報効之誠但各商等於地方公務踴躍捐輸尚屬急公並著該督等查明咨送吏部照例議叙以示獎勵

摺併發是日步軍統領衙門奏內務府正黃旗

包衣葦戶吳思寬吳思貴劉士鐸等節次呈

控民人劉士錄冒入旗檔充當莊頭謀買旗

地原審各衙門辦理錯悞請交總管內務府

大臣會同刑部研審確情一摺奉

諭旨交總管內務府大臣會同刑部嚴審定擬具

奏是日吏部議直隸總督劉峩奏山海關通判

員缺准以候補通判恒齡補授一疏奉

諭旨恒齡依議用餘依議又議湖南巡撫浦霖奏

署湘陰縣知縣李昺試俸期滿請以實授查

該員任內有承緝不力一案與例不符應毋庸

議應將違例題請實授之該撫等照例罰

俸一疏奉

諭旨浦霖著罰俸九個月舒常著銷去軍功紀錄

一次仍給還尋常紀錄一次餘依議又兵部議

署陝甘總督勒保奏陝西臨洮營都司員缺

准以甘肅涼州鎮標右營守備陳士典補授

一疏奉

諭旨陳士典依議用餘依議又議雲貴總督富綱

奏雲貴督標右營遊擊員缺准以楚雄協都

司百福補授一疏奉

諭旨百福依議用餘依議又議演放砲位不能合

式應將該管鑲黃正白二旗漢軍大臣等照

例降級一疏奉

諭旨福祿阿克東阿喀寧阿俱著降一級留任德

保著銷去加一級張翰傑著銷去紀錄四次台

費英阿著銷去尋常加一級免其降級餘依議

是日

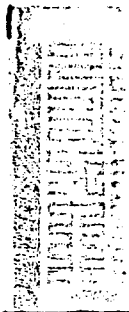


起居注官葉觀國玉保

三十日癸巳

是日

起居注官王懿修瑋五珠



乾隆五十二年歲次丁未十二月初一日甲

午

上詣

大高玄殿 闡福寺拈香

閱冰技是日吏部議本年辦理武會試題本未將

上次

派出阿哥監射之處夾片聲明應將承辦遺漏之

兵部堂司各員照例罰俸一疏奉

諭旨海寧汪承霈俱著罰俸六個月伊齡阿著銷

去紀錄一次免其罰俸彭元瑞吳玉綸俱著銷

去紀錄一次其從前罰俸之處仍各註於紀錄

抵銷餘依議又兵部議署陝甘總督勒保奏甘

肅烏嚕木齊提標右營都司員缺准以陝西

起台堡守備馬得林陞補一疏奉

諭旨馬得林依議用餘依議又議辦理保送補放

官員錯誤之廣州將軍存泰等照例降級一

疏奉

諭旨存泰博清額俱各銷去加一級免其降級餘

依議

是日

起居注官陸伯焜圖敏

初二日乙未內閣奉

諭旨據吏部奏降調祭酒韋謙恒係由議叙陞授

之員若以五品京堂降補未免尚優請降等以

正六品中允等官補用一摺已依議行矣此等

辦書人員從前倖邀優叙今查出錯誤分別降

調自屬咎所應得但職分較大者降調後尚得

降補而職分較小之翰詹等官

官行經降調無官

可補遂至廢棄終身未足以昭平允所有此案
辦書錯誤降調之翰林等官內王燕緒准其捐
復員外郎吳裕德許垠彭元琬准其捐復中書
仍准辦書處行走俾得及時自効以示棄瑕甄
錄至意又奉

諭旨本日召見彭元瑞據奏近來科場有傳卷聯
號及彼此換卷謄錄對讀私改文字等弊鄉會

兩試關係掄才大典理應肅清弊竇遴拔真才
經朕屢頒諭旨加意整飭近年以來雖風聞科
場諸弊未能盡絕而作奸犯科者尚未見有敗
露之案但自明歲戊申以後鄉會兩試正科恩
科連年疊舉若科場條例日久玩生致有不肖
之徒散法舞弊夤緣鑽刺僥倖弋獲使白腹者
濫竊科名而懷才者無由登進殊非朕旁求俊

又鑑拔真才之意不可不嚴申例禁預絕弊源
著大學士九卿將彭元瑞所奏各弊及此外尚
有何項弊竇應如何杜漸防微設法釐剔之處
悉心妥議具奏務使功令森嚴弊端禁絕以副
朕核實取才之至意是日管理太常寺事務禮
部尚書德保奏等獲私越

天壇圍墻民人王義請交部嚴審一摺奉

諭旨交刑部嚴審具奏又刑部等衙門議兩廣總
督孫士毅奏等獲隣省劫殺兵船屢次行劫
盜犯王馬成等二十七犯王馬成等四犯擬
以凌遲處死陳右等二十犯擬斬立決俱恭
請

王命正法其郭韋一犯係受雇充當水手陳螺紀
優年僅十五因被王馬成等誘帶在船並未

隨同行劫分贓擬以杖流等語查郭韋等雖未行劫但王馬成等屢次行劫俱係郭韋隨行駕駛陳螺紀優聽劫多時均屬不法應照新例擬斬立決一摺奉

諭旨此案郭韋陳螺紀優俱未隨同行劫分贓刑部遵照新例擬斬決但所犯情罪係在此次降旨以前未結之案郭韋陳螺紀優仍著從寬

改為應斬監候秋後處決俟滿三年再行照例分別發遣完結嗣後海洋盜案其犯事在此次降旨以前者俱著照此辦理如犯事在此次降旨以後者自當照新例定擬又吏部帶領交代適違二參照例革職之浙江署麗水縣知縣侯秉鈞引

見奉

諭旨侯秉鈞著仍發往浙江以知縣用其革職之

案帶於新任

是日

起居注官葉觀國白麟

初三日丙申

上幸瀛臺閱冰技是日內閣奉

諭旨戶部議駁徵瑞奏請將淮南引鹽戊申綱額

課分作十年帶完並將丁未綱奏銷展至次年五月造報一摺所駁甚是兩淮引鹽課項例應按年奏報以清年款從前全德在兩淮鹽政任內曾請將乙巳綱奏銷展限半年原因湖廣江西等省偶被徧灾引鹽行銷不無壅滯其事尚屬有因是以加恩允准且所請展限不過半年不久仍可復歸原限至近年以來兩淮及附近

行銷引鹽之湖廣江西等省兩澤調勻收成豐稔並非災歉滯銷者可比徵瑞何得藉口歷年有未銷積引復請提引展限至十年之久徵瑞前在長蘆鹽政任內辦事尚屬細緻認真是以將伊調任兩淮乃徵瑞自到任後辦理諸務漸不如前春間於查辦硝磺一案並不親身速往一味養尊處優意存自滿今於奏請提引展限

一事又復有意沽名為取悅商人之舉豈可復勝兩淮繁劇之任現據李奉翰奏淮關監督福海業經病故所有淮關監督即著徵瑞調補其兩淮鹽政仍著全德去全德著即速來京至徵瑞所奏歷年有未銷積引其應如何籌酌調劑之處俟全德到京請訓時再行交令到任妥辦

又奉

諭旨據蘭第錫等奏回空漕船俱於十一月中旬陸續催過濟寧南下其在後之台州等九幫在陽穀東阿等處地方因連日北風時作冰堅凍阻不能前進請俟明年正月開壩時儘數催行一面飛咨浙江撫臣各備撥船趕兌漕糧沿途迎受仍可無誤新漕等語浙省台州九幫回空漕船既經凍阻不能如期償赴水次受兌新漕

若令將明歲應兌漕糧由浙省用撥船趕兌迎赴沿途裝載挽運仍不免往返之勞前此因臺灣逆匪滋事閩省米糧短缺曾諭令江浙湖廣江西四川等省撥運米石百餘萬現今源源運到該省糧食已為充裕此時大功將次告竣固無需再行接濟軍糈但交春後即屆青黃不接之時自不妨寬為籌備所

浙省台州九幫明

一年應兌漕糧竟無庸撥船運送來京著琅玕將此項新漕於征收齊全後即由海道運往閩省交李侍堯徐嗣曾收貯遇應行平糶時即可動用即日臺灣逆匪蕩平該處產米自可照舊運入內地復得此項漕糧接濟閩省儲積充盈軍民口食所需倍當寬裕更為一舉兩得該部遵諭速行是日步軍統領衙門奏據直隸延慶州

知州紀聞歌申稱該庫短少制錢係庫書孫承業等盜用該書吏聞風潛逃請查拏等因當經拏獲據孫承業供稱係本官幕友家人虧欠並非盜用等語請派大臣前往該州查審一摺奉

諭旨此案著派海寧前往查辦是日禮部奏乾隆五十三年正月初一日元旦令節照例行慶

賀禮一疏奉

諭旨照例行禮停止筵宴餘依議

是日

起居注官王懿修瑋五珠

初四日丁酉內閣奉

諭旨佛保著加恩賞給主事職銜補放熱河總管協同董椿辦事是日太常寺奏十二月二十五

日

孝莊文皇后忌辰致祭

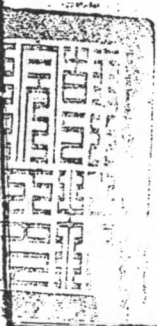
昭西陵一疏奉

諭旨遣亮煥行禮又奏十二月二十九日歲暮致

祭

昭西陵一疏奉

諭旨遣慶怡行禮又奏致祭



孝陵一疏奉

諭旨遣寧盛額行禮又奏致祭

孝東陵一疏奉

諭旨遣永奎行禮又奏致祭

景陵一疏奉

諭旨遣弘謙行禮又奏致祭

泰陵一疏奉

諭旨遣弘閏行禮又奏致祭

泰東陵一疏奉

諭旨遣積拉堪行禮又奏致祭

孝賢皇后陵寢一疏奉

諭旨遣弘融行禮又奏致祭

端慧皇太子園寢一疏奉

諭旨遣德三行禮又吏部帶領十一月分月官籤



掣工部虞衡司員外郎夏璇源中書科中書

葉恩綸河南彰德府知府李舟長蘆運同吉

天申福建永春州同趙鼎新安徽銅陵縣

知縣駱寬直隸肥鄉縣知縣孔昭烜山東萊

蕪縣知縣朱煥江蘇泰興縣知縣莫廷魁浙

江武義縣知縣曹庠業山東淄川縣知縣王

世騰廣西靈川縣知縣徐沅山東莘縣知縣

薛宸翰陝西高陵縣知縣湯特詔貴州鎮遠

縣知縣毛振翹湖北通山縣知縣申成章浙

江武根縣知縣李根玉湖北崇陽縣知縣夏

瑚福建寧化縣知縣胡其章引

見奉

諭旨夏璇源等依擬用掣得福建寧化縣知縣之

胡其章著調補貴州鎮遠縣知縣



知縣員缺著掣得鎮遠縣知縣之毛振翹補授

餘依議又帶領二月分月官籤陞順天府治中

李基四月分籤陞吏部稽勳司員外郎狄咏

宜十月分籤補國子監監丞汪樹鏞四月分

籤陞山西岢嵐州知州孫天寧二月分籤陞

山東東阿縣知縣郝珏補行引

見奉

諭旨李基等依擬用餘依議又正黃旗滿洲都統

奏補吉林佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨章庫之世管佐領著塞布清額承管又鑲白

旗漢軍都統奏補公中佐領員缺帶領正陪

人員引

見奉

諭旨王建寅著補授公中佐領

是日

起居注官平恕德昌

初五日戊戌

上詣永安寺拈香是日內閣奉

諭旨廣西右江道員缺著宋文型補授又奉

諭旨據海祿奏拏獲緩絞改發遣犯由原遣處逃

往伊犁之何元超請發往喀什噶爾如不守法

即行正法其効力追拏之遣犯王承笏晉奉錫

二名請將王承笏一名撥入伊犁民籍等語何

元超本應照例發往黑龍江等處但路途遙遠

恐解送又復脫逃著照海祿所請將何元超發

往喀什噶爾賞給回人為奴遣犯王承笏既好

獲何元超尚屬奮勉著撥入伊犁民籍以示鼓勵

勵是日兵部議直隸總督劉我奏靜海營都司

員缺准以滴水崖都司策楞調補一疏奉

諭旨策楞依議調補餘依議又刑部等衙門議廣

東巡撫圖薩布奏陽江縣民馮學志刀傷劉

尚富身死依律擬絞監候查劉尚富係在保

辜限外身死可否援例減等一疏奉

諭旨馮學志刀傷劉尚富至保辜限外身死著從

寬免死照例減等發落餘依議

是日

起居注官嵩貴陳崇本

初六日己亥內閣奉

諭旨舊制坤寧宮每日祀

神祭肉理應潔淨熟煖給散秩大臣侍衛等分食乃

近來該首領太監等每將整塊好肉私行偷用

以冷肉及瘦瘠殘剩皮骨分給充數以致散秩

大臣侍衛等進內食肉者漸少滿洲舊制祭祀

敬

神祭肉晚間背燈者例交膳房散給各處其早間所

供者例不准出殿門原不留

神惠之意乃風俗不古散秩大臣侍衛等或竟不以

此為榮反以為辱固屬非是但太監等私藏好

肉以平常之肉給食尤不可不嚴行查禁嗣後

祀

神祭肉著派總管太監劉成等管每日喫肉之時仍

著派御前侍衛一員乾清門侍衛二員同喫肉

之散秩大臣侍衛等進宮一體分食並遍加查

看如有仍前弊端即據實具奏務將總管太監

全行治罪外其派出專管之

總管太監劉成

倍治罪如劉成遇有疾病等事即著該總管太監等奏請另派仍著內務府大臣等於宮庭內外隨時稽查倘有私行偷出售賣者即行嚴拏究辦再膳房辦給大臣阿哥師傅侍衛等項官飯近來亦多偷減平常有名無實並著該管大臣一體查察毋得仍前草率偷減倘經查出一併從重治罪又奉

諭旨貴州貴陽府知府員缺緊要著該督撫於通省知府內揀選一員調補所遺員缺著蔡宗建補授是日兵部奏本年考察八旗武職軍政照例分別革職休致降調其休致之印務章京馬肇功等可否帶領引

見恭候

欽定一疏奉

諭旨這考選軍政官員罷軟者著革職年老有疾者著休致才力不及者著降二級調用馬肇功等著帶領引見餘依議

是日

起居注官王保吳璣

初七日庚子內閣奉

諭旨劉莪奏延慶州知州紀聞歌所管庫內有

彌補前任已故知州張莖華任內虧缺項下制錢一千零二十一吊六百餘文被庫書孫承業周鳳翥盜用無存該員漫無覺察請將紀聞歌革職嚴審等語此案前據步軍統領衙門拏獲該庫書等審出有幕友家入通同挪用情弊已派侍郎海寧前往審辦矣劉莪於所屬知州失察庫書等盜用庫項錢文

臣等謹將查參各聞

知欽派大臣前往查辦始行補祭所奏已遲紀
聞歌著革職交海寧提回案內人証併嚴審
定擬具奏外劉莪著傳旨申飭是日太常寺奏
十二月二十九日歲暮禋祭

太廟一疏奉

諭旨朕親詣行禮東廡遣善保西廡遣善明各分
獻又奏同日禘祭

太廟

後殿

中殿一疏奉

諭旨

後殿遣永璿行禮

中殿遣綿循行禮又奏同日祭

太歲壇一疏奉

諭旨遣裕豐行禮兩廡遣孟邵陳桂森各分獻又

兵部議兩廣總督孫士毅奏廣東廣海寨遊

擊員缺准以春江協都司劉振唐補授一疏

奉

諭旨劉振唐依議用餘依議又都察院奏請

欽點稽察一年旗務照例將科道職名開列一疏

奉

諭旨著王麟勒爾遜評德薩爾濟專司稽察一年

旗務

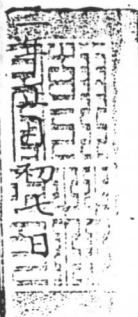
是日

起居注官鐵保茅元銘

初八日辛丑

上詣萬壽殿拈香幸瀛臺

閱冰技是日太常寺奏五十



世祖章皇帝忌辰致祭

孝陵一疏奉

諭旨遣裕豐行禮又奏正月二十三日

孝聖憲皇后忌辰致祭

泰東陵一疏奉

諭旨遣永璦行禮又奏二月十一日

孝康章皇后忌辰致祭

孝陵一疏奉

諭旨遣永璩行禮又吏部議江西巡撫何裕城奏

署安義縣知縣鞠偉試俸期滿准實授一疏

奉

諭旨鞠偉依議用餘依議

是日

起居注官圖敏陳嗣龍

初九日壬寅內閣奉

諭旨嗣後滿漢科道應陞缺出該部開列具題及

帶領引見時著將各科道有無條奏其所奏事

件部議或准或駁並奉特旨允准或當經駁飭

之處均於各科道名下及綵頭簽上註明以便

較其優劣著為令是日太常寺奏五十三年正

月初一日元旦致祭

太廟後殿一疏奉

諭旨遣永琅行禮又奏正月初五日孟春時享

太廟一疏奉

諭旨遣永瑋恭代

後殿遣亮煥行禮東廡遣積拉堪西廡遣高齡各分

獻又奏同日祭

太歲壇一疏奉

諭旨遣永皓行禮兩廡遣扎勒翰多永武各分獻
又奏正月初八日上辛祭
祈穀壇一疏奉

諭旨朕親詣行禮又吏部議於所屬應擬徒罪人
犯患病取保脫逃之安徽鳳陽縣知縣謝承
遠照例降調一疏奉

諭旨依議其因擬徒人犯取保脫逃議以降調之

謝承遠着該督撫出具考語送部引見再降諭
旨又禮部議八旗都統冊送鑲黃旗滿洲護軍
校噯雅之妻于祐祿氏烏鎗護軍七十八之
妻李佳氏馬甲黑達色之妻薛佳氏弓匠永
德之妻烏爾蘇氏護軍那林岱之妻章錦氏
前鋒存德之妻陸氏護軍薩靈阿之妻翁烏
氏護軍富里慎之妻張氏原任佐領莽泰之

繼妻胡氏十五善射泰山保之妻雷佳氏原
任佐領富敏之妻瓜爾佳氏馬甲永寧之妻
王氏親軍達祥之妻卓佳氏護軍花沙布之
妻王氏烏鎗藍翎長德昇額之繼妻金佳氏
又鑲黃旗蒙古都統冊送前鋒七星保之妻
李氏前鋒明德之妻厄爾圖忒氏馬甲田保
之妻夏氏前鋒武章阿之妻瓜爾佳氏馬甲

觀音保之妻雷佳氏又鑲黃旗漢軍都統冊
送馬甲朱家泰之妻王氏步甲闔立明之妻
王氏步甲趙智之妻牛氏馬甲鄒雲成之妻
張氏又正黃旗滿洲都統冊送馬甲永安泰
之妻金氏護軍海亮之妻何奢里氏護軍普
薩保之妻富氏護軍布倫之妻白雅爾氏護
軍常德之妻苑氏護軍布海之妻扎木圖氏

護軍站住之妻白氏護軍吳福之妻伯索施
 穆魯氏護軍蘇蘭泰之妻趙氏烏鎗護軍興
 泰之妻烏蘇氏前鋒富成之妻伊爾根覺羅
 氏護軍莽伊祿之妻張氏護軍海林之妻馬
 佳氏護軍常齡之妻完顏氏又正黃旗蒙古
 都統冊送護軍鄂齊爾之妻黃氏通使福祿
 之妻陳氏步甲達青阿之妻趙噶托氏前鋒
 海成之妻吳氏又正白旗滿洲都統冊送親
 軍舒明阿之妻安氏領催廣陵之妻趙佳氏
 空銜藍翎玉泰之妻黃氏領催普薩保之妻
 桂徹特氏前鋒穆克登額之妻劉氏馬甲六
 十一之妻周氏護軍愛興阿之妻沙喀氏弓
 匠亮德之妻塔塔拉氏烏鎗護軍禮尚阿之
 妻趙佳氏護軍伊克坦布之妻那拉氏前鋒

達春之妻趙佳氏原任叅領蘇明之繼妻瓜
 爾佳氏烏鎗護軍蘇隆阿之妻瓜爾佳氏馬
 甲富永祿之妻圖墨特氏又正白旗蒙古都
 統冊送前鋒烏金泰之妻白魯特氏馬甲三
 格之妻郭氏馬甲明安圖之妻林氏馬甲七
 十一之妻魏氏又正白旗漢軍都統冊送閑
 散宜秉泰之妻高氏又鑲白旗滿洲都統冊
 送原任通判薩弼之繼妻李佳氏烏鎗護軍
 伊凌阿之妻佟依氏領催霍龍務之妻牛呼
 嚕氏領催那丹珠之妻扎庫塔氏護軍興德
 之妻李氏馬甲德福之妻黃氏原任雲騎尉
 富隆阿之妻那拉氏親軍八十一之繼妻鄂
 羅托氏護軍德寧之妻徐氏領催保之妻趙佳
 氏護軍萬通之妻孟佳氏

之妻董佳氏又鑲白旗蒙古都統冊送護軍
達散之繼妻徐氏又鑲白旗漢軍都統冊送
馬甲胡士旺之妻何氏馬甲楊文坤之妻許
氏又正紅旗滿洲都統冊送閑散聖忠保之
妻楊佳氏閑散明保之妻柳佳氏馬甲寧住
泰之妻李佳氏馬甲什住之妻瓜爾佳氏領
催常明之妻王佳氏筆帖式七克坦布之妻

卓布七特氏前鋒富舒之妻汪氏前鋒窩楞
額之妻吳佳氏前鋒舒和圖之妻那拉氏又
正紅旗蒙古都統冊送馬甲薩寧阿之妻韓
氏護軍七十八之妻塔氏又正紅旗漢軍都
統冊送馬甲朱孝祥之妻崔氏閑散溫琮之
繼妻羅氏生員汪桐之妻闕佳氏又鑲紅旗
滿洲都統冊送馬甲佛保之妻蘇佳氏馬甲

高成明之妻鮑佳氏馬甲百歲之妻劉氏護
軍六十九之繼妻白佳氏馬甲額勒德之妻
伊爾根覺羅氏馬甲四十六之妻牛胡盧氏
護軍全祿之妻富察氏馬甲玉山之妻焦氏
前鋒七車布之妻甯氏原任中書都明之妻
瓜爾佳氏護軍校薩哈璉之妻趙佳氏領催
雅京阿之繼妻金佳氏親軍和林布之繼妻

吳氏又鑲紅旗漢軍都統冊送原任佐領趙
燦緯之妻繆氏馬甲二達子之妻張氏領催
陳宗極之妻李氏馬甲宋宏謨之妻王氏又
正藍旗滿洲都統冊送護軍吳爾散之妻博
尉氏副護軍校和舍之妻羅佳氏烏鎗護軍
成祿之妻佟佳氏前鋒吉爾通阿之妻崔氏
領催雙德之妻巴雅拉氏烏鎗護軍德寧之

妻瓜爾佳氏又正藍旗蒙古都統冊送護軍
 三格之繼妻胡氏護軍五達色之妻高佳氏
 護軍百歲之妻楊氏護軍富森布之妻張氏
 原任勳舊佐領岳木冲之妻黃佳氏護軍占
 德之妻陳氏護軍徹靈端多格之妻閻氏親
 軍阿爾綳阿之妻鄂米特氏護軍五格之妻
 瓜爾佳氏護軍花沙布之妻黃氏前鋒德楞
 額之妻常佳氏又正藍旗漢軍都統冊送領
 催佟育德之妻朱氏馬甲于清之妻張氏馬
 甲曹洪祥之妻王氏又鑲藍旗滿洲都統冊
 送前鋒雙喜之妻霍吉活氏護軍保住之妻
 米佳氏護軍王保住之妻張佳氏馬甲五達
 色之妻傅佳氏馬甲費揚武之妻伊爾根覺
 羅氏護軍常安之妻赫奢里氏領催明格之

妻聶格里氏又鑲藍旗蒙古都統冊送護軍
 八十七之妻吳氏烏鎗翎長那蘇泰之妻劉
 氏又鑲藍旗漢軍都統冊送炮手徐士成之
 妻張氏馬甲王智之妻佟氏馬甲傅英之妻
 沐氏馬甲韓延基之妻金氏炮手王國彥之
 妻李氏又總管內務府冊送披甲得福之妻
 張氏蘇拉三星保之妻于氏披甲金大忠之
 妻常氏護軍馬留任之妻董氏披甲闕保之
 妻張氏又
 盛京將軍冊送步兵潭色之妻張氏閑散紀雲
 龍之妻鄭氏閑散馬士達之妻劉氏披甲張
 秉正之妻趙氏披甲壽保之妻劉氏閑散常
 文學之妻王氏閑散劉養壽之妻袁氏閑散
 王得義之妻袁氏閑散張林之妻劉氏披甲

明通之妻蘇木魯氏閑散偏爾之妻胡氏閑
散常厄力之妻伊爾根覺羅氏閑散五十四
之妻胡佳氏閑散社渾之妻楊佳氏披甲馬
林太之妻賓氏又吉林將軍冊送閑散德音
保之妻巴喇多氏披甲三泰之妻烏扎拉氏
披甲伊齊木保之妻顏佳氏披甲阿明阿之
妻伊爾根覺羅氏閑散托囉之妻汪氏閑散

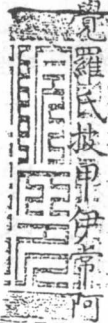
沙喃泰之妻都魯氏閑散赫森泰之妻薩圖
魯氏閑散賚謨色之妻瓜勒嘉氏披甲武爾
哈尼之妻唐氏披甲伊齊木保之妻伊爾根
覺羅氏披甲阿爾達之妻徐氏閑散石宣之
妻聶氏披甲徐進禮之妻張氏披甲周作祥
之妻黃氏閑散額勒德木保之妻伊爾根覺
羅氏披甲伊勒達穆之妻劉氏披甲巴什留

之妻孫佳氏披甲伍三泰之妻阿蘇氏水手
王世英之妻白氏壯丁王瑞之妻孫氏披甲
沙喃泰之妻席氏閑散烏楞特之妻西特瑚
哩氏防禦塔西圖之妻扎斯呼哩氏披甲色
克訥之妻烏色氏閑散明柱之繼妻伊爾根
覺羅氏閑散吉林保之妻托濶囉氏披甲盟
壘之妻郭羅囉氏披甲得舒之妻舒穆魯氏
閑散揚固達之妻趙氏閑散巴喃泰之妻伊
爾根覺羅氏閑散愛綱阿之妻鈕瑚魯氏披
甲賽農阿之妻鈕瑚魯氏披甲敦保之妻庚
克呼氏披甲伍爾袞保之妻庚克埒氏又打
牲烏拉總管冊送牲丁豐連保之妻趙佳氏
珠軒頭目烏勒訥之妻趙佳氏閑散巴延泰
之妻楊佳氏又黑龍江將軍冊送牲丁全保

之妻張氏壯丁二達色之妻李氏披甲瑚寶
之妻莫爾哲勒氏又江寧將軍冊送披甲存
保之妻格濟勒氏披甲雅清阿之妻胡佳氏
閑散德福之妻栢氏披甲鈕嚨阿之妻辰勒
佳氏披甲納星阿之妻波爾濟吉忒氏披甲
伍格之妻趙佳氏披甲啟成額之妻巴雅喇
氏又寧夏將軍冊送披甲六苟兒之妻喬查

氏披甲何山之妻宋佳氏披甲富森布之妻
何佳氏披甲牙佳之妻他他爾氏步甲雙福
之妻瓜爾佳氏又杭州將軍冊送披甲花連
佈之妻富嘉氏披甲扎郎阿之妻許嘉氏又
成都將軍冊送披甲富森泰之妻王氏又西
安將軍冊送披甲伍靈額之繼妻蘇出利氏
步甲富永之妻傅查氏護軍百昌之妻朴氏

護軍阿克敦之妻李氏披甲劉住之妻江氏
披甲富爾占之妻白玉忒氏護軍對奇之妻
王氏披甲素冲阿之妻扭呼嚕氏又烏魯木
齊都統冊送披甲得克京厄之妻吳佳氏又
河南巡撫冊送披甲永恰布之妻孟嘉氏又
熱河副都統冊送驍騎校伊嚨泰之妻舒穆
嚕氏前鋒雅常之妻蘭氏又密雲副都統冊
送領催穆通阿之妻塔塔拉氏披甲明錫之
妻張氏前鋒四達色之妻呂氏披甲安福之
妻堯氏又京口副都統冊送披甲西津佈之
妻王佳氏披甲呼圖哩之妻楊佳氏披甲瑪
齡之妻車墨特氏又山海關副都統冊送披
甲富伸之繼妻伊爾根覺羅氏披甲伊常阿
之妻王佳氏又



泰陵內務府總管冊送拜唐阿赫達子之妻董氏拜
唐阿趕嘴之妻邱氏又保定城守尉冊送閑
散德宗之妻孫氏又太原城守尉冊送領催
常什保之繼妻趙佳氏等共節婦二百四十
一名口俱貞節可嘉准照例

旌表給銀建坊又八旗都統冊送鑲紅旗滿洲
烏鎗護軍富明阿之妻紅氏又鑲紅旗滿洲

都統冊送護軍吉郎阿之妻哈蒲奇氏又
成都將軍冊送披甲巴雅爾之繼妻瓜勒佳
氏步甲愛興阿之妻劉佳氏披甲富產之妻
張佳氏又荊州將軍冊送披甲明顯之妻播
爾基忒氏又廣州將軍冊送披甲特新之妻
伊爾根覺羅氏披甲順林之妻李佳氏披甲
王嘉義之妻劉氏披甲黃悅廣之妻鍾氏披

甲朱兆炳之妻陳氏披甲莫興隆之妻陳氏
又青州副都統冊送披甲賞阿佈之妻韓扎
氏領催賽炳阿之繼妻馬佳氏又

泰陵承辦事務衙門冊送驍騎校官德之妻卓多穆
氏等共節婦十五名口俱年例已符准照例
給匾嘉獎一疏奉

諭旨依議又議各直省疏報節婦貞女孝子

省武清縣民高沛之妻陳氏李守弼之妻李
氏寧河縣民李昇之妻廉氏段德昌之妻賈
氏撫寧縣民茹謹之妻劉氏程用之妻劉氏
樂亭縣民鄒琰之妻張氏任懷寶之妻關氏
新城縣民王家楨之妻李氏唐縣民邵思誠
之妻馬氏博野縣民姚學閔之妻金氏李蕙
之妻胡氏望都縣民尚嬰之妻劉氏雄縣民

王汝瀾之妻宋氏初州貢生張璐之妻江氏

任邱縣生員趙雲漢之妻檀氏天津縣民王

國瑞之妻張氏李文魁之妻張氏許文麟之

妻金氏青縣民胡天梅之妻呼氏蔚州民趙

克誠之妻段氏保安州生員楊登陞之妻王

氏民岳宗華之妻曾氏趙州民李自聞之妻

陳氏高邑縣民平如均之妻張氏易州生員

劉永修之妻繆氏涑水縣民蔡文燾之妻李

氏豐潤縣生員吳啟蒙之妻時氏天津縣民

張環之妻郭氏監生趙國瑛之妻賈氏武生

劉象武之繼妻郭氏寧晉縣監生雷天縱之

妻張氏遷安縣貞女杜氏又江蘇省吳縣民

徐倫滋之妻殷氏昭文縣民鄧銓之妻王氏

單廷金之妻吳氏武生徐士斌之妻陳氏新

陽縣武生徐惟一之繼妻顧氏武進縣民卜

瑞雍之妻朱氏金匱縣監生王思尚之繼妻

華氏宜興縣民吳用和之妻呂氏荆溪縣民

周蓋之妻呂氏丹徒縣民江蘇臺之妻李氏

何杓之妻呂氏王永德之妻張氏溧陽縣生

員潘賢英之妻芮氏安東縣貢生薛瞿兆之

繼妻孫氏民江之涪之妻汪氏寶應縣監生

周景春之妻朱氏太倉州民馮毓鯤之妻胡

氏鎮洋縣民錢鴻聲之妻毛氏嘉定縣生員

衛光溥之妻沈氏民秦恬瀾之繼妻朱氏寶

山縣民馮傳良之妻李氏通州民黃兆鸞之

妻陳氏元和縣監生吳元濟之妻朱氏吳江

縣民顧念椿之妻王氏昭文縣民童永發之

妻江陰縣

民貢永鶴之妻顧氏宜興縣民
蔣氏丹徒縣監生張鉞之妻王氏民陳世謙
之妻童氏鄒文球之妻楊氏安東縣民汪東
衡之妻徐氏清河縣監生孫承烈之妻王氏
貢生孫承洵之妻王氏江都縣民陳輔公之
妾姜氏甘泉縣貢生林文書之妾張氏太倉
州民王之瑞之妻郁氏嘉定縣民朱均之妻

吳氏通州民江自寬之妻吳氏貢生馬有恒
之妾趙氏華亭縣貞女邵氏丹徒縣貞女孫
氏又安徽省桐城縣民汪志道之妻張氏宿
松縣貢生蘇洪綱之妻陳氏歙縣民洪祿星
之妻江氏洪元炯之妻江氏馮明佩之妻凌
氏賀邦仰之妻吳氏楊璐之繼妻程氏休寧
縣監生汪士良之妾何氏太平縣民陳有銓

之妻汪氏貴池縣民邵國隆之妻吳氏東流
縣民朱樂羣之妻金氏當塗縣民湯華之妻
張氏蕪湖縣民胡悅年之妻潘氏監生胡斯
健之妻高氏阜陽縣民杜蘊藏之妻索氏穎
上縣民陶健之妻魏氏桐城縣民馬占燦之
妻張氏歙縣民汪大經之妻黃氏賀芳華之
妻汪氏鄭承滄之妻洪氏休寧縣民金承光
之妻葉氏汪日滋之妻朱氏汪振源之妻程
氏東流縣民金傳臚之妻檀氏蕪湖縣民葉
德倫之妻楊氏胡斯儁之妻王氏合肥縣民
梅義之妻梁氏廣德州民王來寵之妻趙氏
懷寧縣貞女李氏休寧縣貞女吳氏休寧縣
監生孝子汪肇正又江西省寧州民曹光廷
之妻余氏新建縣監生安麒之妻溫氏新建

縣民裴惟猷之妻杜氏

新縣民王國渾之妻涂氏

之妻何氏廬陵縣監生陳天材之妻戴氏廬

陵縣民郭璠之妻張氏永新縣民王開繪之

妻郭氏臨川縣民華鏞之妻陳氏南城縣民

劉孔章之妻程氏樂平縣民朱增理之妻吳

氏安仁縣民李懋義之妻蔡氏安遠縣民劉

恢芳之妻古氏寧都州民魏式儔之妻

南昌縣民張興侃之妻萬氏新昌縣民劉崇

芳之妻胡氏吉水縣民郭其泗之妻蕭氏新

城縣監生吳慶璠之妻鄧氏新城縣民胡倫

恩之妻孔氏南昌縣貞女朱氏吉水縣貞女

羅氏又浙江省仁和縣民張兆奎之妻李氏

錢塘縣民葉靄之繼妻陳氏俞志禮之妻談

氏吳仁標之妻汪氏沈德涵之妻金氏海寧

州民查洪範之妻祝氏新城縣民施永盛之

妻潘氏嘉興縣民徐玉符之妻張氏湯學相

之妻夏氏沈大銓之妻崔氏監生葉向榮之

妻陳氏秀水縣民陳荆若之妻楊氏生員陳

經仁之妻湯氏秀水縣民陳志鵬之妻張氏

朱心一之妻吳氏嘉善縣民卓時泰之妻顧

氏石門縣監生吳廷桂之妻盛氏生員呂世

萊之妻封氏歸安縣民朱鼎元之妻施氏宋

應岳之妻陸氏徐文貴之妻宇文氏姚世雄

之妻陳氏生員沈彬之妻吳氏歸安縣民朱

堉之妻凌氏姚廷獻之妻孫氏陳述曾之妻

沈氏陳森遠之妻孫氏

妻屠氏李信臣之妻吳氏生員高世鈞之妻

陳氏烏程縣民戴士才之妻姚氏
之妻張氏烏程縣民吳瞻祀之妻錢氏
章文耀之妻鍾氏長興縣民朱閻之妻孫氏
金益高之妻沈氏鄞縣民陳正則之妻史氏
楊式理之繼妻周氏周永盛之妻崔氏
周義章之妻楊氏生員林璋之妻戴氏
鄞縣民陳廷樞之妻湯氏生員陳軒之妻
呂氏慈谿縣監生

周仲文之妻素氏山陰縣民謝恭達之妻陳氏
謝炳文之妻趙氏李文源之妻朱氏陳學海之妻徐氏
王元度之妻李氏王元禮之妻胡氏黃丹羽之妻
蔣氏傅如得之妻楊氏陳良瓚之繼妻李氏會稽縣民
沈成名之妻陶氏生員金綺之妻胡氏蕭山縣民
蔡斐然之繼妻何氏陸增之妻單氏徐額俊之妻蔡氏

王修智之妻單氏戴廷鳳之妻來氏諸暨縣民
陳種三之妻徐氏俞學南之妻洪氏餘姚縣民
鄒德幹之妻劉氏周潤之妻朱氏上虞縣民
郭維城之妻阮氏潘青崖之妻何氏姚莪華之妻
羅氏嵊縣民章正詳之妻周氏張三坤之妻
商氏臨海縣民馮莪修之妻許氏寧海縣生員
陳錫齡之妻應氏金華縣生員

夏炳章之妻孔氏西安縣生員吳之莊之妻杜氏
常山縣民徐日蕃之妻周氏桐廬縣生員皇甫泰之妻
王氏瑞安縣民池秉仁之妻李氏平陽縣民鍾靈之妻
謝氏麗水縣生員朱定海之妻余氏嘉善縣民吳震南之妻
姜氏歸安縣民王道岸之妻黃氏山陰縣民章敬全之妻
何氏朱徵先之妻陳氏太平縣生

員趙煥然之妻蔡氏錢

楊氏湯崖千之妻查氏

妻錢氏嘉興縣監生薛巨千之妻子氏秀水

縣生員陳經夏之妻曹氏監生沈學海之繼

妻盛氏秀水縣民姚永增之妻朱氏海鹽縣

民沈載常之妻賈氏平湖縣民吳玉祥之妻

陶氏石門縣民王永增之妻陳氏桐鄉縣民

陸鎮宗之妻沈氏歸安縣貢生張豫和之妻

費氏監生費桂馨之妻姚氏歸安縣民姚士

俊之妻倪氏宋世耀之妻楊氏烏程縣民吳

霜威之妻馮氏鄞縣民張蕙潔之妻余氏鎮

海縣民鄔昌隆之妻王氏山陰縣民施鳴遠

之妻章氏章伯衡之妻陶氏趙天榮之繼妻

沈氏羅宗泰之妻湯氏劉永欽之妻袁氏會

稽縣生員章薇之妻金氏民袁赤南之妻沈

氏周任道之妻張氏蕭山縣民丁兆麟之妻

陸氏王璣之繼妻富氏諸暨縣民姚克振之

妻湯氏楊之鐸之妻俞氏監生郭聖湄之妻

余氏民樓兆麟之妻陳氏餘姚縣民趙翰墀

之妻邵氏上虞縣民朱君宰之妻沈氏嵊縣

民章正論之妻周氏平陽縣民陳應虎之妻

黃氏嘉善縣民吳士元之繼妻許氏歸安縣

民王大義之妻杭氏山陰縣民章美中之妻

馬氏朱茂如之妻胡氏太平縣民趙百朋之

妻葉氏錢唐縣貞女李氏嘉善縣貞女顧氏

山陰縣貞女陳氏永康縣貞女楊氏又福建

省閩縣民梁繡壁之妻余氏侯官縣民林

鏞之妻黃氏古田縣民葉登書之妻林氏葉

大化之妻吳氏南安縣
黃天秩之妻蘇氏惠安縣民王鳳翔之妻黃
氏安溪縣貢生陳士宜之妻王氏龍溪縣民
洪元春之妻鄭氏洪元沛之妻陳氏黃洪渚
之妻池氏海澄縣民鍾洪綸之妻黃氏尤溪
縣監生蔣聿菁之妻胡氏光澤縣民上官瑤
之妻吳氏黃育鎔之妻江氏生員龔梅挺之

妾高氏永定縣民賴世華之妻孔氏晉江縣
民朱正艷之妻賴氏朱萬庚之妻陳氏惠安
縣民劉洙漢之妻黃氏劉懋然之妻陳氏龍
溪縣民陳斌之妻鄭氏詔安縣生員沈大力
之妻陳氏漳浦縣貞女余氏武平縣孝子練
金生又湖北省南漳縣民胡道伸之妻張氏
廖磊之妻洪氏宣城縣民龍公選之妻張氏

又湖南省麻陽縣生員董步翰之妻孫氏寧
遠縣民李方淵之妻楊氏來陽縣監生梁盛
楚之妻陳氏寧遠縣民李方渥之妻樊氏長
沙縣民饒先培之妻吳氏新化縣民邵祖誥
之繼妻曾氏清泉縣監生彭安湘之妻黃氏
清泉縣民蕭炳緒之妻王氏又河南省商邱
縣民郭準之妻徐氏寧陵縣民郭元文之妻

解氏河內縣民郝化醇之妻楊氏唐縣民陳
東陽之妻劉氏光山縣民李化之妻楊氏密
縣民冉相臣之妻陳氏獲嘉縣民孟因孟之
妻郭氏閩鄉縣民薛天申之妻姚氏趙國成
之妻張氏光山縣民彭琳之妻胡氏唐縣貞
女杜氏又山東省陵縣民趙文碩之妻李氏
汶上縣民韓大來之妻范氏鄆城縣生員梁

任之繼妻張氏益都縣民

城縣民王元鴻之妻李氏

之妻遲氏海陽縣民于思敏之妻徐氏文登

縣民劉湘之妻宋氏金鄉縣生員李鱗兆之

妻周氏金鄉縣民李允熙之妻季氏文登縣

民劉棻之妻林氏又山西省榆次縣民郭宗

泰之妻石氏生員李聖和之妻許氏岢嵐州

武生牛萬安之妻閻氏嵐縣民尹儒恭之妻

楊氏洪洞縣民王有道之妻李氏長治縣民

賈宗賢之妻王氏大同縣民郭進朝之妻趙

氏廣靈縣民李維明之妻黃氏榆社縣民任

士攻之妻張氏平定州民郭祺之妻孟氏壽

陽縣民陳宗行之妻子于氏郝見龍之妻苗氏

陳元佐之妻王氏保德州生員徐聯奎之妻

張氏河津縣民柴自忠之妻郭氏靈石縣民

王中衡之妻張氏榆次縣民郭芳美之妻喬

氏壽陽縣民陳萬鍾之妻武氏神池縣生員

宮音聲之妻周氏又陝西省長安縣民賈光

輝之妻張氏賈其剛之妻魏氏劉瑞鳳之妻

田氏三原縣貢生張世德之妻李氏三原縣

民張植之妻劉氏富平縣生員劉大義之妻

紀氏富平縣民劉大鳴之妻張氏石軻隨之

妻王氏涇陽縣民何彥貴之妻王氏謝大壽

之妻張氏張鳴臯之妻徐氏渭南縣民劉希

舜之妻張氏藍屋縣民梁朝棟之妻辛氏興

平縣民魏春之妻程氏咸陽縣民蕭克振之

妻魏氏耀州民孫起枝之妻賈氏大荔縣民

王嘉祥之妻胡氏馬宗實之妻王氏華陰縣

民員錫槐之妻張氏馮安海之妻王氏扶風
縣生員淮萬秀之妻陳氏神木縣監生劉有
權之妻蘇氏乾州民吳學智之妻姚氏康褚
之妻樂氏武功縣民王寧之妻白氏米脂縣
民李治堂之妻曹氏商州民魚永潔之妻趙
氏三原縣民韓繼聖之妻來氏監生線士清
之妻謝氏富平縣民李宗會之妻張氏涇陽

縣民吳璋之妻王氏吳維正之妻馬氏渭南
縣民蔭增宅之妻胡氏胡懷寶之妻羅氏藍
屋縣民侯玉良之妻辛氏朝邑縣民趙元綸
之妻程氏華陰縣民田期遠之妻師氏扶風
縣民呂芝之妻楊氏郿縣貢生岳節介之妻
武氏紫陽縣民張芝鵬之妻高氏武功縣監
生張素蘊之繼妻耿氏張佩之繼妻劉氏郿

州民曹燦章之妻侯氏雒南縣民何大祀之
妻董氏郃陽縣監生孝子楊繼宗三原縣孝
子李道生又甘肅省皋蘭縣民彭琴鳳之妻
王氏生員陳玠之妻王氏民呂周儒之妻宋
氏狄道州生員黃世清之妻趙氏民牛昭之
妻江氏監生劉中淑之妻張氏民劉加明之
妻留氏牛顯堯之妻裴氏生員趙志文之妻

許氏民楊文選之妻蘇氏趙天相之妻楊氏
楊進爵之妻羊氏靖遠縣生員劉光琮之妻
徐氏民楊存儒之妻訾氏廩生房作翰之妻
劉氏民焦璋之妻石氏趙國璽之妻師氏丁
紹尹之妻朱氏渭源縣監生崔雲端之妻魏
氏武生張瑜之妻田氏民姚光增之妻劉氏
隴西縣民郭維域之妻平氏寧遠縣民楊作

林之妻吉氏劉高魁之妻范氏張成之妻王

氏王振綱之妻劉氏李應兆之妻趙氏會寧

縣民吳登奎之妻和氏伏羌縣民廖福周之

妻梁氏謝思聰之妻王氏謝士彥之妻蔣氏

賈寬之妻廖氏潘王秀之妻王氏陳適中之

妻賈氏漳縣民包自德之妻李氏通渭縣生

員南維新之妻姜氏民李爾唐之妻何氏李

醇之妻冉氏張景中之妻楊氏王崇德之妻

張氏馬之漢之妻張氏監生馬福星之妻張

氏固原州民朱祿之妻柳氏環縣武生張麒

麟之妻文氏生員楊楚之妻張氏安化縣民

朱晃之妻張氏朱純儒之妻李氏武威縣民

周宗堯之妻賈氏張謀之妻章氏張桐之妻

郭氏古浪縣生員王紀正之妻李氏靈州民

郭嵐之妻呂氏萬挺之妻王氏寧夏縣民李

錫之妻劉氏中衛縣監生柳逢年之妻史氏

中衛縣民方學聖之妻李氏吏員張聖德之

妻楊氏西寧縣民褚錦章之妻趙氏廩生楊

殿元之妻趙氏秦州民吳銓之妻崔氏生員

周元吉之妻張氏秦安縣民蔡錫瓚之妻孫

氏武生高重之妻任氏民成士顯之妻喬氏

張文煥之妻秦氏生員王念烈之妻成氏民

何盛有之妻王氏辛繼愷之妻龐氏維克寬

之妻馮氏趙生榮之妻何氏高其品之妻宋

氏徽縣民趙國材之妻王氏胡繩章之妻楊

氏禮縣民楊秉乾之妻劉氏王邠之妻趙氏

清水縣民鄒芝榮之妻王氏程氏

涇州民劉行周之妻路氏鎮原縣民張崇海

之妻段氏許溥之妻脫氏竟之妻張氏
 生員張詠之妻包氏民朱文炳之妻常氏廩
 生秦祿之妻劉氏民李仲長之妻和氏范光
 芮之妻劉氏孫順之妻陳氏安化縣民張博
 之妻韓氏武威縣民劉季元之妻孫氏中衛
 縣民邱岑之妻郭氏文縣生員孝子周雲程
 又四川省定遠縣民馮祖述之妻鄧氏閬中
 縣生員顧諱青之妻閻氏昭化縣民吳天滋
 之妻李氏宜賓縣監生李芳楠之妻邱氏富
 順縣民張鉞之妻黃氏樂山縣民童登崙之
 妻王氏仁壽縣民汪海之妻張氏綿州民魏
 禮麟之妻蕭氏安縣武生劉紳之妻龐氏梁
 山縣民秦錫爵之妻游氏華陽縣兵丁賈緒
 之妻張氏開縣民潘得位之妻杜氏成都縣

貞女張氏又廣東省南海縣監生龐錫剛之
 妻陳氏南海縣民李沾榮之妻馬氏崔眷成
 之妻廖氏番禺縣民梁占平之妻陳氏香山
 縣民林聚伍之妻劉氏長寧縣監生陳開平
 之妻俞氏海陽縣民杜茂烈之妻陳氏新興
 縣民秦瓏之妻彭氏瓊山縣孝子原任博羅
 縣訓導吳位和又廣西省臨桂縣民朱依端
 之妻張氏橫州生員蒙殷賚之妻吳氏又雲
 南省晉寧州民吳治之妻宋氏通海縣民周
 通之妻張氏蒙自縣民張儒之妻胡氏會澤
 縣生員徐文龍之妻陳氏兵丁李正國之妻
 楊氏民胡安民之妻賀氏王朝貴之妻彭氏
 恩安縣原任把總鄒學仁之妻楊氏景東縣
 民劉大經之妻陳氏晉寧州注貢馮秀之妻

張氏會澤縣生員雷元

生員張良臣之妻劉氏

僕順孫雷謙又貴州鎮遠府廩生李元捷之

妻吳氏鎮遠府民鄧國侯之妻李氏都勻府

生員李向榮之妻姜氏等共四百八十九口

貞女十四口孝子七名順孫一名准照例

旌表給銀建坊又江蘇省鹽城縣民馮濬之妻

許氏安東縣生員劉鳳岐之妻徐氏清河縣

民于毓溶之妻祁氏太倉州民呂元秀之妻

王氏又山西省榆次縣民王詒之妻要氏寧

鄉縣民郭來賀之妻李氏等共八口俱年例

已符准照例給匾嘉獎又江蘇省如臯縣孝

女宋氏守貞不字因母疾割股母歿後即行

自縊奉親盡孝可否

加恩准予

旌表一疏奉

諭旨依議宋氏着加恩旌表又兵部議兩廣總督

孫士毅奏廣東吳川營都司員缺准以澄海

協左營守備李士榮陞補一疏奉

諭旨李士榮依議用餘依議又刑部等衙門議四

川總督保寧奏崇寧縣民胡元珍毆傷黃扶

身死依律擬絞監候查黃扶係在保辜限外

身死可否援例減等一疏奉

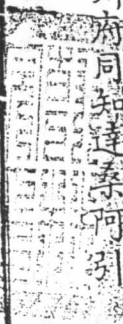
諭旨胡元珍毆傷黃扶至保辜限外身死著從寬

免死照例減等發落餘依議又吏部帶領協辦

大學士仍留陝甘總督任福康安保舉堪勝

知府之現任甘肅蘭州府同知

見奉



諭旨達桑阿著回任又帶領

奏請陞署鎮遠府清江通判之現任平赴縣

知縣胡章引

見奉

諭旨胡章著照該撫等所請准其陞署鎮遠府清

江通判又帶領失察西洋人住宿傳教及錯擬

罪名照例降調之前任直隸北路同知于時

兆引

見奉

諭旨于時兆著以通判用其降級之案帶於新任

是日正藍旗滿洲都統奏補荊州山海關等

處佐領帶領保送人員引

見奉

諭旨清善著補授荊州佐領九格著補授山海關

佐領

是日

起居注官白麟陳萬青

初十日癸卯內閣奉

諭旨據都爾嘉特成額等照例年終彙奏各該管

處並無私造烏鎗亦無隱匿一摺所繕造字竟

訛為鑄如係鎔鑄礮子當用鑄字若烏鎗只可

用造字何以用鑄字都爾嘉特成額身為管轄

兵丁之將軍副都統不但不曉滿文且兵器如

何造作亦全然不知將此申飭都爾嘉特成額

知之又奉

諭旨據保寧奏川省直隸州知州及未入流等員

現在乏人差委請揀發直隸州知州員未入

流十員來川以資差遣委用等語著派綽克托

福長安彭元瑞會同該部

照例揀選引見發往是日吏部議直隸總督劉

我奏署東鹿縣知縣王殿光試俸期滿准實

授一疏奉

諭旨王殿光依議用餘依議又兵部議兩廣總督

孫士毅奏廣東儋州營守備員缺准以左翼

鎮標中營千總楊大銓陞補一疏奉

諭旨楊大銓依議用餘依議又吏部帶領不能先

事照料以致漕船凍阻運米到次遲延照例

降調之河南封邱縣知縣張楷引

見奉

諭旨張楷著仍發往河南以知縣用其降級之案

帶於新任又帶領失察西洋人過境議以革任

之江西清江縣知縣王賡焯引

見奉

諭旨王賡焯著仍發往江西以知縣用其革任之

案帶於新任又兵部帶領歷俸期滿之陝西漢

中城守營副將阿穆呼朗山東曹州營參將

錦齊顯引

見奉

諭旨阿穆呼朗著在二等侍衛上行走錦齊顯著

在三等侍衛上行走又帶領推陞江南蕪采營

遊擊郭廷璋廣東羅定協中軍都司蕭玉龍

貴州思南營守備唐士元四川督標左營守

備嚴廷良引

見奉

諭旨郭廷璋准其陞用江南蕪采營遊擊蕭玉龍

准其陞用廣東羅定協中軍都司唐士元准其

見奉

諭旨郭廷璋准其陞用江南蕪采營遊擊蕭玉龍

准其陞用廣東羅定協中軍都司唐士元准其

陞用貴州思南營守備嚴廷

廷其陞用四川

督標左營守備俱著赴新任又帶領題補陝西

臨洮營都司陳士典甘肅烏魯木齊提標石

營都司馬得林山東膠州營都司姚鄉臣甘

肅廣武營守備張愷直隸水東村守備石興

隆引

見奉

諭旨陳士典准其補授陝西臨洮營都司馬得林

准其補授甘肅提標右營都司姚鄉臣准其補

授山東膠州營都司張愷准其補授甘肅廣武

營守備石興隆准其補授直隸水東村守備俱

著赴新任又帶領揀補陝西蘭州城守營守備

之鑲黃旗滿洲護軍校堂保任引

見奉

諭旨陝西蘭州城守營守備員缺著堂保任補授

又帶領預行保舉之陝西興漢鎮標右營守

備范濬甘肅西寧鎮標中營守備朱洪仁湖

南永州鎮標右營守備唐光茂引

見奉

諭旨范濬朱洪仁唐光茂俱准其預保註冊是日

鑲紅旗滿洲都統奏補世管佐領員缺帶領

應募人員引

見奉

諭旨隆海之世管佐領著舒通阿承襲又鑲白旗

蒙古都統奏補恩騎尉員缺帶領應募人員

引

見奉

諭旨恩騎尉著阿克東阿承襲

是日

起居注官王保曹城

十一日甲辰內閣奉

諭旨山東兗州府知府員缺著高宮壘補授又奉

諭旨據慶桂等奏查辦湖北漢川縣侵蝕賑濟銀

兩一案原署漢川縣王蕙元不肯供認請將王

蕙元先行革職嚴切審訊等語此案漢川縣官

吏辦理賑務既經縣民疊次呈控自當嚴切根

究乃王蕙元不吐實供顯係恃符支飾王蕙元

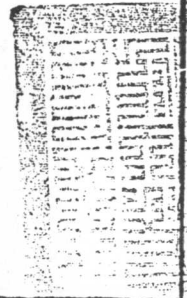
著即革職交慶桂等提同案內犯證一併秉公

嚴審定擬具奏是日吏部議直隸總督劉峩奏

署東安縣知縣黃開性試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨黃開性依議用餘依議又兵部議兩廣總督



孫士毅奏廣東左翼鎮標左營守備員缺准

以澄海協千總何廷顯補授一疏奉

諭旨何廷顯依議用餘依議

是日

起居注官德昌方燁

十二日乙巳卯刻

上御乾清門聽政部院各衙門官員面奏并帶領

侍班司員引

見畢大學士嵇璜和坤王杰協辦大學士吏部尚

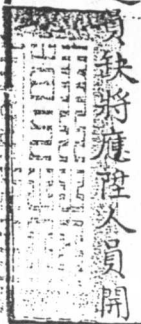
書劉墉學士扎勒翰阿肅張若淳胡高望以

折本請

旨覆請吏部奏補翰林院侍讀學士員缺應將侍

講學士平恕轉補所遺員缺將應陞人員開

列請



簡一疏

上曰平恕轉補翰林院侍讀學士鄭修唐補授翰

林院侍講學士又覆請吏部奏補翰林院侍讀

員缺應將侍講陳嗣龍轉補所遺員缺將應

陞人員開列請

簡一疏

上曰陳嗣龍轉補翰林院侍讀其侍講員缺著李

潢補授又覆請吏部奏補光祿寺少卿員缺

將應陞人員開列請

簡一疏

上曰戈源補授光祿寺少卿又覆請吏部議直隸

總督劉峩奏獻縣知縣員缺請以慶雲縣知

縣孫樹南調補查該員歷俸未滿與例不符

既經專摺奏請可否准其調補一疏

上曰孫樹南准其調補餘依議又覆請吏部議署

湖廣總督舒常奏湖北京山縣知縣員缺請

以興山縣知縣林贊盛調補查該員歷俸未

滿與例不符既經專摺奏請可否准其調補

一疏

上曰林贊盛准其調補餘依議又覆請吏部議署

陝甘總督山西巡撫勒保奏甘肅鎮遠道員

缺請以安肅道鳳翔調補查該員任內有督

催耗羨未完各案與例不符應毋庸議一疏

上曰鳳翔准其調補又覆請吏部議參奏嚴定處

分飾詞取巧之河南道監察御史李陽棫照

例降調一疏

上曰李陽棫著改為革職從寬留任又覆請吏部

議辦理賑務錯悞及傳

旨詢問時又復巧詞支飾之

例降調查係革職留任又註冊之員無級可

降應行革任一疏

上曰明興著從寬免其革任仍註冊罰繳巡撫養

庶一年又覆請刑部等衙門議安徽巡撫書麟

奏懷遠縣民王之幅毆傷孔氏身死依律擬

絞監候查孔氏係在保辜限外身死可否援

例減等一疏

上曰王之幅毆傷孔氏至保辜限外身死著從寬

免死照例減等發落餘依議又覆請刑部等衙

門議護理山西巡撫鄭源琦奏孝義縣民溫

學仁戳傷張萬春身死依律擬絞監候查張

萬春係在保辜限外身死可否援例減等一

疏

上曰溫學仁戳傷張萬春至保辜限外身死著從

寬免死照例減等發落餘依議又覆請都察院

奏巡視長蘆鹽政穆騰額一年期滿照例請

更一疏

上曰穆騰額著再留一年是日內閣奉

諭旨戶部議駁毓奇奏台州幫守凍漕船每船請

借銀五十兩之處因此項新漕明歲徵收齊全

後即由海道運往閩省該幫無受兌之糧毋庸

趕緊南下一切費用節省是以議駁固屬照例

辦理第念該幫守凍北河回次尚需時日且明

歲既經停運月糧減半支給丁力恐不無拮据

著加恩每船借給銀二十兩以示體卹餘依議

是日太常寺奏五十三年二月初四日祭

先師孔子一疏奉

諭旨遣劉墉行禮兩廡遣翰林官三員各分獻又

奏五十二年二月初五日祭

社稷壇一疏奉

諭旨朕親詣行禮又吏部議四川總督保寧奏內

江縣知縣員缺准以候補知縣柴綦補授一

疏奉

諭旨柴綦依議用餘依議又議雲貴

昭通府魯甸通判員缺請以蒙

楊

大觀陞補查該員任內有戴罪督催一案與

例不符應毋庸議一疏奉

諭旨楊大觀准其陞補昭通府魯甸通判又議失

察誘買人口之湖北署黃岡縣知縣張瑤照

例降調一疏奉

諭旨依議其因失察誘買人口議以降級用之張

瑤仍照前旨著該督撫出具考語送部引見是

日正黃旗滿洲都統奏補吉林公中佐領員

缺帶領保送人員引

見奉

諭旨伍保著補授佐領

是日

起居注官嵩貴葉觀國年恕塘五

十三日丙午

上詣普度寺

凝和廟

宣仁廟拈香是日內閣

奉

諭旨甘肅安肅道員缺著述德補授又奉

諭旨據閩鄂元奏本年楊關由關徵收稅課比較

上三屆共短少盈餘銀六萬五千八百八十餘

兩請着落管關之員分別賠補等語揚關由關

係地方官管理並無別樣差使此項盈餘比較
不敷自應著落分賠以清課也該關因豫
東二省歉收之後商販無多又兼上年湖河漫
溢貨船稀少以致盈餘短絀若令全行賠補為
數較多所有揚關由閘共短少盈餘銀六萬五
千六百八十餘兩著該管道員各按經徵月日
分賠一半其餘一半著加恩免其繳該部知

道摺併發是日吏部議直隸總督我奏交安

諭旨周士孝依議用餘依議
縣員缺准以候補知縣周士孝補授一疏奉

是日

起居注官鐵保茅元銘

十四日丁未內閣奉

諭旨福康安等奏十一月初六日帶兵援赴嘉義

縣初七日行抵元長莊又於普吉保所帶官兵
內挑新舊兵丁義民分為五隊福康安與海蘭
察鄂輝普爾普穆克登阿普吉保額爾登保及
巴圖魯侍衛章京等分隊帶領凡遇賊莊即行
剿洗互為援應初八日黎明行抵崙仔頂地方
賊匪多人潛於竹圍內施放鎗炮一齊擁出我
兵屹立不動鎗箭齊發福康安海蘭察帶同已

圖魯侍衛衝入賊中賊匪抵敵不平入竹林

兩傍竹圍蔗田內及崙仔尾等處各莊賊匪或
數百人或千餘人前來抗拒福康安預為佈置
調令鄂輝穆克登阿帶領屯練降番扼住右首
東莊溪橋普爾普侍衛春寧參將吳宗茂等帶
兵堵截左首各莊賊眾並遣義民分頭焚斫竹
圍蔗田及各處草窠當將崙仔頂莊崙仔尾莊

打通一面令海蘭察帶巴圖侍衛兵普吉保
及奮勇官兵長驅先進福康安將各處賊莊盡
力攻剿無不克捷進至牛稠山地方賊匪阻溪
自固在山梁屯扎見官兵將至四面圍裹不下
萬餘海蘭察帶同巴圖魯侍衛官兵直越溪河
沖過賊隊我兵無不一以當百搶上山梁賊匪
紛紛逃竄即於酉刻入城現在督 督兵由斗

六門進攻大里棧賊巢擒拏賊首 等語逆
匪林爽文糾集賊黨滋擾嘉義縣城圍攻數月
經常青等屢次派兵往援俱被賊匪阻截柴大
紀在城內率領官兵義兵悉力保護正在急迫
之際若援兵再遲十日縣城即難固守福康安
海蘭察能督率將弁官兵鼓勇直進並不俟貴
州湖南續調兵丁到齊即將現有兵民分為五

隊派鄂輝等分隊帶領沿途剿殺賊匪俱能奮
勇直前不避險阻越過溪河將各處村莊屯聚
之賊匪痛加殲殺直抵縣城數月之圍應手而
解城內數萬生靈得獲更生之慶並將賊人存
貯糧石運入縣城軍糈民食益資充裕此皆福
康安等調度有方振作士氣用能克敵致果迅
奏捷音旬應優加寵錫福康安海 祭侯現係

侯爵著晉封公爵各賞紅寶石帽 勇團龍補
褂以示優異其鄂輝舒亮普爾普等及巴圖魯
侍衛章京並在事出力之鎮將弁員等俱能率
領兵民鼓勇奏績著查明咨部一體從優議叙
福康安等亦當乘勝深入直搗賊巢生擒賊首
賊目迅奏膚功永承恩眷又奉 諭旨長麟奏訪聞鉅野汶上等處有巨窩糾竊之

事隨密委壽張縣知縣王毅等會同遊擊王文雄等前往查拏旋即緝獲巨窩捐職運判田王堂並夥賊王位三等十一名又於包家莊等處拏獲積窩包五並賊犯包四等十五名分別問擬絞決發遣一摺已交三法司核擬速奏矣長麟到山東巡撫之任未久即訪得鉅野汶上等處有窩棍包庇肆竊擾害地方密王 韓員弁實

力查拏將田王堂包五等拘獲 案訊出歷年疊竊多案獲犯三十六名足見該撫於地方緝捕事務實心整頓戡匪安良殊屬認真長麟著交部議叙所有拏獲竊匪之地方文武員弁亦著一併分別交部議叙至明興前在山東巡撫任內有年於地方此等巨窩積棍肆竊累累之案不能嚴飭所屬隨時實力查拏所司何事

可見諸事廢弛無能已極明興著嚴行申飭並交部議處仍令該撫將此等案犯何以不能訪拏之處明白迴奏又奉

諭旨廣西桂林府知府員缺緊要著該督撫於通省知府內揀選一員調補所遺員缺著王友蓮補授是日正黃旗漢軍都統奏補世管佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨李景福之世管佐領著馬王保補授

是日

起居注官陸伯焜白麟

十五日戊申卯刻

上御太和殿視朝王公大臣及文武陞轉各官行

謝

恩禮畢是日內閣奉

諭旨據李侍堯等奏臺灣府屬各廳縣本年應徵兵穀及耗羨莊租雜稅等項請分作四年帶徵等語臺灣自剿捕逆匪以來節經降旨將乾隆五十二三兩年錢糧並嘉義縣五十四年錢糧全行蠲免矣今此項應徵兵穀及耗羨租稅固應照例徵收以備供支但念該處 賊匪滋擾

後被難歸莊之民未遑耕種生理 限石仍分

年帶徵民力不無拮据所有臺灣各屬本年應徵兵穀十九萬九百餘石及耗羨莊租雜稅銀六萬九千餘兩粟一千八百餘石俱著加恩全行寬免以副朕惠愛被難邊黎有加無已至意該部即遵諭行是日太常寺奏五十三年二月初二日祭

關帝廟一疏奉

諭旨遣弘豐行禮後殿遣德明行禮又吏部議兩江總督李世傑奏安徽潁州府知府員缺准以池州府知府武調元調補所遺員缺准以候補知府孫藩補授一疏奉

諭旨武調元等依議調補餘依議又兵部議署陝甘總督勒保奏陝西固原提標 遊擊員

缺准以甘肅白塔營都司王清 補授一疏

奉

諭旨王清弼依議用餘依議又吏部帶領揀發四川直隸州知州趙秉淵等二員未入流朱勇均等十員引

見奉

諭旨趙秉淵皂福住以直隸州知州用朱勇均趙

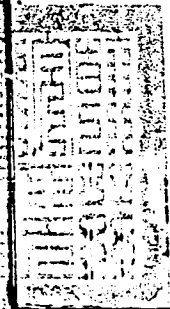
聖徵夏學詩善繼鄭迪顧繡何矩鏡王天佑胡
雲呂晟以未入流用俱著發往四川交與該督
差遣委用又帶領協辦大學士仍留陝甘總督
任福康安保舉堪勝知府之現任甘肅鞏昌
府洮州府同知敦任引

見奉

諭旨敦任著回任

是日

起居注官王保平恕吳璣瑋五珠



乾隆五十二年歲次丁未十二月十六日巳

酉內閣奉

諭旨臺灣逆匪滋擾嘉義縣城時普吉保恒瑞先

後帶兵前往援應俱未能奮勇殺散賊匪直抵

縣城均難辭咎但普吉保由鹿仔港進兵收復

笨港移駐元長莊並經屢次打仗殺賊尚能

知奮勉所有臺灣鎮總兵員缺印著普吉一調

補以觀後效其所遺汀州鎮總兵員缺著

安於軍營出力副將人員內揀選一員奏明

朕簡放至恒瑞在鹽水港一味株守毫無寸進

實屬無能難勝將軍之任著即來京候旨至福

州將軍員缺前曾有旨欲將鄂輝調補因現在

保寧已補授伊犁將軍李世傑仍調補四川總

督該省地方緊要且毗連西藏統轄番夷俱有

應辦事件李世傑係屬漢人且已年老現在又

因伊妻及長子病故心緒不寧恐辦理公務精

神不能周到鄂輝在川有年於該處事宜較為

熟諳將來臺灣事竣後應令仍回成都將軍原

任以資駕輕就熟至常青剿捕臺灣逆匪雖未

能督率將弁剋期奏績但自駐守郡城以來

匪屢經滋擾伊已年老尚能臨陣殺賊將部

保護無虞並節次派弁兵援應嘉義調度

屬有方雖不宜復任總督但伊從前曾任福

州將軍熟悉該處情形且以閩浙總督調補該處

將軍呼應較靈於辦理一切善後事宜更可得

力所有福州將軍員缺印著常青補授將來大

功告成後即留於臺灣帶同普吉保辦理善後

事宜其湖廣總督員缺印著鄂輝補授所有工

部尚書員缺著福長安補換又奉

諭旨朕明春巡幸天津閱視河工擇於五月十八

日啟鑾所有應行事宜著各該衙門照例預備

又奉

諭旨廣州將軍存泰年已七十六歲令其來京聽

候另用所遺員缺著圖桑阿補授涼州副都

員缺著奇臣補授是日太常寺奏五十三等

月初八日上辛祭

祈穀壇前期視牲看牲一疏奉

諭旨遣永錫視牲達椿看牲又兵部奏江南徽州

營參將員缺擬以貴州歸化營遊擊范建偉

籤陞湖南岳州城守營參將員缺擬以湖北

衛昌營遊擊豆霽籤陞湖北遠安營遊擊員

缺擬以湖南沅州協都司蔣觀濤籤陞陝西

漢鳳營遊擊員缺擬以湖南辰州協都司楊

定謀籤陞陝西畧陽營遊擊員缺擬以甘肅

涼州鎮都司朱學仁籤陞直隸寶坻營都司

員缺擬以四川重慶營守備舒廷秀籤陞貴

州仁懷營都司員缺擬以貴州同仁協守備

周興國籤陞山東登州鎮都司員缺擬以

南昭通鎮標守備員缺擬以江南江北營

左營都司員缺擬以貴州上江協右營

陳文藻籤陞雲南大理城守營都司員缺

以貴州清江協右營守備畢天瑞籤陞陝西

延安營守備員缺擬以山西大原營千總閔

天相籤陞一疏奉

諭旨范建偉等依擬用餘依議又奏陝西靖遠協

中軍都司員缺擬以預保守備趙邦選掣補

一疏奉

諭旨趙邦選依擬用餘依議又奏貴州凱里營都

司員缺擬以預保守備張佐五掣補一疏奉

諭旨張佐五依擬用餘依議又奏陝西栢林堡守

備員缺擬以預保千總朱濟掣補一疏奉

諭旨朱濟依擬用餘依議又都察院等衙門議

辦理承襲事件遲延之宗室府堂官等

罰俸一疏奉

諭旨雅朗阿著罰尚書俸一年永瑞弘暢俱著

去尚書紀錄二次其從前罰俸三個月之處仍

各註於親王紀錄抵銷淳穎罰尚書俸一年之

處著註於親王紀錄抵銷崇尚著罰侍郎俸一

年斌寧罰侍郎俸一年之處著註於公紀錄抵

銷是日正白旗滿洲都統奏承襲勳舊佐領各

缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨富善之勳舊佐領著六十三承襲永寧之雲

騎尉著恒春承襲又正藍旗滿洲都統奏承襲

三等男各缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨宗珠克之三等男阿敏珠克阿林保

都尉加一雲騎尉著承襲什爾們之雲騎

尉著瑪郎阿承襲扎拉豐阿之恩騎尉著烏爾

孤恩太承襲和順武之恩騎尉著格綏額承襲

舒明阿之恩騎尉著什圖承襲又鑲黃旗蒙古

都統奏承襲一等輕車都尉各缺帶領正陪

人員引

見奉

諭旨碩克之一等輕車都尉著永太承襲索諾木策巴之騎都尉著文殊保承襲那亮之雲騎尉著奉太承襲又正藍旗蒙古都統奏承襲雲騎尉員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨布彥圖之雲騎尉著吹拉璽承襲
是日

起居注官王保曹城

十七日庚戌內閣奉

諭旨據李侍堯奏閩省本年溢額鹽課及認辦額外課銀請分年帶徵等語福建自臺灣剿捕逆匪以來辦理軍需運送米餉差務殷繁行銷口岸挽運維艱以致鹽引滯銷商力不無拮据自係實在情形所有該商等應完溢課銀七萬六

千九百餘兩及認辦額外課銀一萬二千四百餘兩著加恩分作三年帶徵以紓商力該部知道摺併發又奉

諭旨現在臺灣剿捕逆匪大功即日告竣一切善後事宜需用較多自當寬為儲備以資接濟著戶部於附近鄰省內再酌撥銀二百兩令督撫等派員迅速解送該督等存

用又奉

諭旨福建臺灣府孤懸海外遠隔重洋地方民情刁悍無藉奸徒往往借端滋事皆由地方官吏任意侵婪累民歛怨而督撫遇有臺灣道府廳縣缺出又以該處地土豐饒不問屬員能勝任與否每用其私人率請調補俾得侵漁肥橐所調各員不以涉險為虞轉以得調美缺為

喜到任後利其津益貪黷無厭而於地方案
件惟知將就完結希圖了事以致奸民無所
畏憚始而作奸犯科互相械鬪甚至倡立會
名糾眾不法遂爾釀成巨案總以歷任督撫
闒冗廢弛地方吏治竟不可問從前歷任督
撫業經身故者今不復追治其罪亦始
勒渾富綱雅德等亦免其深究但經此次

大加懲創之後海疆亦土地亦不力為整頓
以期綏靖地方向來三年一次止亦巡撫
史滿漢各一員前往巡視該御史職分較小
且由京派往豈能備悉該處情形易為地方
官欺蔽不過虛應故事仍屬有名無實嗣後
著照四川巡查促浸償拉之例令該督撫及
水師陸路兩提督每年輪值一人前渡臺灣

嚴行稽查該處道府廳縣本皆督撫所屬其
賢否自易知悉如有骫法營私擾累小民之
事即可就近查明據實奏至營伍弁兵係
由內地換班派往防守為水陸兩提督素所
管轄其捺防一切孰勤孰惰及有無擾累生
事之處尤易隨時查察既足以資亦
以整飭吏治戎行亦疆亦為有裨亦再亦

道府向有缺出亦以督亦請調補亦寅
緣瞻狗之弊嗣後該處道府缺出亦請
簡放倘該督撫提督等於奉有此旨後仍前
玩弛並不實力整頓又復虛應故事或致地
方有滋事之案則惟該督撫提督是問至海
洋雖風信靡常而該督撫等前往巡視不必
拘定時日祇須視何月分風信平穩之時配

船前渡亦不致於涉險也所有請派巡查臺灣

御史之例竟行停止著為令又奉

諭旨韓錄前任工部侍郎且曾任河道總督於工

程事務較為熟諳茲因服闋來京即著補授工

部右侍郎朱珪現出學差所有禮部右侍郎員

缺即著劉躍雲署理又奉

諭旨前經降旨直隸總督李鴻章足敷普賞八旗

旗兵丁一月金糧糧丁現在直隸解

到租銀已足敷賞資之用著加恩普賞八旗

丁一月錢糧俾八旗兵丁生計益臻充裕以示

眷祺錫慶有加無已至意該部即遵諭行又奉

諭旨舒常所遺正白旗蒙古都統員缺即著積福

坐補是日吏部議廣西巡撫孫永清奏太平府

明江同知員缺准以南寧府同知潘鍾濂調

補一疏奉

諭旨潘鍾濂依議調補餘依議又議兩江總督李

世傑奏安徽定遠縣知縣員缺准以太和縣

知縣李長安調補所遺員缺准以候補知縣

周森署理查李長安歷俸未滿與例不符既

經專摺奏請可否調補一疏奉

諭旨李長安准其調補一疏奉

察禮夫與朝奉才第餉之總管府

大臣等照例罰俸一疏奉

諭旨皇六子永瑤著銷去尚書紀錄二次免其罰

俸德保金簡舒文俱著罰俸一年和坤伊齡阿

著各銷去紀錄二次俱免其罰俸福長安著銷

去紀錄一次仍罰俸六個月又議平日不嚴行

管教伊女烏蘇氏致殘酷斃命之禮部侍郎

達椿等照例降級一疏奉

諭旨達椿著降一級留任榮柱著銷去加一級免

其降級又兵部議閩浙總督李侍堯奏浙江紹

興協副將員缺准以海寧營叅將范樹欽補

授一疏奉

諭旨范樹欽補授浙江紹興協副將餘

署陝甘

缺請以甘

該員歷俸未滿與例不符既經專摺奏請

否准其陞署一疏奉

諭旨何廷臣准其陞署瑪納斯協副將餘依議又

議閩浙總督李侍堯奏浙江台州協右營都

司員缺准以象山協左營守備沈大進補授

一疏奉

諭旨沈大進依議用餘依議又議江西巡撫何裕

城奏鉛山營都司員缺請以候補遊擊全德

借補查鉛山營都司一缺係題調之缺與例

不符應毋庸議一疏奉

諭旨全德著照該撫所請行是日正黃旗滿洲都

統奏承襲三等公等缺帶領正陪

見奉

諭旨西銘之

著富僧阿承襲又正紅旗滿洲都統

車都尉等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨明紹之輕車都尉著明凌承襲瑪章阿之騎

都尉又一雲騎尉著中文承襲又鑲紅旗蒙古

都統奏承襲輕車都尉員缺帶領正陪人員

引

見奉

諭旨富明阿之輕車都尉著塔思哈承襲

是日

起居注官陳崇本圖敏

十八日辛亥內閣奉

諭旨據徐嗣曾

年短少至

在軍營未便照向例分任攤賠懇將

銀兩統於徐嗣曾名下養廉內坐扣歸款等語

本年臺灣逆匪滋事前後派調官兵陸續配渡

並節次運送軍餉商販船隻較稀以致稅額短

少其事尚屬有因所有本年閩海關徵收稅銀

短少九萬一千九百餘兩著常青恒瑞徐嗣曾

各賠銀一萬兩其餘六萬一千九百餘兩著加

恩寬免是日吏部議兩江總督李世傑奏江南

邳州知州員缺准以候補知州劉墀補授一

疏奉

諭旨劉墀依議用餘依議又議四川總督保寧奏

宜賓縣知縣員缺請以彭山縣知縣項雁

調補查該

奏請可否

諭旨項應蓮准其調補餘依議又議承

選舉考等書錯悞並不悉心纂辦之纂修官

蔡共武等照例罰俸一疏奉

諭旨蔡共武王受俱著罰俸一年餘依議又議湖

北省經徵驛站錢糧未完應將督催不力各

員照例罰俸革職一疏奉

諭旨李封著於現任內罰俸三個月圖薩布著於現任內罰俸一年其因經徵驛站錢糧未完九分以上議以革職之嚴廷燦著該督撫出具考語送部引見再降諭旨張其章俟服闋之日著本籍該撫查照原咨考語送部引見餘依議又兵部議閩浙總督李侍堯奏浙江右營遊擊補都司劉芳補

一疏奉

諭旨劉芳依議用餘依議又奏本年考職年老者有疾職軍政照例分別革職休致降調一疏奉諭旨這考選軍政官員罷軟者著革職年老者有疾者著休致才力不及者著降二級調用餘依議又吏部奏補浙江道監察御史員缺帶領服滿赴補之原任陝西道監察御史葛鳴陽引

見奉

諭旨浙江道監察御史員缺著葛鳴陽補授又帶領直隸總督劉峩奏請陞署青縣知縣之現任永清縣縣丞吳元吉引

見奉

諭旨吳元吉著照該督等所請准其陞縣又帶領四

之現任

見奉

諭旨常發祥著照該督所請准其陞補灌縣知縣又帶領服滿赴補之原任河南浙川縣知縣許耀廷引

見奉

諭旨許耀廷著照例用又帶領

廣西宣化縣知縣胡豫棠引

見奉

諭旨胡豫棠仍發往廣西以知縣用又帶領失察

西洋人過境照例降調之原任廣東廉州府

丁憂同知歐陽新引

見奉

諭旨歐陽新著用其降之

案帶於新任

是日

起居注官嵩貴陳嗣龍

十九日壬子內閣奉

諭旨甘肅甘州府知府員缺著文會補授又奉

諭旨提長麟奏訪拿汶上縣李得朋魏寅等窩匪

肆竊糾夥拒捕一案遊擊王文雄守備仙鶴齡

於該犯等乘間欲逃時親自打倒將李得朋魏

寅即時擒獲尚屬能事王文雄仙鶴齡前於查

拿該省窩棍田玉堂等一案業經交部議叙今

又能拿獲肆竊拒捕兇犯著該撫將該二員送

部引見是日步軍統領衙門奏據山東東平州

民人孟捍廷呈控該州浮收漕米

等語請派

諭旨此案著即

告之孟捍廷著照例解往是日吏部

督劉峩奏署北路同知甄時濟歷俸期滿准

實授一疏奉

諭旨甄時濟依議用餘依議又議四川總督保寧

奏潼川府知府張松孫患病可否准其解任

回籍調理一疏奉

諭旨依議張松孫准其回籍調理又議未完鹽引
五分以上之廣西署橫州知州黃大鵬等照
例降調革任一疏奉

諭旨依議其因未完鹽引五分以上議以降級用
之黃大鵬仍照前旨著該督撫出具考語送部
引見未完鹽引九分以上議以革任之張德誠
著該督撫出

部議湖廣

司員缺准以永州鎮標中營守備李在寅補
授一疏奉

諭旨李在寅依議用餘依議又議磨勘甲辰丁未
科武舉楊文秀等刀石不符之原監射官多
羅定郡王綿恩等照例罰俸一疏奉

諭旨綿恩雅朗阿俱著罰都統俸六個月胡季堂

著從寬免其革任仍註冊緯克托著降一級從
寬留任劉墉海寧阿揚阿俱著罰俸六個月吳
玉綸著銷去紀錄一次其從前罰俸三個月之
處仍於紀錄抵銷金簡惠齡俱著銷去加一級
免其降級又奏本年考察各駐防旗員軍政照
例分別革職體致降調一疏奉

諭旨這考選軍

有疾者著休
依議

是日

起居注官王懿修德昌

二十日癸丑吏部議廣東巡撫圖薩布奏興
寧縣知縣員缺准以候補知縣王廷栢補授
一疏內閣奉

諭旨王廷栢依議用餘依議又議浙江巡撫琅玕
奏黃巖縣知縣員缺請以署仁居縣知縣路
邵調署所遺員缺請以候補知縣陳鴻舉補
授查路邵歷俸未滿與例不符既經專摺奏
請可否准其調署一疏奉

諭旨路邵准其調署陳鴻舉依議用餘依議又議

署山西巡撫 綠州知州冒銜

請以鳳臺縣 初查該員歷俸

未滿與例不符應毋庸議應將違例題請陞
補之該撫照例罰俸一疏奉

諭旨明興著罰俸九個月餘依議又都察院等衙
門議並不詳查條例輒將教習惲鵬奏請陞
用主事之宗人府堂官等照例罰俸一疏奉
諭旨雅朗阿著罰尚書俸九個月永瑞弘暢淳穎

各罰尚書俸之處俱著註於親王紀錄抵銷崇
尚著罰侍郎俸九個月斌寧罰侍郎俸之處著
註於公紀錄抵銷寶光厲著罰俸九個月餘依
議

是日

起居注官陸伯焜鐵保

二十一日 珠爾多爾濟

等二十一人 朱多爾濟

七人青海扎薩克台吉吹忠扎布等二人額

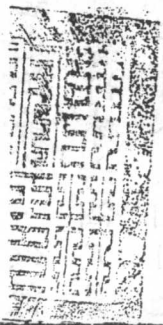
魯特台吉瑚爾哈齊等四人革布什咱安撫

司諾爾布贊都爾等二十二入琉球國正使

翁秉儀等四人入

覲於西苑門外跪迎

聖駕



上温語慰問

命隨至瀛臺

賜食觀冰技是日內閣奉

諭旨據徐嗣曾奏該省馬巷廳解審盜犯陳蛙等

五名委員章大鏞中途托故轉回並未解交莆

邑委員接替其楓亭巡檢瓊瑛並不添派弓兵

協同看守該

犯乘間脫逃請

革職拏問僉差協解之惠安縣知縣呂涵革職

留任勒緝等語陳全祿係聽從盜首陳壯行劫

海洋案内夥盜罪應斬決之犯該員等自應嚴

密管解小心防範乃委員章大鏞中途托故轉

回巡檢瓊瑛外委龔朋並不撥兵看守以致陳

全祿一犯乘間脫逃殊屬懈弛不職章大鏞瓊



瑛龔朋俱著革職拏問其僉差協解之惠安縣

知縣呂涵著革職留任勒限一年緝拏逾限無

獲即行革任所有僉差長解之通判呂憬亦著

暫行留任勒限一體協緝失於查察之知縣吳

道萱交部議處至該督李侍堯現在駐劄泉州

辦理軍務不能分身兼顧其咎尚屬可寬徐嗣

曾現駐省城

小心管押以

曾著交部嚴加議處其在逃之陳全祿一犯著

該督等嚴飭所屬上緊實力緝拏務期就獲該

部知道摺併發又奉

諭旨據海寧查奏延慶州倉儲虧短一摺內稱從

前所虧倉庫各款二萬四千兩現在查明均已

抵補有項此外所缺倉豆

核算計銀五百三十七兩五錢業據叅革知州
紀聞歌供認支用無存請將紀聞歌從重發往
伊犁充當苦差所虧豆價著落該管知府王衍
緒名下追出並請將劉戔梁肯堂及該管道府
歷任藩司交部分別議處等語紀聞歌於倉貯
豆石虧缺至一千七十五石之多現經海寧訊
據紀聞歌供事

前曾經

上司乃該督著並不即時

辦具奏任其懸宕至今尚未彌補足額劉戔梁
肯堂在直隸總督藩司任內有年於所屬倉貯
虧缺置之不辦實屬廢弛所有紀聞歌虧缺豆
價俱著落該管知府王衍緒追繳外劉戔梁肯
堂仍著各加十倍罰出並俱著交部嚴加議處
其該管道府及歷任該管上司俱著交部一併

嚴加議處餘俱著照海寧所奏辦理該部知道
摺併發

是日

起居注官陳萬青瑋五珠

二十二日乙卯

上御寧壽宮景祺閣

賜王公貝勒額

飯是日內

諭旨近來四川省奏到摺內凡遇番夷人名譯寫
多不成語皆由地方官不諳西番語音保寧雖
係蒙古自任總督後未免亦仗幕友辦事於番
語人名全不留意以致譯寫訛錯竟不成話現
在李世傑復調任四川係屬漢人該省官員內
無通曉番語之人恐更易於訛錯貴州糧道索

諾木扎木楚係蒙古人員由理藩院司員出身較為諳習著調補四川松茂道其貴州糧道員缺即著現任松茂道王鳳儀調補

是日

起居注官德昌方焯

二十三日丙辰

上御撫辰殿大

賜蒙古王公貝

珠爾多爾濟等二十二人喀爾喀貝勒齊默特多爾濟等七人青海扎薩克台吉吹忠扎布等二人額魯特台吉瑚爾哈齊等四人年班回部阿奇木伯克多善等十二人並革布什咱安撫司諾爾布贊都爾等二十二人宴是日內閣奉

諭旨張燾現在丁憂所有湖北學政著戴心亨去

又奉

諭旨據兩江總督書麟奏江西南贛道廣厚係伊親弟例應迴避等語廣厚著調補山東濟東道所遺江西南贛道員缺即著齊克慎調補又奉諭旨據福康安等奏攻克斗六門等處沿途打仗得勝情形一

十餘里有賊

三莊會合一處令恒瑞鄂輝等進攻大埔林大埔尾二莊海蘭察帶領巴圖魯章京等專攻中林福康安帶領巴圖魯章京等往來督催賊匪排列中林蜂擁前來抵死抗拒海蘭察即率領巴圖魯等奮勇直前不避鎗炮殺散賊匪攻克中林其大埔林大埔尾兩處經恒瑞鄂輝等同

時攻潰追殺賊匪沿途殺賊六七百名鎬斃騎
馬賊目十餘人將器械馬匹全行奪獲追至菴
古炕地方乘勝疾驅連夜前進至初一日齊集
斗六門面進攻用利刃長刀砍倒竹圍奪據賊
卡痛加殲戮直至午刻後賊匪抵敵不住四散
奔竄遂將斗六門收復即日進搗賊巢擒拿首
逆等語斗六

福康安等統

莊同時攻潰乘勝疾驅連夜前進剿殺賊匪將
斗六門收復官兵奮勇力戰不避鎗砲甚屬可
嘉現據李侍堯奏探聞官兵已攻破大里枝賊
巢賊匪逃入內山生番等稟稱欲將逆首林爽
文擒獲獻出等語想福康安等奏報之摺自己
在速即日捷音可到俟大功告竣再行另降諭

旨外福康安海蘭察鄂輝恒瑞普吉保袁國璜
著先行交部議叙所有福康安等奏到格外出
力之侍衛章京及鎮將官弁等除另降清字諭
旨賞給巴圖魯名號及陞等賞翎各員外其餘
在事出力之侍衛章京鎮將官弁等俱著福康
安查明一併咨部議叙以示嘉獎
是日

起居注官平

二十四日丁巳

上詣永安寺拈香是日內閣奉

諭旨大學士九卿議奏科場條例嚴申功令豫絕
弊源各款所議俱屬詳悉周妥已依議行矣但
鄉會試二場改用五經請自戊申鄉試為始用
易經出題以後按照鄉會試五經依次輪

試一周再於鄉會試二場五經並試一節雖極為允當士子束髮授書原應五經全讀向來止就本經按額取中應試各生祇知專治一經揣摩誦習而他經並不旁通博涉非敦崇實學之道今改用五經既可令士子潛心經學又可以杜絕場內關節弊端而衡文取中復不至限於經額致佳矣

五經出題並

經出題之處周易理蘊深奧粹難通曉並恐邊省未必人人誦習明歲鄉闈為期較近若遽以易經命題考試其向非專經者或致不諳經旨難以取中因思士子以詩經為本經者多所有明歲戊申鄉試著先以詩經出題次年會試著用書經俟下次鄉試再用易經以後按照鄉會

科分輪用禮記春秋庶士子得以漸次兼通講求精熟不致臨時草率應試又首場四書文向來限用夫蓋今夫且夫等字此等字樣主試者應於臨期酌量顛倒限令遵行毋庸按年排定即三藝承題全用夫字或全用蓋字起講全用今夫或全用且夫俱無不可至設科取士原為旁求俊又拾

由科甲出身

翰詹科道分任羣職即州縣等官亦無不有身膺民社之責該生等積學應試為登進初階自當束身圭璧以端其本乃不安義命之徒往往希圖僥倖舞弊作奸愈出愈巧以致人言藉藉不得不大為之防範嚴申例禁竟至與穿窬宵小一律防閑覽大學士九知所議各條朕深愧

無德化之感士子也此後應試諸生務須經明
行修爭自濯磨以端實學而期仕進其膺銜文
之任者亦應精白乃心秉公繼拔以副朕作人
雅化又奉

諭旨昨據福康安等奏統領官兵攻克中林大埔
林等莊後乘勝疾驅四面進攻剿殺賊匪將斗
六門收復

業經明降

衛章京鎮將官弁等分別加賞並交部議叙矣
此次福康安等統領將弁剿捕臺灣北路逆匪
奮勇打仗所向克捷將賊匪屯佔要隘各處先
後收復屢著勞績其隨同打仗兵丁奮勇力戰
不避鎗砲踴躍爭先甚屬出力自應一體加恩
賞賚除湖南貴州二省派往兵丁雖已配渡尚

未前抵該處外其四川屯練降番及廣西等省
兵丁隨同將領前抵嘉義殺散賊匪及攻克斗
六門等處均能打仗出力自應一併加恩用獎
勞勩著福康安查明此次隨同打仗兵丁其實
在出力者每名賞給一月錢糧其出力稍次者
每名賞給半月錢糧以昭鼓勵

是日

起居注官

二十五日戊午

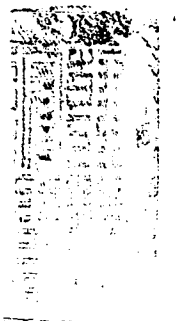
上詣

慈寧宮

壽康宮拈香

是日

起居注官嵩貴陸伯焜



二十六日己未

上御乾清宮

召見入

觀之土爾扈特貝子沙拉扣肯是日內閣奉

諭旨江蘭奏伊父江正大遣家丁携銀二萬兩來

豫採買黑豆二萬石交江南總督兌收聽候運

關等語現奉

正大以黑豆

以充軍用尚屬急公江正大著交部議叙摺併

發又奉

諭旨度禮寶奏到甄別教職千總查辦烏鎗估修

船隻及官員並無換帖宴會製造萬民衣傘等

事各摺已於摺內批示此等尋常年終彙奏事

件例應巡撫於年終具奏孫永清即因來京陛

見亦當將此等應辦之事辦畢具奏後再行起

程或以彙奏尚未屆期俟到京後自行陳奏亦

無不可有何迫不及待之處而輒交暫署撫篆

之藩司陳奏耶看來竟不免心存觀望於親管

之布政即如此周旋則一切吏治必廢弛不可

問孫永清著交部嚴察議奏又奉

諭旨雅德現

興調往喀什

格棚額調往和闐辦事格棚額員缺著賞給威

住道員職銜遣往塔爾巴哈臺在領隊大臣分

上行走自是日始

上以歲暮禱祭

太廟致齋三日

是日

起居注官陳崇本德昌

二十七日庚申內閣奉

諭旨據福康安奏臺灣剿捕逆匪即日大功告竣
所有撫卹難民及添建城垣等事亟須大員董
率經理請旨令徐嗣曾速渡臺灣辦理現已札
令該撫即行起程等語現在臺灣剿捕事宜尅
日蕪功所

嗣曾現在

可料理過省而廈門泉州一帶有李侍堯在彼
駐劄足資經理徐嗣曾此時計已前赴臺灣著
將撫卹難民估計城工及清查叛產搜拿賊屬
等事悉心籌辦務期妥協所有巡撫印務著伍
拉納暫行護理又奉

諭旨盛京將軍永璋病故所遺員缺著永鐸補授

永鐸現署伊犁將軍事務俟保寧抵伊犁日將
應行交代事務明白交代後再行來京請訓赴
任永鐸未抵任之前著慶桂於差務畢後來京
請訓前往署理盛京將軍事務永鐸所遺烏魯
木齊都統員缺著尚安補授並著予都統職銜
賞戴花翎尚安所遺駐劄喀喇沙爾辦事大臣
員缺著德

明亮德興

爾領隊大臣穆赫蘭著暫署喀喇沙爾事務俟
德勒格楞貴到任後諸事交代畢穆赫蘭再回
往土爾番

是日

起居注官茅元銘白麟

二十八日辛酉卯刻

上御中和殿視禘祭

太廟祝版

是日

起居注官鐵保圖敏曹城方煒

二十九日壬戌卯刻

上詣

太廟行禘祭禮

觀之正使俞

午門跪迎

聖駕

上溫語慰問是日

上名土爾扈特貝子沙拉扣肯都爾伯特親王策

凌烏巴什浩齊特郡王敏珠爾多爾濟等二

十二人喀爾喀貝勒齊默特多爾濟等七人

青海扎薩克吹忠扎布等二人額魯特台吉

瑚爾哈齊等四人年班回部阿奇木伯克多

善等十二人並革布什咱安撫司諾爾布贊

都爾等二十二入於

重華宮按次行禮

賜茶果並

賞賚有差

是日

起居注官玉保陳崇本陳嗣龍塘五珠

三十日癸亥巳刻

上御保和殿陞座

賜朝正外藩筵宴左翼科爾沁親王貢格喇布坦

巴林親王品級郡王巴圖科爾沁郡王鄂勒

哲特穆爾額爾克巴拜拜爾沁郡王喇什端

羅布奈曼郡王拉旺喇布坦喀喇沁郡王滿
珠巴咱爾科爾沁貝勒固穆扎布土默特貝
勒索諾木巴勒珠爾巴林貝子德勒克喀喇
沁貝子丹巴多爾濟教漢貝子桑濟扎勒教
漢貝子德威多爾濟土默特貝子色布騰喇
什教漢鎮國公納木扎勒多爾濟科爾沁輔
國公納

喇濟
吉拉旺科爾沁和碩額駙敏珠爾多爾濟科
爾沁和碩額駙雅里木丕勒喀喇沁和碩額
駙永庫爾忠喀喇沁和碩額駙索諾木巴勒
丹科爾沁頭等台吉敏珠爾多爾濟科爾沁
頭等台吉林欽多爾濟巴林頭等台吉賽尚
阿奈曼頭等台吉巴勒楚克喀喇沁頭等塔

布囊品級二等塔布囊格勒克薩木魯布喀
喇沁多羅額駙扎密揚多布丹教漢多羅額
駙巴勒丹翁牛特多羅額駙班珠爾教漢二
等台吉巴勒珠喇布坦教漢二等台吉濟克
濟扎布教漢固山額駙扎勒瓦喀喇沁固山
額駙扎南吉爾第右翼科爾沁王旺扎勒
多爾濟

都爾伯
特魯瓦蘇尼特郡王車哈衣布高齊特郡王
敏珠爾多爾濟喀爾喀郡王薩木丕勒多爾
濟回子郡王品級貝勒哈第爾翁牛特貝勒
濟克濟扎布烏珠穆沁貝勒旺楚克阿巴哈
納爾貝勒瑪哈巴拉蘇尼特貝勒貢桑扎勒
喀爾喀貝勒齊默特多爾濟巴林貝子多爾

濟喇布坦阿巴哈納爾貝子達克丹彭楚克
阿巴噶貝子彭楚克土爾扈特貝子沙喇扣
肯喀什噶爾三品阿奇木伯克貝子鄂斯滿
烏喇特輔國公貢格喇布坦喀喇沁輔國公
溫篤爾瑚烏珠穆沁輔國公瑪哈布爾尼雅
鄂爾多斯輔國公丹津多爾濟化城土默
特輔

克都爾
品級扎薩克頭等台吉貢森班巴爾郭爾羅
斯扎薩克頭等台吉阿喇布坦喀爾喀扎薩
克頭等台吉烏爾占扎布青海扎薩克頭等
台吉吹忠扎布青海扎薩克頭等台吉來楚
克附在察哈爾旗下額魯特三等台吉瑚爾
哈齊附在察哈爾旗下額魯特四等台吉肯

則附在察哈爾旗下額魯特四等台吉尼勒
庫附在察哈爾旗下額魯特四等台吉訥木
庫及土爾扈特貝子沙拉扣肯都爾伯特親
王策凌烏巴什浩齊特郡王敏珠爾多爾濟
等二十二入喀爾喀貝勒齊默特多爾濟等
七人青海扎薩克台吉吹忠扎等二人額
魯特

木僧
諾爾布贊都爾等二十二入又朝鮮國正使
俞彥鎬等六人琉球國正使翁秉儀等四人
及領侍衛內大臣大學士等以次就坐諧樂
並作
上進酒畢
名科爾沁親王貢格喇布坦巴林親王品級郡王

巴圖科爾沁郡王鄂勒哲特穆爾額爾克巴
拜科爾沁郡王刺什端羅布奈曼郡王拉旺
喇布坦喀喇沁郡王滿珠巴咱爾土默特貝
勒索諾木巴勒珠爾巴林貝子德勒克敦漢
貝子桑濟扎勒科爾沁親王旺扎勒多爾濟
都爾伯特親王徹靈伍巴什敦 郡王齊默
特魯克

薩木丕

阿巴哈納爾貝子達克丹彭楚克土爾扈特
貝子沙喇扣肯喀什噶爾三品阿奇木伯克
貝子鄂斯滿等至

御座前

上親賜酒餘俱令侍衛分觴授飲於坐次飲畢衆

謝

恩

駕還宮

是日

起居注官葉觀國王懿修鐵保瑋五珠

欽惟我

皇天大德受福天人贊孚九垓八埏以內怙高厚
而沂闔渥者五十餘年於茲政罔弗舉澤罔
弗究刑罔弗清威罔弗震而

聖德乾乾五十餘年如一日蓋與天合體安而行
之有無俟勉強者焉臣等祇

彤墀日仰

穆穆之光

十二年

起居注冊成凡二十四冊尊藏金匱為奕禩法

程伏見

皇上懋修時勅莊敬日強凡所以憲

天率

祖勤政惠民迓滋至之庥而會四海於湯平直之

極者皆本諸

至誠無息之衷故博厚高明悠久與覆載無疆自

古以郊見為盛儀舉行匪易今

辛壇

雩壇

南郊

北郊之典歲必

躬必親於

廟於

社及羣祀罔弗祇肅雨露既濡展謁

橋陵優乎愾乎衣言紹德春豫田盤秋獮木蘭

蹕路所經慶惠畢洽京師雨澤偶愆

聖心焦勞潔蠲額禱即沛甘霖誠之本也一日二

日

萬幾未明

求衣內自軍機閣部外而督撫大僚至一命以上

日引

覲對洞察隱微郵章

批閱萬里之外如在目前漏泄之防必嚴也支飾之

習必懲也大吏屢邀寬典者五年一核

懼其習

否定以

而過大典未舉此未畢六緩期懼其

藉以卸責也武職應奏事者責令陳奏所以

收兼聽並觀之益且觀其才具也大員子弟

膺薦剡者勅別記防黨援也道員請對調者

令送部謹趨避也嚴承審遲逾之例勵廢弛

也郡守諳土俗者仍効用惜幹才也舊臣宣

力有年者錄及子孫給事樞庭始終勤慎

者特加優贈監司歿王事者並予加銜軫臣

勞也勤奮急公者褒之不能振作者更之器

小易盈者易之瞻徇推諉者詰之多設科條

無實際者飭之秋讞寬縱者罰之避邊遠懲

棧者罷之蠹倉者強賑項未不縱罪囚通

逃罔獲

者鞠之

京秩

之入告不實即欺而科道遷

除必覈其所條奏皆所以飭官方也直省偶

遇偏灾蠲緩並施鳳陽淮安廬潁濟兗亳州

商邱等郡縣展賑帶徵之

命隨時疊沛至銀米兼賑前後失序者詰之調濟

得宜者嘉之京府浩穰米值稍涌疊發官倉

俾商糶以平之簡大臣以莅之運豐收之麥以濟之禁囤積通商舶令旗丁售餘米期益臻於充裕厚民生也辟以止辟乃辟遠而海洋苗疆近而內河畿輔劫盜巨窩法在不赦獎弋獲嚴踈防而良懦以安竄誘民誅左道妾謀妻者定其辜

案騰黃

六情戕幼之

及

囚畏法者分別萬無可貸

或念其老病昏恠或軫其先世捐軀曲為寬免而好生之德以洽慎刑獄也伏秋大汎令大員分任修防而於要工未宜者許酌為更易睢州值異漲遣重臣前往堵築如期集事相度機宜悉由

指示而勤效稍著者甄叙靡遺豫東接界之工令前撫臣董率挑濬以贖前愆洪湖水勢深通據傳聞入告者不加罪責重河防也海塘石工例外准銷續建石塘每丈增值湖南成造撥船亦許據實支銷其浮冒者追賠遲滯者飭詰重營造也

盱甯暨

空並上厘

社

漕白之般信記 守凍令次

歲運閩仍酌借官帑至於執已見涉紛撓者則禁之慎漕儲恤丁力也長蘆山東福建鹽課分六年四年三年帶徵而船價節省即令扣除勿納關稅贏餘短少大半免賠惠商賈也

四閣及江浙三分書覆令詳校斥邪說正訛舛
懲勸必明遺失必嚴覈功過也大挑舉班定
於會試榜前前期一日

欽派王大臣宿內閣以謹關防增派護軍統領御

史以稽出入

親定一二等各

賜沙匹

恤
恤
恤

歲工之後便道

大修陵寢

親臨令地方大吏以時稽察工部堂官每年履勘

務俾鞏固如前凡橋道引河等費並許支銷

所以保護松楸者至周且備尤亘古未聞之

盛德也臺灣逆匪糾眾不法提臣觀望遷延續遣

將兵亦未能相機進剿

皇上洞燭幾先明罰勅法

特派將軍叅贊

授之方畧率巴圖魯侍衛等航海長驅直擣賊巢

年餘通孽一旦掃平而其間調集駐防綠營

番

以裕軍需

前

邑堅守抗

賊

肇錫嘉名以彰義烈而歷任之貪黷廢弛釀成事

端者嚴其追治不以久而倖免也隣省調兵

轉餉之員各予優叙不以未在戎行而弗及

也普免閩郡地丁兵穀雜稅至再至三以與

民休息

親簡循良建立城池以撫綏凋敝仍令督撫水陸

提臣遞年巡察以永靖海疆

國威之震也詩三百篇三代以還從無全譜

皇上聲振集成審音考義叶之宮

之極軌

也 各省奏報

彜

景貺臻篤慶錫光自

天申佑我

皇上壽躋上耄

五代一堂萬寓又寧康疆逢古

牧僉爾而進咸以乾隆五十五年

八旬萬壽額申祝嘏以介延洪

皇上鑒天保之悃忱驗清寧之協契

實未有匹休者

曰俞哉其悉循舊典毋或踵增迺先降

德音移正科於前

特開鄉

分寬薄之習

特命

既杜揣摩之漸兼無額限之拘使咸得博涉

兼通講求精熟

壽考作人之盛也遂

詔有司以來春

巡幸天津閱視河工敷浩蕩之春祺暢龐鴻之愷

澤遠者泳沫而通者邁原信乎

法天行健之誠為億萬年敬

天之休之本臣等班依柱下獲遂就瞻謹記一歲中
詔諭政令典章法度繫日臚叙實與天下萬世颺

頌鼓舞於靡已云爾

起

臣王保

青

一王

恭跋

